

---

**桶川市第五次総合振興計画  
市民アンケート  
報告書**

---

平成25年1月



# 目次

## I 調査の概要

1 調査の目的	3
2 調査期間	3
3 調査方法	3
4 回収状況	3
5 地区区分について	3
6 年齢区分について	4
7 経年比較について	4
8 報告書の見方（凡例）	4

## II 調査の結果

1. 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向について	7
(1) 住みやすさ	7
(2) 住みにくさ	16
(3) 生活環境の満足度	22
(4) 定住意向	29
(5) 転出したい理由	32
2. 桶川市のまちづくりについて	37
(1) まちづくり全般	37
(2) 土地利用	51
(3) 都市整備	61
(4) 景観	70
3. 分野ごとの状況について	73
(1) 協働のまちづくり	73
(2) 男女共同参画	79
(3) 子育て支援	87
(4) 高齢者の生活	95
(5) 地球温暖化への取り組み	105
(6) 観光振興	110

4. 市政について .....	115
(1) 市政全般への関心度 .....	115
(2) 市政情報 .....	118
(3) 行政サービスと負担 .....	123
5. 桶川市のイメージや将来像について .....	125
(1) 桶川市のイメージ .....	125
(2) 市の誇りや自慢 .....	130
(3) 桶川市の将来像 .....	134
6. 回答者の属性 .....	137

### Ⅲ 自由意見

1. だれもが主役の桶川をつくる .....	144
2. 生きる力を育み次代に繋げる桶川をつくる .....	146
3. 共に支え合いいきいきと暮らせる桶川をつくる .....	151
4. 環境にやさしく安全・安心に住み続けられる桶川をつくる .....	161
5. みどりと調和した暮らしやすい桶川をつくる .....	169
6. にぎわいと活力ある桶川をつくる .....	198
7. 計画的で将来を見据えた桶川をつくる .....	207
8. その他意見 .....	222

### 参考資料

依頼文及び調査票 .....	227
----------------	-----

## I 調査の概要

---



## 1. 調査の目的

本調査は、桶川市の現状やまちづくりの取り組みに対する評価や満足度、市民が重要と感じている施策や課題、社会情勢から重点的な取り組みが必要な課題について、市民の意向や行動等の実態を把握することを目的として実施しました。

本調査の結果は、桶川市が進めるまちづくりの各計画に反映させるとともに、各計画における目的・目標をより適切に設けるための基礎資料として活用していきます。

## 2. 調査期間

平成24年10月～11月（督促状は10月下旬発送）

## 3. 調査方法

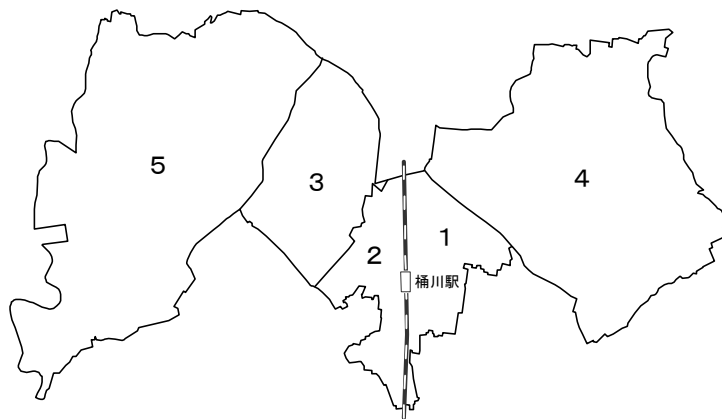
郵送配付・回収（ハガキによる督促状1回）

## 4. 回収状況

	市民アンケート
発送数	3,000通
有効回収数	1,706通
有効回収率	56.9%

## 5. 地区区分について

便宜上、桶川市を以下の5地区に分類しています。



1. 旧桶川東地区	東1～2丁目、西1～2丁目、南1～2丁目、北1～2丁目、 寿1～2丁目、神明1～2丁目、末広1～3丁目
2. 旧桶川西地区	泉1～2丁目、鴨川1～2丁目、若宮1～2丁目、朝日1～3丁目
3. 上下日出谷地区	上日出谷、下日出谷、下日出谷西1～3丁目
4. 旧加納村地区	坂田、加納、小針領家、倉田、篠津、五丁台、舎人新田、 赤堀1～2丁目
5. 川田谷地区	川田谷

## 6. 年齢区分について

年齢区分については、10歳刻みにしています。また、便宜上、18歳～29歳までを「20歳代」としています。

## 7. 経年比較について

平成21年度に実施した「市民意識調査」の結果と経年比較をしている設問があります。

## 8. 報告書の見方（凡例）

- 調査結果の比率は、その設問の回答者を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超えます。
- 図表中の「n=」とは、回答者数を表します。
- 選択肢の語句が長い場合、本文中や表・グラフでは省略した表現を用いることがあります。



## II 調査の結果

---



# 1. 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向について

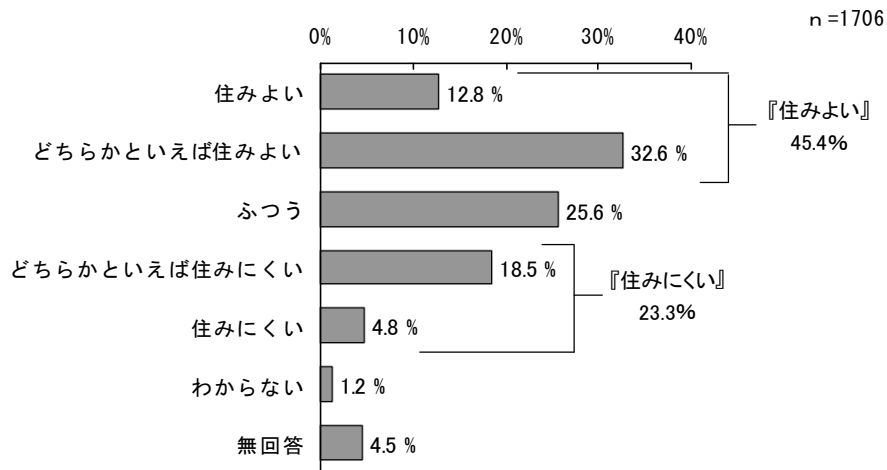
## (1) 住みやすさ

問1 あなたは、今住んでいる桶川市を住みよい所であると思いますか。(○は1つ)

### 全 体

「どちらかといえば住みよい」が32.6%と最も多く、次いで「ふつう」25.6%、「どちらかといえば住みにくい」18.5%、「住みにくい」は4.8%で最も少ない。

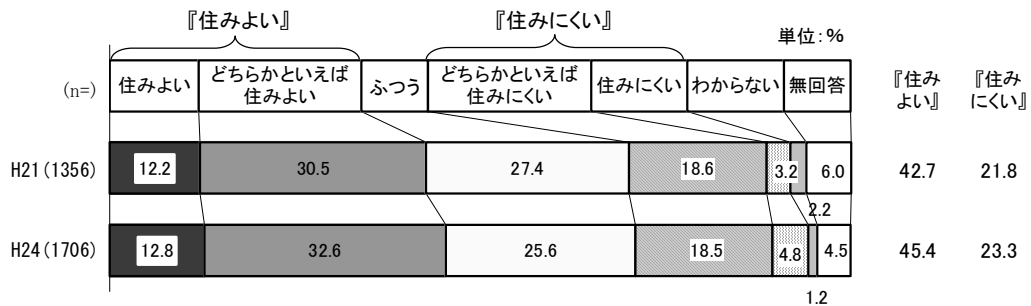
『住みよい』（「住みよい」＋「どちらかといえば住みよい」）との回答は45.4%、一方、『住みにくい』（「住みにくい」＋「どちらかといえば住みにくい」）との回答は23.3%であり、全体としては『住みよい』と感じている人が多くなっている。



### 【経年変化】

桶川市の住みやすさについて、前回調査（平成21年度）と比較すると、『住みよい』との回答が増加している。

一方で、「住みにくい」と答えた人の割合も、わずかに増加している。



## 年 齢 別

桶川市の住みやすさについて、最も多い回答は、いずれの年代も「どちらかといえば住みよい」であるが、70歳以上では「住みよい」が他の年代と比較して、特に多い。

一方で、『住みよい』（「住みよい」＋「どちらかといえば住みよい」）との回答が多いのは、40歳代と60歳代である。

反対に『住みにくい』（「住みにくい」＋「どちらかといえば住みにくい」）との回答が最も多いのは、30歳代、次いで20歳代であり、若年層で住みにくいと感じている人が多い傾向にある。

## 居住年数別

『住みよい』（「住みよい」＋「どちらかといえば住みよい」）との回答が最も多いのは、居住年数20年以上である。

一方、『住みにくい』（「住みにくい」＋「どちらかといえば住みにくい」）との回答は、居住年数3年未満が最も多く、3割を超える。全体として、居住年数が短いほど住みにくいと感じている人が多くなる傾向にある。

## 居住地区別

『住みよい』（「住みよい」＋「どちらかといえば住みよい」）との回答は、旧桶川西地区で5割を超えて、特に多くなっている。

一方、『住みにくい』（「住みにくい」＋「どちらかといえば住みにくい」）との回答が最も多いのは川田谷地区で、3割半ばであるが、これは全ての属性のなかで最も高い数値となっており、地区によって住みよさに大きな差があることがうかがえる。

## 家族構成別

桶川市の住みやすさについて、最も多い回答は、その他のみ「ふつう」、それ以外の家族構成ではいずれも「どちらかといえば住みよい」となっている。

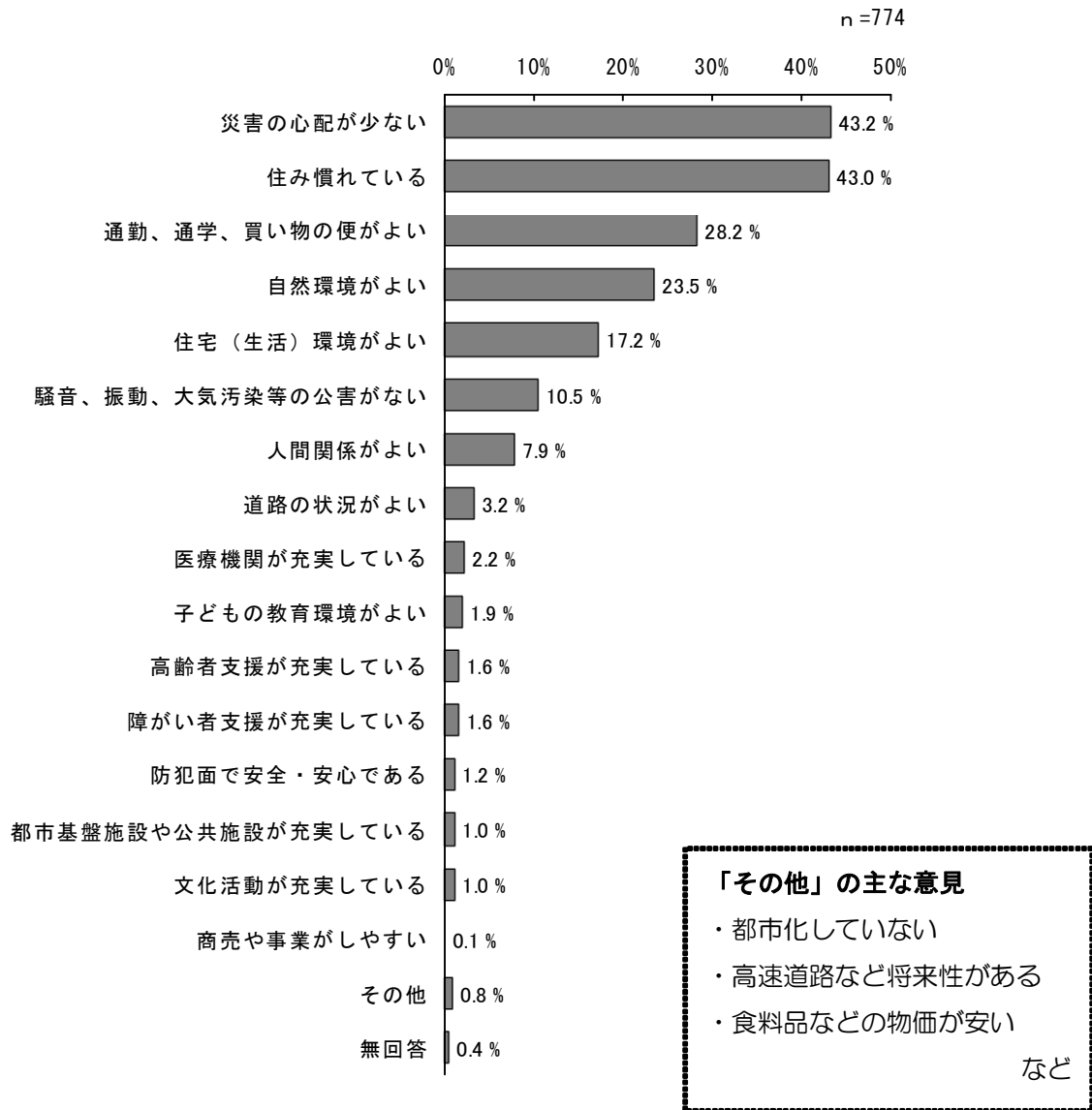
全体として、家族構成別での大きな違いは見られないが、『住みよい』（「住みよい」＋「どちらかといえば住みよい」）との回答が最も多いのは単身世帯、反対に『住みにくい』（「住みにくい」＋「どちらかといえば住みにくい」）との回答は二世帯世帯で最も多くなっている。

	(回答者数)	『住みよい』		ふつう	『住みにくい』		わからない	無回答	単位:%	
		住みよい	どちらかといえば住みよい		どちらかといえば住みにくい	住みにくい			『住みよい』	『住みにくい』
全体	(1706)	12.8	32.6		25.6	18.5	4.8	4.5	45.4	23.3
年齢	18～29歳	(137)	8.0	33.6	25.5	21.9	6.6	2.9	41.6	28.5
	30～39歳	(226)	11.5	29.6	25.2	22.6	8.8	1.8	41.1	31.4
	40～49歳	(258)	12.0	36.4	25.6	18.2	4.7	2.3	48.4	22.9
	50～59歳	(249)	10.4	34.5	26.5	19.7	4.8	3.6	44.9	24.5
	60～69歳	(382)	12.6	35.9	24.3	18.6	3.4	3.7	48.5	22.0
	70歳以上	(397)	17.1	27.7	25.9	14.6	3.5	9.1	44.8	18.1
	居住年数	3年未満	(113)	11.5	28.3	23.9	25.7	5.3	4.4	39.8
3～5年未満		(53)	11.3	30.2	28.3	17.0	11.3	0.0	41.5	28.3
5～10年未満		(152)	11.8	32.9	27.6	21.1	3.9	1.3	44.7	25.0
10～15年未満		(126)	9.5	34.1	31.0	18.3	4.0	3.2	43.6	22.3
15～20年未満		(164)	9.8	34.1	29.9	18.3	5.5	2.4	43.9	23.8
20年以上		(1043)	13.8	32.9	24.2	17.4	4.7	5.5	46.7	22.1
居住地区	旧桶川東地区	(370)	13.2	33.0	24.9	20.0	4.1	4.1	46.2	24.1
	旧桶川西地区	(369)	16.0	37.1	24.4	13.8	4.1	3.5	53.1	17.9
	上下日出谷地区	(370)	14.1	31.4	30.5	15.4	4.1	3.0	45.5	19.5
	旧加納村地区	(386)	8.5	31.1	25.4	20.2	6.7	6.2	39.6	26.9
	川田谷地区	(141)	11.3	28.4	19.9	29.1	5.7	5.7	39.7	34.8
家族構成別	夫婦だけ	(485)	11.5	33.8	23.9	18.8	4.9	5.6	45.3	23.7
	二世帯世帯	(728)	13.2	33.2	24.7	19.1	5.5	3.4	46.4	24.6
	三世帯世帯	(81)	13.6	29.6	24.7	22.2	3.7	4.9	43.2	23.4
	単身世帯	(139)	14.4	33.8	25.9	16.5	5.8	2.2	48.2	22.3
	その他	(203)	12.8	28.6	31.5	16.7	3.4	5.9	41.4	20.1

問 1-1 「住みよい」「どちらかといえば住みよい」を選んだ理由として最も近いものは何ですか。(〇は2つまで)

全 体

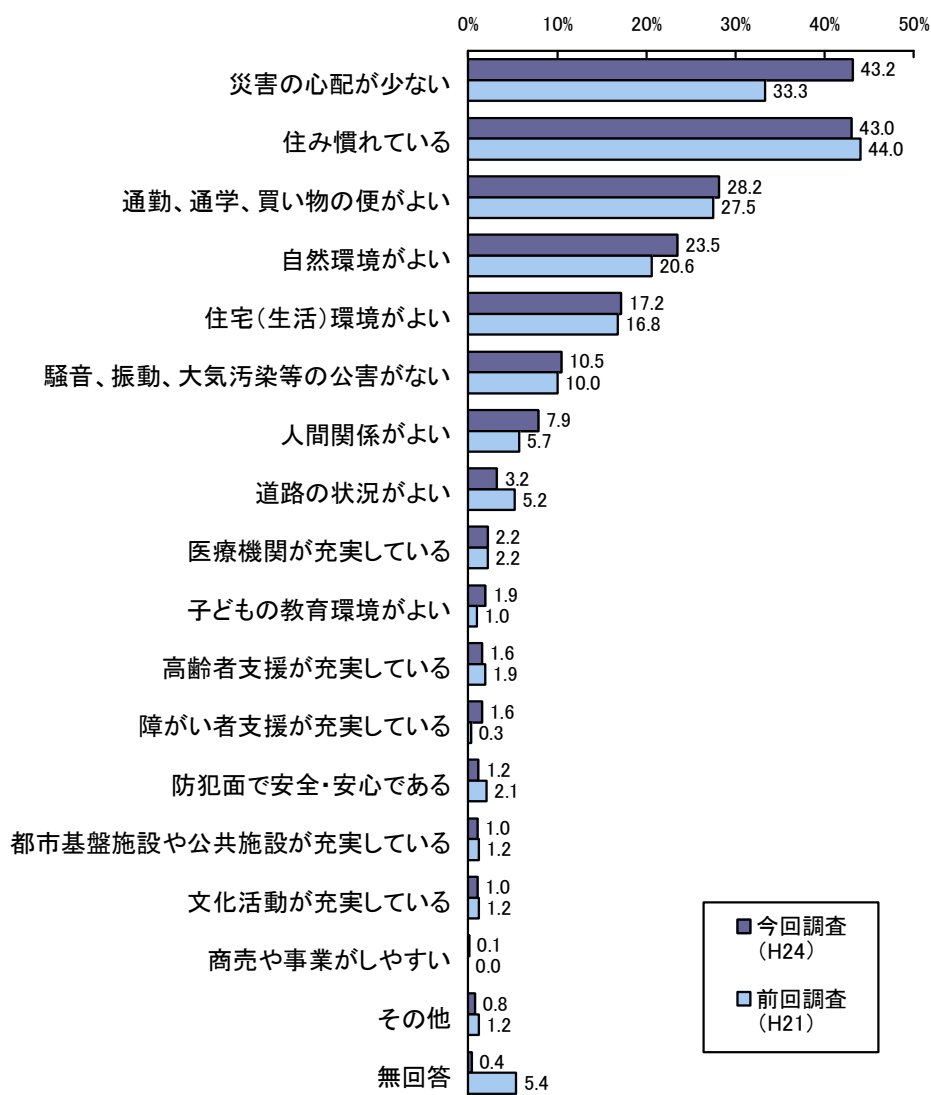
「災害の心配が低い」との回答が 43.2%と最も多く、次いで「住み慣れている」43.0%、次いで「通勤、通学、買い物の便がよい」28.2%、「自然環境がよい」23.5%などが主な理由となっている。



## 【経年変化】

前回調査（平成 21 年度）との比較では、「災害の心配が少ない」が、大きく増加しており、「住み慣れている」との順位が入れ替わっている。

その他は、「自然環境がよい」「人間関係がよい」などで増加がみられるが、「道路の状況がよい」や「防犯面で安全・安心である」では減少している。



## 年 齢 別

『住みよい』（「住みよい」＋「どちらかといえば住みよい」）理由として、最も多い回答は、20～50歳代までは「住み慣れている」、60歳以上では「災害の心配が少ない」となっている。

次いで、20～30歳代は「通勤、通学、買い物の便がよい」、40～50歳代は「災害の心配が少ない」、60歳以上は「住み慣れている」である。

「災害の心配が少ない」については、20～30歳代が2割台であるのに対し、60歳以上では5割台と、年代により差がみられる。

注意： 白文字 =1位 黒文字 =2位

		回答者数	災害の心配が少ない	住み慣れている	通勤、通学、買い物の便がよい	自然環境がよい	住宅(生活)環境がよい	騒音、振動、大気汚染等の公害がない	人間関係がよい	道路の状況がよい
全体	人数	774	334	333	218	182	133	81	61	25
	構成比		43.2%	43.0%	28.2%	23.5%	17.2%	10.5%	7.9%	3.2%
18～29歳	人数	57	15	32	20	13	11	1	3	2
	構成比		26.3%	56.1%	35.1%	22.8%	19.3%	1.8%	5.3%	3.5%
30～39歳	人数	93	23	37	34	22	16	9	7	3
	構成比		24.7%	39.8%	36.6%	23.7%	17.2%	9.7%	7.5%	3.2%
40～49歳	人数	125	47	52	43	23	28	14	11	6
	構成比		37.6%	41.6%	34.4%	18.4%	22.4%	11.2%	8.8%	4.8%
50～59歳	人数	112	42	53	32	28	19	13	8	5
	構成比		37.5%	47.3%	28.6%	25.0%	17.0%	11.6%	7.1%	4.5%
60～69歳	人数	185	101	75	48	46	28	22	11	2
	構成比		54.6%	40.5%	25.9%	24.9%	15.1%	11.9%	5.9%	1.1%
70歳以上	人数	178	96	78	37	43	24	19	17	5
	構成比		53.9%	43.8%	20.8%	24.2%	13.5%	10.7%	9.6%	2.8%
属性無記入	人数	24	10	6	4	7	7	3	4	2
	構成比		41.7%	25.0%	16.7%	29.2%	29.2%	12.5%	16.7%	8.3%

		医療機関が充実している	子どもの教育環境がよい	高齢者支援が充実している	障がい者支援が充実している	防犯面で安全・安心である	都市基盤施設や公共施設が充実している	文化活動が充実している	商売や事業がしやすい	その他	無回答
全体	人数	17	15	12	12	9	8	8	1	6	3
	構成比	2.2%	1.9%	1.6%	1.6%	1.2%	1.0%	1.0%	0.1%	0.8%	0.4%
18～29歳	人数	1	2	1	1	2	0	0	0	0	0
	構成比	1.8%	3.5%	1.8%	1.8%	3.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39歳	人数	5	4	0	1	0	2	1	0	2	1
	構成比	5.4%	4.3%	0.0%	1.1%	0.0%	2.2%	1.1%	0.0%	2.2%	1.1%
40～49歳	人数	1	5	0	2	1	1	0	1	2	0
	構成比	0.8%	4.0%	0.0%	1.6%	0.8%	0.8%	0.0%	0.8%	1.6%	0.0%
50～59歳	人数	2	1	0	0	1	1	2	0	0	1
	構成比	1.8%	0.9%	0.0%	0.0%	0.9%	0.9%	1.8%	0.0%	0.0%	0.9%
60～69歳	人数	2	1	4	4	2	2	5	0	1	0
	構成比	1.1%	0.5%	2.2%	2.2%	1.1%	1.1%	2.7%	0.0%	0.5%	0.0%
70歳以上	人数	5	2	7	4	3	2	0	0	1	0
	構成比	2.8%	1.1%	3.9%	2.2%	1.7%	1.1%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%
属性無記入	人数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%



## 居住年数別

『住みよい』（「住みよい」＋「どちらかといえば住みよい」）理由として、最も多い回答は、居住年数が3年未満・3年～5年未満・5年～10年未満では「通勤、通学、買い物の便がよい」、居住年数が10年～15年未満・15年～20年未満では「災害の心配が低い」、20年以上では「住み慣れている」となっている。

全体として、居住年数が10年未満では「通勤、通学、買い物の便がよい」「自然環境がよい」「住宅（生活）環境がよい」という生活の利便性や環境面の良さをあげる回答が多いのに対し、居住年数が10年以上では「住み慣れている」「災害の心配が低い」をあげる回答が多くなっている。

注意: 白文字 =1位 黒文字 =2位

		回答者数	災害の心配が少ない	住み慣れている	通勤、通学、買い物の便がよい	自然環境がよい	住宅（生活）環境がよい	騒音、振動、大気汚染等の公害がない	人間関係がよい	道路の状況がよい
全体	人数	774	334	333	218	182	133	81	61	25
	構成比		43.2%	43.0%	28.2%	23.5%	17.2%	10.5%	7.9%	3.2%
3年未満	人数	45	9	9	17	11	11	6	3	3
	構成比		20.0%	20.0%	37.8%	24.4%	24.4%	13.3%	6.7%	6.7%
3年～5年未満	人数	22	6	1	10	6	6	2	2	2
	構成比		27.3%	4.5%	45.5%	27.3%	27.3%	9.1%	9.1%	9.1%
5年～10年未満	人数	68	19	10	23	19	19	6	6	6
	構成比		27.9%	14.7%	33.8%	27.9%	27.9%	8.8%	8.8%	8.8%
10年～15年未満	人数	55	25	11	20	19	8	7	6	2
	構成比		45.5%	20.0%	36.4%	34.5%	14.5%	12.7%	10.9%	3.6%
15年～20年未満	人数	72	34	26	24	16	13	6	8	3
	構成比		47.2%	36.1%	33.3%	22.2%	18.1%	8.3%	11.1%	4.2%
20年以上	人数	487	231	270	119	104	69	51	32	7
	構成比		47.4%	55.4%	24.4%	21.4%	14.2%	10.5%	6.6%	1.4%
属性無記入	人数	25	10	6	5	7	7	3	4	2
	構成比		40.0%	24.0%	20.0%	28.0%	28.0%	12.0%	16.0%	8.0%

		医療機関が充実している	子どもの教育環境がよい	高齢者支援が充実している	障がい者支援が充実している	防犯面で安全・安心である	都市基盤施設や公共施設が充実している	文化活動が充実している	商売や事業がしやすい	その他	無回答
全体	人数	17	15	12	12	9	8	8	1	6	3
	構成比	2.2%	1.9%	1.6%	1.6%	1.2%	1.0%	1.0%	0.1%	0.8%	0.4%
3年未満	人数	3	0	1	1	1	1	0	0	1	0
	構成比	6.7%	0.0%	2.2%	2.2%	2.2%	2.2%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%
3年～5年未満	人数	1	2	2	0	0	2	0	0	0	0
	構成比	4.5%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5年～10年未満	人数	5	3	1	0	1	1	2	0	2	1
	構成比	7.4%	4.4%	1.5%	0.0%	1.5%	1.5%	2.9%	0.0%	2.9%	1.5%
10年～15年未満	人数	0	3	0	0	1	0	0	1	0	0
	構成比	0.0%	5.5%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%
15年～20年未満	人数	3	1	1	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	4.2%	1.4%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%
20年以上	人数	4	6	6	11	6	4	6	0	3	0
	構成比	0.8%	1.2%	1.2%	2.3%	1.2%	0.8%	1.2%	0.0%	0.6%	0.0%
属性無記入	人数	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	4.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%

## 居住地区別

『住みよい』（「住みよい」＋「どちらかといえば住みよい」）理由としては、いずれの地区も「住み慣れている」を「災害の心配が低い」を上位にあげているが、旧桶川東地区と旧桶川西地区では、「通勤、通学、買い物の便がよい」が多く、利便性の高さが評価されている。一方、川田谷地区では「自然環境がよい」が6割台と、他の地区と比べ際立って多い。地区ごとの特徴的な回答は次のとおりである。

旧桶川東地区	住み慣れている（50.9%） 通勤、通学、買い物の便がよい（40.4%）
旧桶川西地区	通勤、通学、買い物の便がよい（39.8%） 住宅（生活）環境がよい（25.5%）
上下日出谷地区	災害の心配が少ない（43.5%） 自然環境がよい（29.8%） 騒音、振動、大気汚染等の公害がない（15.5%）
旧加納村地区	災害の心配が少ない（48.4%） 住み慣れている（47.7%）
川田谷地区	自然環境がよい（62.5%） 住み慣れている（50.0%）

注意： 白文字 =1位 黒文字 =2位

		回答者数	災害の心配が少ない	住み慣れている	通勤、通学、買い物の便がよい	自然環境がよい	住宅（生活）環境がよい	騒音、振動、大気汚染等の公害がない	人間関係がよい	道路の状況がよい
全体	人数	774	334	333	218	182	133	81	61	25
	構成比		43.2%	43.0%	28.2%	23.5%	17.2%	10.5%	7.9%	3.2%
旧桶川東地区	人数	45	76	87	69	16	23	11	20	6
	構成比		44.4%	50.9%	40.4%	9.4%	13.5%	6.4%	11.7%	3.5%
旧桶川西地区	人数	22	78	65	78	34	50	15	10	10
	構成比		39.8%	33.2%	39.8%	17.3%	25.5%	7.7%	5.1%	5.1%
上下日出谷地区	人数	68	73	70	33	50	24	26	13	3
	構成比		43.5%	41.7%	19.6%	29.8%	14.3%	15.5%	7.7%	1.8%
旧加納村地区	人数	55	74	73	28	40	24	20	11	4
	構成比		48.4%	47.7%	18.3%	26.1%	15.7%	13.1%	7.2%	2.6%
川田谷地区	人数	72	22	28	3	35	4	6	3	0
	構成比		39.3%	50.0%	5.4%	62.5%	7.1%	10.7%	5.4%	0.0%
属性無記入	人数	25	11	10	7	7	8	3	4	2
	構成比		36.7%	33.3%	23.3%	23.3%	26.7%	10.0%	13.3%	6.7%

		医療機関が充実している	子どもの教育環境がよい	高齢者支援が充実している	障がい者支援が充実している	防犯面で安全・安心である	都市基盤施設や公共施設が充実している	文化活動が充実している	商売や事業がしやすい	その他	無回答
全体	人数	17	15	12	12	9	8	8	1	6	3
	構成比	2.2%	1.9%	1.6%	1.6%	1.2%	1.0%	1.0%	0.1%	0.8%	0.4%
旧桶川東地区	人数	6	3	5	1	2	1	0	0	1	0
	構成比	3.5%	1.8%	2.9%	0.6%	1.2%	0.6%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%
旧桶川西地区	人数	4	7	2	1	3	4	2	0	2	2
	構成比	2.0%	3.6%	1.0%	0.5%	1.5%	2.0%	1.0%	0.0%	1.0%	1.0%
上下日出谷地区	人数	4	3	3	4	2	2	2	1	1	0
	構成比	2.4%	1.8%	1.8%	2.4%	1.2%	1.2%	1.2%	0.6%	0.6%	0.0%
旧加納村地区	人数	1	1	2	3	1	0	3	0	1	0
	構成比	0.7%	0.7%	1.3%	2.0%	0.7%	0.0%	2.0%	0.0%	0.7%	0.0%
川田谷地区	人数	1	1	0	3	1	0	1	0	1	0
	構成比	1.8%	1.8%	0.0%	5.4%	1.8%	0.0%	1.8%	0.0%	1.8%	0.0%
属性無記入	人数	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	構成比	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%

## 家族構成別

『住みよい』（「住みよい」＋「どちらかといえば住みよい」）理由として、いずれの家族構成も「住み慣れている」と「災害の心配が低い」を上位にあげている。

その他、二世帯世帯と三世帯世帯では「通勤、通学、買物の便が良い」が3割台と他の家族構成に比べやや多くなっている。

また、三世帯世帯では「住宅（生活）環境がよい」、夫婦だけでは「騒音、振動、大気汚染等の公害がない」が他の家族構成に比べてやや多い。

		回答者数	災害の心配が少ない	住み慣れている	通勤、通学、買物の便がよい	自然環境がよい	住宅（生活）環境がよい	騒音、振動、大気汚染等の公害がない	人間関係がよい	道路の状況がよい
			白文字 =1位	黒文字 =2位						
全体	人数	774	334	333	218	182	133	81	61	25
	構成比		43.2%	43.0%	28.2%	23.5%	17.2%	10.5%	7.9%	3.2%
夫婦だけ	人数	220	107	80	48	51	42	32	16	8
	構成比		48.6%	36.4%	21.8%	23.2%	19.1%	14.5%	7.3%	3.6%
二世帯世帯	人数	338	136	146	110	82	56	31	32	7
	構成比		40.2%	43.2%	32.5%	24.3%	16.6%	9.2%	9.5%	2.1%
三世帯世帯	人数	35	15	19	12	7	7	1	3	2
	構成比		42.9%	54.3%	34.3%	20.0%	20.0%	2.9%	8.6%	5.7%
単身世帯	人数	67	25	31	20	12	11	7	2	3
	構成比		37.3%	46.3%	29.9%	17.9%	16.4%	10.4%	3.0%	4.5%
その他	人数	84	39	46	23	22	9	7	4	3
	構成比		46.4%	54.4%	27.4%	26.2%	10.7%	8.3%	4.8%	3.6%
属性無記入	人数	30	12	11	5	8	8	3	4	2
	構成比		40.0%	36.7%	16.7%	26.7%	26.7%	10.0%	13.3%	6.7%

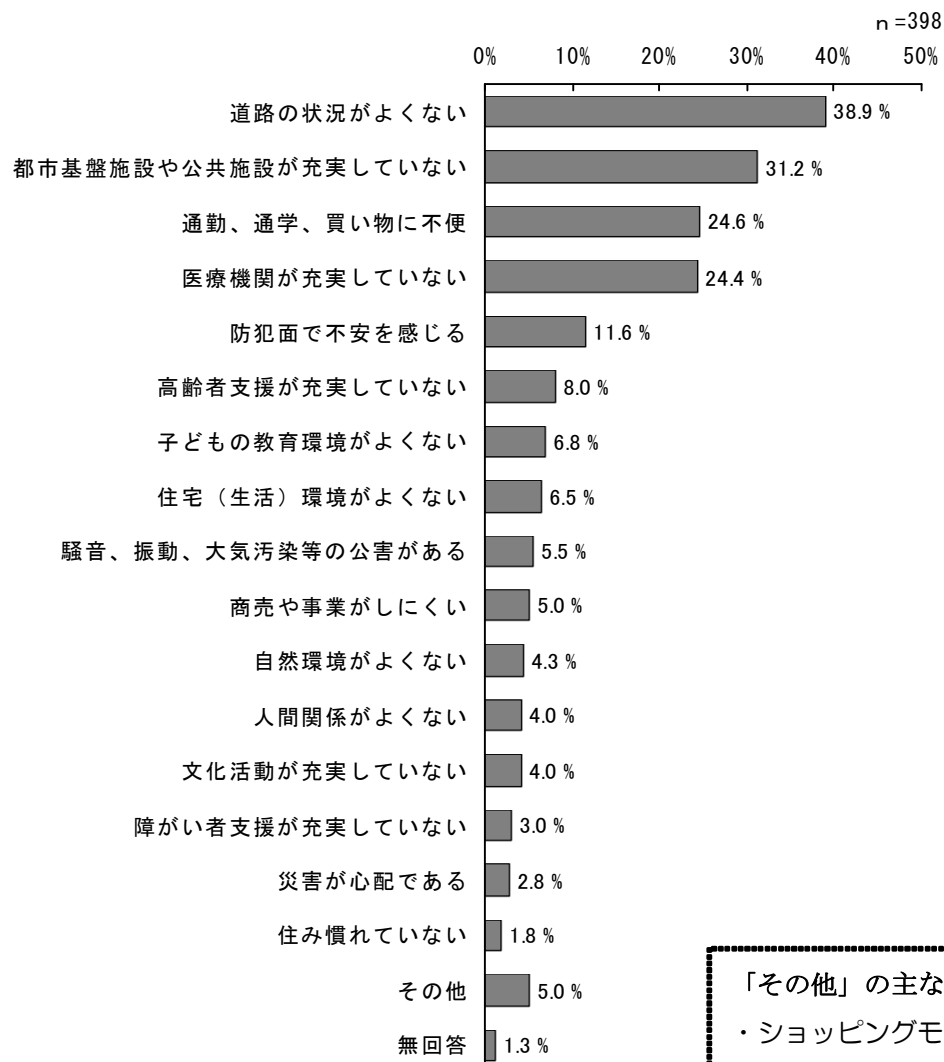
		医療機関が充実している	子どもの教育環境がよい	高齢者支援が充実している	障がい者支援が充実している	防犯面で安全・安心である	都市基盤施設や公共施設が充実している	文化活動が充実している	商売や事業がしやすい	その他	無回答
全体	人数	17	15	12	12	9	8	8	1	6	3
	構成比	2.2%	1.9%	1.6%	1.6%	1.2%	1.0%	1.0%	0.1%	0.8%	0.4%
夫婦だけ	人数	7	3	4	4	2	2	4	0	2	0
	構成比	3.2%	1.4%	1.8%	1.8%	0.9%	0.9%	1.8%	0.0%	0.9%	0.0%
二世帯世帯	人数	4	10	4	6	3	2	2	1	4	1
	構成比	1.2%	3.0%	1.2%	1.8%	0.9%	0.6%	0.6%	0.3%	1.2%	0.3%
三世帯世帯	人数	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0
	構成比	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%
単身世帯	人数	3	0	2	1	4	3	1	0	0	0
	構成比	4.5%	0.0%	3.0%	1.5%	6.0%	4.5%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	人数	2	1	1	1	0	0	0	0	0	1
	構成比	2.4%	1.2%	1.2%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%
属性無記入	人数	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	3.3%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%

## (2) 住みにくさ

問 1-2 「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」を選んだ理由として最も近いものは何ですか。(○は2つまで)

### 全 体

「道路の状況がよくない」が 38.9%と最も多い。次いで「都市基盤施設や公共施設が充実していない」31.2%、「通勤、通学、買い物に不便」24.6%、「医療機関が充実していない」24.4%などが主な理由である。

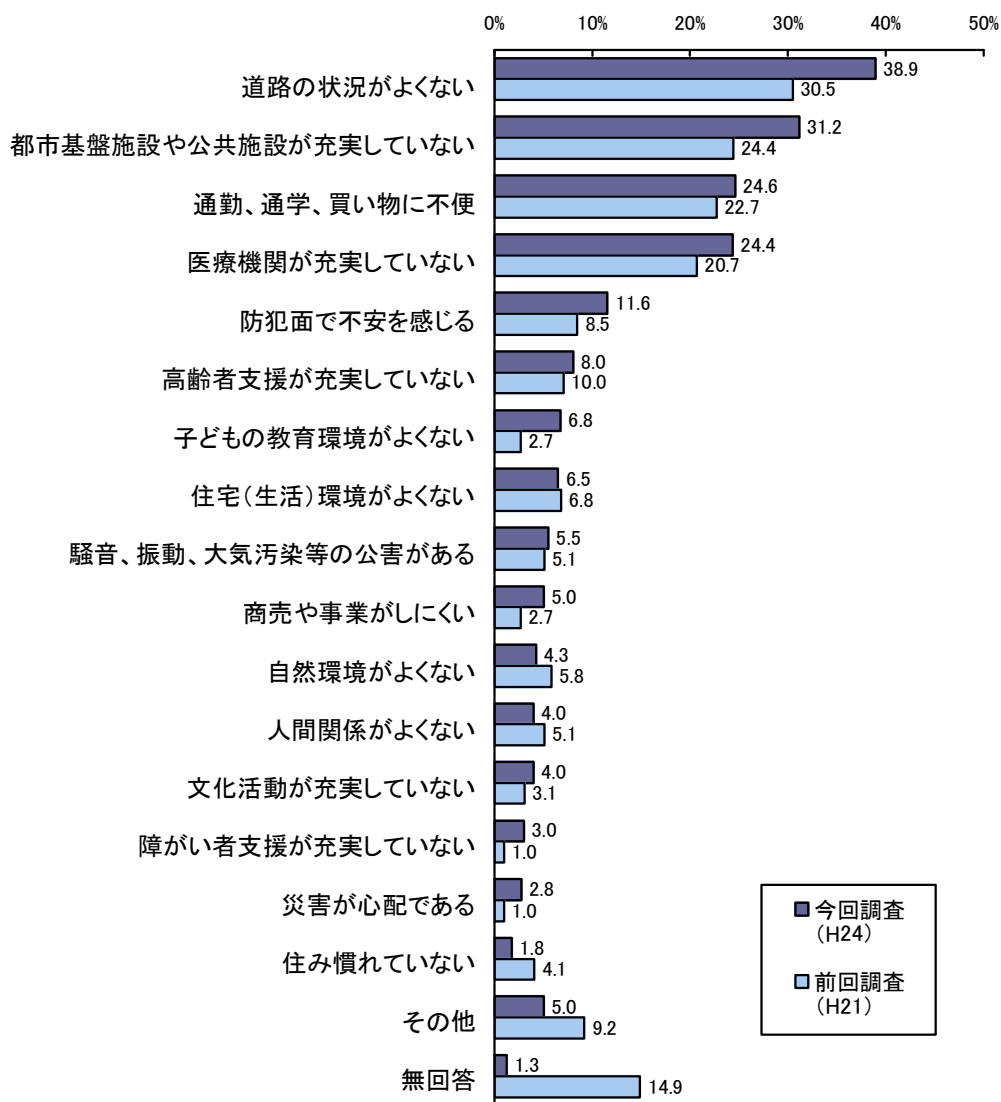


#### 「その他」の主な意見

- ・ショッピングモール等がない
- ・子育て支援が充実していない  
(小さな公園が少ない。児童館が古くて狭い。)
- ・水がおいしくない など

## 【経年変化】

前回調査（平成 21 年度）との比較では、上位項目のほとんどが増加しているが、特に「道路の状況がよくない」「都市基盤施設や公共施設が充実していない」の上位 2 項目でその差が大きい。



## 年 齢 別

『住みにくい』（「住みにくい」＋「どちらかといえば住みにくい」）理由として、最も多い回答は、60歳代を除き「道路の状況がよくない」となっている。60歳代で最も多い回答は「都市基盤施設や公共施設が充実していない」である（40歳代は同率1位）。

20～30歳代では「通勤、通学、買い物に不便」、60歳以上では「高齢者支援が充実していない」が他の年齢層に比べて多い。また、40歳以上では「医療機関が充実していない」も多くなっている。

注意： 白文字 = 1位      黒文字 = 2位

		回答者数	道路の状況がよくない	都市基盤施設や公共施設が充実していない	通勤、通学、買い物に不便	医療機関が充実していない	防犯面で不安を感じる	高齢者支援が充実していない	子どもの教育環境がよくない	住宅（生活）環境がよくない
全体	人数	398	155	124	98	97	46	32	27	26
	構成比		38.9%	31.2%	24.6%	24.4%	11.6%	8.0%	6.8%	6.5%
18～29歳	人数	39	18	6	18	5	5	0	4	4
	構成比		46.2%	15.4%	46.2%	12.8%	12.8%	0.0%	10.3%	10.3%
30～39歳	人数	71	29	23	24	14	9	1	8	2
	構成比		40.8%	32.4%	33.8%	19.7%	12.7%	1.4%	11.3%	2.8%
40～49歳	人数	59	22	22	13	14	6	1	11	2
	構成比		37.3%	37.3%	22.0%	23.7%	10.2%	1.7%	18.6%	3.4%
50～59歳	人数	61	22	16	18	17	11	5	2	4
	構成比		36.1%	26.2%	29.5%	27.9%	18.0%	8.2%	3.3%	6.6%
60～69歳	人数	84	33	34	9	24	12	11	2	7
	構成比		39.3%	40.5%	10.7%	28.6%	14.3%	13.1%	2.4%	8.3%
70歳以上	人数	72	26	20	14	23	2	11	0	7
	構成比		36.1%	27.8%	19.4%	31.9%	2.8%	15.3%	0.0%	9.7%
属性無記入	人数	12	5	3	2	0	1	3	0	0
	構成比		41.7%	25.0%	16.7%	0.0%	8.3%	25.0%	0.0%	0.0%

		騒音、振動、大気汚染等の公害がある	商売や事業がしにくい	自然環境がよくない	人間関係がよくない	文化活動が充実していない	障がい者支援が充実していない	災害が心配である	住み慣れていない	その他	無回答
全体	人数	22	20	17	16	16	12	11	7	20	5
	構成比	5.5%	5.0%	4.3%	4.0%	4.0%	3.0%	2.8%	1.8%	5.0%	1.3%
18～29歳	人数	2	0	2	1	1	0	2	1	2	0
	構成比	5.1%	0.0%	5.1%	2.6%	2.6%	0.0%	5.1%	2.6%	5.1%	0.0%
30～39歳	人数	2	0	3	2	4	3	1	3	5	0
	構成比	2.8%	0.0%	4.2%	2.8%	5.6%	4.2%	1.4%	4.2%	7.0%	0.0%
40～49歳	人数	6	5	1	1	4	1	0	0	4	0
	構成比	10.2%	8.5%	1.7%	1.7%	6.8%	1.7%	0.0%	0.0%	6.8%	0.0%
50～59歳	人数	5	4	2	2	1	3	1	0	2	0
	構成比	8.2%	6.6%	3.3%	3.3%	1.6%	4.9%	1.6%	0.0%	3.3%	0.0%
60～69歳	人数	3	3	4	5	3	1	3	1	4	1
	構成比	3.6%	3.6%	4.8%	6.0%	3.6%	1.2%	3.6%	1.2%	4.8%	1.2%
70歳以上	人数	3	4	5	5	2	4	4	2	2	3
	構成比	4.2%	5.6%	6.9%	6.9%	2.8%	5.6%	5.6%	2.8%	2.8%	4.2%
属性無記入	人数	1	4	0	0	1	0	0	0	1	1
	構成比	8.3%	33.3%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	8.3%

## 居住年数別

『住みにくい』（「住みにくい」＋「どちらかといえば住みにくい」）理由として最も多い回答は、居住年数が3年未満・3年～5年未満・5年～10年未満・20年以上では「道路の状況がよくない」、10年～15年未満では「都市基盤施設や公共施設が充実していない」、15年～20年未満では「通勤、通学、買い物に不便」となっている。

居住年数により、その理由には差があるが、全体的な傾向として、居住年数が短い人では、道路や都市基盤などのハード面での遅れ、居住年数が長い人では、医療機関や高齢者支援の不十分をあげる割合が多くなっている。

		回答者数	道路の状況がよくない	都市基盤施設や公共施設が充実していない	通勤、通学、買い物に不便	医療機関が充実していない	防犯面で不安を感じる	高齢者支援が充実していない	子どもの教育環境がよくない	住宅(生活)環境がよくない
全体	人数	398	155	124	98	97	46	32	27	26
	構成比		38.9%	31.2%	24.6%	24.4%	11.6%	8.0%	6.8%	6.5%
3年未満	人数	35	18	9	9	8	6	0	3	4
	構成比		51.4%	25.7%	25.7%	22.9%	17.1%	0.0%	8.6%	11.4%
3年～5年未満	人数	15	5	4	3	2	1	0	4	0
	構成比		33.3%	26.7%	20.0%	13.3%	6.7%	0.0%	26.7%	0.0%
5年～10年未満	人数	38	15	14	7	9	6	2	6	0
	構成比		39.5%	36.8%	18.4%	23.7%	15.8%	5.3%	15.8%	0.0%
10年～15年未満	人数	28	7	11	7	8	7	1	2	1
	構成比		25.0%	39.3%	25.0%	28.6%	25.0%	3.6%	7.1%	3.6%
15年～20年未満	人数	39	10	11	14	13	2	1	7	4
	構成比		25.6%	28.2%	35.9%	33.3%	5.1%	2.6%	17.9%	10.3%
20年以上	人数	231	96	71	56	57	23	26	5	17
	構成比		41.6%	30.7%	24.2%	24.7%	10.0%	11.3%	2.2%	7.4%
属性無記入	人数	12	4	4	2	0	1	2	0	0
	構成比		33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	8.3%	16.7%	0.0%	0.0%

注意: 白文字 =1位 黒文字 =2位

		騒音、振動、大気汚染等の公害がある	商売や事業がしにくい	自然環境がよくない	人間関係がよくない	文化活動が充実していない	障がい者支援が充実していない	災害が心配である	住み慣れていない	その他	無回答
全体	人数	22	20	17	16	16	12	11	7	20	5
	構成比	5.5%	5.0%	4.3%	4.0%	4.0%	3.0%	2.8%	1.8%	5.0%	1.3%
3年未満	人数	0	0	2	1	1	1	1	2	3	0
	構成比	0.0%	0.0%	5.7%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	5.7%	8.6%	0.0%
3年～5年未満	人数	2	0	1	1	1	0	1	1	2	0
	構成比	13.3%	0.0%	6.7%	6.7%	6.7%	0.0%	6.7%	6.7%	13.3%	0.0%
5年～10年未満	人数	2	0	1	1	3	2	0	2	3	0
	構成比	5.3%	0.0%	2.6%	2.6%	7.9%	5.3%	0.0%	5.3%	7.9%	0.0%
10年～15年未満	人数	3	1	0	3	0	0	0	1	1	0
	構成比	10.7%	3.6%	0.0%	10.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	3.6%	0.0%
15年～20年未満	人数	1	2	1	2	2	0	0	0	3	0
	構成比	2.6%	5.1%	2.6%	5.1%	5.1%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%
20年以上	人数	12	13	12	8	8	9	9	1	7	4
	構成比	5.2%	5.6%	5.2%	3.5%	3.5%	3.9%	3.9%	0.4%	3.0%	1.7%
属性無記入	人数	2	4	0	0	1	0	0	0	1	1
	構成比	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	8.3%

## 居住地区別

『住みにくい』（「住みにくい」＋「どちらかといえば住みにくい」）理由として、最も多い回答は、旧桶川東地区・旧桶川西地区・旧加納村地区では「道路の状況が良くない」、上下日出谷地区では「都市基盤施設や公共施設が充実していない」、川田谷地区では「通勤、通学、買い物に不便」となっている。

地区ごとの特徴的な回答は次のとおりである。

旧桶川東地区	都市基盤施設や公共施設が充実していない（38.2%） 子どもの教育環境が良くない（12.4%）
旧桶川西地区	医療機関が充実していない（30.3%）
上下日出谷地区	都市基盤施設や公共施設が充実していない（41.7%） 防犯面で不安を感じる（18.1%）
旧加納村地区	道路の状況が良くない（44.2%）
川田谷地区	通勤、通学、買い物に不便（53.1%）

		回答者数	道路の状況が良くない	都市基盤施設や公共施設が充実していない	通勤、通学、買い物に不便	医療機関が充実していない	防犯面で不安を感じる	高齢者支援が充実していない	子どもの教育環境が良くない	住宅(生活)環境が良くない		
			白文字 =1位	黒文字 =2位								
全体	人数 構成比	398	155 38.9%	124 31.2%	98 24.6%	97 24.4%	46 11.6%	32 8.0%	27 6.8%	26 6.5%		
旧桶川東地区	人数 構成比	89	35 39.3%	34 38.2%	15 16.9%	23 25.8%	8 9.0%	3 3.4%	11 12.4%	4 4.5%		
旧桶川西地区	人数 構成比	66	27 40.9%	17 25.8%	10 15.2%	20 30.3%	9 13.6%	7 10.6%	4 6.1%	5 7.6%		
上下日出谷地区	人数 構成比	72	27 37.5%	30 41.7%	17 23.6%	19 26.4%	13 18.1%	7 9.7%	4 5.6%	4 5.6%		
旧加納村地区	人数 構成比	104	46 44.2%	28 26.9%	26 25.0%	23 22.1%	11 10.6%	6 5.8%	6 5.8%	8 7.7%		
川田谷地区	人数 構成比	49	14 28.6%	11 22.4%	26 53.1%	11 22.4%	4 8.2%	4 8.2%	0 0.0%	4 8.2%		
属性無記入	人数 構成比	18	6 33.3%	4 22.2%	4 22.2%	1 5.6%	1 5.6%	5 27.8%	2 11.1%	1 5.6%		
全体	人数 構成比	22 5.5%	20 5.0%	17 4.3%	16 4.0%	16 4.0%	12 3.0%	11 2.8%	7 1.8%	20 5.0%	5 1.3%	
旧桶川東地区	人数 構成比	5 5.6%	6 6.7%	5 5.6%	5 5.6%	1 1.1%	2 2.2%	2 2.2%	3 3.4%	10 11.2%	0 0.0%	
旧桶川西地区	人数 構成比	3 4.5%	3 4.5%	4 6.1%	2 3.0%	3 4.5%	3 4.5%	1 1.5%	1 1.5%	3 4.5%	1 1.5%	
上下日出谷地区	人数 構成比	6 8.3%	2 2.8%	1 1.4%	1 1.4%	5 6.9%	1 1.4%	2 2.8%	1 1.4%	1 1.4%	0 0.0%	
旧加納村地区	人数 構成比	3 2.9%	4 3.8%	6 5.8%	8 7.7%	6 5.8%	4 3.8%	3 2.9%	2 1.9%	3 2.9%	1 1.0%	
川田谷地区	人数 構成比	3 6.1%	1 2.0%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.1%	3 6.1%	0 0.0%	2 4.1%	2 4.1%	
属性無記入	人数 構成比	2 11.1%	4 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	1 5.6%	
			騒音、振動、大気汚染等の公害がある	商売や事業がしにくい	自然環境が良くない	人間関係が良くない	文化活動が充実していない	障がい者支援が充実していない	災害が心配である	住み慣れていない	その他	無回答



## 家族構成別

『住みにくい』（「住みにくい」＋「どちらかといえば住みにくい」）理由として、最も多い回答は、すべての家族構成で「道路の状況がよくない」となっている。二番目に多いのは、夫婦だけ・二世帯世帯では「都市基盤施設や公共施設が充実していない」、三世帯世帯・単身世帯・その他では「通勤、通学、買い物に不便」である。

全体の傾向と比較し、特徴的な項目として、三世帯世帯では「道路の状況がよくない」と「通勤、通学、買い物に不便」、夫婦だけでは「都市基盤施設や公共施設が充実していない」「医療機関が充実していない」、単身世帯では「防犯面で不安を感じる」などがあげられるが、家族構成ごとに住みにくさの理由には違いがみられる。

注意： 白文字 =1位 黒文字 =2位

		回答者数	道路の状況がよくない	都市基盤施設や公共施設が充実していない	通勤、通学、買い物に不便	医療機関が充実していない	防犯面で不安を感じる	高齢者支援が充実していない	子どもの教育環境がよくない	住宅(生活)環境がよくない
全体	人数 構成比	398	155 38.9%	124 31.2%	98 24.6%	97 24.4%	46 11.6%	32 8.0%	27 6.8%	26 6.5%
夫婦だけ	人数 構成比	115	47 40.9%	46 40.0%	12 10.4%	38 33.0%	12 10.4%	12 10.4%	3 2.6%	9 7.8%
二世帯世帯	人数 構成比	179	64 35.8%	61 34.1%	52 29.1%	43 24.0%	21 11.7%	10 5.6%	19 10.6%	7 3.9%
三世帯世帯	人数 構成比	19	11 57.9%	4 21.1%	8 42.1%	3 15.8%	2 10.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%
単身世帯	人数 構成比	31	11 35.5%	4 12.9%	9 29.0%	5 16.1%	7 22.6%	1 3.2%	0 0.0%	3 9.7%
その他	人数 構成比	41	17 41.5%	6 14.6%	14 34.1%	7 17.1%	3 7.3%	5 12.2%	5 12.2%	6 14.6%
属性 無記入	人数 構成比	13	5 38.5%	3 23.1%	3 23.1%	1 7.7%	1 7.7%	4 30.8%	0 0.0%	0 0.0%

		騒音、振動、大気汚染等の公害がある	商売や事業がしにくい	自然環境がよくない	人間関係がよくない	文化活動が充実していない	障がい者支援が充実していない	災害が心配である	住み慣れていない	その他	無回答
全体	人数 構成比	22 5.5%	20 5.0%	17 4.3%	16 4.0%	16 4.0%	12 3.0%	11 2.8%	7 1.8%	20 5.0%	5 1.3%
夫婦だけ	人数 構成比	3 2.6%	7 6.1%	6 5.2%	8 7.0%	4 3.5%	1 0.9%	3 2.6%	3 2.6%	5 4.3%	2 1.7%
二世帯世帯	人数 構成比	12 6.7%	9 5.0%	6 3.4%	6 3.4%	9 5.0%	8 4.5%	4 2.2%	2 1.1%	8 4.5%	0 0.0%
三世帯世帯	人数 構成比	2 10.5%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%
単身世帯	人数 構成比	1 3.2%	0 0.0%	3 9.7%	2 6.5%	0 0.0%	1 3.2%	2 6.5%	1 3.2%	3 9.7%	2 6.5%
その他	人数 構成比	3 7.3%	0 0.0%	2 4.9%	0 0.0%	1 2.4%	2 4.9%	2 4.9%	1 2.4%	2 4.9%	0 0.0%
属性 無記入	人数 構成比	1 7.7%	3 23.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	1 7.7%

### (3) 生活環境の満足度

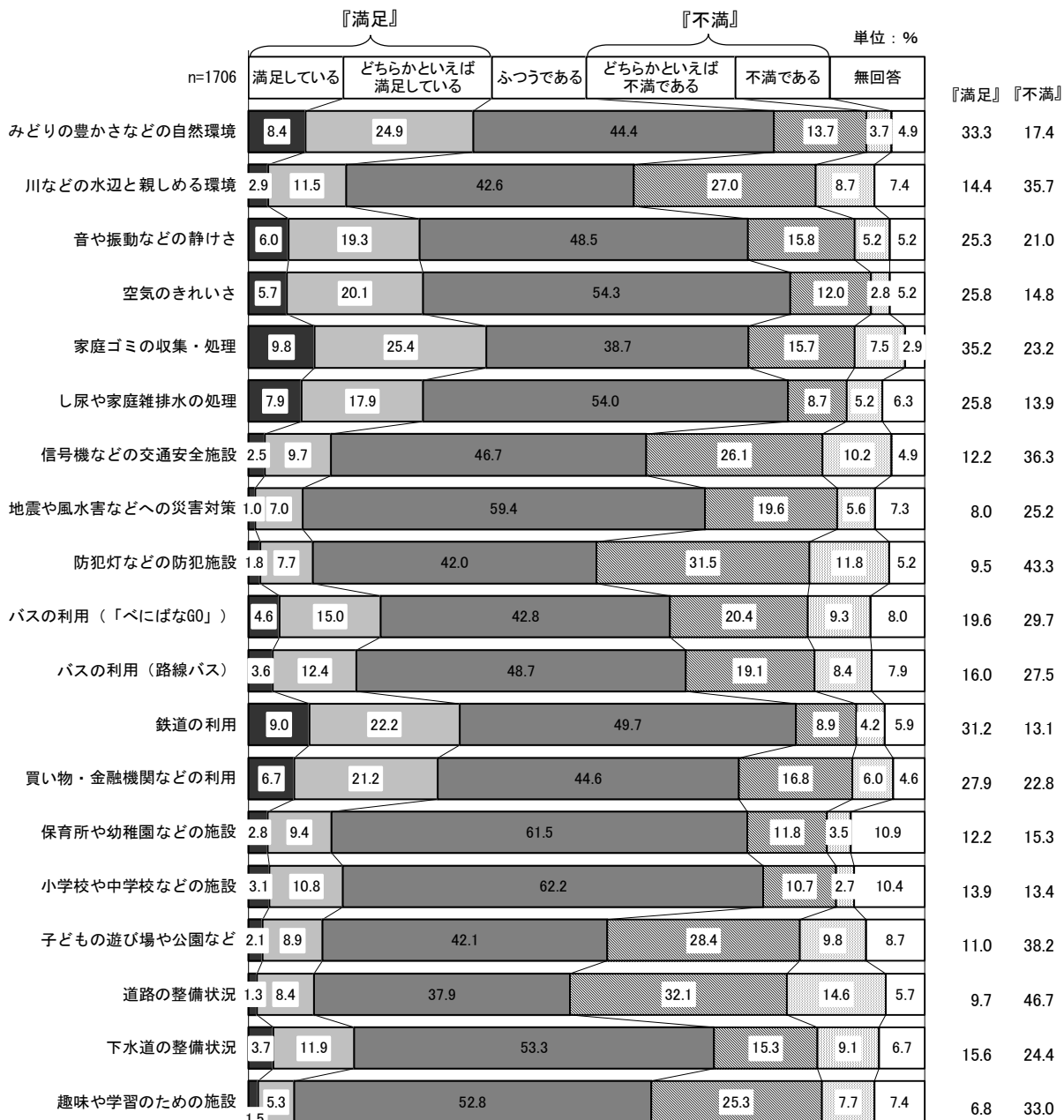
**問2 あなたは、桶川市の生活環境について、どのように感じていますか。それぞれの項目について該当する番号を選び○をつけてください。**

#### ①快適さ、衛生、安全性、利便性、公共施設等について

『満足』（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）が『不満』（「不満である」＋「どちらかといえば不満である」）を上回るのは、「鉄道の利用」「みどりの豊かさなどの自然環境」「家庭ゴミの収集・処理」「し尿や家庭雑排水の処理」「空気のきれいさ」などである。

反対に『不満』が『満足』を上回るのは、「道路の整備状況」「防犯灯などの防犯施設」「子どもの遊び場や公園など」「趣味や学習のための施設」「信号機などの交通安全施設」「川などの水辺と親しめる環境」などとなっている。

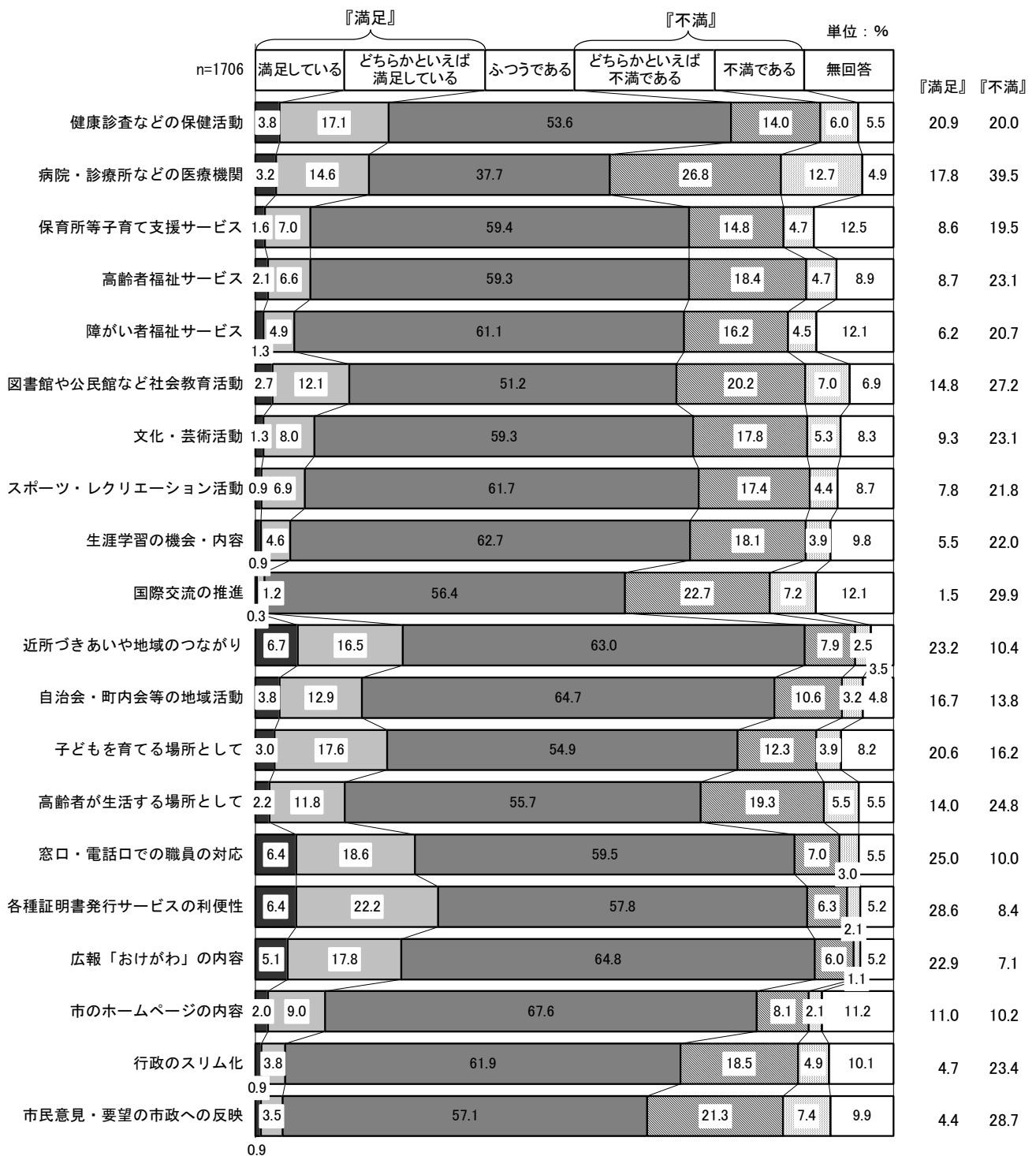
特に「道路の整備状況」「防犯灯などの防犯施設」「信号機などの交通安全施設」では、それぞれ「不満である」が1割を超えるなど、評価が低い。



## ②保健医療・福祉、教育・文化、地域社会、市政について

『満足』（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）が『不満』（「不満である」＋「どちらかといえば不満である」）を上回るのは、「各種証明書発行サービスの利便性」「広報『おけがわ』の内容」「窓口・電話口での職員の対応」「近所づきあいや地域のつながり」などであり、行政サービスの分野で評価が高い。

一方、多くの項目で『不満』が『満足』を上回っているが、「国際交流の推進」「市民意見・要望の市政への反映」「病院・診療所などの医療機関」で特にその差が大きく、評価が低くなっている。



## 【経年比較】

『満足』（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）ランキングでは、第1位に変動はなく、前回調査・今回調査ともに「家庭ゴミの収集・処理」となっている。今回調査で前回調査よりも順位が上がっているものは「みどりの豊かさなどの自然環境」「各種証明書発行サービスの利便性」「空気のきれいさ」「近所づきあいや地域のつながり」である。

一方、『不満』（「不満である」＋「どちらかといえば不満である」）ランキングについては、前回調査では第1位が「川などの水辺と親しめる環境」であったが、今回調査では「道路の整備状況」である。今回調査で順位が上がっているものは、「道路の整備状況」「病院・診療所などの医療機関」「子どもの遊び場や公園など」「信号機などの交通安全施設」「国際交流の推進」である。

### 『満足』（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）ランキング

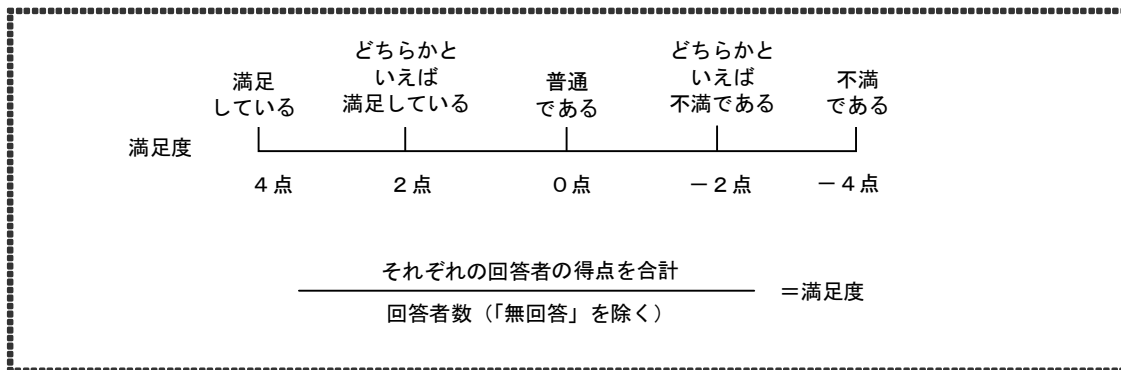
	前回調査 (平成21年度)		今回調査 (平成24年度)		H21との 順位比較
	項目	割合	項目	割合	
1位	家庭ゴミの収集・処理	36.6%	家庭ゴミの収集・処理	35.2%	→
2位	鉄道の利用	35.8%	みどりの豊かさなどの自然環境	33.3%	↗
3位	し尿や家庭雑排水の処理	33.2%	鉄道の利用	31.2%	↘
4位	みどりの豊かさなどの自然環境	33.0%	各種証明書発行サービスの利便性	28.6%	↗
5位	買い物・金融機関などの利用	30.5%	買い物・金融機関などの利用	27.9%	→
6位	各種証明書発行サービスの利便性	29.7%	空気のきれいさ	25.8%	↗
7位	窓口・電話口での職員の対応	28.5%	し尿や家庭雑排水の処理 <small>(同率6位)</small>	25.8%	↘
8位	音や振動などの静けさ	27.7%	音や振動などの静けさ	25.3%	→
9位	空気のきれいさ	25.6%	窓口・電話口での職員の対応	25.0%	↘
10位	広報「おけがわ」の内容	24.3%	近所づきあいや地域のつながり	23.2%	↗

### 『不満』（「どちらかといえば不満である」＋「不満である」）ランキング

	前回調査 (平成21年度)		今回調査 (平成24年度)		H21との 順位比較
	項目	割合	項目	割合	
1位	川などの水辺と親しめる環境	44.9%	道路の整備状況	46.7%	↗
2位	防犯灯などの防犯施設	41.6%	防犯灯などの防犯施設	43.3%	→
3位	道路の整備状況	38.6%	病院・診療所などの医療機関	39.5%	↗
4位	病院・診療所などの医療機関	36.5%	子どもの遊び場や公園など	38.2%	↗
5位	趣味や学習のための施設	34.3%	信号機などの交通安全施設	36.3%	↗
6位	子どもの遊び場や公園など	33.2%	川などの水辺と親しめる環境	35.7%	↘
7位	バスの利用	32.4%	趣味や学習のための施設	33.0%	↘
8位	高齢者が生活する場所として	31.2%	国際交流の推進	30.0%	↗
9位	市民意見・要望の市政への反映	28.5%	バスの利用（「べにばなGO」）	29.7%	新規
10位	信号機などの交通安全施設	28.5%	市民意見・要望の市政への反映	28.7%	↘

## 【満足度】

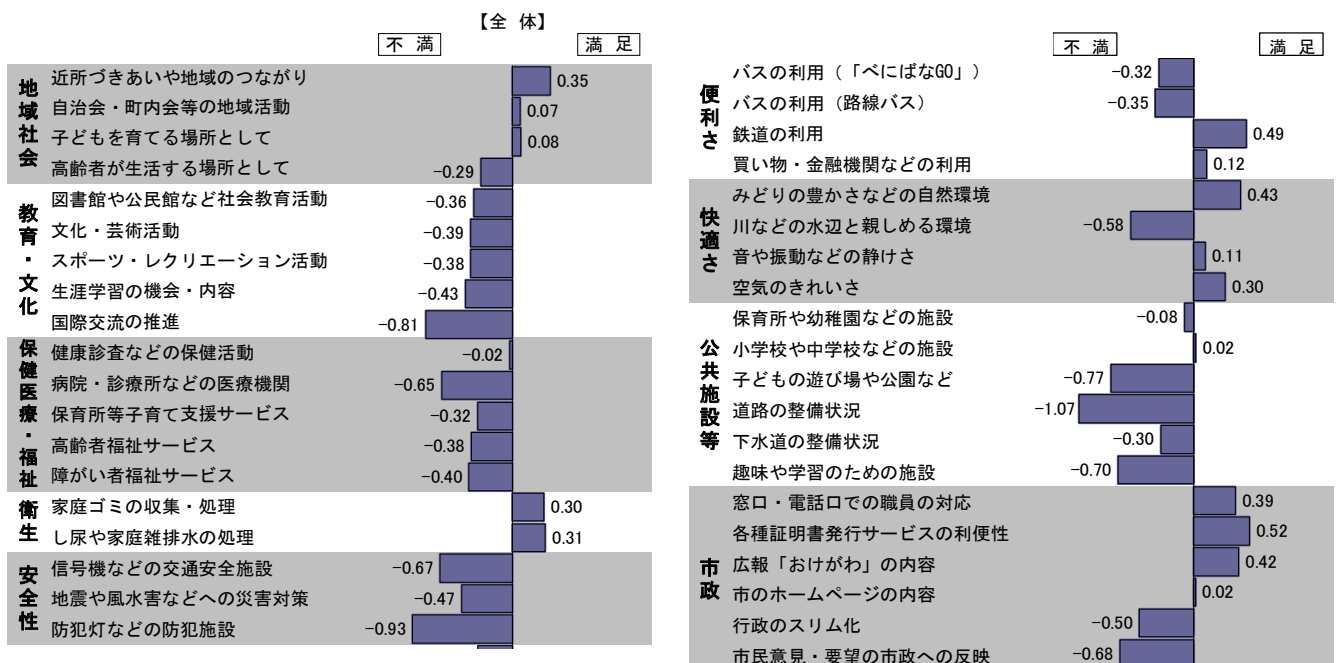
満足度について以下の算出方法に従って点数評価を行い、満足度の比較を行った。



## 全 体

市内生活環境の満足度について、点数が高い項目は、「各種証明書等発行サービスの利便性」「鉄道の利用」「みどりの豊かさなどの自然環境」「広報『おけがわ』の内容」などである。

一方、満足度が低い項目は、「道路の整備状況」「防犯灯などの防犯施設」「国際交流の推進」「子どもの遊び場や公園など」「趣味や学習のための施設」などとなっており、安全性や公共施設等の分野で低いものが目立つ。



## 性 別

市内生活環境の満足度について、最も点数が高いのは、男女ともに「各種証明書等発行サービスの利便性」となっている。第2位は、男性が「窓口・電話口での職員の対応」、女性が「鉄道の利用」である。第3位は、男性では「鉄道の利用」と「みどりの豊かさなどの自然環境」が同点であり、女性は「広報『おけがわ』の内容」となっている。

また、最も点数が低いのは、男女ともに「道路の整備状況」であり、男性では第2位が「国際交流の推進」、第3位が「防犯灯などの防犯施設」となっているのに対し、女性は第2位が「防犯灯などの防犯施設」、第3位は「子どもの遊び場や公園など」である。

「スポーツ・レクリエーション活動」で女性に比べ男性で満足度がやや低いものの、性別で大きな差はみられない。

分野	項目	男性	女性
地域社会	近所づきあいや地域のつながり	0.36	0.32
	自治会・町内会等の地域活動	0.08	0.05
	子どもを育てる場所として	0.22	-0.04
	高齢者が生活する場所として	-0.19	-0.39
教育・文化	図書館や公民館など社会教育活動	-0.36	-0.32
	文化・芸術活動	-0.45	-0.32
	スポーツ・レクリエーション活動	-0.51	-0.28
	生涯学習の機会・内容	-0.45	-0.43
	国際交流の推進	② -0.89	-0.72
保健医療・福祉	健康診査などの保健活動	-0.01	-0.04
	病院・診療所などの医療機関	-0.62	-0.68
	保育所等子育て支援サービス	-0.36	-0.27
	高齢者福祉サービス	-0.39	-0.37
	障がい者福祉サービス	-0.48	-0.32
衛生	家庭ゴミの収集・処理	0.38	0.20
	し尿や家庭雑排水の処理	0.32	0.30
安全性	信号機などの交通安全施設	-0.66	-0.67
	地震や風水害などへの災害対策	-0.43	-0.51
	防犯灯などの防犯施設	③ -0.87	② -0.98
利便さ	バスの利用（「べにばなGO」）	-0.28	-0.37
	バスの利用（路線バス）	-0.32	-0.40
	鉄道の利用	3 <b>0.45</b>	2 <b>0.51</b>
	買い物・金融機関などの利用	0.10	0.16
快適さ	みどりの豊かさなどの自然環境	3 <b>0.45</b>	0.43
	川などの水辺と親しめる環境	-0.60	-0.55
	音や振動などの静けさ	0.15	0.08
	空気のきれいさ	0.36	0.25
公共施設等	保育所や幼稚園などの施設	-0.13	-0.06
	小学校や中学校などの施設	0.05	-0.03
	子どもの遊び場や公園など	-0.70	③ -0.84
	道路の整備状況	① -1.11	① -1.03
	下水道の整備状況	-0.33	-0.27
	趣味や学習のための施設	-0.72	-0.68
市政	窓口・電話口での職員の対応	2 <b>0.48</b>	0.32
	各種証明書発行サービスの利便性	1 <b>0.52</b>	1 <b>0.52</b>
	広報「おけがわ」の内容	0.34	3 <b>0.49</b>
	市のホームページの内容	-0.04	0.06
	行政のスリム化	-0.55	-0.46
	市民意見・要望の市政への反映	-0.76	-0.62

※点数左の数字は順位で、1～3は上位3位、①～③はワースト3位を表す。

## 年 齢 別

市内生活環境の満足度について、最も点数が高いのは、20～50歳代では「みどりの豊かさなどの自然環境」、60歳代では「鉄道の利用」、70歳以上では「家庭ゴミの収集・処理」となっている。

反対に点数が低いのは、20歳代を除きいずれの年代も「道路の整備状況」である。「防犯灯などの防犯施設」は、70歳以上を除く世代で点数が低く、満足度の低い項目は、世代間でほぼ共通していることがわかる。

その他、子育て世代である30～40歳代では、「子どもの遊び場や公園など」が他の世代に比べ、満足度が低い。

分野	項目	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
地域社会	近所づきあいや地域のつながり	2 0.43	0.18	0.24	3 0.25	0.50	0.41
	自治会・町内会等の地域活動	0.10	0.01	-0.05	0.01	0.09	0.18
	子どもを育てる場所として	-0.09	-0.22	0.01	0.15	0.18	0.23
	高齢者が生活する場所として	-0.07	-0.12	-0.35	-0.46	-0.40	-0.21
教育・文化	図書館や公民館など社会教育活動	-0.34	-0.28	-0.52	-0.53	-0.48	0.01
	文化・芸術活動	-0.19	-0.25	-0.45	-0.49	-0.56	-0.21
	スポーツ・レクリエーション活動	-0.22	-0.50	-0.50	-0.50	-0.37	-0.21
	生涯学習の機会・内容	-0.37	-0.40	-0.52	-0.55	-0.49	-0.26
	国際交流の推進	② -0.90	-0.62	-0.88	-1.00	-0.81	② -0.67
保健医療・福祉	健康診査などの保健活動	-0.21	-0.34	-0.20	-0.18	-0.12	③ 0.55
	病院・診療所などの医療機関	-0.34	-0.69	-0.78	-0.77	③ -0.95	-0.25
	保育所等子育て支援サービス	-0.32	-0.47	-0.43	-0.32	-0.35	-0.03
	高齢者福祉サービス	-0.10	-0.16	-0.46	-0.54	-0.56	-0.26
	障がい者福祉サービス	-0.26	-0.31	-0.53	-0.47	-0.43	-0.27
衛生	家庭ゴミの収集・処理	-0.37	-0.24	-0.04	-0.03	0.44	1 1.12
	し尿や家庭雑排水の処理	3 0.25	0.17	0.11	0.01	0.41	0.63
安全性	信号機などの交通安全施設	-0.37	-0.84	-0.94	③ -1.00	-0.61	-0.32
	地震や風水害などへの災害対策	-0.57	-0.48	-0.46	-0.63	-0.49	-0.33
	防犯灯などの防犯施設	① -0.97	② -1.17	② -1.12	② -1.09	② -0.99	-0.44
利便さ	バスの利用（「べにばな60」）	-0.42	-0.47	-0.77	-0.43	-0.20	0.11
	バスの利用（路線バス）	-0.55	-0.52	-0.84	-0.70	-0.11	0.15
	鉄道の利用	0.12	0.27	2 0.33	2 0.27	1 0.73	0.75
	買い物・金融機関などの利用	-0.47	-0.11	0.04	-0.02	0.31	0.52
快適さ	みどりの豊かさなどの自然環境	1 0.69	1 0.65	1 0.43	1 0.44	0.27	0.42
	川などの水辺と親しめる環境	-0.46	-0.50	-0.46	-0.43	-0.84	-0.55
	音や振動などの静けさ	0.12	0.15	0.18	0.07	0.01	0.17
	空気のきれいさ	0.18	0.14	0.21	0.23	0.33	0.55
公共施設等	保育所や幼稚園などの施設	-0.07	-0.24	-0.10	-0.21	-0.16	0.19
	小学校や中学校などの施設	0.09	-0.16	-0.21	-0.04	0.04	0.26
	子どもの遊び場や公園など	-0.39	③ -1.03	③ -1.06	-0.77	-0.82	-0.50
	道路の整備状況	-0.64	① -1.31	① -1.20	① -1.22	① -1.18	① -0.76
	下水道の整備状況	0.01	-0.40	-0.24	-0.61	-0.46	-0.05
	趣味や学習のための施設	③ -0.84	-0.79	-0.87	-0.83	-0.74	-0.32
市政	窓口・電話口での職員の対応	0.22	0.08	0.10	0.12	3 0.50	3 0.92
	各種証明書発行サービスの利便性	0.07	3 0.37	3 0.32	0.25	2 0.62	2 1.02
	広報「おけがわ」の内容	0.19	2 0.42	0.28	0.12	0.49	0.74
	市のホームページの内容	-0.09	-0.12	-0.16	-0.15	0.10	0.30
	行政のスリム化	-0.46	-0.47	-0.55	-0.52	-0.61	-0.38
	市民意見・要望の市政への反映	-0.54	-0.78	-0.77	-0.72	-0.71	-0.52

※数値の左数字は順位で、1～3は上位3位、①～③はワースト3位を表す。



## 居住地区別

市内生活環境の満足度について、最も点数が高いのは、旧桶川東地区では「し尿や家庭雑排水の処理」、旧桶川西地区・上下日出谷地区では「鉄道の利用」、旧加納村地区では「各種証明書発行サービスの利便性」、川田谷地区では「みどりの豊かさなどの自然環境」となっている。

一方、最も点数が低いのは、旧桶川東地区では「子どもの遊び場や公園など」、旧桶川西地区では、「防犯灯などの防犯施設」、上下日出谷地区・旧加納村地区では「道路の整備状況」、川田谷地区では「下水道の整備状況」となっている。特に川田谷地区の「下水道の整備状況」については、満足度が他の居住地区に比べ低くなっている。

また、「道路の整備状況」は全ての居住地区、「防犯灯などの防犯施設」は旧桶川東地区を除く居住地区でワースト上位にあげられていることから、市全域で満足度が低下してきている状況がうかがえる。

分野	項目	旧桶川東地区	旧桶川西地区	上下日出谷地区	旧加納村地区	川田谷地区
地域社会	近所づきあいや地域のつながり	0.31	0.34	0.39	0.31	0.47
	自治会・町内会等の地域活動	0.22	0.12	0.03	-0.16	0.18
	子どもを育てる場所として	-0.15	0.25	0.18	0.00	0.18
教育・文化	高齢者が生活する場所として	-0.18	-0.12	-0.29	-0.49	-0.45
	図書館や公民館など社会教育活動	-0.26	-0.12	-0.46	-0.62	-0.10
	文化・芸術活動	-0.28	-0.29	-0.44	-0.52	-0.40
	スポーツ・レクリエーション活動	-0.31	-0.31	-0.43	-0.56	-0.13
	生涯学習の機会・内容	-0.40	-0.40	-0.46	-0.53	-0.27
	国際交流の推進	-0.72 ②	-0.76 ③	-0.82	-0.82	-1.03
保健医療・福祉	健康診査などの保健活動	0.09	-0.01	-0.05	-0.16	0.13
	病院・診療所などの医療機関	-0.52	-0.50	-0.70	-0.83	-0.74
	保育所等子育て支援サービス	-0.25	-0.23	-0.32	-0.39	-0.41
	高齢者福祉サービス	-0.18	-0.32	-0.54	-0.45	-0.40
衛生	障がい者福祉サービス	-0.26	-0.37	-0.44	-0.42	-0.57
	家庭ゴミの収集・処理	0.46	0.30	0.24	0.26	0.21
安全性	し尿や家庭雑排水の処理	1 0.70	0.58	0.28	0.01	-0.48
	信号機などの交通安全施設	-0.50	-0.48	-0.73	-0.89	-0.72
	地震や風水害などへの災害対策	-0.36	-0.44	-0.39	-0.59	-0.78
便利さ	防犯灯などの防犯施設	-0.73 ①	-0.83 ②	-0.99 ②	-1.02 ③	-1.17 ③
	バスの利用（「べにばなGO」）	-0.09	-0.17	-0.56	-0.49	-0.10
	バスの利用（路線バス）	-0.37	-0.35	0.05	-0.52	-0.91
	鉄道の利用	2 0.63	1 0.85	1 0.61	0.06	-0.05
快適さ	買い物・金融機関などの利用	0.31	2 0.67	0.22	-0.19	-0.97
	みどりの豊かさなどの自然環境	-0.02	3 0.61	0.46	0.17	1 1.95
	川などの水辺と親しめる環境	③ -0.77	-0.44	-0.53	-0.85	0.37
	音や振動などの静けさ	-0.20	0.09	0.31	0.09	0.59
公共施設等	空気きれいさ	-0.11	0.29	2 0.53	0.24	2 1.07
	保育所や幼稚園などの施設	-0.20	-0.04	0.09	-0.17	-0.13
	小学校や中学校などの施設	-0.06	0.06	0.05	-0.04	0.09
	子どもの遊び場や公園など	① -1.30	-0.41	-0.52	③ -0.96	-0.55
	道路の整備状況	② -1.13	③ -0.67	① -1.15	① -1.26	② -1.20
	下水道の整備状況	0.05	0.12	-0.32	-0.63	① -1.34
市政	趣味や学習のための施設	-0.58	-0.62	-0.77	-0.81	-0.70
	窓口・電話口での職員の対応	0.43	0.36	0.35	3 0.37	0.54
	各種証明書発行サービスの利便性	3 0.58	0.55	3 0.50	1 0.47	0.48
	広報「おげがわ」の内容	0.37	0.42	0.40	2 0.44	3 0.60
	市のホームページの内容	-0.03	0.06	0.09	-0.04	-0.05
行政のスリム化	-0.47	-0.41	-0.54	-0.59	-0.46	
市民意見・要望の市政への反映	-0.66	-0.55	-0.75	-0.73	-0.64	

※点数左の数字は順位で、1～3は上位3位、①～③はワースト3位を表す。

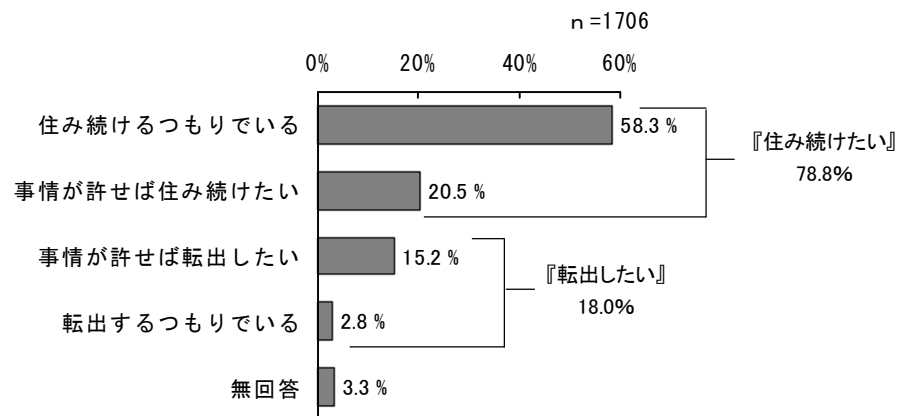


#### (4) 定住意向

### 問3 あなたは、今後も桶川市に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

#### 全 体

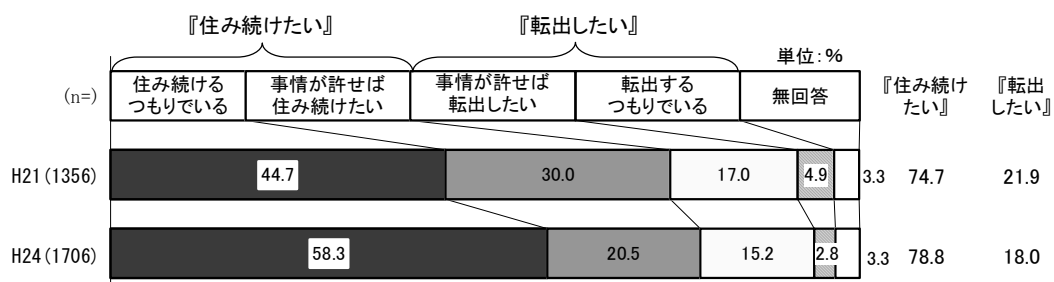
「住み続けるつもりでいる」との回答が 58.3%と最も多く、次いで「事情が許せば住み続けたい」20.5%となっており、合わせた8割近くは定住意向を持っている。



#### 【経年変化】

桶川市での定住意向について前回調査（平成21年度）と比較すると、『住み続けたい』（「住み続けるつもりでいる」＋「事情が許せば住み続けたい」）との回答は、増加している。特に「住み続けるつもりでいる」は前回調査から大きく増加した。

また、それに伴い『転出したい』（「事情が許せば転出したい」＋「転出するつもりでいる」）との回答は減少している。



## 性別

桶川市への定住意向について、最も多い回答は、男女ともに「住み続けるつもりでいる」となっており、その割合は女性が男性を上回る。

また、『住み続けたい』（「住み続けるつもりでいる」＋「事情が許せば住み続けたい」）との回答についても、女性が男性を上回り、男性に比べ女性で定住意向が高くなっている。

## 年齢別

20歳代を除き、いずれの年代も「住み続けるつもりでいる」が最も多く、年齢が高くなるにつれて、その割合が多くなる傾向にある。『住み続けたい』（「住み続けるつもりでいる」＋「事情が許せば住み続けたい」）との回答も70歳以上が8割以上と最も多く、5割台の20歳代とは大きく開きがある。

上記に対応し、『転居したい』（「事情が許せば転出したい」＋「転出するつもりでいる」）との回答は、20歳代で約4割、30～50歳代でも2割程度と、比較的若い年代で転居の意向が多くなっている。

## 居住年数別

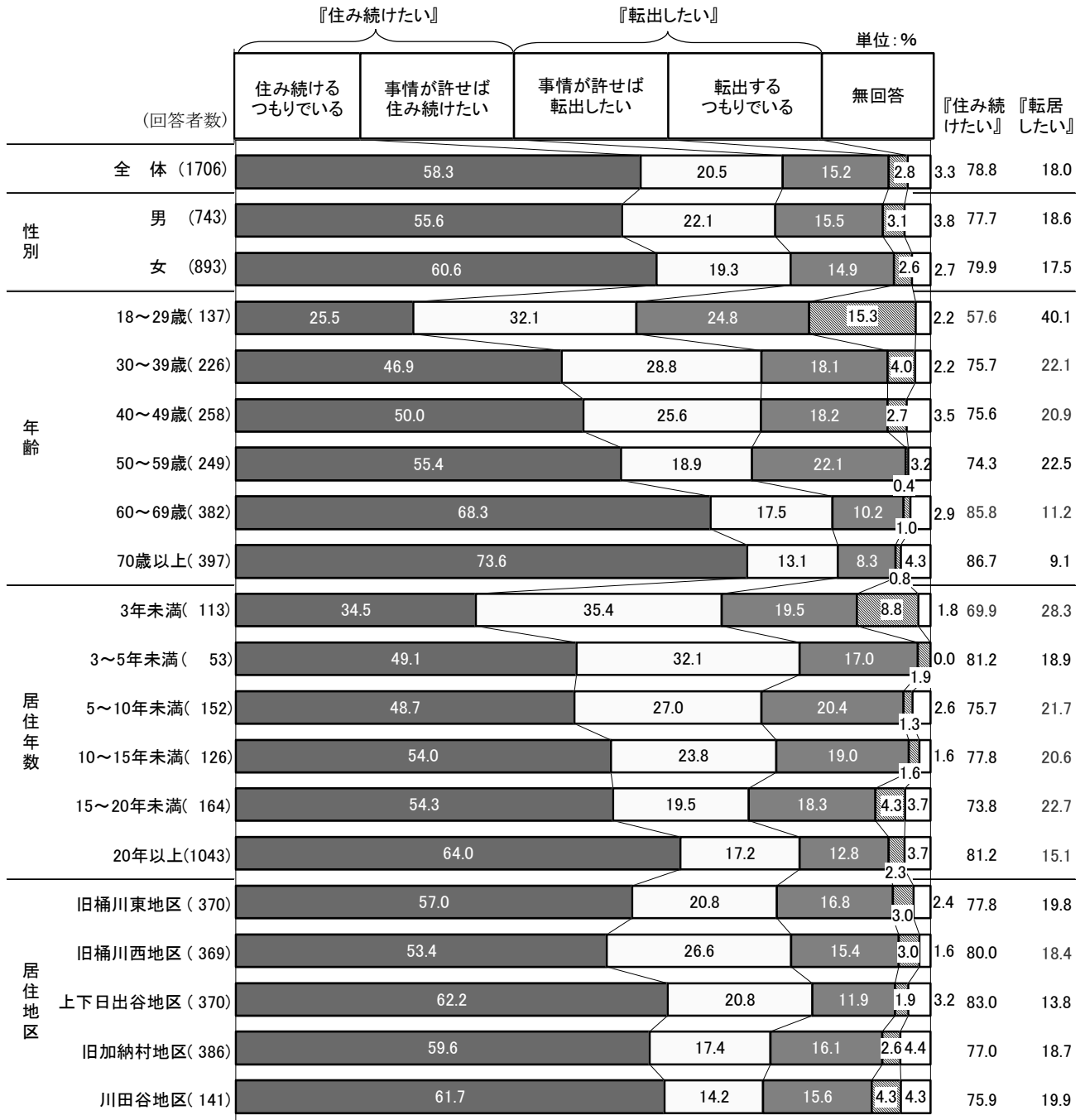
3年未満を除き、いずれの居住年数も「住み続けるつもりでいる」が最も多く、居住年数が長くなるにつれて、その割合が多くなる傾向にある。『住み続けたい』（「住み続けるつもりでいる」＋「事情が許せば住み続けたい」）との回答では、3～5年未満と20年以上が8割台と、他の居住年数に比べ多くなっている。

3年未満では、「転居するつもりでいる」との回答が1割弱と特に多く、『転居したい』（「事情が許せば転出したい」＋「転出するつもりでいる」）についても3割近くとなっている。

## 居住地区別

いずれの居住地区でも「住み続けるつもりでいる」との回答が最も多い。『住み続けたい』（「住み続けるつもりでいる」＋「事情が許せば住み続けたい」）は、旧桶川西地区と上下日出谷地区で8割を超え、他の居住地区に比べ多くなっている。

一方、『転居したい』（「事情が許せば転出したい」＋「転出するつもりでいる」）については、上下日出谷地区が他の居住地区に比べ少ない。

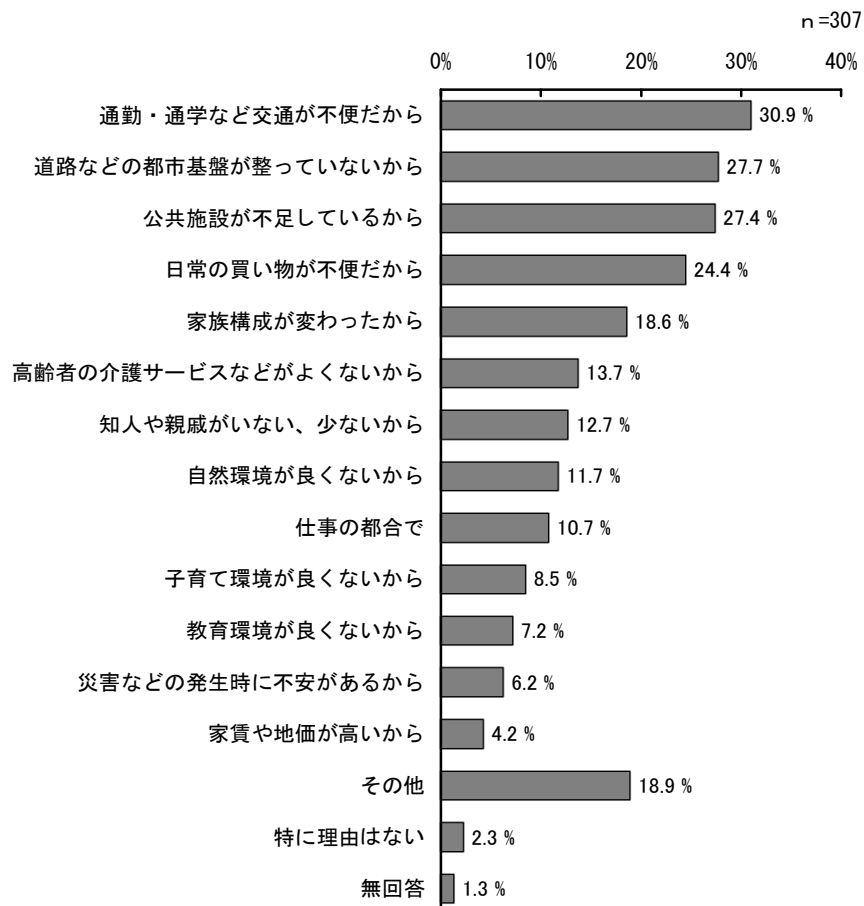


### (5) 転出したい理由

問4 問3で「3.事情が許せば転出したい」、あるいは「4.転出するつもりでいる」を選んだ方におたずねします。その理由は何でしょうか。(〇は3つまで)

#### 全 体

転出したい理由についてたずねたところ、「通勤・通学など交通が不便だから」の30.9%が最も多く、次いで、「道路などの都市基盤が整っていないから」27.7%、「公共施設が不足しているから」27.4%、「日常の買い物不便だから」24.4%などが主な理由となっている。



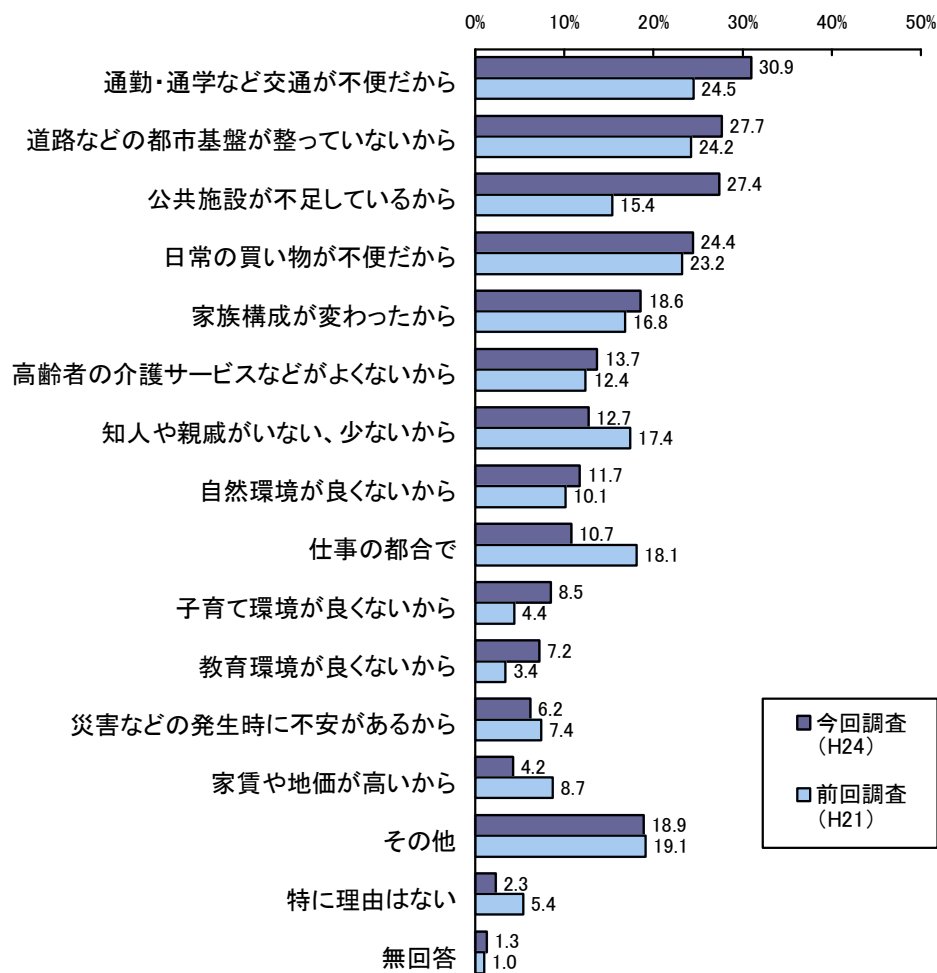
#### 「その他」の主な意見

- ・ 将来性を感じない、発展性がない
- ・ 税金、健康保険料が高い
- ・ 上下水道の整備が良くない  
(どぶ川が多い) など

## 【経年変化】

転出したい理由について、前回調査（平成 21 年度）と比較すると、上位にあげられた項目はいずれも増加しており、「公共施設が不足しているから」「通勤・通学など交通が不便だから」で特に増えている。

一方、「仕事の都合で」や「知人や親戚がいない、少ないから」は減少している。



## 性別

転出したい理由について、男性は第1位が「道路などの都市基盤が整っていないから」、第2位が「公共施設が不足しているから」であるのに対し、女性は第1位が「通勤・通学など交通が不便だから」、「日常の買い物が不便だから」となっており、男女で違いがみられる。

また、女性では「知人や親戚がいない、少ないから」「家族構成が変わったから」との回答が男性よりも多くなっている。

		回答者数	通勤・通学など交通が不便だから	道路などの都市基盤が整っていないから	公共施設が不足しているから	日常の買い物が不便だから	家族構成が変わったから	高齢者の介護サービスなどがよくないから	知人や親戚がいない、少ないから	自然環境が良くないから
全体	人数	307	95	85	84	75	57	42	39	36
	構成比		30.9%	27.7%	27.4%	24.4%	18.6%	13.7%	12.7%	11.7%
男性	人数	138	35	48	45	30	23	17	14	17
	構成比		25.4%	34.8%	32.6%	21.7%	16.7%	12.3%	10.1%	12.3%
女性	人数	156	55	35	34	44	33	23	24	17
	構成比		35.3%	22.4%	21.8%	28.2%	21.2%	14.7%	15.4%	10.9%
属性無記入	人数	13	5	2	5	1	1	2	1	2
	構成比		38.5%	15.4%	38.5%	7.7%	7.7%	15.4%	7.7%	15.4%

注意: 白文字 =1位 黒文字 =2位

		仕事の都合で	子育て環境が良くないから	教育環境が良くないから	災害などの発生時に不安があるから	家賃や地価が高いから	その他	特に理由はない	無回答
全体	人数	33	26	22	19	13	58	7	4
	構成比	10.7%	8.5%	7.2%	6.2%	4.2%	18.9%	2.3%	1.3%
男性	人数	18	10	12	8	3	29	3	2
	構成比	13.0%	7.2%	8.7%	5.8%	2.2%	21.0%	2.2%	1.4%
女性	人数	14	15	9	11	9	27	2	2
	構成比	9.0%	9.6%	5.8%	7.1%	5.8%	17.3%	1.3%	1.3%
属性無記入	人数	1	1	1	0	1	2	2	0
	構成比	7.7%	7.7%	7.7%	0.0%	7.7%	15.4%	15.4%	0.0%

## 年 齢 別

転出したい理由について、第1位が20～50歳代までは「通勤・通学など交通が不便だから」、60歳以上は「道路などの都市基盤が整っていないから」となっている。第2位は世代によって異なるが、「公共施設が不足しているから」が多くの世代であげられている。

また、50歳代では、「道路などの都市基盤が整っていないから」「公共施設が不足しているから」「日常の買い物不便だから」「家族構成が変わったから」がいずれも同率で2位となっており、転出したい理由は多岐にわたる。

		回答者数	通勤・通学など交通が不便だから	道路などの都市基盤が整っていないから	公共施設が不足しているから	日常の買い物が不便だから	家族構成が変わったから	高齢者の介護サービスなどがよくないから	知人や親戚が少ない、少ないから	自然環境が良くないから
全体	人数	307	95	85	84	75	57	42	39	36
	構成比		30.9%	27.7%	27.4%	24.4%	18.6%	13.7%	12.7%	11.7%
18～29歳	人数	55	26	9	12	13	8	0	9	5
	構成比		47.3%	16.4%	21.8%	23.6%	14.5%	0.0%	16.4%	9.1%
30～39歳	人数	50	18	13	15	9	8	3	5	2
	構成比		36.0%	26.0%	30.0%	18.0%	16.0%	6.0%	10.0%	4.0%
40～49歳	人数	54	21	14	12	16	5	5	4	2
	構成比		38.9%	25.9%	22.2%	29.6%	9.3%	9.3%	7.4%	3.7%
50～59歳	人数	56	18	15	15	15	15	10	7	7
	構成比		32.1%	26.8%	26.8%	26.8%	26.8%	17.9%	12.5%	12.5%
60～69歳	人数	43	4	16	13	11	12	14	7	7
	構成比		9.3%	37.2%	30.2%	25.6%	27.9%	32.6%	16.3%	16.3%
70歳以上	人数	36	3	16	12	9	8	10	6	9
	構成比		8.3%	44.4%	33.3%	25.0%	22.2%	27.8%	16.7%	25.0%
属性無記入	人数	13	5	2	5	2	1	0	1	4
	構成比		38.5%	15.4%	38.5%	15.4%	7.7%	0.0%	7.7%	30.8%

注意: 白文字 =1位 黒文字 =2位

		仕事の都合で	子育て環境が良くないから	教育環境が良くないから	災害などの発生時に不安があるから	家賃や地価が高いから	その他	特に理由はない	無回答
全体	人数	33	26	22	19	13	58	7	4
	構成比	10.7%	8.5%	7.2%	6.2%	4.2%	18.9%	2.3%	1.3%
18～29歳	人数	11	5	5	2	3	8	1	0
	構成比	20.0%	9.1%	9.1%	3.6%	5.5%	14.5%	1.8%	0.0%
30～39歳	人数	9	10	5	3	2	9	1	1
	構成比	18.0%	20.0%	10.0%	6.0%	4.0%	18.0%	2.0%	2.0%
40～49歳	人数	8	7	6	5	3	12	0	0
	構成比	14.8%	13.0%	11.1%	9.3%	5.6%	22.2%	0.0%	0.0%
50～59歳	人数	4	3	1	5	2	11	2	0
	構成比	7.1%	5.4%	1.8%	8.9%	3.6%	19.6%	3.6%	0.0%
60～69歳	人数	0	0	2	1	0	9	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	4.7%	2.3%	0.0%	20.9%	2.3%	2.3%
70歳以上	人数	0	0	2	3	3	7	0	2
	構成比	0.0%	0.0%	5.6%	8.3%	8.3%	19.4%	0.0%	5.6%
属性無記入	人数	1	1	1	0	0	2	2	0
	構成比	7.7%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	15.4%	15.4%	0.0%

## 居住地区別

転出したい理由について、最も多い回答は、旧桶川東地区・旧加納村地区が「道路などの都市基盤が整っていないから」、旧桶川西地区は「公共施設が不足しているから」（旧加納村地区も同率1位）、上下日出谷土地区は「通勤・通学など交通が不便だから」、川田谷地区は「日常の買い物が不便だから」となっている。

地区ごとの特徴的な回答は次のとおりである。

旧桶川東地区	道路などの都市基盤整備が整っていないから（31.5%） 仕事の都合で（15.1%）
旧桶川西地区	公共施設が不足しているから（38.2%） 知人や親戚がいない、少ないから（20.6%）
上下日出谷地区	通勤・通学など交通が不便だから（39.2%） 高齢者の介護サービスなどがよくないから（21.6%）
旧加納村地区	道路などの都市基盤整備が整っていないから（30.6%） 公共施設が不足しているから（30.6%） 高齢者の介護サービスなどがよくないから（19.4%）
川田谷地区	日常の買い物が不便だから（57.1%） 通勤・通学など交通が不便だから（53.6%）

注意: 白文字 = 1位 黒文字 = 2位

		回答者数	通勤・通学 など交通が 不便だから	道路などの 都市基盤 が整って いないから	公共施設 が不足して いるから	日常の買い 物が不便だ から	家族構成 が変わった から	高齢者の介 護サービ スなどがよ くないから	知人や親 戚がいな い、少な いから	自然環境 が良くない から
全体	人数 構成比	307	95 30.9%	85 27.7%	84 27.4%	75 24.4%	57 18.6%	42 13.7%	39 12.7%	36 11.7%
旧桶川東 地区	人数 構成比	55	15 20.5%	23 31.5%	18 24.7%	13 17.8%	14 19.2%	7 9.6%	10 13.7%	11 15.1%
旧桶川西 地区	人数 構成比	50	18 26.5%	19 27.9%	26 38.2%	12 17.6%	12 17.6%	8 11.8%	14 20.6%	8 11.8%
上下日出 谷地区	人数 構成比	54	20 39.2%	12 23.5%	8 15.7%	10 19.6%	9 17.6%	11 21.6%	4 7.8%	2 3.9%
旧加納村 地区	人数 構成比	56	21 29.2%	22 30.6%	22 30.6%	21 29.2%	15 20.8%	14 19.4%	9 12.5%	10 13.9%
川田谷地 区	人数 構成比	36	15 53.6%	7 25.0%	5 17.9%	16 57.1%	5 17.9%	1 3.6%	1 3.6%	1 3.6%
属性無記 入	人数 構成比	13	6 40.0%	2 13.3%	5 33.3%	3 20.0%	2 13.3%	1 6.7%	1 6.7%	4 26.7%

		仕事の都合で	子育て環境 が良くない から	教育環境 が良くない から	災害などの 発生時に不 安があるから	家賃や地 価が高いから	その他	特に理由は ない	無回答
全体	人数 構成比	33 10.7%	26 8.5%	22 7.2%	19 6.2%	13 4.2%	58 18.9%	7 2.3%	4 1.3%
旧桶川東 地区	人数 構成比	11 15.1%	7 9.6%	4 5.5%	4 5.5%	5 6.8%	12 16.4%	2 2.7%	1 1.4%
旧桶川西 地区	人数 構成比	7 10.3%	7 10.3%	7 10.3%	4 5.9%	3 4.4%	16 23.5%	1 1.5%	1 1.5%
上下日出 谷地区	人数 構成比	3 5.9%	3 5.9%	6 11.8%	4 7.8%	2 3.9%	12 23.5%	2 3.9%	0 0.0%
旧加納村 地区	人数 構成比	8 11.1%	7 9.7%	3 4.2%	6 8.3%	3 4.2%	12 16.7%	0 0.0%	2 2.8%
川田谷地 区	人数 構成比	3 10.7%	1 3.6%	1 3.6%	1 3.6%	0 0.0%	4 14.3%	0 0.0%	0 0.0%
属性無記 入	人数 構成比	1 6.7%	1 6.7%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 13.3%	2 13.3%	0 0.0%



## 2. 桶川市のまちづくりについて

### (1) まちづくり全般

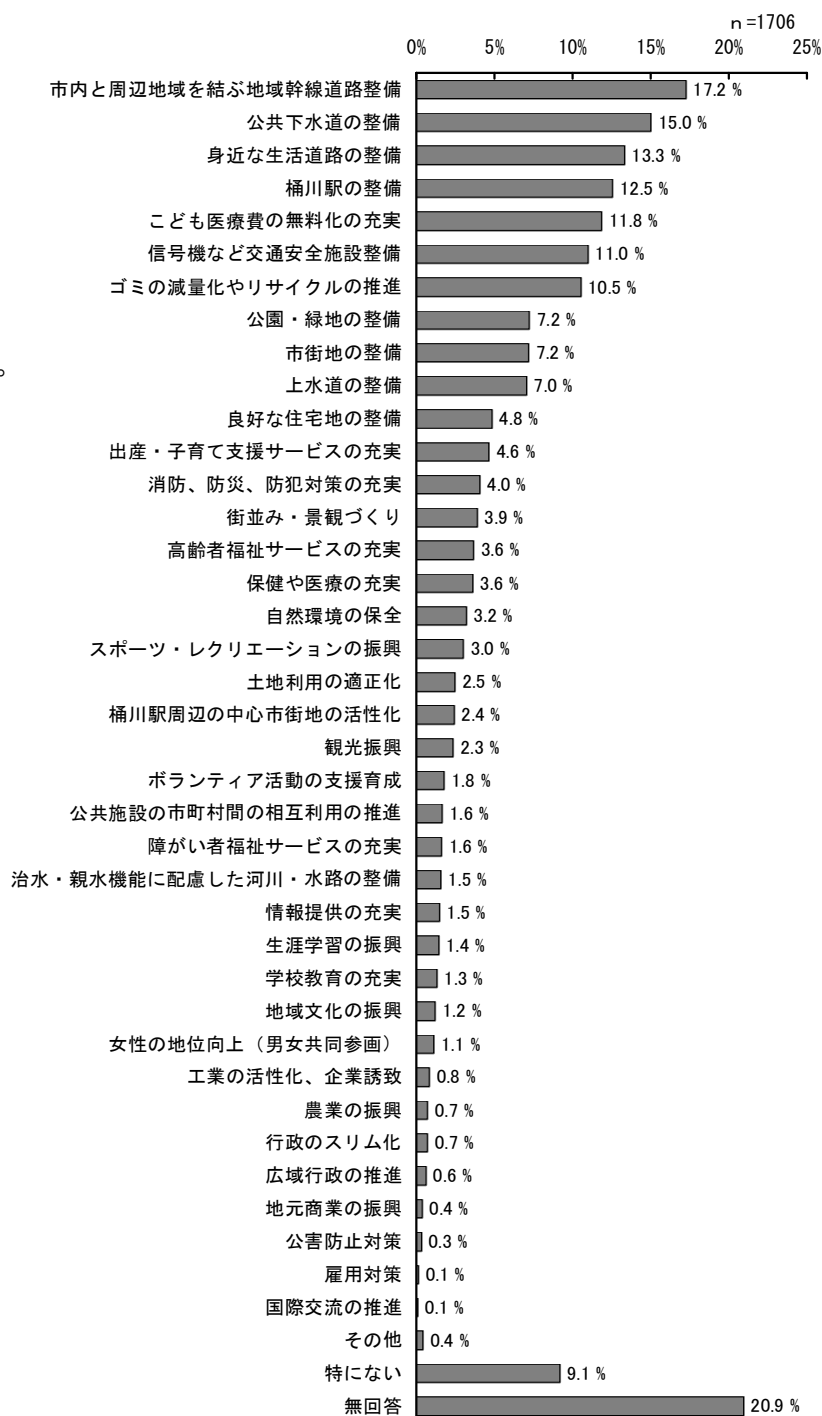
**問5** 下記の項目のうち、ここ数年で（桶川市に転入して間もない方は、お住まいになってから）よくなったと感じる項目を3つまで選んで、その番号を「回答欄ア」にご記入ください。

また、もっと住みよいまちにするために、これからの市政において、特に力をいれるべき項目について、下記の中から3つまで選び、その番号を「回答欄イ」にご記入ください。

#### ① よくなったもの

##### 全 体

無回答を除き、「市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備」が17.2%で最も多く、次いで「公共下水道の整備」15.0%、「身近な生活道路の整備」13.3%、「桶川駅の整備」12.5%などが主なところである。



##### 「その他」の主な意見

- ・ 駅前の自転車が少なくなって道が広がった
- ・ バス（市内循環、民間）
- ・ 桶川・北本IC など

### 【経年変化】

ここ数年で良くなったものについて、前回調査（平成21年度）と比較した。順位の上下はあったものの、順位の上下はあるものの、上位10項目には変化がない。

今回調査（平成24年度）の第1位～3位である「市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備」「公共下水道の整備」「身近な生活道路の整備」はいずれも前回調査から順位・割合ともに上がっている。

順位	前回調査 (平成21年度)		今回調査 (平成24年度)		H21との 順位比較
	項目	割合	項目	割合	
1位	桶川駅の整備	18.9%	市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備	17.2%	↗
2位	ゴミの減量化やリサイクルの推進	13.6%	公共下水道の整備	15.0%	↗
3位	市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備	13.5%	身近な生活道路の整備	13.3%	↗
4位	公共下水道の整備	13.0%	桶川駅の整備	12.5%	↘
5位	身近な生活道路の整備	11.4%	こども医療費の無料化の充実	11.8%	↗
6位	こども医療費の無料化の充実	10.0%	信号機など交通安全施設整備	11.0%	↗
7位	信号機など交通安全施設整備	9.4%	ゴミの減量化やリサイクルの推進	10.5%	↘
8位	公園・緑地の整備	9.0%	公園・緑地の整備	7.2%	→
9位	市街地の整備	7.7%	市街地の整備（同率8位）	7.2%	→
10位	上水道の整備	7.2%	上水道の整備	7.0%	→

## 性別

ここ数年で良くなったものとして、最も多い回答は、男女ともに全体と同じ「市内と周辺を結ぶ地域幹線道路の整備」、次いで「公共下水道の整備」となっている。

「子ども医療費の無料化の充実」で女性が男性を上回っているものの、性別による差はほとんどみられない。

注意： 白文字 = 1位 黒文字 = 2位

		回答者数	市内と周辺地域幹線道路整備	公共下水道の整備	身近な生活道路の整備	桶川駅の整備	子ども医療費の無料化の充実	信号機など交通安全施設整備	ゴミの減量化やリサイクルの推進	公園・緑地の整備	市街地の整備	上水道の整備
全体	人数	1706	294	256	227	214	202	187	179	123	122	120
	構成比		17.2%	15.0%	13.3%	12.5%	11.8%	11.0%	10.5%	7.2%	7.2%	7.0%
男性	人数	743	136	113	105	81	61	69	77	49	53	61
	構成比		18.3%	15.2%	14.1%	10.9%	8.2%	9.3%	10.4%	6.6%	7.1%	8.2%
女性	人数	893	145	135	113	127	134	105	99	73	61	52
	構成比		16.2%	15.1%	12.7%	14.2%	15.0%	11.8%	11.1%	8.2%	6.8%	5.8%
属性無記入	人数	70	13	8	9	6	7	13	3	1	8	7
	構成比		18.6%	11.4%	12.9%	8.6%	10.0%	18.6%	4.3%	1.4%	11.4%	10.0%

		良好な住宅地の整備	出産・子育て支援サービスの充実	消防、防災、防犯対策の充実	街並み・景観づくり	高齢者福祉サービスの充実	保健や医療の充実	自然環境の保全	スポーツ・レクリエーションの振興	土地利用の適正化	桶川駅周辺の中心市街地の活性化	観光振興
全体	人数	82	79	69	66	62	61	54	51	42	41	40
	構成比	4.8%	4.6%	4.0%	3.9%	3.6%	3.6%	3.2%	3.0%	2.5%	2.4%	2.3%
男性	人数	40	16	29	30	32	32	27	23	25	18	19
	構成比	5.4%	2.2%	3.9%	4.0%	4.3%	4.3%	3.6%	3.1%	3.4%	2.4%	2.6%
女性	人数	39	58	39	35	28	27	23	26	15	22	21
	構成比	4.4%	6.5%	4.4%	3.9%	3.1%	3.0%	2.6%	2.9%	1.7%	2.5%	2.4%
属性無記入	人数	3	5	1	1	2	2	4	2	2	1	0
	構成比	4.3%	7.1%	1.4%	1.4%	2.9%	2.9%	5.7%	2.9%	2.9%	1.4%	0.0%

		ボランティア活動の支援育成	公共施設の市町村間の相互利用の推進	障がい者福祉サービスの充実	治水・親水機能に配慮した河川・水路の整備	情報提供の充実	生涯学習の振興	学校教育の充実	地域文化の振興	女性の地位向上(男女共同参画)	工業の活性化、企業誘致	農業の振興
全体	人数	30	28	27	26	25	24	22	20	19	14	12
	構成比	1.8%	1.6%	1.6%	1.5%	1.5%	1.4%	1.3%	1.2%	1.1%	0.8%	0.7%
男性	人数	9	12	11	13	10	12	10	11	10	11	4
	構成比	1.2%	1.6%	1.5%	1.7%	1.3%	1.6%	1.3%	1.5%	1.3%	1.5%	0.5%
女性	人数	20	15	16	13	14	11	10	6	9	3	8
	構成比	2.2%	1.7%	1.8%	1.5%	1.6%	1.2%	1.1%	0.7%	1.0%	0.3%	0.9%
属性無記入	人数	1	1	0	0	1	1	2	3	0	0	0
	構成比	1.4%	1.4%	0.0%	0.0%	1.4%	1.4%	2.9%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%

		行政のスリム化	広域行政の推進	地元商業の振興	公害防止対策	雇用対策	国際交流の推進	その他	特になし	無回答
全体	人数	12	10	6	5	2	1	7	156	357
	構成比	0.7%	0.6%	0.4%	0.3%	0.1%	0.1%	0.4%	9.1%	20.9%
男性	人数	7	7	4	4	2	1	2	79	159
	構成比	0.9%	0.9%	0.5%	0.5%	0.3%	0.1%	0.3%	10.6%	21.4%
女性	人数	5	3	2	1	0	0	5	73	176
	構成比	0.6%	0.3%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.6%	8.2%	19.7%
属性無記入	人数	0	0	0	0	0	0	0	4	22
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.7%	31.4%

## 年 齢 別

ここ数年で良くなったものとして、最も多い回答は、20～30歳代では「市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備」、40歳代は「こども医療費の無料化の充実」、50歳以上では「公共下水道の整備」となっている。

「こども医療費の無料化の充実」は特に子育て世代である30～40歳代で、その割合が多くなっている。また、50～60歳代では、「ゴミの減量やリサイクルの推進」が、他の年代と比べ、多くなっている。

		回答者数	市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備	公共下水道の整備	身近な生活道路の整備	桶川駅の整備	こども医療費の無料化の充実	信号機など交通安全施設整備	ゴミの減量化やリサイクルの推進	公園・緑地の整備
全体	人数 構成比	1706	294 17.2%	256 15.0%	227 13.3%	214 12.5%	202 11.8%	187 11.0%	179 10.5%	123 7.2%
18～29歳	人数 構成比	137	27 19.7%	5 3.6%	21 15.3%	11 8.0%	11 8.0%	19 13.9%	8 5.8%	10 7.3%
30～39歳	人数 構成比	226	42 18.6%	13 5.8%	28 12.4%	24 10.6%	39 17.3%	23 10.2%	16 7.1%	13 5.8%
40～49歳	人数 構成比	258	61 23.6%	21 8.1%	35 13.6%	25 9.7%	62 24.0%	19 7.4%	17 6.6%	10 3.9%
50～59歳	人数 構成比	249	45 18.1%	46 18.5%	28 11.2%	35 14.1%	24 9.6%	27 10.8%	35 14.1%	21 8.4%
60～69歳	人数 構成比	382	54 14.1%	78 20.4%	52 13.6%	62 16.2%	36 9.4%	46 12.0%	56 14.7%	39 10.2%
70歳以上	人数 構成比	397	55 13.9%	90 22.7%	57 14.4%	52 13.1%	25 6.3%	44 11.1%	45 11.3%	30 7.6%
属性 無記入	人数 構成比	57	10 17.5%	3 5.3%	6 10.5%	5 8.8%	5 8.8%	9 15.8%	2 3.5%	0 0.0%

注意: 白文字 =1位 黒文字 =2位

		市街地の整備	上水道の整備	良好な住宅地の整備	出産・子育て支援サービスの充実	消防、防災、防犯対策の充実	街並み・景観づくり	高齢者福祉サービスの充実	保健や医療の充実	自然環境の保全
全体	人数 構成比	122 7.2%	120 7.0%	82 4.8%	79 4.6%	69 4.0%	66 3.9%	62 3.6%	61 3.6%	54 3.2%
18～29歳	人数 構成比	14 10.2%	1 0.7%	12 8.8%	3 2.2%	3 2.2%	9 6.6%	1 0.7%	1 0.7%	6 4.4%
30～39歳	人数 構成比	15 6.6%	3 1.3%	14 6.2%	24 10.6%	13 5.8%	9 4.0%	4 1.8%	4 1.8%	4 1.8%
40～49歳	人数 構成比	18 7.0%	9 3.5%	18 7.0%	20 7.8%	6 2.3%	12 4.7%	4 1.6%	8 3.1%	9 3.5%
50～59歳	人数 構成比	14 5.6%	22 8.8%	9 3.6%	8 3.2%	8 3.2%	8 3.2%	8 3.2%	11 4.4%	8 3.2%
60～69歳	人数 構成比	25 6.5%	43 11.3%	18 4.7%	14 3.7%	16 4.2%	16 4.2%	15 3.9%	12 3.1%	12 3.1%
70歳以上	人数 構成比	29 7.3%	37 9.3%	8 2.0%	5 1.3%	22 5.5%	11 2.8%	28 7.1%	23 5.8%	13 3.3%
属性 無記入	人数 構成比	7 12.3%	5 8.8%	3 5.3%	5 8.8%	1 1.8%	1 1.8%	2 3.5%	2 3.5%	2 3.5%

		スポーツ・レクリエーションの振興	土地利用の適正化	桶川駅周辺の中心市街地の活性化	観光振興	ボランティア活動の支援育成	公共施設の市町村間の相互利用の推進	障がい者福祉サービスの充実	治水・親水機能に配慮した河川・水路の整備	情報提供の充実
全体	人数	51	42	41	40	30	28	27	26	25
	構成比	3.0%	2.5%	2.4%	2.3%	1.8%	1.6%	1.6%	1.5%	1.5%
18～29歳	人数	2	7	5	4	2	2	3	0	1
	構成比	1.5%	5.1%	3.6%	2.9%	1.5%	1.5%	2.2%	0.0%	0.7%
30～39歳	人数	7	6	5	8	2	2	3	2	3
	構成比	3.1%	2.7%	2.2%	3.5%	0.9%	0.9%	1.3%	0.9%	1.3%
40～49歳	人数	7	11	7	6	5	4	5	2	3
	構成比	2.7%	4.3%	2.7%	2.3%	1.9%	1.6%	1.9%	0.8%	1.2%
50～59歳	人数	10	4	7	10	5	5	3	10	6
	構成比	4.0%	1.6%	2.8%	4.0%	2.0%	2.0%	1.2%	4.0%	2.4%
60～69歳	人数	13	8	10	7	5	9	7	10	6
	構成比	3.4%	2.1%	2.6%	1.8%	1.3%	2.4%	1.8%	2.6%	1.6%
70歳以上	人数	10	4	6	5	10	5	6	2	6
	構成比	2.5%	1.0%	1.5%	1.3%	2.5%	1.3%	1.5%	0.5%	1.5%
属性無記入	人数	2	2	1	0	1	1	0	0	0
	構成比	3.5%	3.5%	1.8%	0.0%	1.8%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%

		生涯学習の振興	学校教育の充実	地域文化の振興	女性の地位向上(男女共同参画)	工業の活性化、企業誘致	農業の振興	行政のスリム化	広域行政の推進	地元商業の振興
全体	人数	24	22	20	19	14	12	12	10	6
	構成比	1.4%	1.3%	1.2%	1.1%	0.8%	0.7%	0.7%	0.6%	0.4%
18～29歳	人数	0	1	1	1	0	2	0	0	2
	構成比	0.0%	0.7%	0.7%	0.7%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	1.5%
30～39歳	人数	0	6	2	0	2	3	1	1	2
	構成比	0.0%	2.7%	0.9%	0.0%	0.9%	1.3%	0.4%	0.4%	0.9%
40～49歳	人数	2	5	2	3	2	1	2	0	1
	構成比	0.8%	1.9%	0.8%	1.2%	0.8%	0.4%	0.8%	0.0%	0.4%
50～59歳	人数	4	4	4	5	2	0	4	1	0
	構成比	1.6%	1.6%	1.6%	2.0%	0.8%	0.0%	1.6%	0.4%	0.0%
60～69歳	人数	9	2	5	3	3	3	4	7	1
	構成比	2.4%	0.5%	1.3%	0.8%	0.8%	0.8%	1.0%	1.8%	0.3%
70歳以上	人数	8	2	3	7	5	2	1	1	0
	構成比	2.0%	0.5%	0.8%	1.8%	1.3%	0.5%	0.3%	0.3%	0.0%
属性無記入	人数	1	2	3	0	0	1	0	0	0
	構成比	1.8%	3.5%	5.3%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%

		公害防止対策	雇用対策	国際交流の推進	その他	特にない	無回答
全体	人数	5	2	1	7	156	357
	構成比	0.3%	0.1%	0.1%	0.4%	9.1%	20.9%
18～29歳	人数	0	0	0	0	26	18
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	19.0%	13.1%
30～39歳	人数	2	0	1	0	36	37
	構成比	0.9%	0.0%	0.4%	0.0%	15.9%	16.4%
40～49歳	人数	0	1	0	2	38	30
	構成比	0.0%	0.4%	0.0%	0.8%	14.7%	11.6%
50～59歳	人数	1	1	0	1	17	44
	構成比	0.4%	0.4%	0.0%	0.4%	6.8%	17.7%
60～69歳	人数	1	0	0	3	17	80
	構成比	0.3%	0.0%	0.0%	0.8%	4.5%	20.9%
70歳以上	人数	1	0	0	1	17	130
	構成比	0.3%	0.0%	0.0%	0.3%	4.3%	32.7%
属性無記入	人数	0	0	0	0	5	18
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.8%	31.6%

## 居住地区別

ここ数年で良くなったものとして、最も多い回答は、旧桶川東地区・旧加納村地区が「公共下水道の整備」、旧桶川西地区は「桶川駅の整備」、上下日出谷土地区・川田谷地区では「市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備」となっている。

特徴的な回答を地区ごとにまとめると次のとおりとなる。

旧桶川東地区	公共下水道の整備（17.3%） 信号機など交通安全施設整備（13.0%）
旧桶川西地区	桶川駅の整備（19.8%） 公共下水道の整備（17.6%） 身近な生活道路の整備（15.4%）
上下日出谷地区	市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備（21.6%） 桶川駅の整備（16.5%） 子ども医療費の無料化の充実（14.9%）
旧加納村地区	身近な生活道路の整備（15.8%） 信号機など交通安全施設整備（13.7%）
川田谷地区	市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備（24.1%）

		注意：		白文字 =1位		黒文字 =2位			
	回答者数	市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備	公共下水道の整備	身近な生活道路の整備	桶川駅の整備	子ども医療費の無料化の充実	信号機など交通安全施設整備	ゴミの減量化やリサイクルの推進	公園・緑地の整備
全体	人数 1706	294 17.2%	256 15.0%	227 13.3%	214 12.5%	202 11.8%	187 11.0%	179 10.5%	123 7.2%
旧桶川東地区	人数 370	55 14.9%	64 17.3%	35 9.5%	34 9.2%	47 12.7%	48 13.0%	34 9.2%	12 3.2%
旧桶川西地区	人数 369	68 18.4%	65 17.6%	57 15.4%	73 19.8%	33 8.9%	26 7.0%	38 10.3%	34 9.2%
上下日出谷地区	人数 370	80 21.6%	56 15.1%	51 13.8%	61 16.5%	55 14.9%	33 8.9%	43 11.6%	36 9.7%
旧加納村地区	人数 386	46 11.9%	62 16.1%	61 15.8%	27 7.0%	42 10.9%	53 13.7%	46 11.9%	27 7.0%
川田谷地区	人数 141	34 24.1%	3 2.1%	16 11.3%	13 9.2%	18 12.8%	17 12.1%	16 11.3%	13 9.2%
属性無記入	人数 70	11 15.7%	6 8.6%	7 10.0%	6 8.6%	7 10.0%	10 14.3%	2 2.9%	1 1.4%

	市街地の整備	上水道の整備	良好な住宅地の整備	出産・子育て支援サービスの充実	消防、防災、防犯対策の充実	街並み・景観づくり	高齢者福祉サービスの充実	保健や医療の充実	自然環境の保全
全体	人数 122	120 7.0%	82 4.8%	79 4.6%	69 4.0%	66 3.9%	62 3.6%	61 3.6%	54 3.2%
旧桶川東地区	人数 16	33 8.9%	18 4.9%	13 3.5%	18 4.9%	9 2.4%	21 5.7%	10 2.7%	6 1.6%
旧桶川西地区	人数 29	23 7.9%	21 5.7%	11 3.0%	14 3.8%	24 6.5%	8 2.2%	11 3.0%	12 3.3%
上下日出谷地区	人数 30	28 8.1%	19 5.1%	24 6.5%	15 4.1%	13 3.5%	11 3.0%	15 4.1%	15 4.1%
旧加納村地区	人数 32	23 8.3%	19 4.9%	20 5.2%	14 3.6%	14 3.6%	15 3.9%	15 3.9%	9 2.3%
川田谷地区	人数 8	8 5.7%	2 1.4%	4 2.8%	7 5.0%	3 2.1%	5 3.5%	8 5.7%	9 6.4%
属性無記入	人数 7	5 10.0%	3 4.3%	7 10.0%	1 1.4%	3 4.3%	2 2.9%	2 2.9%	3 4.3%

		スポーツ・レクリエーションの振興	土地利用の適正化	桶川駅周辺の中心市街地の活性化	観光振興	ボランティア活動の支援育成	公共施設の市町村間の相互利用の推進	障がい者福祉サービスの充実	治水・親水機能に配慮した河川・水路の整備	情報提供の充実
全体	人数	51	42	41	40	30	28	27	26	25
	構成比	3.0%	2.5%	2.4%	2.3%	1.8%	1.6%	1.6%	1.5%	1.5%
旧桶川東地区	人数	4	7	8	17	8	7	7	6	3
	構成比	1.1%	1.9%	2.2%	4.6%	2.2%	1.9%	1.9%	1.6%	0.8%
旧桶川西地区	人数	9	4	17	4	4	8	2	1	9
	構成比	2.4%	1.1%	4.6%	1.1%	1.1%	2.2%	0.5%	0.3%	2.4%
上下日出谷地区	人数	17	10	8	3	4	4	7	6	3
	構成比	4.6%	2.7%	2.2%	0.8%	1.1%	1.1%	1.9%	1.6%	0.8%
旧加納村地区	人数	8	15	4	10	8	5	10	11	6
	構成比	2.1%	3.9%	1.0%	2.6%	2.1%	1.3%	2.6%	2.8%	1.6%
川田谷地区	人数	11	4	3	5	4	3	1	2	4
	構成比	7.8%	2.8%	2.1%	3.5%	2.8%	2.1%	0.7%	1.4%	2.8%
属性無記入	人数	2	2	1	1	2	1	0	0	0
	構成比	2.9%	2.9%	1.4%	1.4%	2.9%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%

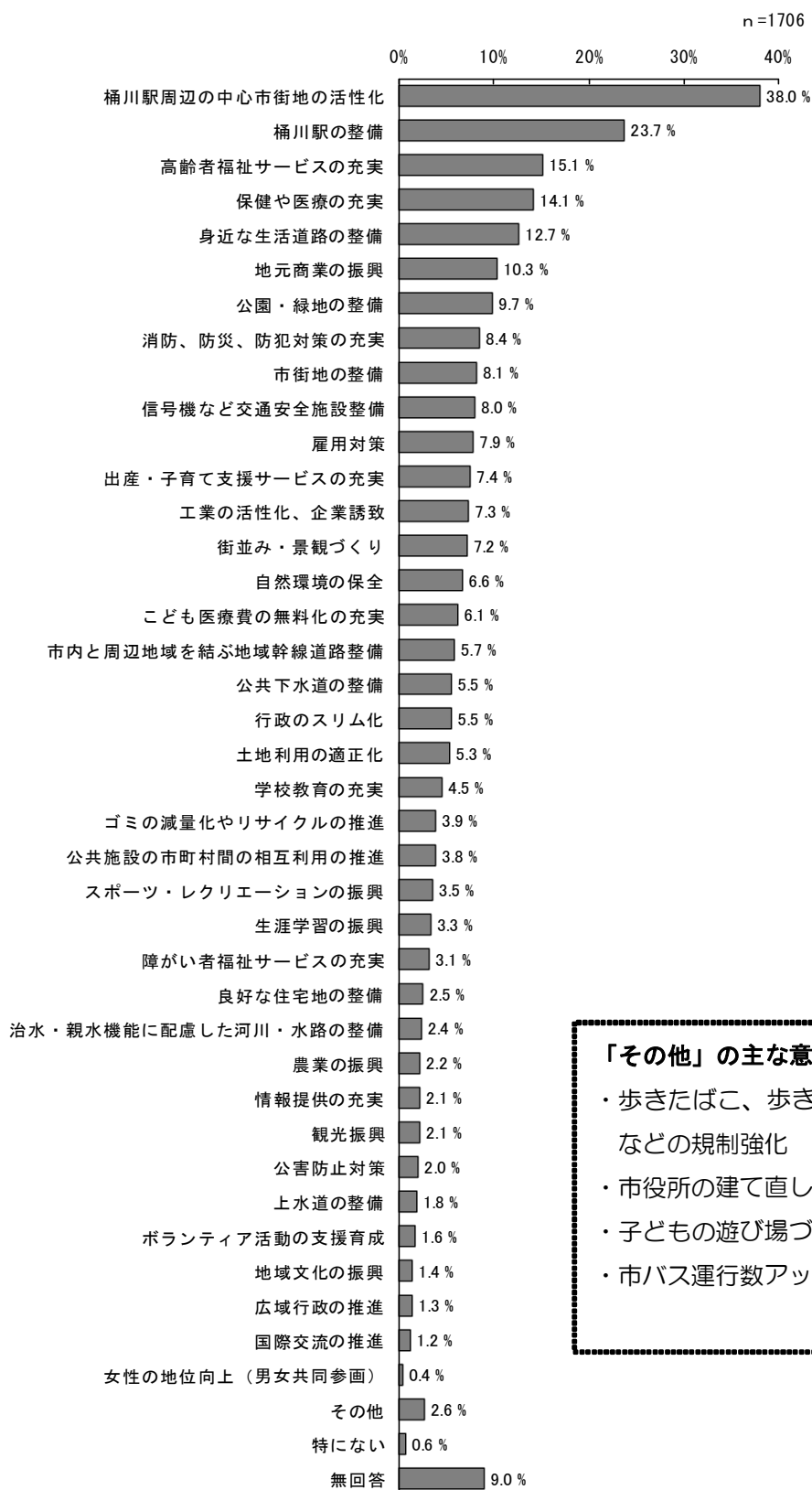
		生涯学習の振興	学校教育の充実	地域文化の振興	女性の地位向上(男女共同参画)	工業の活性化、企業誘致	農業の振興	行政のスリム化	広域行政の推進	地元商業の振興
全体	人数	24	22	20	19	14	12	12	10	6
	構成比	1.4%	1.3%	1.2%	1.1%	0.8%	0.7%	0.7%	0.6%	0.4%
旧桶川東地区	人数	5	5	4	6	2	5	4	2	3
	構成比	1.4%	1.4%	1.1%	1.6%	0.5%	1.4%	1.1%	0.5%	0.8%
旧桶川西地区	人数	8	3	5	4	2	0	4	2	1
	構成比	2.2%	0.8%	1.4%	1.1%	0.5%	0.0%	1.1%	0.5%	0.3%
上下日出谷地区	人数	1	6	4	1	5	1	2	0	0
	構成比	0.3%	1.6%	1.1%	0.3%	1.4%	0.3%	0.5%	0.0%	0.0%
旧加納村地区	人数	7	5	3	6	5	3	2	2	1
	構成比	1.8%	1.3%	0.8%	1.6%	1.3%	0.8%	0.5%	0.5%	0.3%
川田谷地区	人数	2	1	1	2	0	2	0	4	0
	構成比	1.4%	0.7%	0.7%	1.4%	0.0%	1.4%	0.0%	2.8%	0.0%
属性無記入	人数	1	2	3	0	0	1	0	0	1
	構成比	1.4%	2.9%	4.3%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	1.4%

		公害防止対策	雇用対策	国際交流の推進	その他	特にない	無回答
全体	人数	5	2	1	7	156	357
	構成比	0.3%	0.1%	0.1%	0.4%	9.1%	20.9%
旧桶川東地区	人数	0	0	0	1	39	76
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	10.5%	20.5%
旧桶川西地区	人数	1	1	0	2	30	77
	構成比	0.3%	0.3%	0.0%	0.5%	8.1%	20.9%
上下日出谷地区	人数	2	0	0	2	27	69
	構成比	0.5%	0.0%	0.0%	0.5%	7.3%	18.6%
旧加納村地区	人数	1	1	0	1	41	83
	構成比	0.3%	0.3%	0.0%	0.3%	10.6%	21.5%
川田谷地区	人数	1	0	1	1	14	29
	構成比	0.7%	0.0%	0.7%	0.7%	9.9%	20.6%
属性無記入	人数	0	0	0	0	5	23
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	32.9%

## ② 力を入れてほしいもの

### 全 体

「桶川駅周辺の中心市街地の活性化」38.0%が最も多く、次いで「桶川駅の整備」23.7%、「高齢者福祉サービスの充実」15.1%、「保健や医療の充実」14.1%、「身近な生活道路の整備」12.7%、「地元商業の振興」10.3%などが続く。



#### 「その他」の主な意見

- ・歩きタバコ、歩きヘッドホンなどの規制強化
- ・市役所の建て直し
- ・子どもの遊び場づくり
- ・市バス運行数アップ など



### 【経年変化】

今後、市政において力を入れてほしいものは、第1位～5位までの項目は前回調査（平成21年度）とすべて同じ順位のままとなっており、桶川駅周辺の活性化や駅の整備、高齢者福祉や保健・医療、身近な生活道路についてのニーズは依然として高い。

一方、6位～10位は「公園・緑地の整備」「市街地の整備」「信号機など交通安全施設整備」など、前回調査では10位圏外であったものが順位を上げている。

	前回調査 (平成21年度)		今回調査 (平成24年度)		H21との 順位比較
	項目	割合	項目	割合	
1位	桶川駅周辺の中心市街地の活性化	33.9%	桶川駅周辺の中心市街地の活性化	38.0%	→
2位	桶川駅の整備	18.8%	桶川駅の整備	23.7%	→
3位	高齢者福祉サービスの充実	18.1%	高齢者福祉サービスの充実	15.1%	→
4位	保健や医療の充実	15.8%	保健や医療の充実	14.1%	→
5位	身近な生活道路の整備	11.4%	身近な生活道路の整備	12.7%	→
6位	雇用対策	10.0%	地元商業の振興	10.3%	↗
7位	地元商業の振興	9.4%	公園・緑地の整備	9.7%	↗
8位	自然環境の保全	9.1%	消防、防災、防犯対策の充実	8.4%	↗
9位	消防、防災、防犯対策の充実（同率8位）	9.1%	市街地の整備	8.1%	↗
10位	街並み・景観づくり	8.8%	信号機など交通安全施設整備	8.0%	↗

## 性別

今後、市政においても力を入れてほしいものとして、最も多い回答は、男女ともに全体と同じ「桶川駅周辺の中心市街地の活性化」、次いで「桶川駅の整備」となっている。

性別で差があるものとして、男性は「桶川駅の整備」や「市街地の整備」といったハード面での整備に関する項目で回答が多いのに対し、女性は「保健や医療の充実」や「高齢者福祉サービスの充実」など保健・医療・福祉の分野に関する項目で回答が多くなっている。

注意： 白文字 =1位 黒文字 =2位

		回答者数	桶川駅周辺の中心市街地の活性化	桶川駅の整備	高齢者福祉サービスの充実	保健や医療の充実	身近な生活道路の整備	地元商業の振興	公園・緑地の整備	消防、防災、防犯対策の充実	市街地の整備	信号機など交通安全施設整備
全体	人数	1706	648	404	257	240	216	175	166	144	139	137
	構成比		38.0%	23.7%	15.1%	14.1%	12.7%	10.3%	9.7%	8.4%	8.1%	8.0%
男性	人数	743	284	190	89	86	84	77	76	57	84	67
	構成比		38.2%	25.6%	12.0%	11.6%	11.3%	10.4%	10.2%	7.7%	11.3%	9.0%
女性	人数	893	336	196	150	148	126	89	83	81	53	66
	構成比		37.6%	21.9%	16.8%	16.6%	14.1%	10.0%	9.3%	9.1%	5.9%	7.4%
属性無記入	人数	70	28	18	18	6	6	9	7	6	2	4
	構成比		40.0%	25.7%	25.7%	8.6%	8.6%	12.9%	10.0%	8.6%	2.9%	5.7%

		雇用対策	出産・子育て支援サービスの充実	工業の活性化、企業誘致	街並み・景観づくり	自然環境の保全	子ども医療費の無料化の充実	市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備	公共下水道の整備	行政のスリム化	土地利用の適正化	学校教育の充実
全体	人数	134	127	125	122	113	104	98	94	93	90	76
	構成比	7.9%	7.4%	7.3%	7.2%	6.6%	6.1%	5.7%	5.5%	5.5%	5.3%	4.5%
男性	人数	58	43	68	60	45	39	61	45	47	37	28
	構成比	7.8%	5.8%	9.2%	8.1%	6.1%	5.2%	8.2%	6.1%	6.3%	5.0%	3.8%
女性	人数	72	82	52	58	61	64	35	46	46	50	46
	構成比	8.1%	9.2%	5.8%	6.5%	6.8%	7.2%	3.9%	5.2%	5.2%	5.6%	5.2%
属性無記入	人数	4	2	5	4	7	1	2	3	0	3	2
	構成比	5.7%	2.9%	7.1%	5.7%	10.0%	1.4%	2.9%	4.3%	0.0%	4.3%	2.9%

		ゴミの減量化やリサイクルの推進	公共施設の市町村間の相互利用の推進	スポーツ・レクリエーションの振興	生涯学習の振興	障がい者福祉サービスの充実	良好な住宅地の整備	治水・親水機能に配慮した河川・水路の整備	農業の振興	情報提供の充実	観光振興	公害防止対策
全体	人数	66	64	59	56	53	42	41	38	36	36	34
	構成比	3.9%	3.8%	3.5%	3.3%	3.1%	2.5%	2.4%	2.2%	2.1%	2.1%	2.0%
男性	人数	21	32	35	27	26	25	17	16	19	12	9
	構成比	2.8%	4.3%	4.7%	3.6%	3.5%	3.4%	2.3%	2.2%	2.6%	1.6%	1.2%
女性	人数	41	32	21	26	25	16	23	18	15	22	24
	構成比	4.6%	3.6%	2.4%	2.9%	2.8%	1.8%	2.6%	2.0%	1.7%	2.5%	2.7%
属性無記入	人数	4	0	3	3	2	1	1	4	2	2	1
	構成比	5.7%	0.0%	4.3%	4.3%	2.9%	1.4%	1.4%	5.7%	2.9%	2.9%	1.4%

		上水道の整備	ボランティア活動の支援育成	地域文化の振興	広域行政の推進	国際交流の推進	女性の地位向上(男女共同参画)	その他	特になし	無回答
全体	人数	31	28	24	23	20	7	44	11	154
	構成比	1.8%	1.6%	1.4%	1.3%	1.2%	0.4%	2.6%	0.6%	9.0%
男性	人数	14	10	13	12	8	2	16	4	66
	構成比	1.9%	1.3%	1.7%	1.6%	1.1%	0.3%	2.2%	0.5%	8.9%
女性	人数	17	16	11	11	11	4	25	7	78
	構成比	1.9%	1.8%	1.2%	1.2%	1.2%	0.4%	2.8%	0.8%	8.7%
属性無記入	人数	0	2	0	0	1	1	3	0	10
	構成比	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	1.4%	1.4%	4.3%	0.0%	14.3%

## 年 齢 別

今後、市政においても力を入れてほしいものとして、最も多い回答は、いずれの世代も「桶川駅周辺の中心市街地の活性化」である。次いで 20～50 歳代までは「桶川駅の整備」、60 歳以上では「高齢者福祉サービスの充実」となっている。

30 歳代では、「出産・子育て出産・子育て支援サービスの充実」「こども医療費の無料化の充実」などの子育てに関連する項目で、特に回答が多くなっている。

		回答者数	桶川駅周 辺の中心 市街地の 活性化	桶川駅の 整備	高齢者福 祉サービ スの充実	保健や医 療の充実	身近な生 活道路の 整備	地元商業 の振興	公園・緑地 の整備	消防、防 災、防犯 対策の充 実
全体	人数 構成比	1706	648 38.0%	404 23.7%	257 15.1%	240 14.1%	216 12.7%	175 10.3%	166 9.7%	144 8.4%
18～29歳	人数 構成比	137	55 40.1%	51 37.2%	4 2.9%	18 13.1%	21 15.3%	9 6.6%	12 8.8%	15 10.9%
30～39歳	人数 構成比	226	76 33.6%	59 26.1%	4 1.8%	25 11.1%	37 16.4%	16 7.1%	40 17.7%	24 10.6%
40～49歳	人数 構成比	258	104 40.3%	56 21.7%	25 9.7%	41 15.9%	31 12.0%	34 13.2%	38 14.7%	32 12.4%
50～59歳	人数 構成比	249	96 38.6%	66 26.5%	40 16.1%	32 12.9%	40 16.1%	30 12.0%	17 6.8%	18 7.2%
60～69歳	人数 構成比	382	155 40.6%	77 20.2%	83 21.7%	63 16.5%	44 11.5%	43 11.3%	31 8.1%	19 5.0%
70歳以上	人数 構成比	397	141 35.5%	78 19.6%	88 22.2%	56 14.1%	38 9.6%	35 8.8%	24 6.0%	32 8.1%
属性 無記入	人数 構成比	57	21 36.8%	17 29.8%	13 22.8%	5 8.8%	5 8.8%	8 14.0%	4 7.0%	4 7.0%

		市街地の 整備	信号機な ど交通安 全施設整 備	雇用対策	出産・子育 て支援サー ビスの充実	工業の活 性化、企業 誘致	街並み・景 観づくり	自然環境 の保全	こども医療 費の無料 化の充実	市内と周辺 地域を結ぶ 地域幹線 道路整備
全体	人数 構成比	139 8.1%	137 8.0%	134 7.9%	127 7.4%	125 7.3%	122 7.2%	113 6.6%	104 6.1%	98 5.7%
18～29歳	人数 構成比	13 9.5%	14 10.2%	8 5.8%	17 12.4%	5 3.6%	8 5.8%	5 3.6%	11 8.0%	10 7.3%
30～39歳	人数 構成比	24 10.6%	24 10.6%	19 8.4%	56 24.8%	10 4.4%	20 8.8%	8 3.5%	32 14.2%	18 8.0%
40～49歳	人数 構成比	24 9.3%	32 12.4%	20 7.8%	17 6.6%	11 4.3%	24 9.3%	16 6.2%	31 12.0%	14 5.4%
50～59歳	人数 構成比	24 9.6%	20 8.0%	20 8.0%	9 3.6%	22 8.8%	18 7.2%	22 8.8%	4 1.6%	16 6.4%
60～69歳	人数 構成比	25 6.5%	23 6.0%	38 9.9%	20 5.2%	43 11.3%	31 8.1%	30 7.9%	15 3.9%	22 5.8%
70歳以上	人数 構成比	27 6.8%	21 5.3%	25 6.3%	5 1.3%	30 7.6%	18 4.5%	28 7.1%	10 2.5%	16 4.0%
属性 無記入	人数 構成比	2 3.5%	3 5.3%	4 7.0%	3 5.3%	4 7.0%	3 5.3%	4 7.0%	1 1.8%	2 3.5%

		公共下水道の整備	行政のスリム化	土地利用の適正化	学校教育の充実	ゴミの減量化やリサイクルの推進	公共施設の市町村間の相互利用の推進	スポーツ・レクリエーションの振興	生涯学習の振興	障がい者福祉サービスの充実
全体	人数	94	93	90	76	66	64	59	56	53
	構成比	5.5%	5.5%	5.3%	4.5%	3.9%	3.8%	3.5%	3.3%	3.1%
18～29歳	人数	2	4	7	7	11	3	5	5	2
	構成比	1.5%	2.9%	5.1%	5.1%	8.0%	2.2%	3.6%	3.6%	1.5%
30～39歳	人数	11	9	6	14	9	3	9	4	11
	構成比	4.9%	4.0%	2.7%	6.2%	4.0%	1.3%	4.0%	1.8%	4.9%
40～49歳	人数	7	12	21	22	8	13	10	7	6
	構成比	2.7%	4.7%	8.1%	8.5%	3.1%	5.0%	3.9%	2.7%	2.3%
50～59歳	人数	22	18	18	14	9	8	13	11	8
	構成比	8.8%	7.2%	7.2%	5.6%	3.6%	3.2%	5.2%	4.4%	3.2%
60～69歳	人数	24	31	21	6	15	17	11	12	16
	構成比	6.3%	8.1%	5.5%	1.6%	3.9%	4.5%	2.9%	3.1%	4.2%
70歳以上	人数	26	18	14	11	10	20	8	14	9
	構成比	6.5%	4.5%	3.5%	2.8%	2.5%	5.0%	2.0%	3.5%	2.3%
属性無記入	人数	2	1	3	2	4	0	3	3	1
	構成比	3.5%	1.8%	5.3%	3.5%	7.0%	0.0%	5.3%	5.3%	1.8%

		良好な住宅地の整備	治水・親水機能に配慮した河川・水路の整備	農業の振興	情報提供の充実	観光振興	公害防止対策	上水道の整備	ボランティア活動の支援育成	地域文化の振興
全体	人数	42	41	38	36	36	34	31	28	24
	構成比	2.5%	2.4%	2.2%	2.1%	2.1%	2.0%	1.8%	1.6%	1.4%
18～29歳	人数	4	1	5	3	5	3	0	1	1
	構成比	2.9%	0.7%	3.6%	2.2%	3.6%	2.2%	0.0%	0.7%	0.7%
30～39歳	人数	6	5	5	5	4	3	4	3	4
	構成比	2.7%	2.2%	2.2%	2.2%	1.8%	1.3%	1.8%	1.3%	1.8%
40～49歳	人数	6	7	8	2	7	6	6	1	4
	構成比	2.3%	2.7%	3.1%	0.8%	2.7%	2.3%	2.3%	0.4%	1.6%
50～59歳	人数	6	3	6	5	5	6	3	3	3
	構成比	2.4%	1.2%	2.4%	2.0%	2.0%	2.4%	1.2%	1.2%	1.2%
60～69歳	人数	10	19	7	8	6	8	9	11	6
	構成比	2.6%	5.0%	1.8%	2.1%	1.6%	2.1%	2.4%	2.9%	1.6%
70歳以上	人数	8	6	5	12	7	8	9	7	6
	構成比	2.0%	1.5%	1.3%	3.0%	1.8%	2.0%	2.3%	1.8%	1.5%
属性無記入	人数	2	0	2	1	2	0	0	2	0
	構成比	3.5%	0.0%	3.5%	1.8%	3.5%	0.0%	0.0%	3.5%	0.0%

		広域行政の推進	国際交流の推進	女性の地位向上(男女共同参画)	その他	特にない	無回答
全体	人数	23	20	7	44	11	154
	構成比	1.3%	1.2%	0.4%	2.6%	0.6%	9.0%
18～29歳	人数	2	9	1	2	2	1
	構成比	1.5%	6.6%	0.7%	1.5%	1.5%	0.7%
30～39歳	人数	2	2	2	5	2	7
	構成比	0.9%	0.9%	0.9%	2.2%	0.9%	3.1%
40～49歳	人数	4	4	1	10	2	4
	構成比	1.6%	1.6%	0.4%	3.9%	0.8%	1.6%
50～59歳	人数	3	2	0	10	1	16
	構成比	1.2%	0.8%	0.0%	4.0%	0.4%	6.4%
60～69歳	人数	3	2	0	6	2	30
	構成比	0.8%	0.5%	0.0%	1.6%	0.5%	7.9%
70歳以上	人数	9	0	2	7	2	87
	構成比	2.3%	0.0%	0.5%	1.8%	0.5%	21.9%
属性無記入	人数	0	1	1	4	0	9
	構成比	0.0%	1.8%	1.8%	7.0%	0.0%	15.8%

## 居住地区別

今後、市政においても力を入れてほしいものとして、最も多い回答は、いずれの居住地区も「桶川駅周辺の中心市街地の活性化」となっているが、旧桶川東地区では5割を超えるのに対し、川田谷地区では2割程度であるなど、地区により大きな差がある。

次いで旧桶川東地区・旧加納村地区が「桶川駅の整備」、旧桶川西地区・上下日出谷地区では「高齢者福祉サービスの充実」、川田谷地区が「身近な生活道路の整備」となっている。特徴的な回答を地区ごとにまとめると以下ようになる。

旧桶川東地区	桶川駅周辺の中心市街地の活性化（52.2%） 桶川駅の整備（35.9%） 公園・緑地の整備（15.4%） 市街地の整備（11.6%）
旧桶川西地区	桶川駅周辺の中心市街地の活性化（39.8%） 高齢者福祉サービスの充実（17.9%） 保健や医療の充実（17.3%） 地元商業の振興（14.4%）
上下日出谷地区	高齢者福祉サービスの充実（16.5%） 身近な生活道路の整備（15.9%）
旧加納村地区	桶川駅周辺の中心市街地の活性化（40.4%） 桶川駅の整備（30.8%）
川田谷地区	身近な生活道路の整備（14.9%）

		回答者数	桶川駅周 辺の中心 市街地の 活性化	桶川駅の 整備	高齢者福 祉サービ スの充実	保健や医 療の充実	身近な生 活道路の 整備	地元商業 の振興	公園・緑 地の整備	消防、防 災、防犯 対策の充実
全体	人数	1706	648	404	257	240	216	175	166	144
	構成比		38.0%	23.7%	15.1%	14.1%	12.7%	10.3%	9.7%	8.4%
旧桶川東 地区	人数	370	193	133	45	44	42	43	57	25
	構成比		52.2%	35.9%	12.2%	11.9%	11.4%	11.6%	15.4%	6.8%
旧桶川西 地区	人数	369	147	57	66	64	42	53	30	39
	構成比		39.8%	15.4%	17.9%	17.3%	11.4%	14.4%	8.1%	10.6%
上下日出 谷地区	人数	370	100	58	61	59	59	30	40	36
	構成比		27.0%	15.7%	16.5%	15.9%	15.9%	8.1%	10.8%	9.7%
旧加納村 地区	人数	386	156	119	55	45	44	30	28	28
	構成比		40.4%	30.8%	14.2%	11.7%	11.4%	7.8%	7.3%	7.3%
川田谷地 区	人数	141	26	16	15	18	21	10	6	11
	構成比		18.4%	11.3%	10.6%	12.8%	14.9%	7.1%	4.3%	7.8%
属性無記 入	人数	70	26	21	15	10	8	9	5	5
	構成比		37.1%	30.0%	21.4%	14.3%	11.4%	12.9%	7.1%	7.1%

注意：白文字 = 1位 黒文字 = 2位

		市街地の整備	信号機など交通安全施設整備	雇用対策	出産・子育て支援サービスの充実	工業の活性化、企業誘致	街並み・景観づくり	自然環境の保全	子ども医療費の無料化の充実	市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備
全体	人数 構成比	139 8.1%	137 8.0%	134 7.9%	127 7.4%	125 7.3%	122 7.2%	113 6.6%	104 6.1%	98 5.7%
旧桶川東地区	人数 構成比	43 11.6%	24 6.5%	24 6.5%	35 9.5%	23 6.2%	21 5.7%	18 4.9%	19 5.1%	18 4.9%
旧桶川西地区	人数 構成比	22 6.0%	31 8.4%	29 7.9%	24 6.5%	28 7.6%	31 8.4%	27 7.3%	19 5.1%	16 4.3%
上下日出谷地区	人数 構成比	32 8.6%	40 10.8%	26 7.0%	27 7.3%	21 5.7%	31 8.4%	28 7.6%	27 7.3%	27 7.3%
旧加納村地区	人数 構成比	34 8.8%	24 6.2%	36 9.3%	26 6.7%	33 8.5%	24 6.2%	30 7.8%	25 6.5%	24 6.2%
川田谷地区	人数 構成比	6 4.3%	12 8.5%	13 9.2%	10 7.1%	16 11.3%	9 6.4%	6 4.3%	12 8.5%	11 7.8%
属性無記入	人数 構成比	2 2.9%	6 8.6%	6 8.6%	5 7.1%	4 5.7%	6 8.6%	4 5.7%	2 2.9%	2 2.9%

		公共下水道の整備	行政のスリム化	土地利用の適正化	学校教育の充実	ゴミの減量化やリサイクルの推進	公共施設の市町村間の相互利用の推進	スポーツ・レクリエーションの振興	生涯学習の振興	障がい者福祉サービスの充実
全体	人数 構成比	94 5.5%	93 5.5%	90 5.3%	76 4.5%	66 3.9%	64 3.8%	59 3.5%	56 3.3%	53 3.1%
旧桶川東地区	人数 構成比	6 1.6%	23 6.2%	19 5.1%	18 4.9%	10 2.7%	10 2.7%	6 1.6%	7 1.9%	12 3.2%
旧桶川西地区	人数 構成比	7 1.9%	22 6.0%	22 6.0%	17 4.6%	17 4.6%	13 3.5%	16 4.3%	21 5.7%	9 2.4%
上下日出谷地区	人数 構成比	28 7.6%	26 7.0%	17 4.6%	22 5.9%	18 4.9%	15 4.1%	16 4.3%	10 2.7%	12 3.2%
旧加納村地区	人数 構成比	31 8.0%	14 3.6%	14 3.6%	10 2.6%	13 3.4%	21 5.4%	12 3.1%	13 3.4%	10 2.6%
川田谷地区	人数 構成比	18 12.8%	7 5.0%	15 10.6%	6 4.3%	4 2.8%	5 3.5%	6 4.3%	2 1.4%	9 6.4%
属性無記入	人数 構成比	4 5.7%	1 1.4%	3 4.3%	3 4.3%	4 5.7%	0 0.0%	3 4.3%	3 4.3%	1 1.4%

		良好な住宅地の整備	治水・親水機能に配慮した河川・水路の整備	農業の振興	情報提供の充実	観光振興	公害防止対策	上水道の整備	ボランティア活動の支援育成	地域文化の振興
全体	人数 構成比	42 2.5%	41 2.4%	38 2.2%	36 2.1%	36 2.1%	34 2.0%	31 1.8%	28 1.6%	24 1.4%
旧桶川東地区	人数 構成比	7 1.9%	4 1.1%	7 1.9%	5 1.4%	9 2.4%	3 0.8%	3 0.8%	7 1.9%	3 0.8%
旧桶川西地区	人数 構成比	11 3.0%	9 2.4%	9 2.4%	10 2.7%	10 2.7%	10 2.7%	2 0.5%	8 2.2%	11 3.0%
上下日出谷地区	人数 構成比	9 2.4%	9 2.4%	5 1.4%	9 2.4%	2 0.5%	10 2.7%	6 1.6%	3 0.8%	4 1.1%
旧加納村地区	人数 構成比	9 2.3%	4 1.0%	10 2.6%	6 1.6%	13 3.4%	7 1.8%	8 2.1%	5 1.3%	6 1.6%
川田谷地区	人数 構成比	4 2.8%	15 10.6%	4 2.8%	5 3.5%	0 0.0%	4 2.8%	12 8.5%	3 2.1%	0 0.0%
属性無記入	人数 構成比	2 2.9%	0 0.0%	3 4.3%	1 1.4%	2 2.9%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.9%	0 0.0%

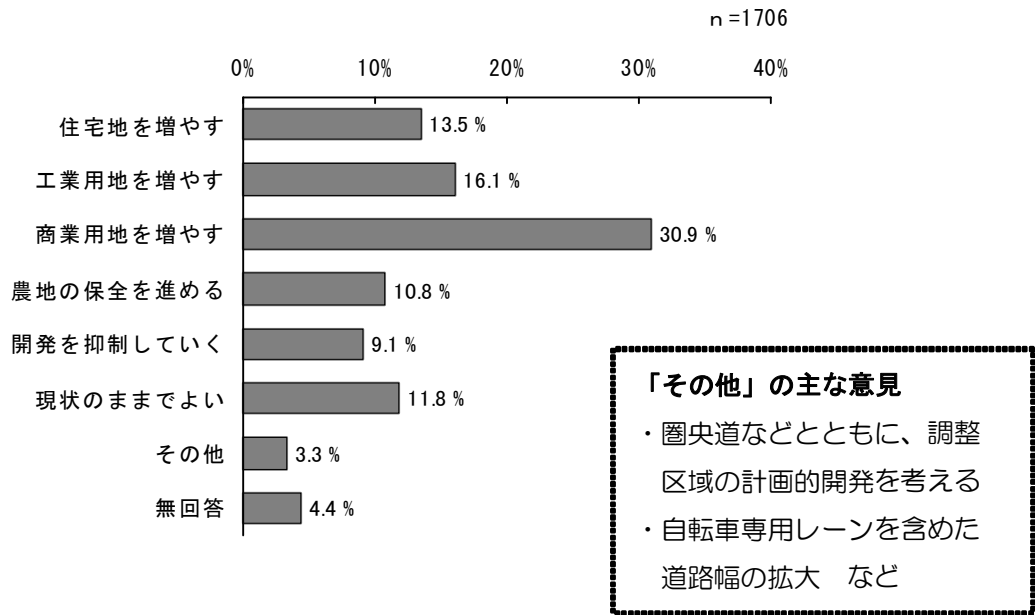
		広域行政の推進	国際交流の推進	女性の地位向上(男女共同参画)	その他	特にない	無回答
全体	人数 構成比	23 1.3%	20 1.2%	7 0.4%	44 2.6%	11 0.6%	154 9.0%
旧桶川東地区	人数 構成比	4 1.1%	2 0.5%	0 0.0%	13 3.5%	2 0.5%	25 6.8%
旧桶川西地区	人数 構成比	8 2.2%	5 1.4%	2 0.5%	10 2.7%	0 0.0%	28 7.6%
上下日出谷地区	人数 構成比	5 1.4%	4 1.1%	3 0.8%	5 1.4%	5 1.4%	35 9.5%
旧加納村地区	人数 構成比	4 1.0%	4 1.0%	0 0.0%	7 1.8%	3 0.8%	39 10.1%
川田谷地区	人数 構成比	2 1.4%	4 2.8%	1 0.7%	5 3.5%	1 0.7%	18 12.8%
属性無記入	人数 構成比	0 0.0%	1 1.4%	1 1.4%	4 5.7%	0 0.0%	9 12.9%

(2) 土地利用

**問6 桶川市の将来を考える上で、土地利用を計画的に図っていく必要がありますが、今後どのような方向性が望ましいとお考えですか。(〇は1つ)**

**全 体**

「商業用地を増やす」と答えた人の割合が30.9%と最も多く、次いで「工業用地を増やす」が16.1%、「住宅地を増やす」が13.5%となっている。



**【経年変化】**

桶川市の土地利用の望ましい方向性について、前回調査（平成21年度）と比較すると、前回調査・今回調査（平成24年度）ともに最も多くあげられている「商業用地を増やす」は、前回調査25.4%から今回調査30.9%に増加している。

反対に、前回調査で2番目に多かった「農業の保全を進める」は減少しており、代わりに今回調査で2番目に多い「工業用地を増やす」は、前回調査10.7%から今回調査16.1%に増加している。

一方で、「開発を抑制していく」「現状のままでよい」についてはともに減少しており、商業用地・工業用地の増大に対する意向が強くなっている。

単位: %

(n=)	住宅地を増やす	工業用地を増やす	商業用地を増やす	農地の保全を進める	開発を抑制していく	現状のままでよい	その他	無回答
H21 (1356)	12.6	10.7	25.4	18.7	9.5	13.6	3.2	6.2
H24 (1706)	13.5	16.1	30.9	10.8	9.1	11.8	3.3	4.4

## 年 齢 別

桶川市の土地利用の望ましい方向性として、最も多い回答は、70 歳以上を除き「商業用地を増やす」となっている。70 歳以上では「工業用地を増やす」である。特に 20～50 歳代で「商業用地を増やす」との回答が3割以上と多くなっている。

## 居住地区別

桶川市の土地利用の望ましい方向性として、最も多い回答は、全ての地区で「商業用地を増やす」となっており、旧桶川東地区・旧桶川西地区・旧加納村地区で3割台と多くなっている。

また、2 番目に多い回答は、旧桶川西地区のみ「住宅地を増やす」、それ以外の地区では「工業用地を増やす」となっている（上下日出谷地区はともに同率）。

単位: %

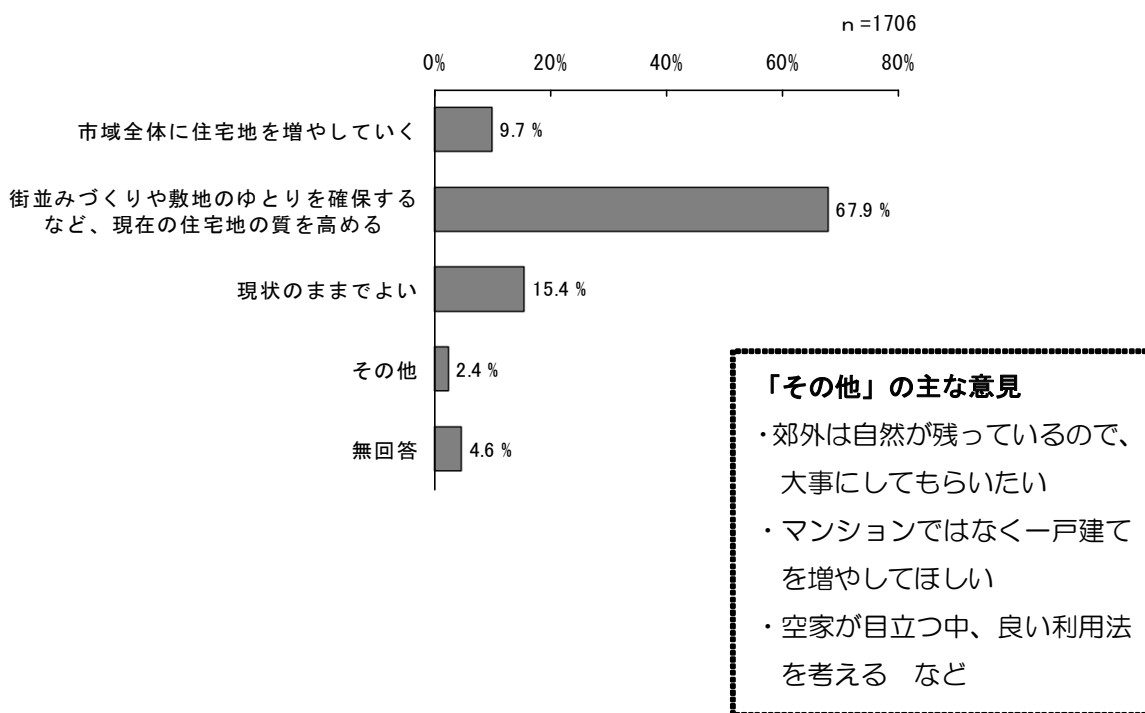
(n=)	住宅地を増やす	工業用地を増やす	商業用地を増やす	農地の保全を進める	開発を抑制していく	現状のままでよい	その他	無回答
全 体 (1706)	13.5	16.1	30.9		10.8	9.1	11.8	3.3 4.4
18～29歳( 137)	12.4	10.9	40.1		14.6	2.2	19.0	0.7
30～39歳( 226)	13.7	8.0	43.8		11.9	4.0	15.0	3.5
40～49歳( 258)	14.0	11.6	36.8		10.9	7.4	13.2	3.9 2.8
50～59歳( 249)	14.1	13.7	34.1		12.0	9.6	10.4	4.0 2.0
60～69歳( 382)	14.7	19.4	26.2		10.2	13.6	7.9	3.4 4.7
70歳以上( 397)	13.1	23.9	19.1		9.1	10.6	11.3	2.8 10.1
旧桶川東地区( 370)	11.6	17.8	34.1		11.1	7.8	11.9	4.1 1.6
旧桶川西地区( 369)	14.1	13.8	32.2		13.0	8.7	11.9	2.7 3.5
上下日出谷地区( 370)	17.3	17.3	26.8		10.0	9.2	11.9	3.8 3.8
旧加納村地区( 386)	12.7	15.5	31.3		10.4	10.1	11.7	2.1 6.2
川田谷地区( 141)	13.5	19.1	28.4		6.4	10.6	10.6	3.5 7.8



**問7 今後の住宅地のあり方について、あなたはどのような方向が望ましいとお考えですか。(〇は1つ)**

**全 体**

「街並みづくりや敷地のゆとりを確保するなど、現在の住宅地の質を高める」(以下、「現在の住宅の質を高める」との回答が67.9%と、全体の7割近くを占めている。



**【経年変化】**

今後の住宅地の望ましいあり方を、前回調査(平成21年度)と比較すると、すべての項目で、数値にほとんど変化がなく、依然として「現在の住宅地の質を高める」が最も多くなっている。

(n=)	単位: %				
	市域全体に住宅地を増やしていく	現在の住宅地の質を高める	現状のままでよい	その他	無回答
H21 (1356)	10.0	67.5		15.3	2.6 4.6
H24 (1706)	9.7	67.9		15.4	2.4 4.6

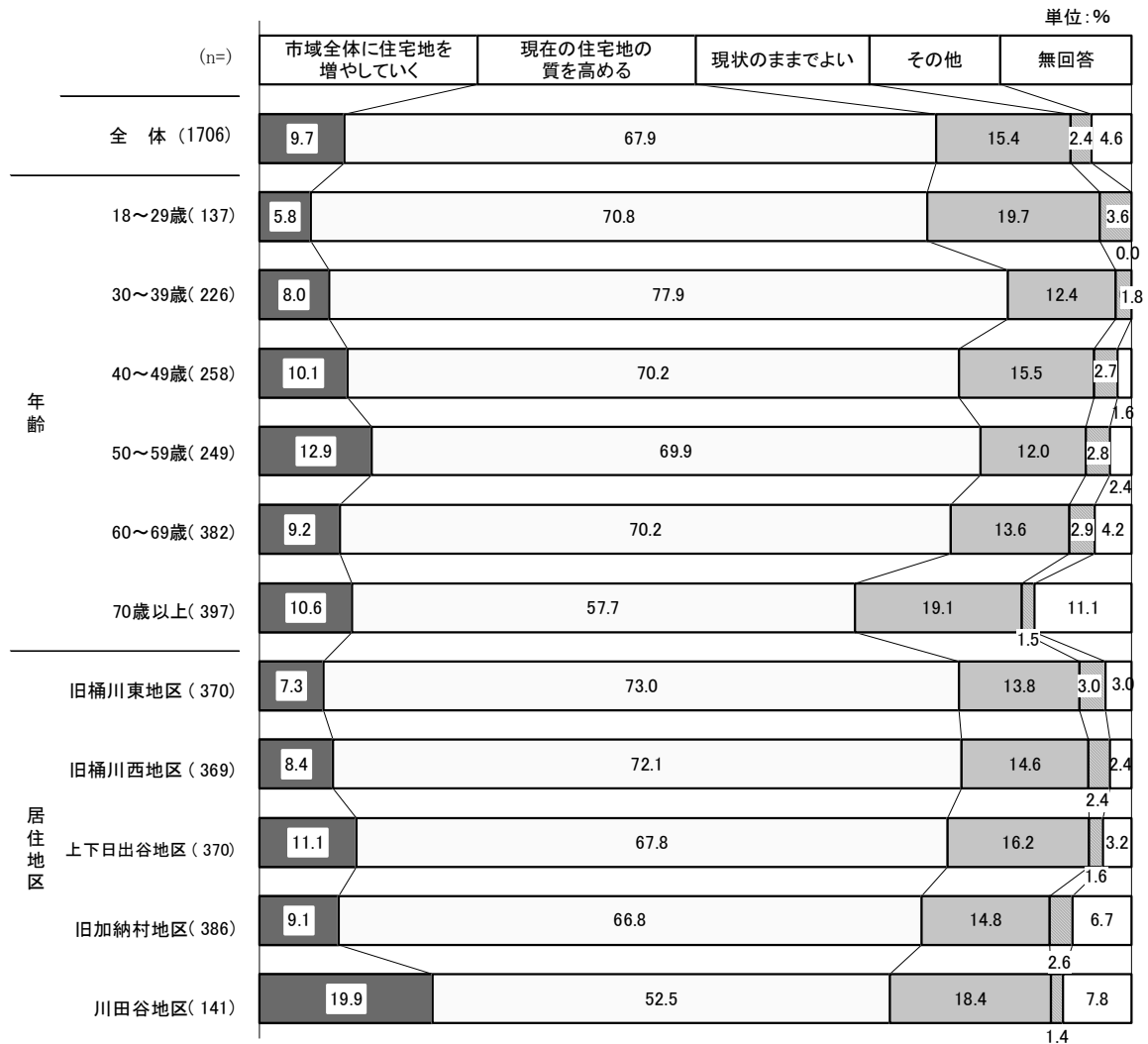
## 年 齢 別

今後の住宅地の望ましいあり方として、最も多い回答は、全ての年代で「現在の住宅地の質を高める」となっており、70歳以上を除き7割近くとなっている。一方、70歳以上では「現状のままでよい」との回答が約2割と、他の年代と比較して多くなっている。

## 居住地区別

今後の住宅地の望ましいあり方として、最も多い回答は、全ての地区で「現在の住宅地の質を高める」となっており、特に、旧桶川東地区と旧桶川西地区で7割を超え、多い。

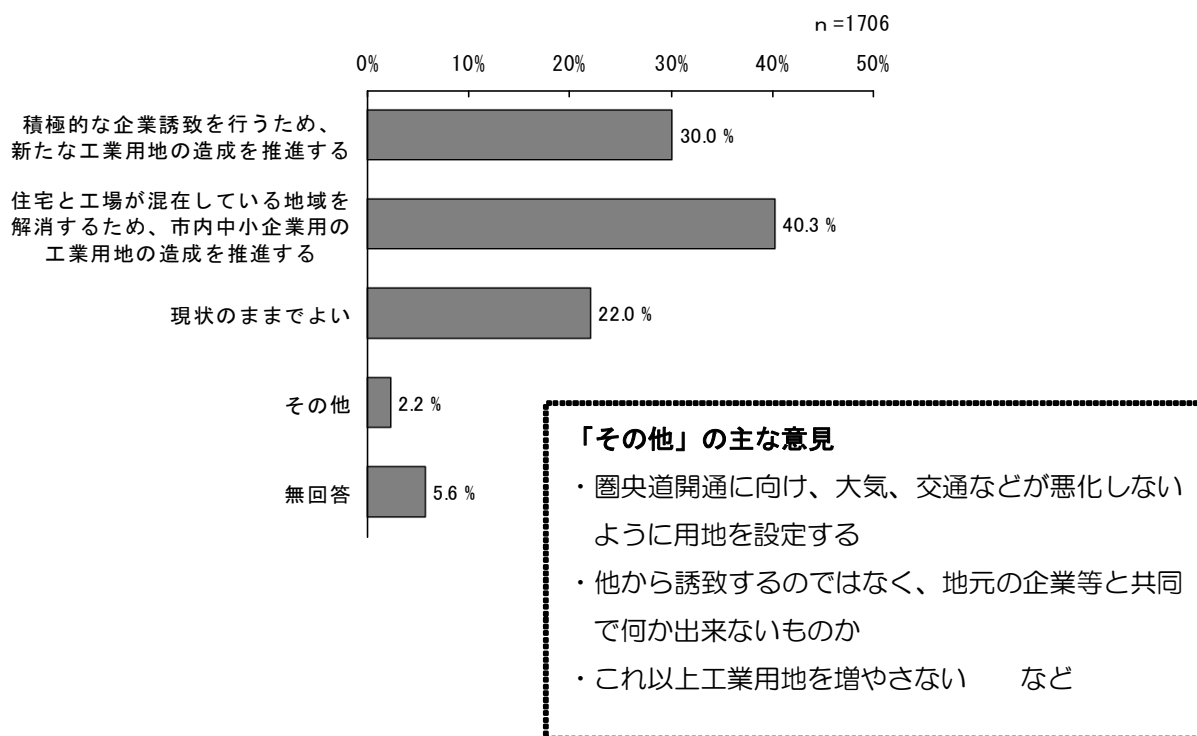
一方、川田谷地区では、「市域全体に住宅をふやしていく」「現状のままでよい」との回答が、他地区と比較して多くなっている。



**問8 今後の工業用地のあり方について、あなたはどのような方向が望ましいとお考えですか。(〇は1つ)**

**全 体**

「住宅と工場が混在している地域を解消するため、市内中小企業用の工業用地の造成を推進する」(以下、「中小企業用の工業用地造成の推進」との回答が40.3%と最も多く、次いで「積極的な誘致を行うため、新たな工業用地の造成を推進する」(以下、「新たな工業用地の造成の推進」)30.0%、「現状のままでよい」22.0%などとなっている。



**【経年変化】**

今後の工業用地の望ましいあり方を、前回調査(平成21年度)と比較すると、前回調査・今回調査(平成24年度)ともに「中小企業用の工業用地造成の推進」が最も多くなっているものの、前回調査に比べ減少している。反対に「新たな工業用地の造成の推進」については大きく増加しており、「新たな工業用地の造成の推進」への意向が強くなっている。

(n=)	単位: %				
	新たな工業用地の造成の推進	中小企業用の工業用地造成の推進	現状のままでよい	その他	無回答
H21 (1356)	17.5	44.5	29.6	2.1	6.3
H24 (1706)	30.0	40.3	22.0	2.2	5.6

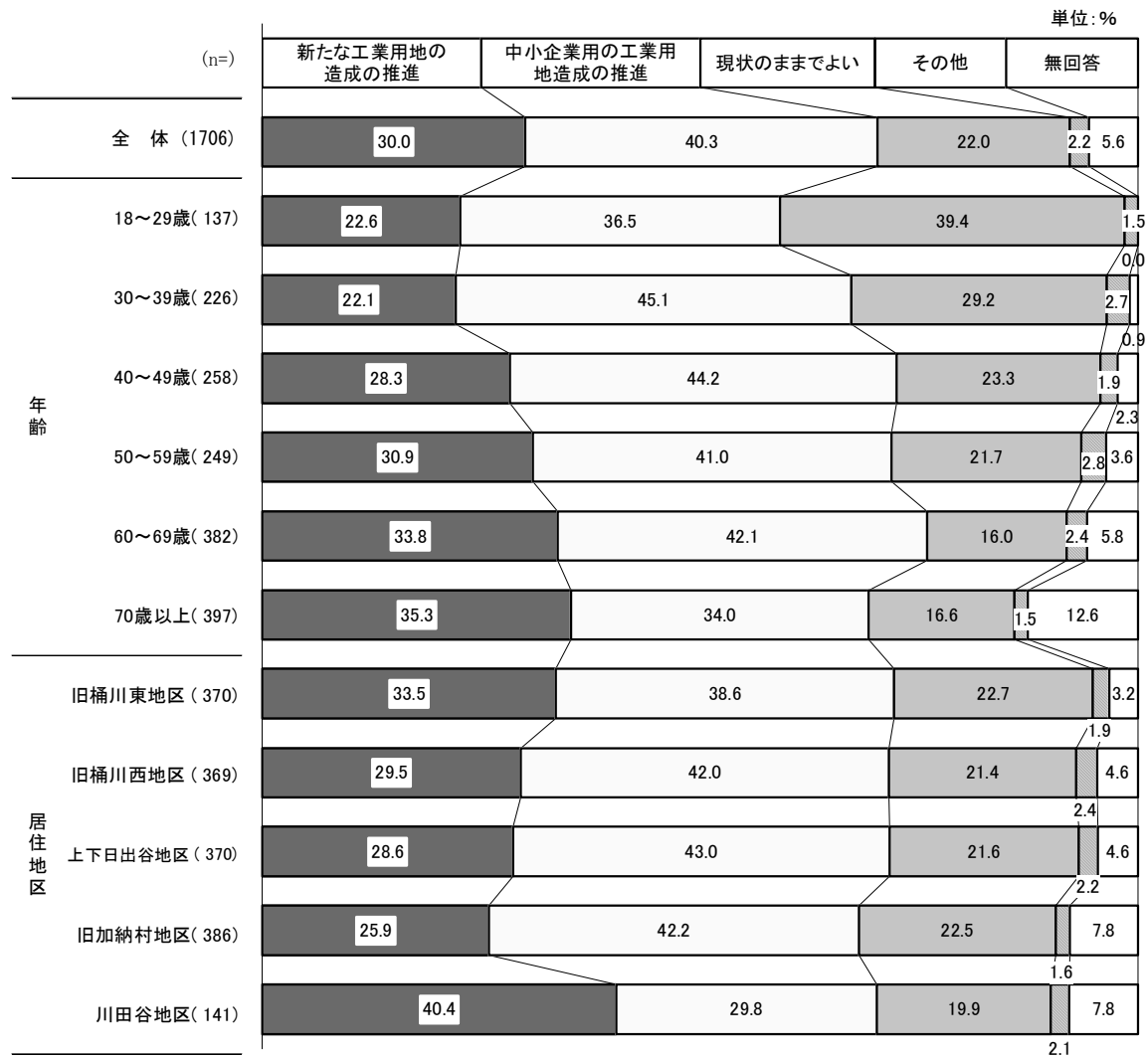
## 年 齢 別

今後の工業用地の望ましいあり方として、最も多い回答は、20 歳代では「現状のままでよい」、70 歳以上は「新たな工業用地の造成の推進」、それ以外の年代では「中小企業用の工業用地造成の推進」となっている。全体的に、年代が上がるほど「新たな工業用地の造成の推進」との回答が増加する傾向にある一方で、年代が下がるほど「現状のままでよい」との回答が多くなる傾向にある。

## 居住地区別

今後の工業用地の望ましいあり方として、最も多い回答は、川田谷地区を除き「中小企業用の工業用地造成の推進」、次いで「新たな工業用地の造成の推進」となっている。

川田谷地区は「新たな工業用地の造成の推進」が約4割と最も多く、次いで「中小企業用の工業用地造成の推進」であり、他の地区との違いがみられる。

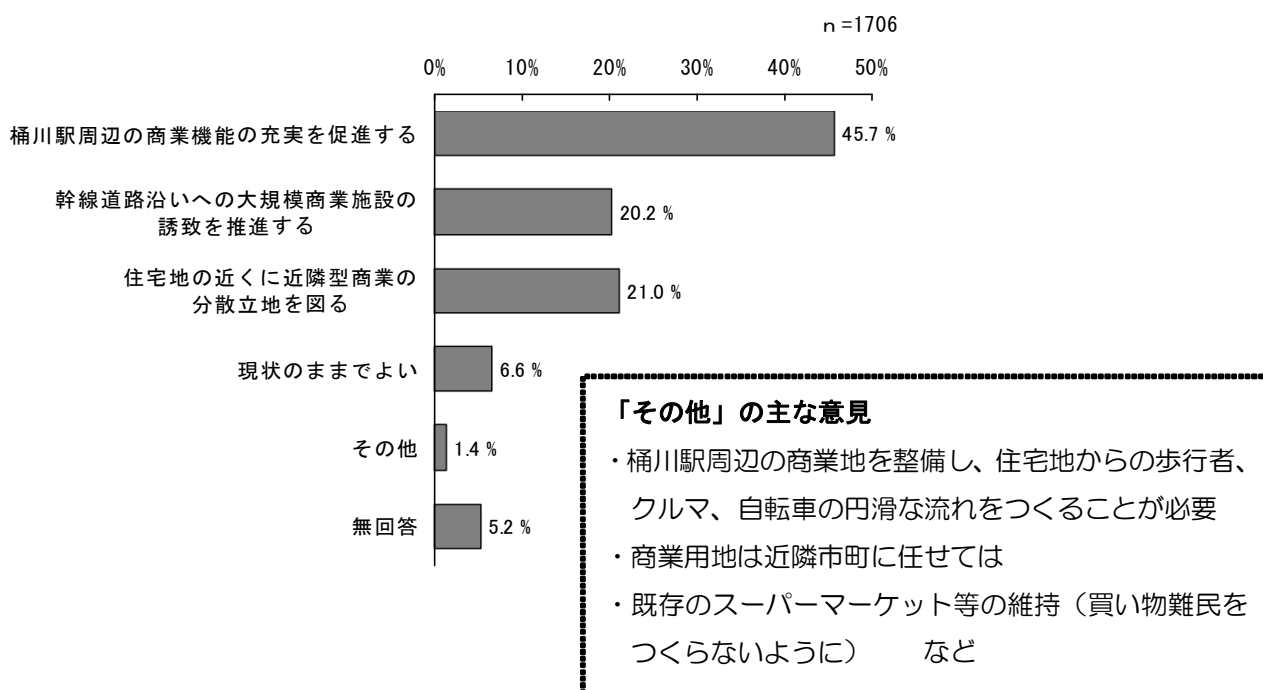


**問9 今後の商業用地のあり方について、あなたはどのような方向が望ましいとお考えですか。(〇は1つ)**

**全 体**

「桶川駅周辺の商業機能の充実を促進する」(以下、「桶川駅周辺の商業機能の充実」)との解凍が45.7%と最も多く、全体の約半数を占めている。

次いで「住宅地の近くに近隣型商業の分散立地を図る」(以下、「近隣型商業の分散立地」)21.0%、「幹線道路沿いへの大規模商業施設の誘致を推進する」(以下、「幹線道路沿いの大規模商業施設の誘致」)20.2%、などの順となっている。



**【経年変化】**

今後の商業用地の望ましいあり方を、前回調査(平成21年度)と比較すると、「桶川駅周辺の商業機能の充実」は減少している。反対に、「幹線道路沿いの大規模商業施設の誘致」は増加しており、全体としての幹線道路沿いの大規模商業施設の誘致を求める意向が強くなっている。

(n=)	桶川駅周辺の商業機能の充実	幹線道路沿いの大規模商業施設の誘致	近隣型商業の分散立地	現状のままでよい	その他	無回答
H21 (1356)	51.3	14.8	19.2	8.8	4.1	1.7
H24 (1706)	45.7	20.2	21.0	6.6	5.2	1.4

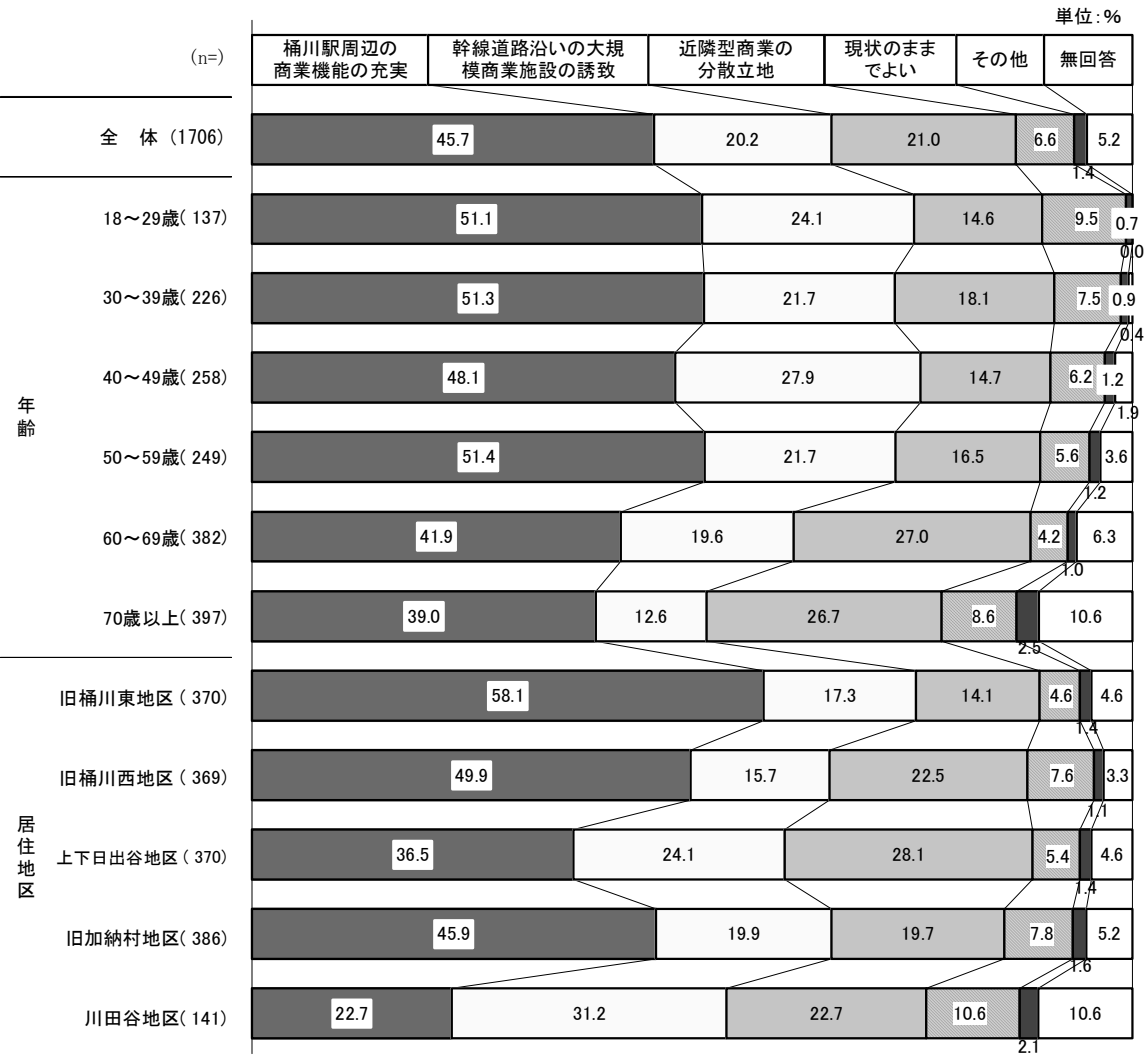
単位: %

## 年 齢 別

今後の商業用地の望ましいあり方として、最も多い回答は、全ての年代で「桶川駅周辺の商業機能の充実」となっており、特に20～50歳代では半数近くに達し、多くなっている。次いで多い回答は、20～50歳代では「幹線道路沿いの大規模商業施設の誘致」、60歳以上では「近隣型商業の分散立地」となっており、高年齢層で「近隣型商業の分散立地」への要望が多くなっている。

## 居住地区別

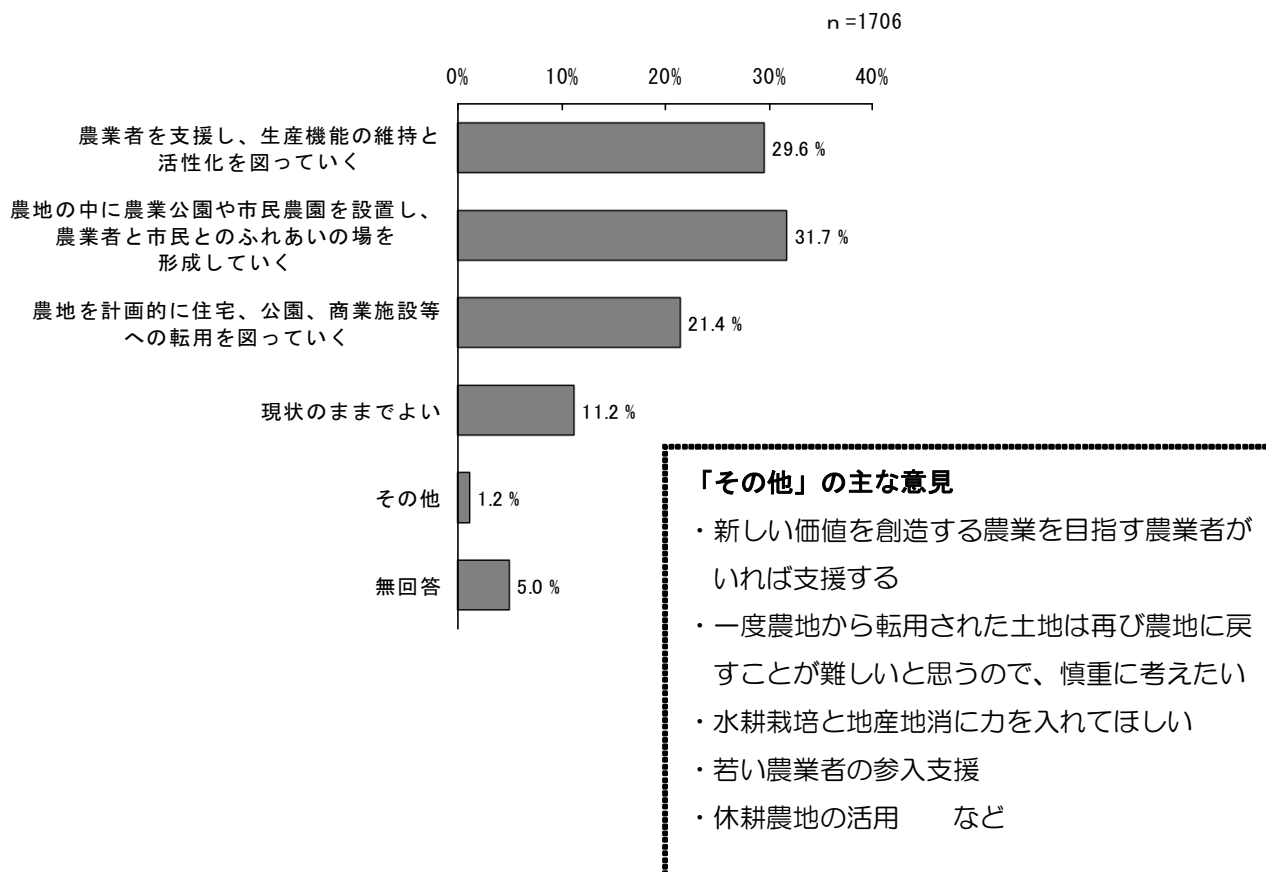
今後の商業用地の望ましいあり方として、最も多い回答は、川田谷地区では「幹線道路沿いの大規模商業施設の誘致」、それ以外の地区では「桶川駅周辺の商業機能の充実」となっている。旧桶川東地区では「桶川駅周辺の商業機能の充実」、上下日出谷地区では「近隣型商業の分散立地」が他地区と比較して多い。川田谷地区では「桶川駅周辺の商業機能の充実」と「近隣型商業の分散立地」が同率であるなど、特徴ある回答となっている。



**問 10 今後の市街化調整区域内の農地のあり方について、あなたはどのような方向が望ましいとお考えですか。(〇は1つ)**

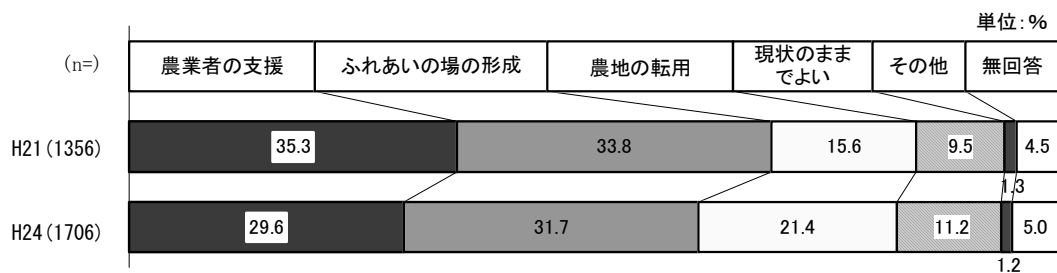
**全 体**

「農地の中に農業公園や市民農園を設置し、農業者と市民とのふれあいの場を形成していく」(以下、「ふれあいの場の形成」)との回答が31.7%と最も多く、次いで「農業者を支援し、生産機能の維持と活性化を図っていく」(以下、「農業者の支援」)29.6%、「農地を計画的に住宅、公園、商業施設等への転用を図っていく」(以下、「農地の転用」)21.4%などの順となっている。



**【経年変化】**

今後の市街化調整区域内の農地のあり方を、前回調査(平成21年度)と比較すると、「農業者の支援」「ふれあいの場の形成」がそれぞれ減少している一方で、「農地の転用」が増加している。



## 年 齢 別

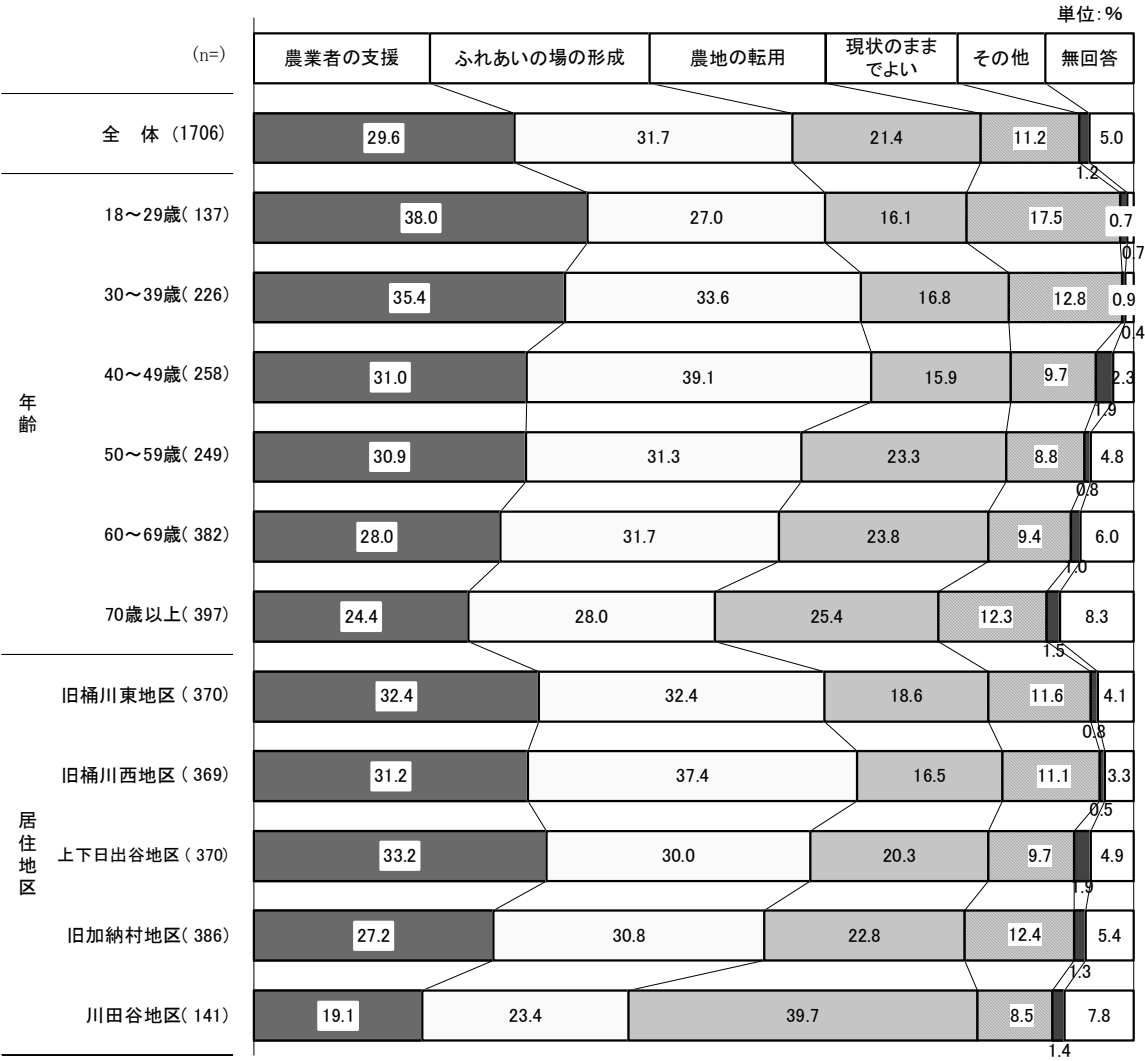
今後の市街化調整区域内の農地のあり方として、最も多い回答は、20～30 歳代では「農業者の支援」、40 歳以上では「ふれあいの場の形成」となっている。

「農業者の支援」は特に 20 歳代で多く、年代が低くなるにつれ増える傾向にある。「ふれあいの場の形成」は 40 歳代、「農地の転用」は 70 歳代で、他の年代と比較して多くなっている。

## 居住地区別

今後の市街化調整区域内の農地のあり方として、最も多い回答は、旧桶川西地区・旧加納村地区では「ふれあいの場の形成」、上下日出谷地区は「農業者の支援」、旧桶川東地区では「ふれあいの場の形成」と「農業者の支援」が同率、川田谷地区では「農地の転用」であるなど、居住地区により違いがみられる。

川田谷地区の「農地の転用」は4割近くと、他地区と比べ特に多くなっている。





### (3) 都市整備

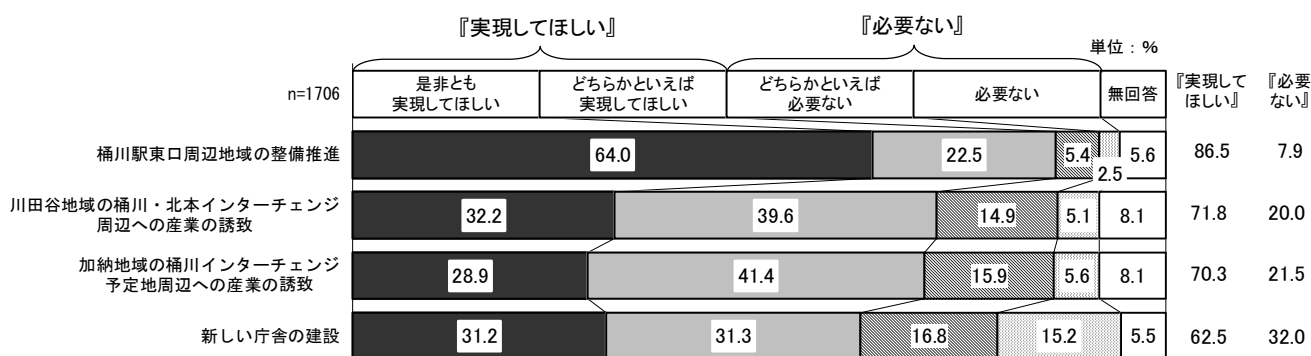
**問 11 市における長期的な都市整備に関する事業項目について、どのようにお考えですか。該当する番号にそれぞれ○をつけてください。**

#### 全 体

「桶川駅東口周辺地域の整備推進」については、『実現してほしい』（「是非とも実現してほしい」＋「どちらかといえば実現してほしい」）との回答が全体の8割以上となっており、長期的な都市整備に関する事業4項目中で最も要望が多くなっている。

「川田谷地域の桶川・北本インターチェンジ周辺への産業の誘致」「加納地域の桶川インターチェンジ予定地周辺への産業の誘致」については、全体の7割程度が実現を要望している。

一方、「新しい市役所庁舎の建設」については、実現への要望が4項目中では最も少なく、『必要ない』（「必要ない」＋「どちらかといえば必要ない」）との回答も、他事業と比較して多くなっている。



# ①桶川駅東口周辺地域の整備推進

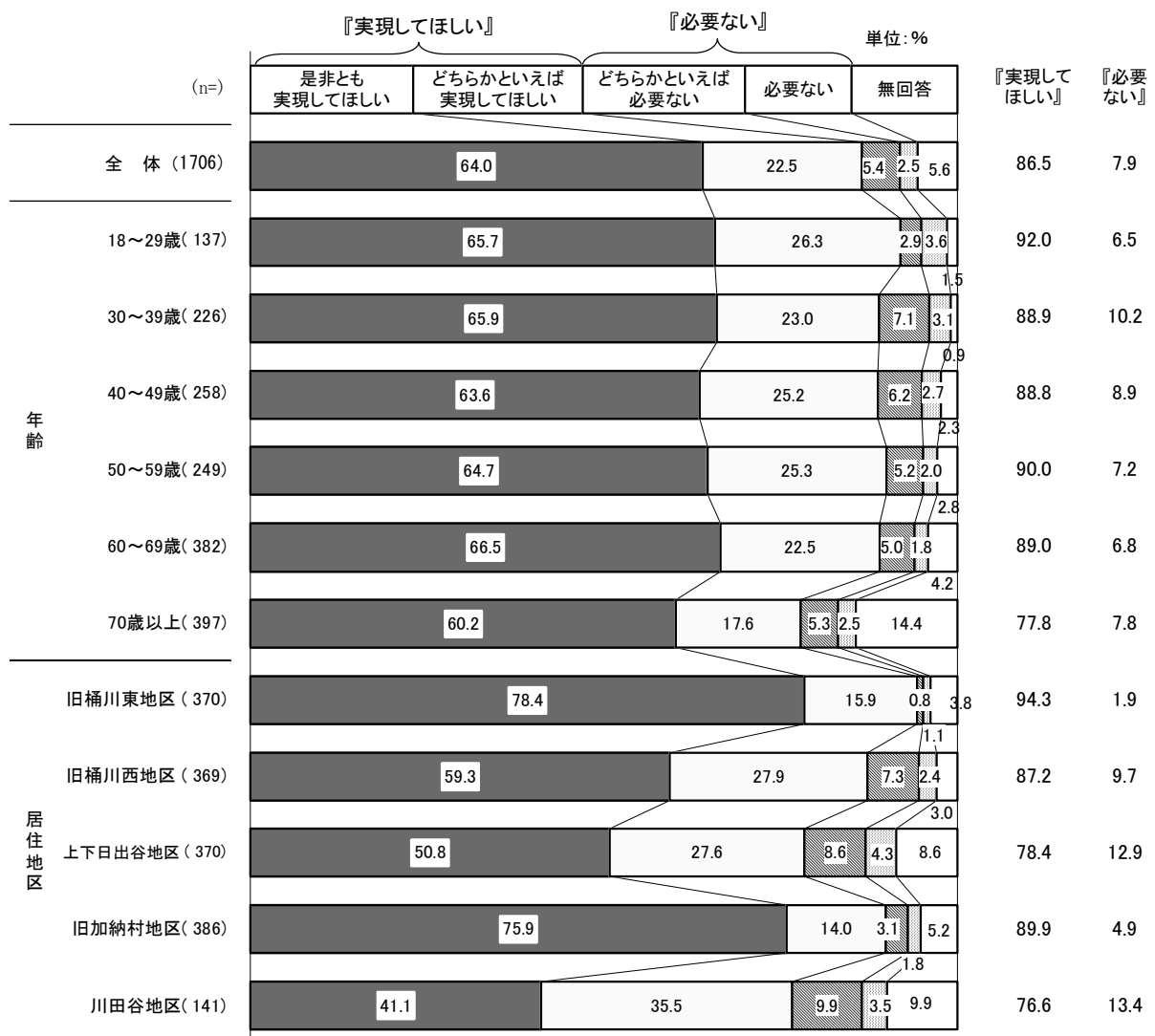
## 年 齢 別

桶川駅東口周辺地域の整備推進について、最も多い回答は、全ての年代で「是非とも実現してほしい」、次いで「どちらかといえば実現してほしい」となっている。

年代ごとの大きな違いは見られないが、『実現してほしい』（「是非とも実現してほしい」+「どちらかといえば実現してほしい」）との回答は、20歳代と50歳代で9割を超え、特に多くなっている。一方、70歳代は7割台後半と、他の世代に比べ少ない。

## 居住地区別

桶川駅東口周辺地域の整備推進について、最も多い回答は、全ての地区で「是非とも実現してほしい」であり、旧桶川地区と旧加納村地区で7割台と、特に多くなっている。『実現してほしい』（「是非とも実現してほしい」+「どちらかといえば実現してほしい」）との回答は、旧桶川東地区、次いで旧加納村地区、旧桶川西地区の順であり、上下日出谷地区と川田谷地区では7割台と、他の地区に比べ少ない。



## ②川田谷地域の桶川・北本インターチェンジ周辺への産業の誘致

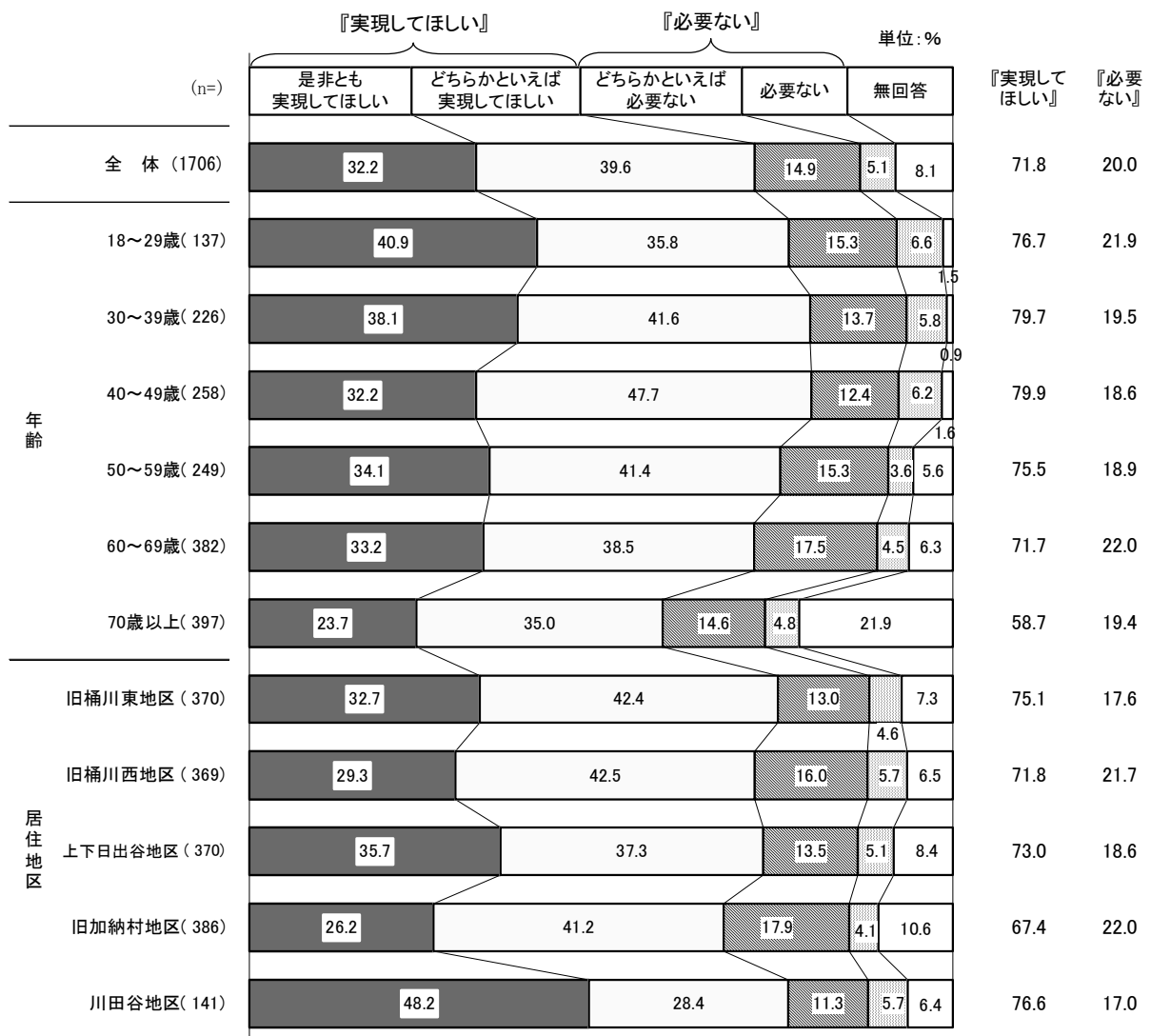
### 年 齢 別

川田谷地域の桶川・北本インターチェンジ周辺への産業の誘致について、最も多い回答は、20歳代を除いた年代で「どちらかといえば実現してほしい」となっている。

『実現してほしい』（「是非とも実現してほしい」＋「どちらかといえば実現してほしい」）との回答は、70歳以上を除き、いずれも7割を超える。70歳以上のみ5割台と少なくなっているが、一方で無回答も2割強と多い。

### 居住地区別

川田谷地域の桶川・北本インターチェンジ周辺への産業の誘致について、最も多い回答は、川田谷地区では「是非とも実現してほしい」、それ以外の地区では「どちらかといえば実現してほしい」となっており、川田谷地区で実現を求める要望が多い。



### ③加納地域の桶川インターチェンジ予定地周辺への産業の誘致

#### 年 齢 別

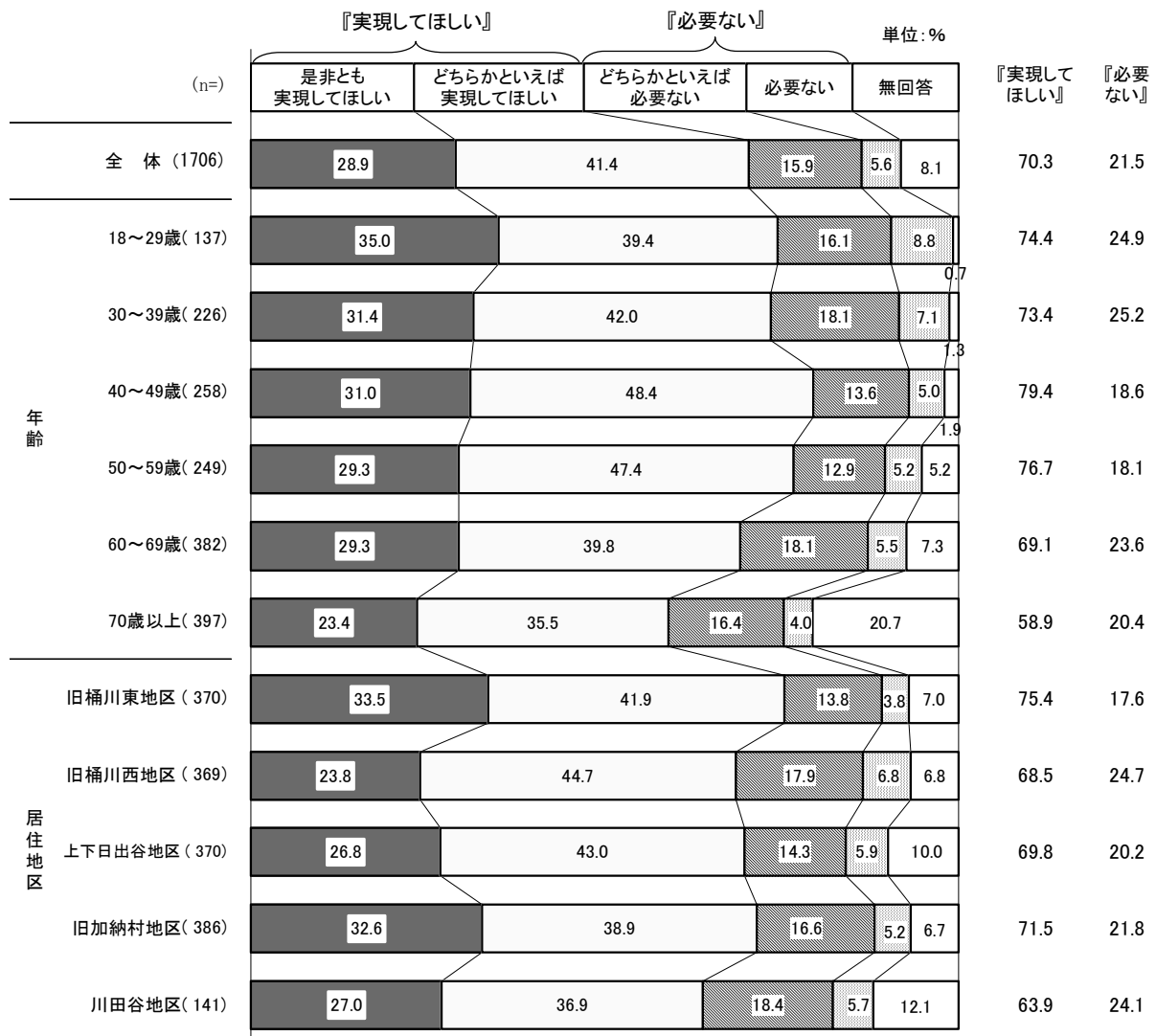
加納地域の桶川インターチェンジ予定地周辺への産業の誘致について、最も多い回答は、全ての年代で「どちらかといえば実現してほしい」となっている。

『実現してほしい』（「是非とも実現してほしい」＋「どちらかといえば実現してほしい」）との回答が最も多いのは40歳代で、8割近くにのぼる。一方、最も少ないのは70歳以上となっており、20歳～50歳代で実現を求める要望が多い。

#### 居住地区別

加納地域の桶川インターチェンジ予定地周辺への産業の誘致について、全ての地区で「どちらかといえば実現してほしい」と答えた人の割合が最も多くなっている。

『実現してほしい』（「是非とも実現してほしい」＋「どちらかといえば実現してほしい」）との回答が最も多いのは旧桶川東地区、次いで旧加納村地区、上下出谷地区、旧桶川西地区の順であり、最も少ないのは川田谷地区である。



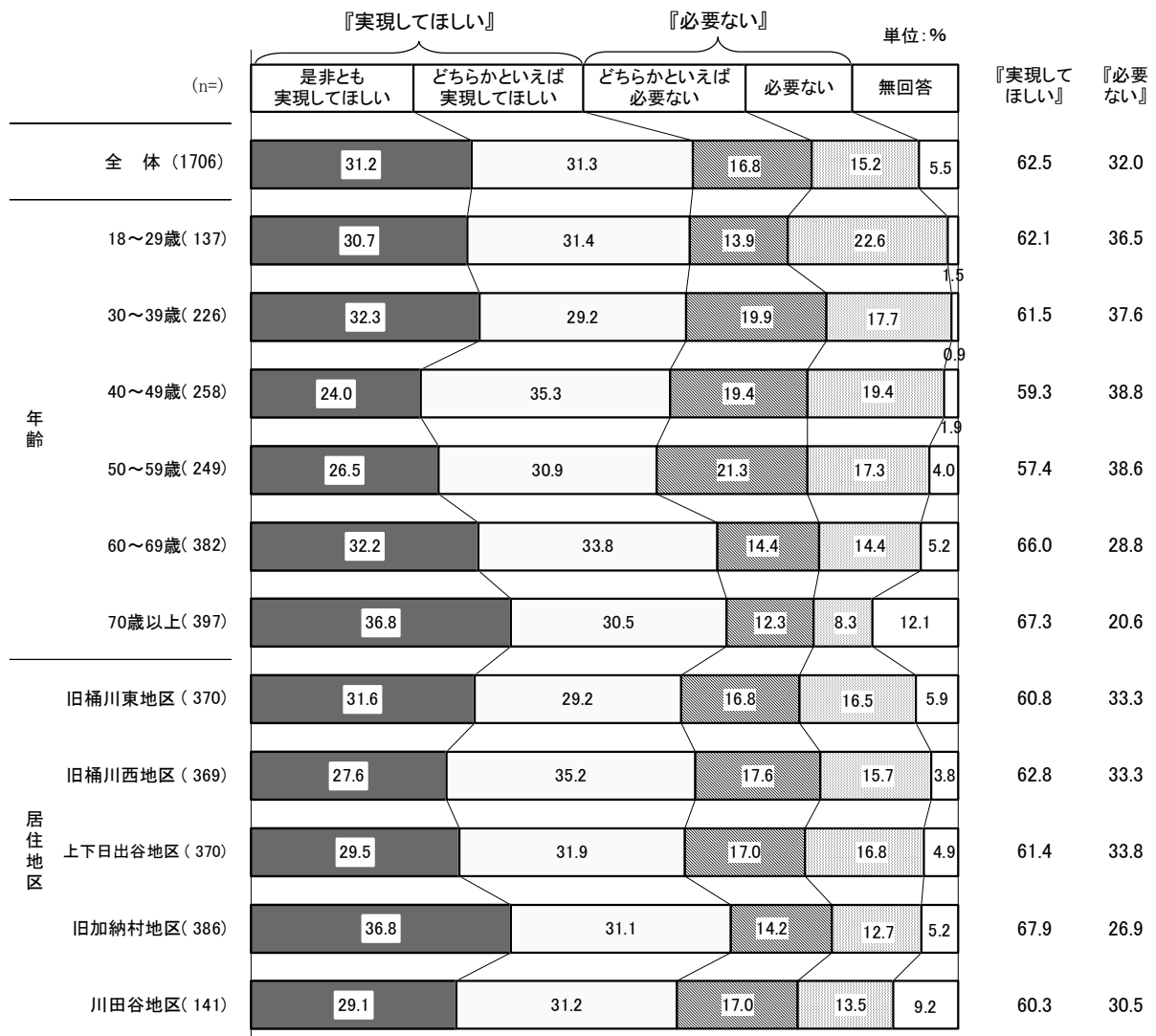
#### ④新しい市役所庁舎の建設

##### 年 齢 別

新しい市役所庁舎の建設について、『実現してほしい』（「是非とも実現してほしい」＋「どちらかといえば実現してほしい」）との回答が最も多いのは70歳以上で、最も少ない50歳代でも半数を超えている。一方で、『必要ない』（「どちらかといえば必要ない」＋「必要ない」）との回答は、40歳代が最も多いが、60歳以上では2割台と他の年代に比べて少なく、特に高齢層で実現を求める要望が多くなっている。

##### 居住地区別

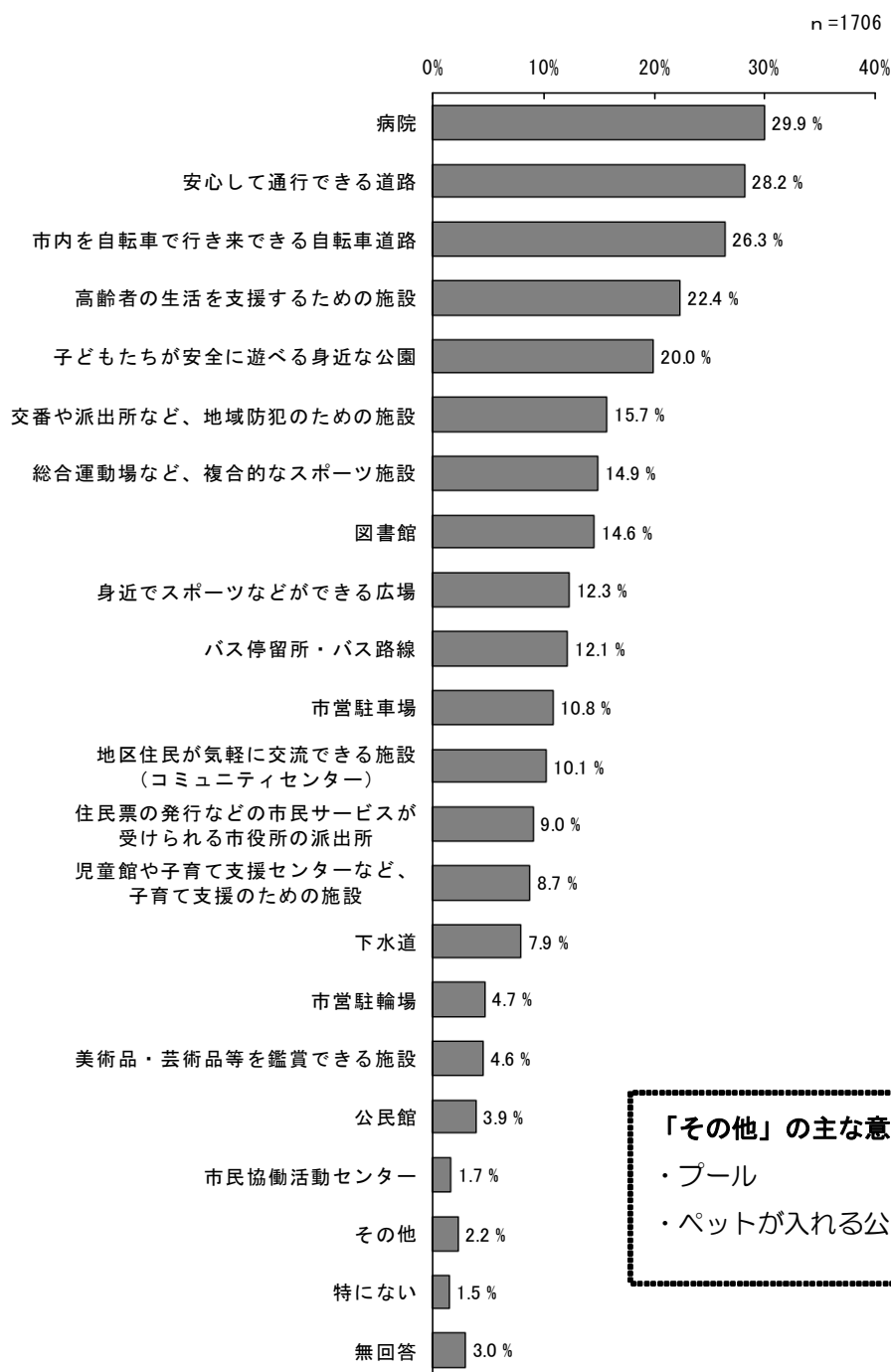
新しい市役所庁舎の建設について、最も多い回答は、旧桶川東地区・旧加納村地区では「是非とも実現して欲しい」、それ以外の地区では「どちらかといえば実現して欲しい」となっている。『実現してほしい』（「是非とも実現して欲しい」＋「どちらかといえば実現して欲しい」）との回答が最も多いのは旧加納村地区、次いで旧桶川西地区であるが、いずれの地区も6割台となっており、居住地区による大きな差はみられない。



問 12 お住まいの地域や市内に特に整備を望む公共施設はありますか。(〇は3つまで)

全 体

「病院」29.9%との回答が最も多く、次いで「安心して通行できる道路」28.2%、「市内を自転車で行き来できる自転車道路」26.3%、「高齢者の生活を支援するための施設」22.4%、「子どもたちが安全に遊べる身近な公園」20.0%などが主なところであり、医療や保健・福祉、道路や公園などの都市基盤へのニーズが高くなっている。



## 【経年変化】

居住地域や市内に特に整備を望む公共施設を、前回調査（平成21年度）と比較すると、「病院」「市内を自転車で行き来できる自転車道路」「子どもたちが安全に遊べる身近な公園」「交番や派出所など、地域防犯のための施設」がそれぞれ第1位、3位、5位、6位で同順位となっている。

その他、「身近でスポーツなどができる広場」は割合・順位ともにやや低下しているものの、「総合運動場など、複合的なスポーツ施設」は割合・順位とも上がっており、全体としてスポーツ施設へのニーズが高まっている。（注：「身近でスポーツ～」は平成21年度と表現が異なる）

順位	前回調査 (平成21年度)		今回調査 (平成24年度)		H21との 順位比較
	施設名	割合	施設名	割合	
1位	病院	28.6%	病院	29.9%	→
2位	高齢者の生活を支援するための施設	23.9%	安心して通行できる道路	28.2%	↗
3位	市内を自転車で行き来できる自転車道路	23.7%	市内を自転車で行き来できる自転車道路	26.3%	→
4位	安心して通行できる道路	23.5%	高齢者の生活を支援するための施設	22.4%	↘
5位	子どもたちが安全に遊べる身近な公園	19.5%	子どもたちが安全に遊べる身近な公園	20.0%	→
6位	交番や派出所など、地域防犯のための施設	16.6%	交番や派出所など、地域防犯のための施設	15.7%	→
7位	図書館	15.6%	総合運動場など、複合的なスポーツ施設	14.9%	↗
8位	広場やグラウンドなど、身近でスポーツができる施設	12.8%	図書館	14.6%	↘
9位	バス停留所・バス路線	12.5%	身近でスポーツなどができる広場	12.3%	↘
10位	市営駐車場	10.8%	バス停留所・バス路線	12.1%	↘

※平成21年度と24年度では、選択肢の表現が若干異なるものがある。

## 年 齢 別

居住地域や市内に特に整備を望む公共施設として、いずれの年代も、「病院」「安心して通行できる道路」を上位にあげている。年代ごとに特徴的な回答として、20歳代は「図書館」「総合運動場など、複合的なスポーツ施設」、30～40歳代は「子どもたちが安全に遊べる身近な公園」、60歳以上では「高齢者の生活を支援するための施設」などがあげられる。また、30～50歳では「市内を自転車で行き来できる自転車道路」へのニーズも高い。

注意: 白文字 =1位 黒文字 =2位

		回答者数	病院	安心して通行できる道路	市内を自転車で行き来できる自転車道路	高齢者の生活を支援するための施設	子どもたちが安全に遊べる身近な公園	交番や派出所など、地域防犯のための施設	総合運動場など、複合的なスポーツ施設	図書館	身近でスポーツなどができる広場
全体	人数	1706	510	481	449	382	341	268	254	249	209
	構成比		29.9%	28.2%	26.3%	22.4%	20.0%	15.7%	14.9%	14.6%	12.3%
18～29歳	人数	137	28	37	24	9	25	18	29	35	22
	構成比		20.4%	27.0%	17.5%	6.6%	18.2%	13.1%	21.2%	25.5%	16.1%
30～39歳	人数	226	71	71	60	13	62	31	36	53	31
	構成比		31.4%	31.4%	26.5%	5.8%	27.4%	13.7%	15.9%	23.5%	13.7%
40～49歳	人数	258	69	83	62	35	67	31	62	52	44
	構成比		26.7%	32.2%	24.0%	13.6%	26.0%	12.0%	24.0%	20.2%	17.1%
50～59歳	人数	249	81	73	61	57	41	41	38	35	24
	構成比		32.5%	29.3%	24.5%	22.9%	16.5%	16.5%	15.3%	14.1%	9.6%
60～69歳	人数	382	115	97	115	108	83	63	50	37	45
	構成比		30.1%	25.4%	30.1%	28.3%	21.7%	16.5%	13.1%	9.7%	11.8%
70歳以上	人数	397	122	109	111	143	52	74	33	28	38
	構成比		30.7%	27.5%	28.0%	36.0%	13.1%	18.6%	8.3%	7.1%	9.6%
属性無記入	人数	57	24	11	16	17	11	10	6	9	5
	構成比		42.1%	19.3%	28.1%	29.8%	19.3%	17.5%	10.5%	15.8%	8.8%

		バス停留所・バス路線	市営駐車場	地区住民が気軽に交流できる施設(コミュニティセンター)	住民票の発行などの市民サービスが受けられる市役所の派出所	児童館や子育て支援センターなど、子育て支援のための施設	下水道	市営駐輪場	美術品・芸術品等を鑑賞できる施設	公民館	市民協活動センター
全体	人数	206	185	173	154	148	135	80	78	66	29
	構成比	12.1%	10.8%	10.1%	9.0%	8.7%	7.9%	4.7%	4.6%	3.9%	1.7%
18～29歳	人数	21	15	3	19	21	3	8	12	7	0
	構成比	15.3%	10.9%	2.2%	13.9%	15.3%	2.2%	5.8%	8.8%	5.1%	0.0%
30～39歳	人数	30	19	12	19	41	17	10	12	5	1
	構成比	13.3%	8.4%	5.3%	8.4%	18.1%	7.5%	4.4%	5.3%	2.2%	0.4%
40～49歳	人数	41	21	18	20	24	10	13	11	7	5
	構成比	15.9%	8.1%	7.0%	7.8%	9.3%	3.9%	5.0%	4.3%	2.7%	1.9%
50～59歳	人数	38	29	24	20	12	23	16	10	12	10
	構成比	15.3%	11.6%	9.6%	8.0%	4.8%	9.2%	6.4%	4.0%	4.8%	4.0%
60～69歳	人数	28	45	56	28	34	40	15	13	20	8
	構成比	7.3%	11.8%	14.7%	7.3%	8.9%	10.5%	3.9%	3.4%	5.2%	2.1%
70歳以上	人数	44	51	56	38	11	39	15	19	15	4
	構成比	11.1%	12.8%	14.1%	9.6%	2.8%	9.8%	3.8%	4.8%	3.8%	1.0%
属性無記入	人数	4	5	4	10	5	3	3	1	0	1
	構成比	7.0%	8.8%	7.0%	17.5%	8.8%	5.3%	5.3%	1.8%	0.0%	1.8%

		その他	特にない	無回答
全体	人数	38	25	51
	構成比	2.2%	1.5%	3.0%
18～29歳	人数	3	4	0
	構成比	2.2%	2.9%	0.0%
30～39歳	人数	9	3	3
	構成比	4.0%	1.3%	1.3%
40～49歳	人数	6	6	4
	構成比	2.3%	2.3%	1.6%
50～59歳	人数	4	3	8
	構成比	1.6%	1.2%	3.2%
60～69歳	人数	7	6	11
	構成比	1.8%	1.6%	2.9%
70歳以上	人数	7	3	22
	構成比	1.8%	0.8%	5.5%
属性無記入	人数	2	0	3
	構成比	3.5%	0.0%	5.3%



## 居住地区別

居住地域や市内に特に整備を望む公共施設として、最も多い回答は、旧桶川東地区・旧加納村地区では「安心して通行できる道路」（旧加納村地区は、「市内を行き来できる自転車道路」も同率）、それ以外の地区では「病院」となっており、地区ごとの特徴は以下のようになっている。

旧桶川東地区	安心して通行できる道路（33.8%） 子どもたちが安全に遊べる身近な公園（31.1%）
旧桶川西地区	病院（32.2%）
上下日出谷地区	病院（33.0%） 交番や派出所など、地域防犯のための施設（23.2%） バス停留所・バス路線（16.5%）
旧加納村地区	総合運動場など、複合的なスポーツ施設（17.4%） 住民票の発行などの市民サービスが受けられる市役所の派出所（12.2%）
川田谷地区	下水道（27.0%） バス停留所・バス路線（21.3%） 市営駐車場（17.7%） 住民票の発行などの市民サービスが受けられる市役所の派出所（17.7%）

注意: 白文字 =1位 黒文字 =2位

		回答者数	病院	安心して通行できる道路	市内を自転車で行き来できる自転車道路	高齢者の生活を支援するための施設	子どもたちが安全に遊べる身近な公園	交番や派出所など、地域防犯のための施設	総合運動場など、複合的なスポーツ施設
全体	人数	1706	510	481	449	382	341	268	254
	構成比		29.9%	28.2%	26.3%	22.4%	20.0%	15.7%	14.9%
旧桶川東地区	人数	370	115	125	99	71	115	47	58
	構成比		31.1%	33.8%	26.8%	19.2%	31.1%	12.7%	15.7%
旧桶川西地区	人数	369	119	110	102	82	56	56	57
	構成比		32.2%	29.8%	27.6%	22.2%	15.2%	15.2%	15.4%
上下日出谷地区	人数	370	122	97	98	83	61	86	52
	構成比		33.0%	26.2%	26.5%	22.4%	16.5%	23.2%	14.1%
旧加納村地区	人数	386	87	98	98	92	74	57	67
	構成比		22.5%	25.4%	25.4%	23.8%	19.2%	14.8%	17.4%
川田谷地区	人数	141	40	37	28	35	18	8	13
	構成比		28.4%	26.2%	19.9%	24.8%	12.8%	5.7%	9.2%
属性無記入	人数	70	27	14	24	19	17	14	7
	構成比		38.6%	20.0%	34.3%	27.1%	24.3%	20.0%	10.0%

		図書館	身近でスポーツなどができる広場	バス停留所・バス路線	市営駐車場	地区住民が気軽に交流できる施設（コミュニティセンター）	住民票の発行などの市民サービスが受けられる市役所の派出所	児童館や子育て支援センターなど、子育て支援のための施設	下水道
全体	人数	249	209	206	185	173	154	148	135
	構成比	14.6%	12.3%	12.1%	10.8%	10.1%	9.0%	8.7%	7.9%
旧桶川東地区	人数	57	51	26	32	33	19	37	11
	構成比	15.4%	13.8%	7.0%	8.6%	8.9%	5.1%	10.0%	3.0%
旧桶川西地区	人数	58	51	31	28	35	24	33	13
	構成比	15.7%	13.8%	8.4%	7.6%	9.5%	6.5%	8.9%	3.5%
上下日出谷地区	人数	57	46	61	47	39	26	25	31
	構成比	15.4%	12.4%	16.5%	12.7%	10.5%	7.0%	6.8%	8.4%
旧加納村地区	人数	60	49	52	46	46	47	37	36
	構成比	15.5%	12.7%	13.5%	11.9%	11.9%	12.2%	9.6%	9.3%
川田谷地区	人数	7	8	30	25	14	25	9	38
	構成比	5.0%	5.7%	21.3%	17.7%	9.9%	17.7%	6.4%	27.0%
属性無記入	人数	10	4	6	7	6	13	7	6
	構成比	14.3%	5.7%	8.6%	10.0%	8.6%	18.6%	10.0%	8.6%

		市営駐輪場	美術品・芸術品等を鑑賞できる施設	公民館	市民協働活動センター	その他	特にない	無回答
全体	人数	80	78	66	29	38	25	51
	構成比	4.7%	4.6%	3.9%	1.7%	2.2%	1.5%	3.0%
旧桶川東地区	人数	22	21	16	5	9	2	12
	構成比	5.9%	5.7%	4.3%	1.4%	2.4%	0.5%	3.2%
旧桶川西地区	人数	15	20	12	9	7	11	12
	構成比	4.1%	5.4%	3.3%	2.4%	1.9%	3.0%	3.3%
上下日出谷地区	人数	14	13	15	4	7	4	10
	構成比	3.8%	3.5%	4.1%	1.1%	1.9%	1.1%	2.7%
旧加納村地区	人数	21	16	21	7	6	6	7
	構成比	5.4%	4.1%	5.4%	1.8%	1.6%	1.6%	1.8%
川田谷地区	人数	4	7	2	3	6	2	8
	構成比	2.8%	5.0%	1.4%	2.1%	4.3%	1.4%	5.7%
属性無記入	人数	4	1	0	1	3	0	2
	構成比	5.7%	1.4%	0.0%	1.4%	4.3%	0.0%	2.9%

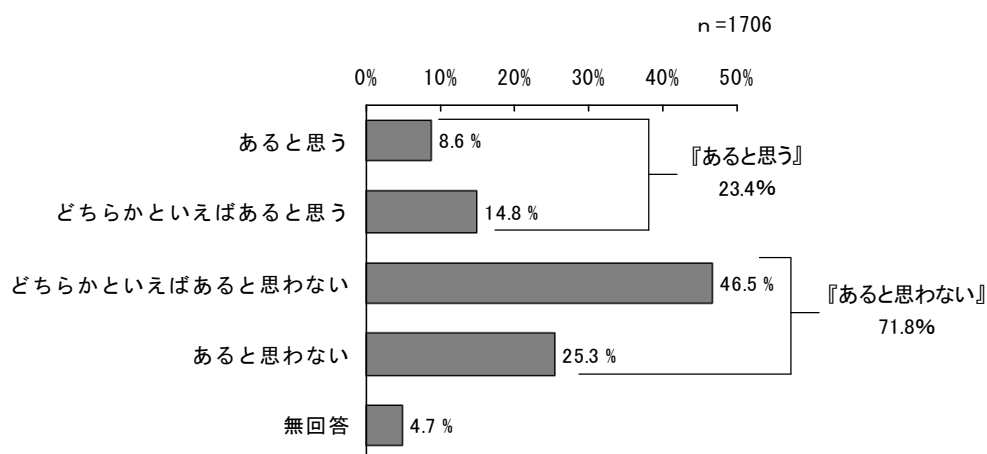
(4) 景観

問 13 あなたは、桶川市には優れた景観があると思いますか。(○は1つ)

全 体

「どちらかといえばあると思わない」との回答が 46.5%と最も多く、次いで「あると思わない」25.3%、「どちらかといえばあると思う」14.8%などとなっている。

『あると思わない』（「どちらかといえばあると思わない」＋「あると思わない」）は 71.8%と、全体の7割以上は優れた景観がないとしている。



性 別

桶川市には優れた景観があるかについて、最も多い回答は、男女とも「どちらかといえばあると思わない」となっており、性別による違いは見られない。

(n=)	『あると思う』		『あると思わない』		無回答	『あると 思う』	『あると 思わない』
	あると思う	どちらかといえば あると思う	どちらかといえば あると思わない	あると 思わない			
全 体 (1706)	8.6	14.8	46.5	25.3	4.7	23.4	71.8
男 性 ( 743)	8.6	16.3	44.7	26.0	4.4	24.9	70.7
女 性 ( 893)	8.5	13.9	48.5	24.5	4.6	22.4	73.0

単位: %

## 年 齢 別

桶川市には優れた景観があるかについて、最も多い回答は、全ての年代で「どちらかといえ  
ばあると思わない」となっている。

『あると思う』（「あると思う」＋「どちらかといえばあると思う」）との回答が最も多いのは  
40歳代、次いで20歳代、50歳代と続き、最も少ないのは30歳代となっている。

30歳代は、『あると思わない』（「あると思う」＋「どちらかといえばあると思う」）が8割  
近くを占め、景観への評価が低い。

## 居住地区別

桶川市には優れた景観があるかについて、最も多い回答は、全ての地区において「どちらか  
といえばあると思わない」となっている。

『あると思う』（「あると思う」＋「どちらかといえばあると思う」）との回答は、川田谷地区  
のみ3割を超え、他の地区と比較して特に多い。

	(n=)	『あると思う』		『あると思わない』		無回答	『あると 思う』	『あると 思わない』
		あると思う	どちらかといえ ばあると思う	どちらかといえ ばあると思わ ない	あると 思わ ない			
全 体 (1706)		8.6	14.8	46.5	25.3	4.7	23.4	71.8
年 齢	18～29歳(137)	13.1	12.4	46.0	27.7	0.7	25.5	73.7
	30～39歳(226)	8.4	12.4	53.1	25.2	0.9	20.8	78.3
	40～49歳(258)	10.5	15.9	47.3	24.4	1.9	26.4	71.7
	50～59歳(249)	8.8	16.1	47.4	24.5	3.2	24.9	71.9
	60～69歳(382)	7.6	16.0	47.9	24.1	4.5	23.6	72.0
	70歳以上(397)	6.5	14.9	41.6	26.2	10.8	21.4	67.8
	居 住 地 区	旧桶川東地区(370)	7.6	13.8	47.8	26.8	4.1	21.4
旧桶川西地区(369)		7.9	14.1	52.8	22.0	3.3	22.0	74.8
上下日出谷地区(370)		10.5	14.6	45.1	25.1	4.6	25.1	70.2
旧加納村地区(386)		6.2	15.0	46.9	27.5	4.4	21.2	74.4
川田谷地区(141)		14.2	22.7	31.9	22.0	9.2	36.9	53.9

問 14 問 13 で、「1. あると思う」、あるいは、「2. どちらかといえばあると思う」を選んだ方におたずねします。特に優れた景観として挙げられるものを具体的にお書きください。

桶川市の優れた景観としては、以下のようなものがあげられた。

**【第1位】自然・緑（51件）**

- ・点在している雑木林と田んぼの風情
- ・少し街をはずれると、緑豊かな環境が残っている
- ・整備されないままの江川あたりの湿地がある
- ・白鷺がいること

**【第2位】富士山の見える風景（45件）**

- ・富士山が見える場所が沢山ある
- ・橋（太郎右工門橋・べにばな陸橋等）から見る富士山
- ・荒川土手から見る富士山

**【第3位】川田谷（37件）**

- ・川田谷や加納の田園風景や林

**【第4位】荒川（34件）**

- ・荒川が流れている様子を見ていると気持ちが落ち着く
- ・荒川沿いの奥武蔵の山々が見える場所
- ・夕方になると荒川の土手がとてもきれいで、雉きじを見かけるとうれしい

**【第5位】城山公園（31件）**

- ・城山公園の桜の木が大きくなり、毎年お花見が楽しみです
- ・城山公園は他市近隣の公園と比べても上位に入ります

**【第6位】旧中山道桶川宿（29件）**

- ・中山道沿いの昔ながらの宿場の街並み
- ・家具屋のレンガ造りの倉庫など

**【第7位】桶川駅西口（21件）**

- ・西口から市民ホールへ向かうけやき通りや、市民ホール周りの青々した緑など駅から近い場所にはなかなかないと思います
- ・桶川駅西口文学館への道路通りの季節ごとに変化してゆく景観

**【第8位】泉福寺（20件）**

- ・泉福寺周辺の見晴らしの良さ、また泉福寺そのもの
- ・泉福寺のまわりは大変自然に恵まれていて良い

**【第9位】べに花ふるさと館（17件）**

- ・べに花ふるさと館のある全体的な景観、建物の中も外もすばらしい
- ・ライトアップしている夜のべに花ふるさと館

**【第10位】べにばな・べにばな畑（12件）**

- ・べに花などの季節の畑

**【その他】**

- ・田園風景、農家住宅と屋敷林
- ・ホンダ飛行場
- ・普門寺の枝垂桜、明星院の桜、篠津地区の赤堀の土手の桜並木
- ・橋（太郎右工門橋、べに花陸橋）から見る景色
- ・さいたま文学館やわんぱく村などの施設周辺

### 3. 分野ごとの状況について

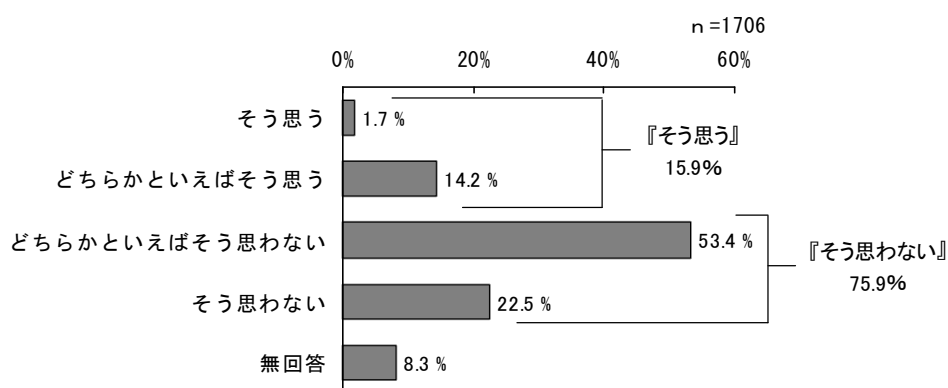
#### (1) 協働のまちづくり

**問 15 あなたは、桶川市では、協働のまちづくりが進んでいると思いますか。(〇は1つ)**

#### 全 体

「どちらかといえばそう思わない」との回答が53.4%と最も多く、次いで「そう思わない」22.5%、「どちらかといえばそう思う」14.2%などとなっている。「そう思う」との回答はわずかである。

『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）は75.9%と、全体の7割以上は協働のまちづくりは進んでいないとしている。



#### 性 別

桶川市では協働のまちづくりが進んでいるかについて、最も多い回答は、男女とも「どちらかといえばあると思わない」となっており、性別による違いは見られない。

(n=)	『そう思う』					『そう思わない』		『そう思う』	『そう思わない』
	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答				
全 体 (1706)	1.7	14.2	53.4	22.5	8.3	15.9	75.9		
男 (743)	2.0	14.0	53.8	23.6	6.6	16.0	77.4		
女 (893)	1.1	14.4	53.9	21.4	9.2	15.5	75.3		

単位：%

## 年 齢 別

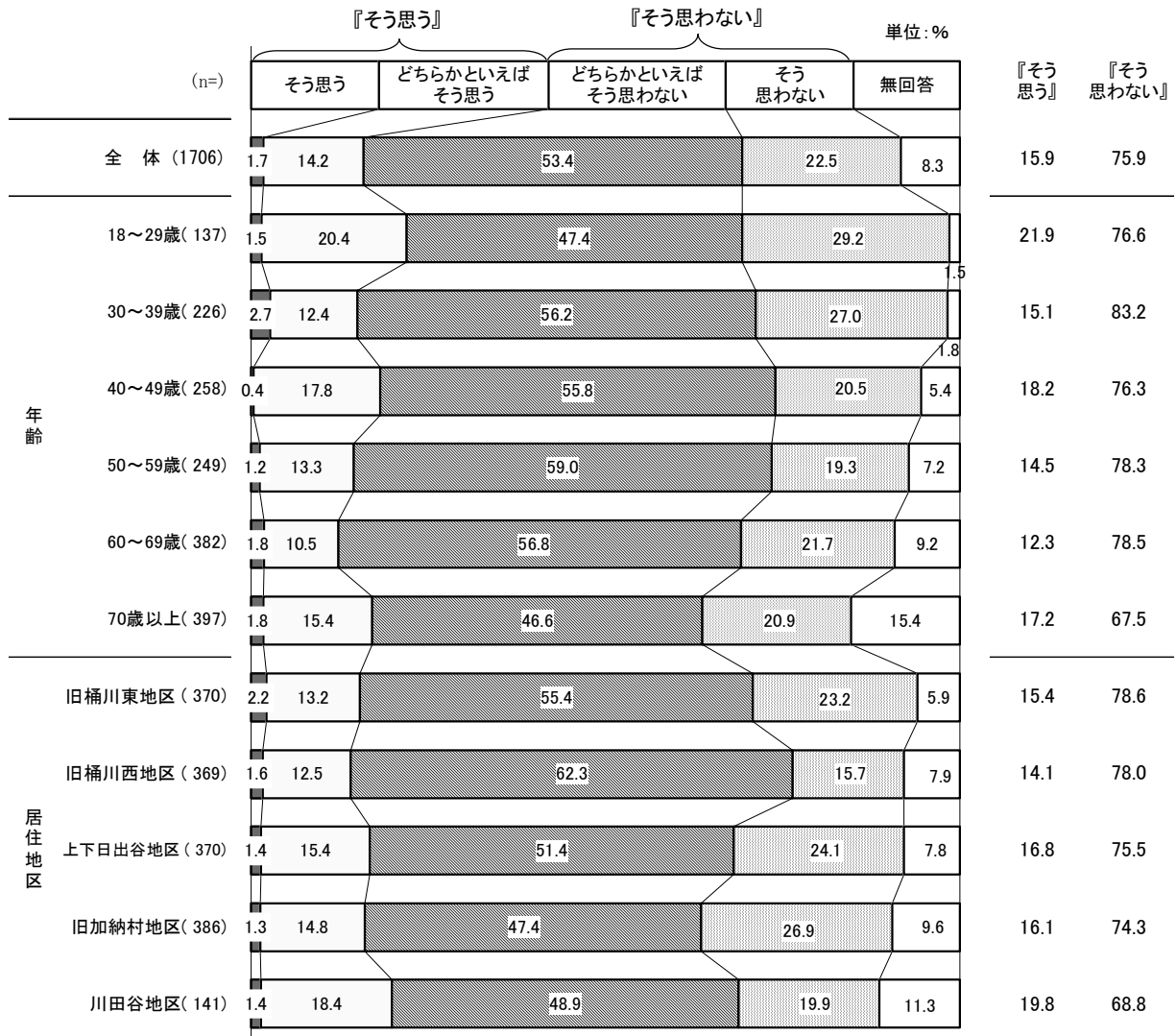
桶川市では協働のまちづくりが進んでいるかについて、最も多い回答は、全ての年代で「どちらかといえばそう思わない」となっている。

『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）との回答は、20歳代、次いで40歳代、70歳代などで多く、最も少ないのは60歳代である。一方、『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）は30歳代が最も多く、8割を超えている。

## 居住地区別

桶川市では協働のまちづくりが進んでいるかについて、最も多い回答は、全ての居住地区で「どちらかといえばそう思わない」となっている。

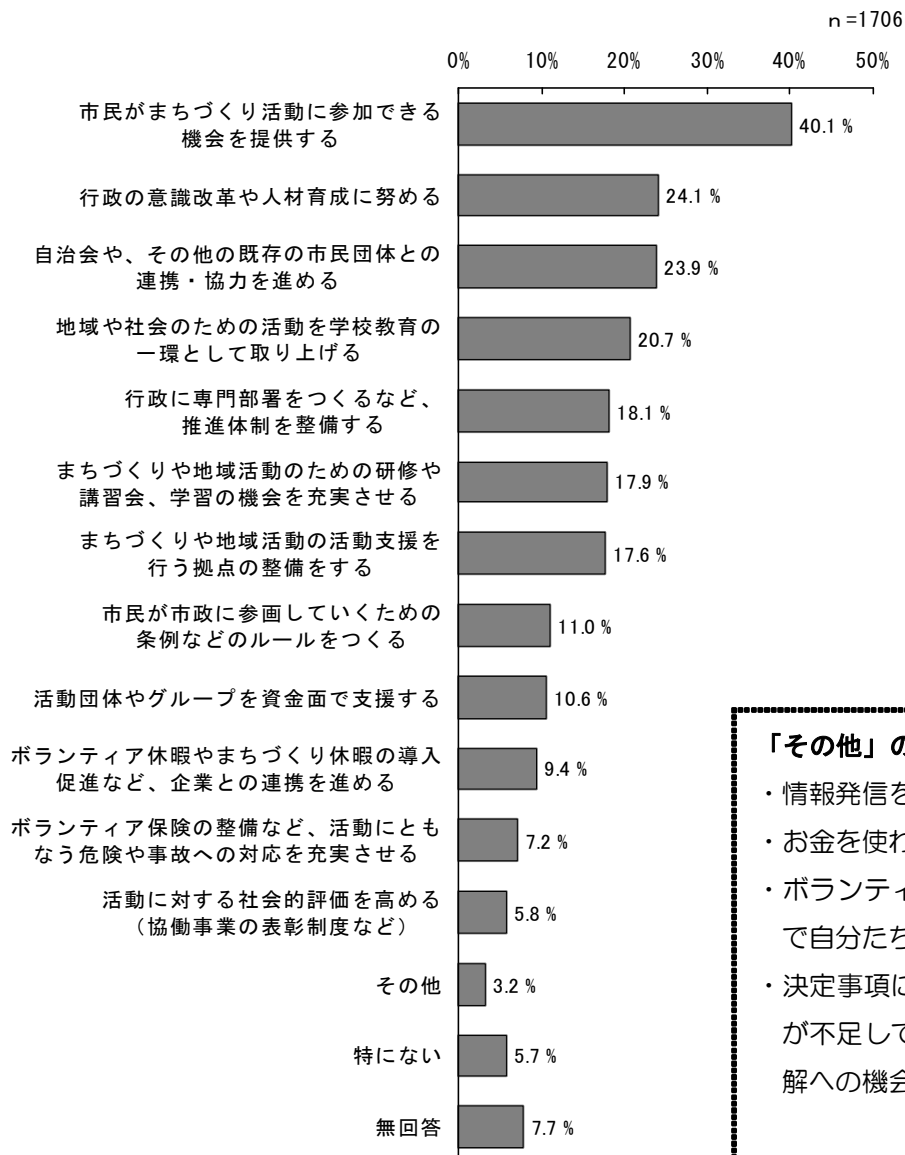
一方、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）との回答は、川田谷地区が最も多く、2割近い。



**問 16 桶川市が今後さらに「協働のまちづくり」を進める上で、市が特に取り組むべきことは何だと思えますか。(〇は3つまで)**

**全 体**

「市民がまちづくり活動に参加できる機会を提供する」(以下、「参加できる機会の提供」と)の回答が 40.1%と最も多い。次いで「行政の意識改革や人材育成に努める」(以下、「行政の意識改革・人材育成」) 24.1%、「自治会や、その他の既存の市民団体との連携・協力を進める」(以下、「既存市民団体との連携・協力」) 23.9%、「地域や社会のための活動を学校教育の一環として取り上げる」(以下、「学校教育に取り上げる」) 20.7%などが主なところである。



## 性別

「協働のまちづくり」を進めるうえで、市が特に取り組むべきことについて、最も多い回答は、男女ともに全体と同じ「参加できる機会の提供」、次いで男性は「既存市民団体との連携・協力」、女性は「行政の意識改革・人材育成」となっている。

性別で特徴的な回答としては、「行政に専門部署をつくるなど、推進体制を整備する」や「市民が市政に参画していくための条例などのルールをつくる」では男性が、「学校教育に取り上げる」は女性が、それぞれ上回る。

注意: 白文字 = 1位 黒文字 = 2位

		回答者数	市民がまちづくり活動に参加できる機会を提供する	行政の意識改革や人材育成に努める	自治会や、その他の既存の市民団体との連携・協力を進める	地域や社会のための活動を学校教育の一環として取り上げる	行政に専門部署をつくるなど、推進体制を整備する	まちづくりや地域活動のための研修や講習会、学習の機会を充実させる	まちづくりや地域活動の活動支援を行う拠点の整備をする
全体	人数	1706	684	411	408	353	308	306	300
	構成比		40.1%	24.1%	23.9%	20.7%	18.1%	17.9%	17.6%
男性	人数	743	286	177	198	145	156	139	144
	構成比		38.5%	23.8%	26.6%	19.5%	21.0%	18.7%	19.4%
女性	人数	893	377	210	191	199	137	150	148
	構成比		42.2%	23.5%	21.4%	22.3%	15.3%	16.8%	16.6%
属性無記入	人数	70	21	24	19	9	15	17	8
	構成比		30.0%	34.3%	27.1%	12.9%	21.4%	24.3%	11.4%

		市民が市政に参画していくための条例などのルールをつくる	活動団体やグループを資金面で支援する	ボランティア休暇やまちづくり休暇の導入促進など、企業との連携を進める	ボランティア保険の整備など、活動にともなう危険や事故への対応を充実させる	活動に対する社会的評価を高める(協働事業の表彰制度など)	その他	特にない	無回答
全体	人数	187	181	160	123	99	54	98	132
	構成比	11.0%	10.6%	9.4%	7.2%	5.8%	3.2%	5.7%	7.7%
男性	人数	105	71	73	51	49	31	34	50
	構成比	14.1%	9.6%	9.8%	6.9%	6.6%	4.2%	4.6%	6.7%
女性	人数	75	102	81	66	48	22	61	73
	構成比	8.4%	11.4%	9.1%	7.4%	5.4%	2.5%	6.8%	8.2%
属性無記入	人数	7	8	6	6	2	1	3	9
	構成比	10.0%	11.4%	8.6%	8.6%	2.9%	1.4%	4.3%	12.9%



## 年 齢 別

「協働のまちづくり」を進める上で市が特に取り組むべきこととして、最も多い回答は、全ての年代において「参加できる機会の提供」となっている。2番目に多い回答は、20歳代と40歳代では「学校教育に取り上げる」、30歳代では「行政の意識改革・人材育成」、50歳代では「まちづくりや地域活動の活動支援を行う拠点の整備をする」、60歳以上では「既存市民団体との連携・協力」と、年代により違いが見られる。

その他、20～40歳代は「学校教育に取り上げる」、50歳以上では「まちづくりや地域活動のための研修や講習会、学習の機会を充実させる」（以下、「学習の機会の充実」）との回答が比較的多くなっている。

注意： 白文字 =1位 黒文字 =2位

		回答者数	市民がまちづくり活動に参加できる機会を提供する	行政の意識改革や人材育成に努める	自治会や、その他の既存の市民団体との連携・協力を進める	地域や社会のための活動を学校教育の一環として取り上げる	行政に専門部署をつくるなど、推進体制を整備する	まちづくりや地域活動のための研修や講習会、学習の機会を充実させる	まちづくりや地域活動の活動支援を行う拠点の整備をする
全体	人数	1706	684	411	408	353	308	306	300
	構成比		40.1%	24.1%	23.9%	20.7%	18.1%	17.9%	17.6%
18～29歳	人数	137	63	29	30	38	9	15	18
	構成比		46.0%	21.2%	21.9%	27.7%	6.6%	10.9%	13.1%
30～39歳	人数	226	105	52	44	49	38	32	35
	構成比		46.5%	23.0%	19.5%	21.7%	16.8%	14.2%	15.5%
40～49歳	人数	258	111	58	59	60	47	33	47
	構成比		43.0%	22.5%	22.9%	23.3%	18.2%	12.8%	18.2%
50～59歳	人数	249	98	61	52	41	47	54	63
	構成比		39.4%	24.5%	20.9%	16.5%	18.9%	21.7%	25.3%
60～69歳	人数	382	156	98	110	81	85	77	74
	構成比		40.8%	25.7%	28.8%	21.2%	22.3%	20.2%	19.4%
70歳以上	人数	397	132	94	99	76	66	83	56
	構成比		33.2%	23.7%	24.9%	19.1%	16.6%	20.9%	14.1%
属性 無記入	人数	57	19	19	14	8	16	12	7
	構成比		33.3%	33.3%	24.6%	14.0%	28.1%	21.1%	12.3%

		市民が市政に参画していくための条例などのルールをつくる	活動団体やグループを資金面で支援する	ボランティア休暇やまちづくり休暇の導入促進など、企業との連携を進める	ボランティア保険の整備など、活動にともなう危険や事故への対応を充実させる	活動に対する社会的評価を高める（協働事業の表彰制度など）	その他	特にない	無回答
全体	人数	187	181	160	123	99	54	98	132
	構成比	11.0%	10.6%	9.4%	7.2%	5.8%	3.2%	5.7%	7.7%
18～29歳	人数	17	11	16	10	10	6	11	5
	構成比	12.4%	8.0%	11.7%	7.3%	7.3%	4.4%	8.0%	3.6%
30～39歳	人数	29	18	26	12	23	6	17	7
	構成比	12.8%	8.0%	11.5%	5.3%	10.2%	2.7%	7.5%	3.1%
40～49歳	人数	24	16	25	16	18	12	20	10
	構成比	9.3%	6.2%	9.7%	6.2%	7.0%	4.7%	7.8%	3.9%
50～59歳	人数	32	32	27	16	9	12	10	14
	構成比	12.9%	12.9%	10.8%	6.4%	3.6%	4.8%	4.0%	5.6%
60～69歳	人数	39	45	33	28	14	9	15	29
	構成比	10.2%	11.8%	8.6%	7.3%	3.7%	2.4%	3.9%	7.6%
70歳以上	人数	39	52	28	39	23	7	22	60
	構成比	9.8%	13.1%	7.1%	9.8%	5.8%	1.8%	5.5%	15.1%
属性 無記入	人数	7	7	5	2	2	2	3	7
	構成比	12.3%	12.3%	8.8%	3.5%	3.5%	3.5%	5.3%	12.3%

## 居住地区別

「協働のまちづくり」を進める上で市が特に取り組むべきこととして、最も多い回答は、川田谷地区では「既存市民団体との連携・協力」、それ以外の地区では「参加できる機会の提供」である。

次いで、川田谷地区は「参加できる機会の提供」、旧桶川東地区は「行政の意識改革・人材育成」、旧桶川西地区と旧加納村地区では「既存市民団体との連携・協力」、上下日出谷地区は「学校教育に取り上げる」となっている。

その他、旧桶川東地区では「ボランティア休暇やまちづくり休暇の導入促進など、企業との連携を進める」、川田谷地区では「学校教育に取り上げる」、上下日出谷地区では「活動団体やグループを資金面で支援する」との回答が他の地区に比べ多い。

		回答者数	市民がまちづくり活動に参加できる機会を提供する	行政の意識改革や人材育成に努める	自治会や、その他の既存の市民団体との連携・協力を進める	地域や社会のための活動を学校教育の一環として取り上げる	行政に専門部署をつくるなど、推進体制を整備する	まちづくりや地域活動のための研修や講習会、学習の機会を充実させる	まちづくりや地域活動の活動支援を行う拠点の整備をする
			注意:	白文字	=1位	黒文字	=2位		
全体	人数	1706	684	411	408	353	308	306	300
	構成比		40.1%	24.1%	23.9%	20.7%	18.1%	17.9%	17.6%
旧桶川東地区	人数	370	156	97	83	75	71	60	75
	構成比		42.2%	26.2%	22.4%	20.3%	19.2%	16.2%	20.3%
旧桶川西地区	人数	369	153	80	89	73	70	72	60
	構成比		41.5%	21.7%	24.1%	19.8%	19.0%	19.5%	16.3%
上下日出谷地区	人数	370	153	83	82	87	69	71	69
	構成比		41.4%	22.4%	22.2%	23.5%	18.6%	19.2%	18.6%
旧加納村地区	人数	386	158	90	98	72	66	64	66
	構成比		40.9%	23.3%	25.4%	18.7%	17.1%	16.6%	17.1%
川田谷地区	人数	141	40	37	41	36	14	25	22
	構成比		28.4%	26.2%	29.1%	25.5%	9.9%	17.7%	15.6%
属性無記入	人数	70	24	24	15	10	18	14	8
	構成比		34.3%	34.3%	21.4%	14.3%	25.7%	20.0%	11.4%

		市民が市政に参画していくための条例などのルールをつくる	活動団体やグループを資金面で支援する	ボランティア休暇やまちづくり休暇の導入促進など、企業との連携を進める	ボランティア保険の整備など、活動にともなう危険や事故への対応を充実させる	活動に対する社会的評価を高める(協働事業の表彰制度など)	その他	特にない	無回答
全体	人数	187	181	160	123	99	54	98	132
	構成比	11.0%	10.6%	9.4%	7.2%	5.8%	3.2%	5.7%	7.7%
旧桶川東地区	人数	45	38	49	22	21	8	19	20
	構成比	12.2%	10.3%	13.2%	5.9%	5.7%	2.2%	5.1%	5.4%
旧桶川西地区	人数	36	34	34	37	23	14	24	28
	構成比	9.8%	9.2%	9.2%	10.0%	6.2%	3.8%	6.5%	7.6%
上下日出谷地区	人数	45	51	26	21	23	14	14	26
	構成比	12.2%	13.8%	7.0%	5.7%	6.2%	3.8%	3.8%	7.0%
旧加納村地区	人数	33	41	36	28	20	13	22	37
	構成比	8.5%	10.6%	9.3%	7.3%	5.2%	3.4%	5.7%	9.6%
川田谷地区	人数	21	10	9	11	10	2	14	15
	構成比	14.9%	7.1%	6.4%	7.8%	7.1%	1.4%	9.9%	10.6%
属性無記入	人数	7	7	6	4	2	3	5	6
	構成比	10.0%	10.0%	8.6%	5.7%	2.9%	4.3%	7.1%	8.6%

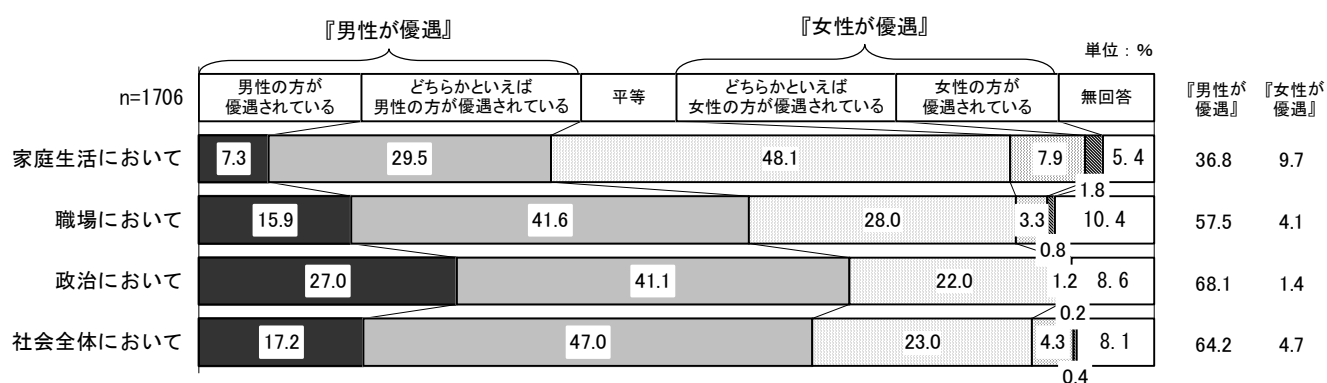
(2) 男女共同参画

問 17 あなたは、生活や社会における男女の地位について、どのようにお考えですか。  
(それぞれの項目で○は1つ)

全 体

男女の地位が「平等」との回答が最も多いのは「家庭生活において」48.1%である。次いで「職場において」28.0%、「社会全体において」23.0%、最も少ないのは「政治において」22.0%となっている。

また、『女性が優遇』（「女性の方が優遇されている」＋「どちらかといえば女性が優遇されている」）については、いずれも1割に満たない。



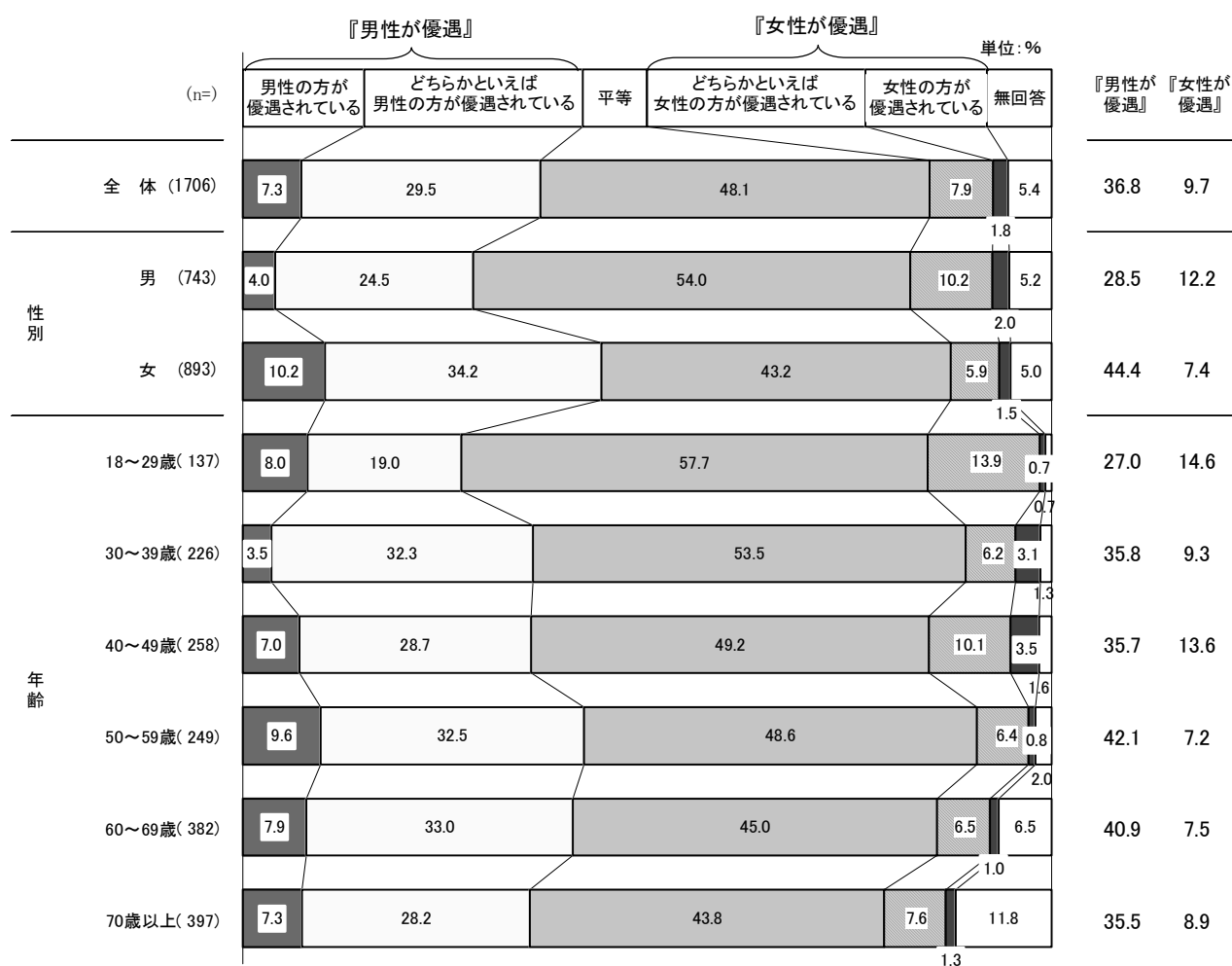
## ① 家庭生活において

### 性別

家庭生活における男女の地位について、最も多い回答は、男女ともに「平等」となっている。一方で、『男性が優遇』（「男性の方が優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）との回答は、女性が男性を大きく上回り、性別による差がみられる。

### 年齢別

家庭生活における男女の地位について、最も多い回答は、いずれの年代でも「平等」となっている。全体として年代が下がるほど「平等」との回答が高くなっている。



## ② 職場において

### 性別

職場における男女の地位について、最も多い回答は、男女ともに「どちらかといえば男性の方が優遇されている」である。

『男性が優遇』（「男性の方が優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）との回答は、女性が男性を上回り、性別による差がみられる。

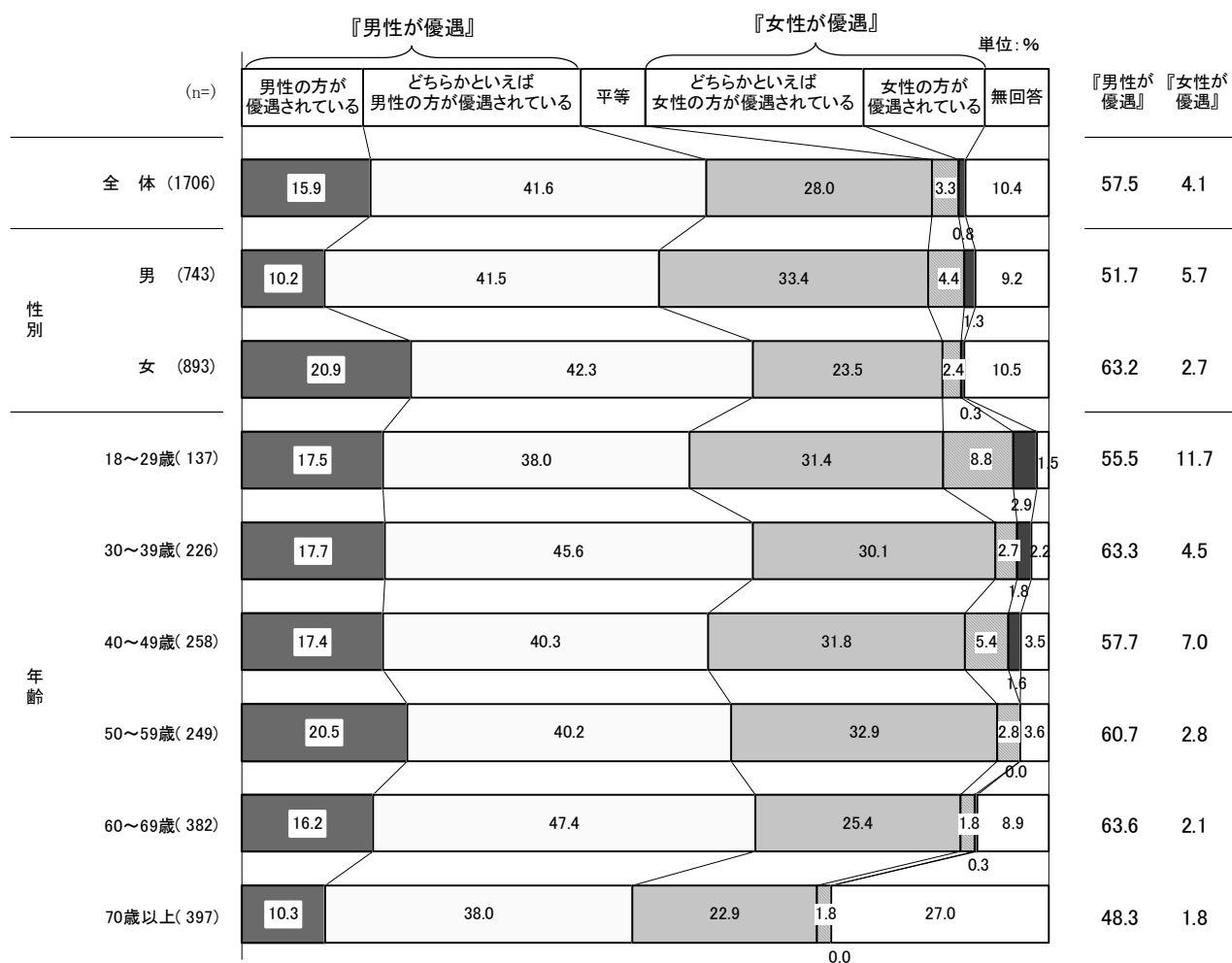
### 年齢別

職場における男女の地位について、最も多い回答は、いずれの年代も「どちらかといえば男性の方が優遇されている」である。

『男性が優遇』（「男性の方が優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）との回答は、60歳代、30歳代、50歳代などで多くなっている。

反対に『女性が優遇』（「女性の方が優遇されている」＋「どちらかといえば女性が優遇されている」）は、20歳代のみ1割を超えて多い。

また、70歳以上では、『男性が優遇』（「男性の方が優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）との回答が他の年代に比べ少ないが、一方で無回答も多い。



### ③ 政治において

#### 性別

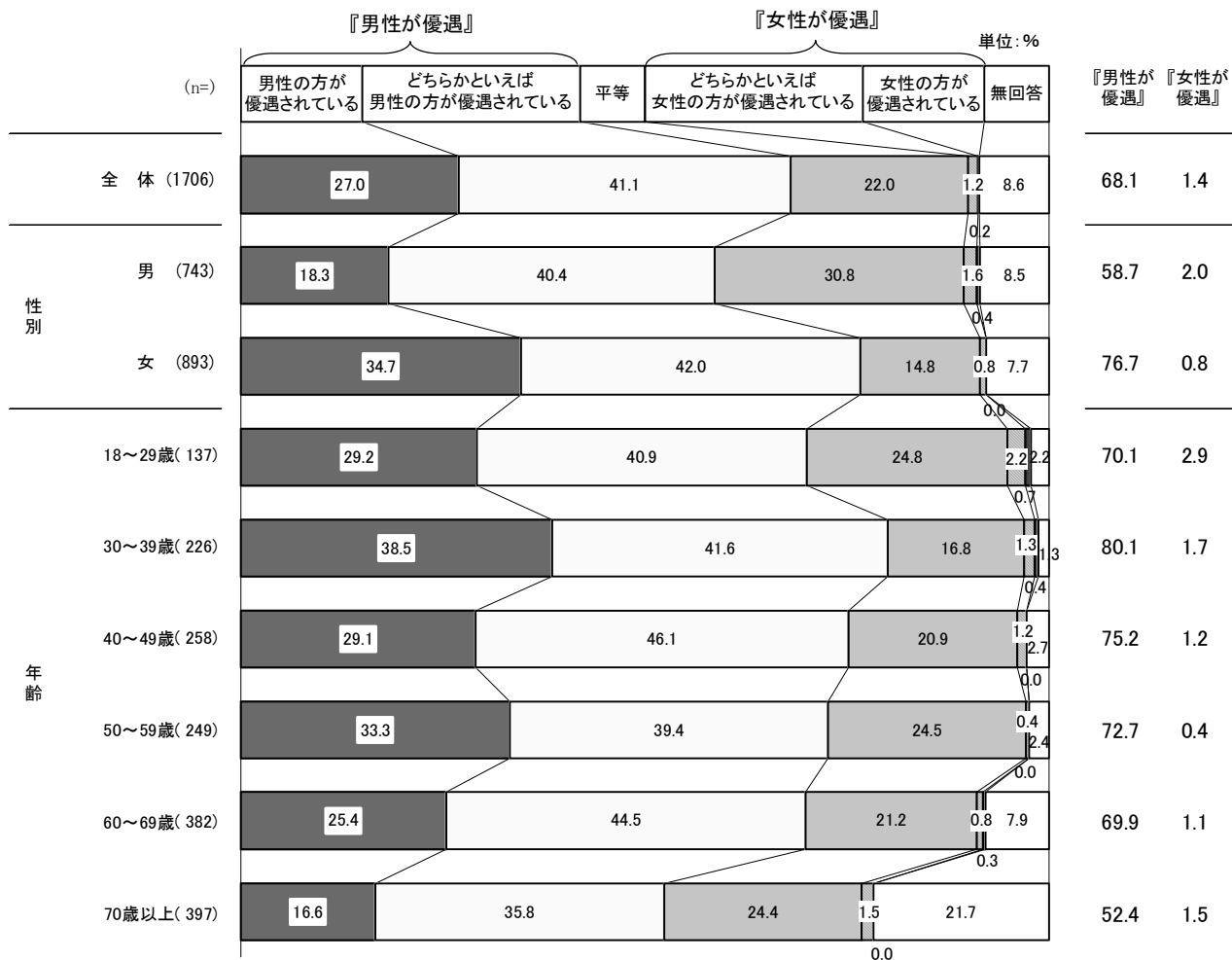
政治における男女の地位について、最も多い回答は、男女ともに「どちらかといえば男性の方が優遇されている」であり、次いで男性は「平等」、女性は「男性の方が優遇されている」となっている。

『男性が優遇』（「男性の方が優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）との回答は、女性が男性を上回り、性別による差がみられる。

#### 年齢別

政治における男女の地位について、最も多い回答は、いずれの年代も「どちらかといえば男性の方が優遇されている」である。

『男性が優遇』（「男性の方が優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）との回答が最も多いのは30歳代、最も少ないのは70歳以上であるが、70歳以上では無回答も多くなっている。



#### ④ 社会全体において

##### 性別

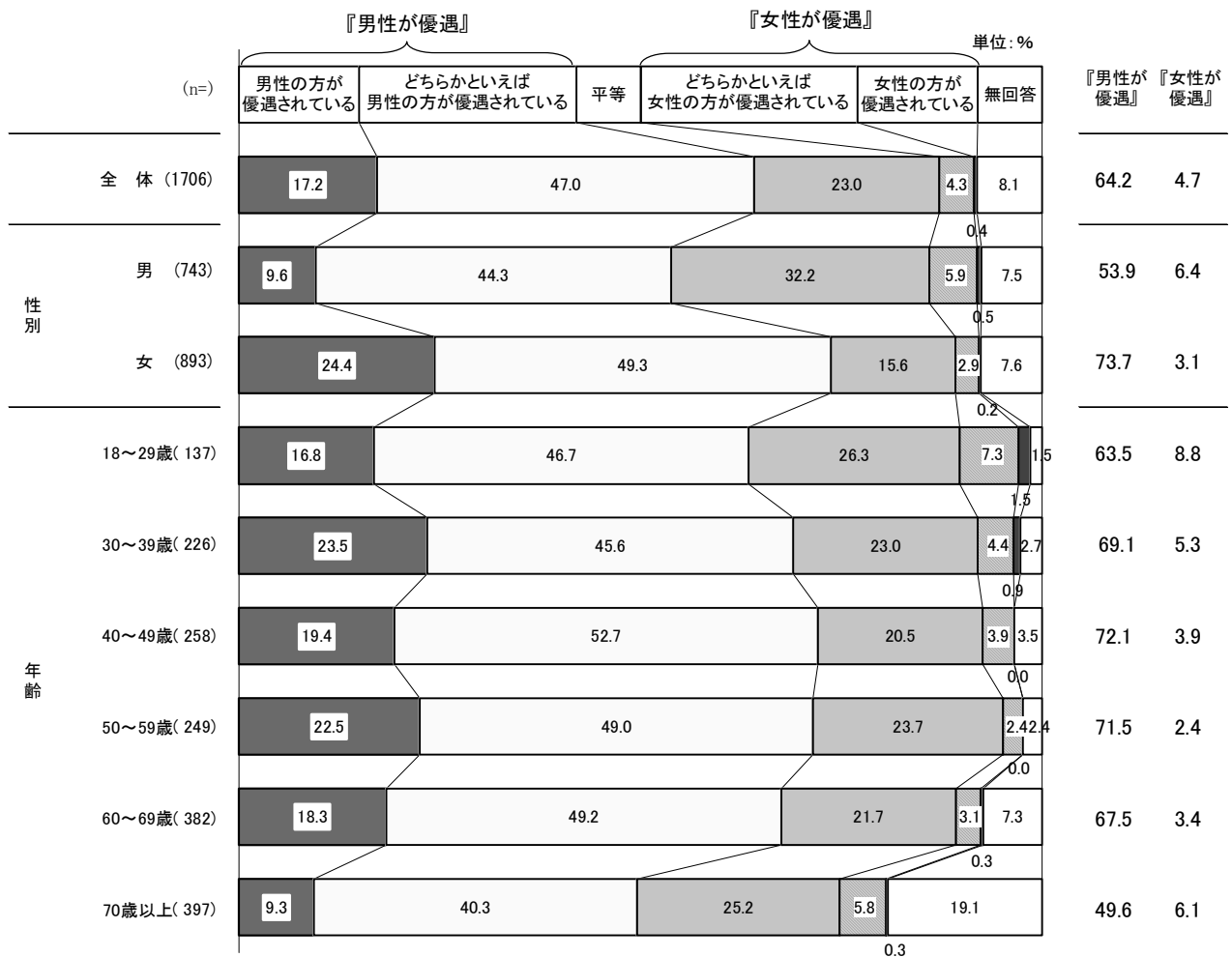
社会全体における男女の地位について、最も多い回答は、男女ともに「どちらかといえば男性の方が優遇されている」である。

『男性が優遇』（「男性の方が優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）との回答は、女性が男性を大きく上回り、家庭、職場、政治での地位と比較して、性別による差が最も大きい。

##### 年齢別

社会全体における男女の地位について、最も多い回答は、全ての年代において「どちらかといえば男性の方が優遇されている」である。

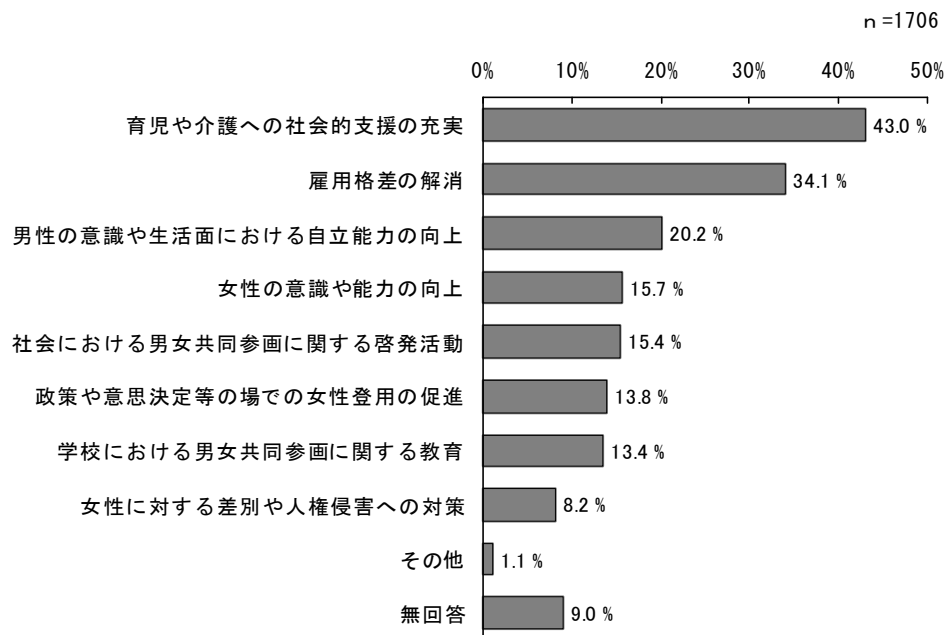
『男性が優遇』（「男性の方が優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）との回答が最も多いのは40歳代、最も少ないのは70歳以上であるが、70歳以上では無回答も多くなっている。



**問 18 男女共同参画社会の実現のために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)**

**全 体**

「育児や介護への社会的支援の充実」との回答が43.0%と最も多く、次いで「雇用格差の解消」34.1%、「男性の意識や生活面における自立能力の向上」(以下、「男性の生活面での自立能力の向上」) 20.2%などが主なところである。



**「その他」の主な意見**

- ・必ずしも、男女平等が、どの場面においても必要だとは思わない
- ・無理に平等をめざすよりも、その人が得意なことでできることをしやすい社会をめざした方がよい
- ・過度な女性のための優遇制度の廃止
- ・男性の意識改革
- ・必要ない など



## 性別

男女共同参画社会の実現のために必要なこととして、最も多い回答は、男女ともに「育児や介護への社会的支援の充実」、次いで「雇用格差の解消」となっている。

男性は「社会における男女共同参画に関する啓発活動」や「政策や意思決定等の場での女性登用の促進」「学校における男女共同参画に関する教育」との回答が女性よりも多く、女性は「育児や介護への社会的支援の充実」「男性の生活面での自立能力の向上」との回答が男性よりも多い。

		回答者数	育児や介護への社会的支援の充実	雇用格差の解消	男性の意識や生活面における自立能力の向上	女性の意識や能力の向上	社会における男女共同参画に関する啓発活動	政策や意思決定等の場での女性登用の促進	学校における男女共同参画に関する教育	女性に対する差別や人権侵害への対策
全体	人数	1706	734	581	344	267	263	236	229	140
	構成比		43.0%	34.1%	20.2%	15.7%	15.4%	13.8%	13.4%	8.2%
男性	人数	743	291	264	129	111	147	125	122	54
	構成比		39.2%	35.5%	17.4%	14.9%	19.8%	16.8%	16.4%	7.3%
女性	人数	893	411	296	205	145	106	105	101	83
	構成比		46.0%	33.1%	23.0%	16.2%	11.9%	11.8%	11.3%	9.3%
属性無記入	人数	70	32	21	10	11	10	6	6	3
	構成比		45.7%	30.0%	14.3%	15.7%	14.3%	8.6%	8.6%	4.3%

注意: 白文字 =1位 黒文字 =2位

		その他	無回答
全体	人数	18	153
	構成比	1.1%	9.0%
男性	人数	10	55
	構成比	1.3%	7.4%
女性	人数	7	82
	構成比	0.8%	9.2%
属性無記入	人数	1	16
	構成比	1.4%	22.9%

## 年 齢 別

男女共同参画社会の実現のために必要なこととして、最も多い回答は、70歳以上では「雇用格差の解消」、それ以外の年代ではいずれも「育児や介護への社会的支援の充実」となっている。

また、20歳代では「学校における男女共同参画に関する教育」、30歳代では「育児や介護への社会的支援の充実」、40歳代では「男性の生活面での自立能力の向上」、50歳代では「社会における男女共同参画に関する啓発活動」や「政策や意思決定等の場での女性登用の促進」との回答が他の年代に比べ多く、年代による違いが見られる。

注意: 白文字 =1位 黒文字 =2位

		回答者数	育児や介護への社会的支援の充実	雇用格差の解消	男性の意識や生活面における自立能力の向上	女性の意識や能力の向上	社会における男女共同参画に関する啓発活動	政策や意思決定等の場での女性登用の促進	学校における男女共同参画に関する教育	女性に対する差別や人権侵害への対策
全体	人数	1706	734	581	344	267	263	236	229	140
	構成比		43.0%	34.1%	20.2%	15.7%	15.4%	13.8%	13.4%	8.2%
18～29歳	人数	137	64	49	30	19	14	15	22	12
	構成比		46.7%	35.8%	21.9%	13.9%	10.2%	10.9%	16.1%	8.8%
30～39歳	人数	226	129	79	49	30	24	24	27	12
	構成比		57.1%	35.0%	21.7%	13.3%	10.6%	10.6%	11.9%	5.3%
40～49歳	人数	258	127	92	66	33	34	27	34	31
	構成比		49.2%	35.7%	25.6%	12.8%	13.2%	10.5%	13.2%	12.0%
50～59歳	人数	249	104	83	47	43	56	49	37	17
	構成比		41.8%	33.3%	18.9%	17.3%	22.5%	19.7%	14.9%	6.8%
60～69歳	人数	382	160	125	79	69	57	58	54	31
	構成比		41.9%	32.7%	20.7%	18.1%	14.9%	15.2%	14.1%	8.1%
70歳以上	人数	397	126	135	63	66	69	58	49	35
	構成比		31.7%	34.0%	15.9%	16.6%	17.4%	14.6%	12.3%	8.8%
属性無記入	人数	57	24	18	10	7	9	5	6	2
	構成比		42.1%	31.6%	17.5%	12.3%	15.8%	8.8%	10.5%	3.5%

		その他	無回答
全体	人数	18	153
	構成比	1.1%	9.0%
18～29歳	人数	3	6
	構成比	2.2%	4.4%
30～39歳	人数	3	9
	構成比	1.3%	4.0%
40～49歳	人数	1	13
	構成比	0.4%	5.0%
50～59歳	人数	0	11
	構成比	0.0%	4.4%
60～69歳	人数	5	34
	構成比	1.3%	8.9%
70歳以上	人数	4	68
	構成比	1.0%	17.1%
属性無記入	人数	2	12
	構成比	3.5%	21.1%

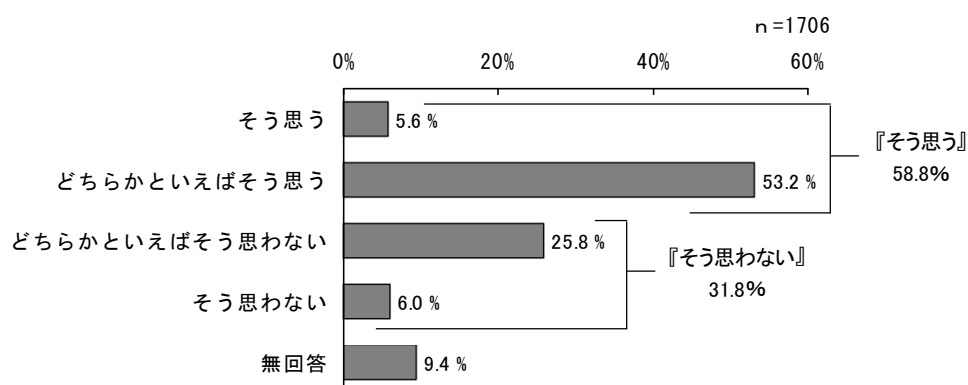
### (3) 子育て支援

**問 19 あなたは、桶川市は、安心して子育てしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)**

#### 全 体

「どちらかといえばそう思う」53.2%との回答が最も多く、半数以上を占める。次いで「どちらかといえばそう思わない」25.8%などで多くなっている。

『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）との回答は58.8%、一方『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）との回答は31.8%と、桶川市が安心して子育てしやすいまちだと思うとの回答が上回っている。



#### 【経年比較】

桶川市が安心して子育てしやすいまちかについて、前回調査（平成21年度）と比較すると、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）との回答は、今回調査が前回調査を上回る。

『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）については、減少していることから、全体として評価は高まっている。

(n=)	『そう思う』		『そう思わない』		無回答	『そう思う』	『そう思わない』
	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない			
H21 (1356)	5.6	48.5	27.7	7.0	11.2	54.1	34.7
H24 (1706)	5.6	53.2	25.8	6.0	9.4	58.8	31.8

単位: %

## 性別

桶川市が安心して子育てしやすいまちかについて、最も多い回答は、男女ともに「どちらかといえばそう思う」である。『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）との回答は、女性が男性が男性をやや上回る。

## 年齢別

桶川市が安心して子育てしやすいまちかについて、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）との回答が最も多いのは40歳代であるが、一方で、同じ子育て世代である30歳代では最も少ない。

また、30歳代では『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が他の世代と比較して多く、評価が低くなっている。

(n=)	『そう思う』		『そう思わない』		無回答	『そう 思う』	『そう 思わない』	
	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない				
全体 (1706)	5.6	53.2	25.8	6.0	9.4	58.8	31.8	
性別	男 (743)	5.2	53.0	26.8	7.1	7.8	58.2	33.9
	女 (893)	6.0	54.3	25.1	4.7	9.9	60.3	29.8
年齢	18～29歳 (137)	4.4	58.4	21.9	12.4	2.9	62.8	34.3
	30～39歳 (226)	5.8	46.9	34.5	8.4	4.4	52.7	42.9
	40～49歳 (258)	7.4	56.2	27.1	6.2	3.1	63.6	33.3
	50～59歳 (249)	4.4	56.2	29.3	3.6	6.4	60.6	32.9
	60～69歳 (382)	4.2	53.4	26.7	5.0	10.7	57.6	31.7
	70歳以上 (397)	7.1	53.1	18.9	3.5	17.4	60.2	22.4

## 居住地区別

桶川市が安心して子育てしやすいまちかについて、最も多い回答は、いずれの地区も「どちらかといえばそう思う」である。

『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）との回答が最も多いのは、旧桶川西地区、次いで旧桶川東地区、上下日出谷地区、旧加納村地区の順で、最も少ないのは川田谷地区となっている。

## 家族構成別

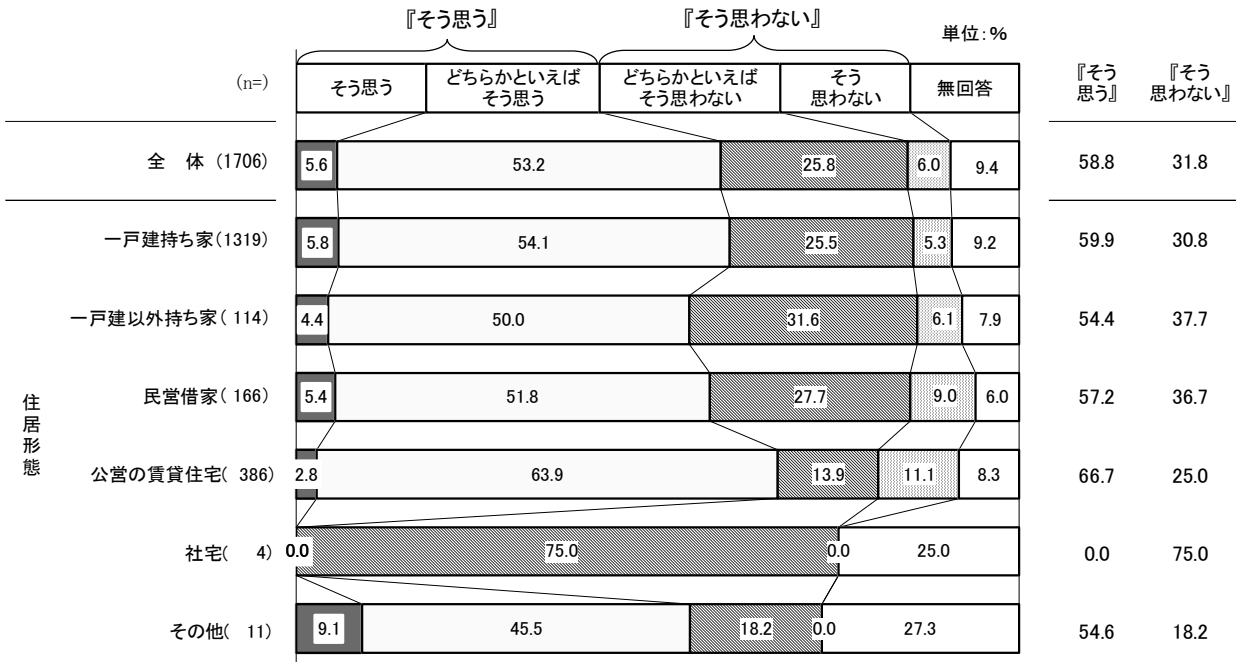
桶川市が安心して子育てしやすいまちかについて、最も多い回答は、いずれの家族構成でも「どちらかといえばそう思う」である。

全体的に大きな違いはないが、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）との回答は、夫婦だけ・その他で5割台と、他の家族構成に比べ少なくなっている。

(n=)	『そう思う』		『そう思わない』		単位：%		『そう思う』	『そう思わない』
	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	無回答			
全体 (1706)	5.6	53.2	25.8	6.0	9.4		58.8	31.8
居住地区								
旧桶川東地区 (370)	6.2	54.3	27.0	5.7	6.8		60.5	32.7
旧桶川西地区 (369)	5.1	59.1	23.3	4.6	7.9		64.2	27.9
上下日出谷地区 (370)	7.0	51.9	25.1	5.9	10.0		58.9	31.0
旧加納村地区 (386)	5.2	50.8	26.7	6.5	10.9		56.0	33.2
川田谷地区 (141)	3.5	49.6	29.8	5.7	11.3		53.1	35.5
家族構成								
夫婦だけ (485)	3.9	51.1	27.4	6.6	10.9		55.0	34.0
二世帯世帯 (728)	7.1	55.2	25.7	5.4	6.6		62.3	31.1
三世帯世帯 (81)	2.5	58.0	24.7	6.2	8.6		60.5	30.9
単身世帯 (139)	5.0	57.6	22.3	4.3	10.8		62.6	26.6
その他 (203)	6.4	51.2	26.1	5.9	10.3		57.6	32.0

## 住居形態別

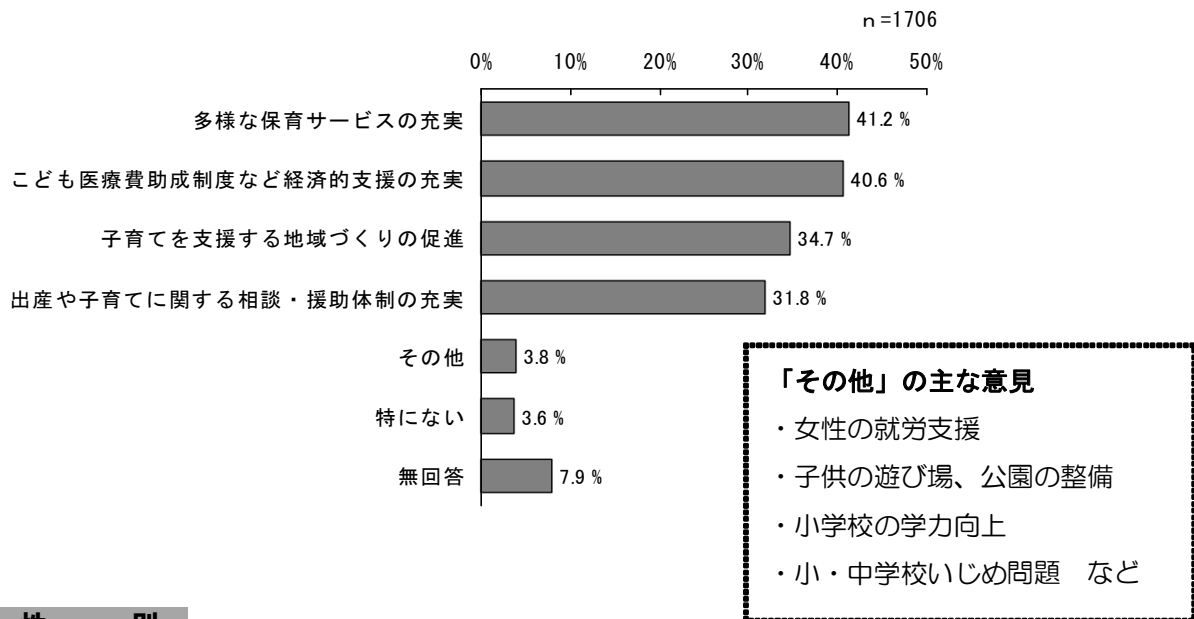
桶川市が安心して子育てしやすいまちかについて、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）との回答が最も多いのは、公営（県営、公団、公社）の賃貸住宅、最も少ないのは一戸建以外持ち家（分譲マンション等）である。（「社宅（独身寮、公務員住宅を含む）」については、回答者数が少ないため、参考としての掲載にとどめる。）



**問 20 安心して子どもを育てられるまちにするために、市が特に取り組むべきことは何だと思えますか。(〇は2つまで)**

**全 体**

「多様な保育サービスの充実」41.2%が最も多く、次いで「こども医療費助成制度など経済的支援の充実」40.6%、「子育てを支援する地域づくりの促進」34.7%、「出産や子育てに関する相談・援助体制の充実」31.8%など、いずれも3～4割台となっており、すべての項目が重要と捉えられていることがうかがえる。



**性 別**

安心して子どもを育てられるまちにするために市が特に取り組むべきこととして、最も多い回答は、男性が「こども医療費助成制度など経済的支援の充実」、女性は「多様な保育サービスの充実」である。次いで、男性は「多様な保育サービスの充実」、女性は「こども医療費助成制度など経済的支援の充実」であり、男女で上位項目が入れ替わるなど、性別による違いがみられる。

		回答者数	多様な保育サービスの充実	こども医療費助成制度など経済的支援の充実	子育てを支援する地域づくりの促進	出産や子育てに関する相談・援助体制の充実	その他	特にない	無回答
全体	人数	1706	703	693	592	543	64	61	135
	構成比		41.2%	40.6%	34.7%	31.8%	3.8%	3.6%	7.9%
男性	人数	743	289	335	247	242	27	24	48
	構成比		38.9%	45.1%	33.2%	32.6%	3.6%	3.2%	6.5%
女性	人数	893	390	335	321	288	34	33	73
	構成比		43.7%	37.5%	35.9%	32.3%	3.8%	3.7%	8.2%
属性無記入	人数	70	24	23	24	13	3	4	14
	構成比		34.3%	32.9%	34.3%	18.6%	4.3%	5.7%	20.0%

注意: 白文字 =1位 黒文字 =2位

## 年 齢 別

安心して子どもを育てられるまちにするために市が特に取り組むべきこととして、最も多い回答は、20歳代と50歳代では「多様な保育サービスの充実」、30歳～40歳代では、「こども医療費助成制度など経済的支援の充実」、60歳代では「子育てを支援する地域づくりの促進」、70歳以上は「出産や子育てに関する相談・援助体制の充実」となっており、年代により認識が異なる。また、40歳代は「こども医療費助成制度など経済的支援の充実」が5割台と特に多くなっている。

		回答者数	多様な保育サービスの充実	こども医療費助成制度など経済的支援の充実	子育てを支援する地域づくりの促進	出産や子育てに関する相談・援助体制の充実	その他	特にない	無回答
全体	人数	1706	703	693	592	543	64	61	135
	構成比		41.2%	40.6%	34.7%	31.8%	3.8%	3.6%	7.9%
18～29歳	人数	137	68	58	41	50	8	4	3
	構成比		49.6%	42.3%	29.9%	36.5%	5.8%	2.9%	2.2%
30～39歳	人数	226	104	112	78	69	17	5	6
	構成比		46.0%	49.6%	34.5%	30.5%	7.5%	2.2%	2.7%
40～49歳	人数	258	109	142	80	68	17	5	7
	構成比		42.2%	55.0%	31.0%	26.4%	6.6%	1.9%	2.7%
50～59歳	人数	249	120	86	94	92	9	2	12
	構成比		48.2%	34.5%	37.8%	36.9%	3.6%	0.8%	4.8%
60～69歳	人数	382	156	141	158	121	3	12	29
	構成比		40.8%	36.9%	41.4%	31.7%	0.8%	3.1%	7.6%
70歳以上	人数	397	123	131	122	136	7	31	67
	構成比		31.0%	33.0%	30.7%	34.3%	1.8%	7.8%	16.9%
属性無記入	人数	57	23	23	19	7	3	2	11
	構成比		40.4%	40.4%	33.3%	12.3%	5.3%	3.5%	19.3%

注意: 白文字 =1位 黒文字 =2位

## 居住地区別

安心して子どもを育てられるまちにするために市が特に取り組むべきこととして、最も多い回答は、旧桶川東地区と旧桶川西地区では「多様な保育サービスの充実」、それ以外の地区では、「こども医療費助成制度など経済的支援の充実」となっている。

また、旧桶川西地区では「多様な保育サービスの充実」と「子育てを支援する地域づくりの促進」が、上下日出谷地区と川田谷地区では「こども医療費助成制度など経済的支援の充実」との回答が他地区と比較して多くなっている。

		回答者数	多様な保育サービスの充実	こども医療費助成制度など経済的支援の充実	子育てを支援する地域づくりの促進	出産や子育てに関する相談・援助体制の充実	その他	特にない	無回答
全体	人数	1706	703	693	592	543	64	61	135
	構成比		41.2%	40.6%	34.7%	31.8%	3.8%	3.6%	7.9%
旧桶川東地区	人数	370	160	148	135	120	14	16	22
	構成比		43.2%	40.0%	36.5%	32.4%	3.8%	4.3%	5.9%
旧桶川西地区	人数	369	168	135	142	124	12	9	23
	構成比		45.5%	36.6%	38.5%	33.6%	3.3%	2.4%	6.2%
上下日出谷地区	人数	370	147	165	112	127	13	11	31
	構成比		39.7%	44.6%	30.3%	34.3%	3.5%	3.0%	8.4%
旧加納村地区	人数	386	148	154	135	113	20	16	34
	構成比		38.3%	39.9%	35.0%	29.3%	5.2%	4.1%	8.8%
川田谷地区	人数	141	52	62	47	48	2	8	12
	構成比		36.9%	44.0%	33.3%	34.0%	1.4%	5.7%	8.5%
属性無記入	人数	70	28	29	21	11	3	1	13
	構成比		40.0%	41.4%	30.0%	15.7%	4.3%	1.4%	18.6%

注意: 白文字 =1位 黒文字 =2位



## 家族構成別

安心して子どもを育てられるまちにするために市が特に取り組むべきこととして、最も多い回答は、夫婦だけと三世代世帯では「こども医療費助成制度など経済的支援の充実」、それ以外の家族構成では「多様な保育サービス」である（単身世帯では「出産や子育てに関する相談・援助体制の充実」も同率1位）。

「多様な保育サービス」は二世代世帯、「こども医療費助成制度など経済的支援の充実」は三世代世帯、「出産や子育てに関する相談・援助体制の充実」は単身世帯で、他の家族構成と比較して多くなっている。

		回答者数	多様な保育サービスの充実	こども医療費助成制度など経済的支援の充実	子育てを支援する地域づくりの促進	出産や子育てに関する相談・援助体制の充実	その他	特になし	無回答
			白文字 =1位	黒文字 =2位					
全体	人数 構成比	1706	703 41.2%	693 40.6%	592 34.7%	543 31.8%	64 3.8%	61 3.6%	135 7.9%
夫婦だけ	人数 構成比	485	183 37.7%	190 39.2%	175 36.1%	166 34.2%	15 3.1%	14 2.9%	45 9.3%
二世代世帯	人数 構成比	728	328 45.1%	321 44.1%	240 33.0%	221 30.4%	34 4.7%	22 3.0%	41 5.6%
三世代世帯	人数 構成比	81	31 38.3%	39 48.1%	27 33.3%	27 33.3%	2 2.5%	1 1.2%	6 7.4%
単身世帯	人数 構成比	139	52 37.4%	44 31.7%	50 36.0%	52 37.4%	3 2.2%	8 5.8%	12 8.6%
その他	人数 構成比	203	79 38.9%	73 36.0%	74 36.5%	68 33.5%	8 3.9%	15 7.4%	14 6.9%
属性 無記入	人数 構成比	70	30 42.9%	26 37.1%	26 37.1%	9 12.9%	2 2.9%	1 1.4%	17 24.3%

## 住居形態別

安心して子どもを育てられるまちにするために市が特に取り組むべきこととして、最も多い回答は、一戸建持ち家と社宅（独身寮、公務員住宅を含む）では「こども医療費助成制度など経済的支援の充実」、その他では「出産や子育てに関する相談・援助体制の充実」、それ以外の住居形態では「多様な保育サービス」となっている。

また、一戸建以外持ち家（分譲マンション等）では「多様な保育サービス」が5割を超えるなど、他の住居携帯に比べ、特に多い。

		回答者数	多様な保育サービスの充実	こども医療費助成制度など経済的支援の充実	子育てを支援する地域づくりの促進	出産や子育てに関する相談・援助体制の充実	その他	特にない	無回答
			白文字 =1位	黒文字 =2位					
全体	人数 構成比	1706	703 41.2%	693 40.6%	592 34.7%	543 31.8%	64 3.8%	61 3.6%	135 7.9%
一戸建持ち家	人数 構成比	1319	532 40.3%	551 41.8%	448 34.0%	419 31.8%	48 3.6%	51 3.9%	101 7.7%
一戸建以外持ち家 (分譲マンション等)	人数 構成比	114	58 50.9%	37 32.5%	45 39.5%	34 29.8%	5 4.4%	2 1.8%	7 6.1%
民営借家（民間アパートを含む）	人数 構成比	166	70 42.2%	68 41.0%	59 35.5%	61 36.7%	9 5.4%	4 2.4%	9 5.4%
公営（県営、公団、公社）の賃貸住宅	人数 構成比	36	17 47.2%	12 33.3%	15 41.7%	15 41.7%	0 0.0%	1 2.8%	2 5.6%
社宅（独身寮、公務員住宅を含む）	人数 構成比	4	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%
その他	人数 構成比	11	1 9.1%	2 18.2%	3 27.3%	5 45.5%	0 0.0%	1 9.1%	3 27.3%
属性無記入	人数 構成比	56	24 42.9%	21 37.5%	21 37.5%	7 12.5%	2 3.6%	2 3.6%	12 21.4%

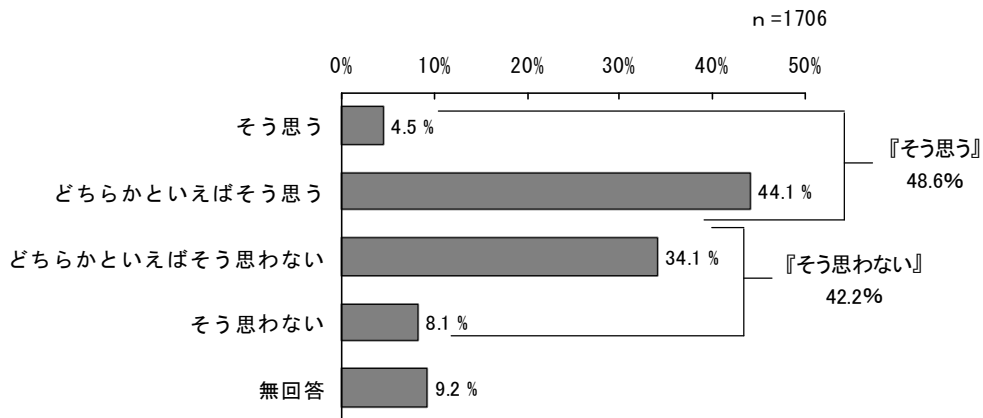
(4) 高齢者の生活

**問 21 あなたは、桶川市は、高齢者が安心して住み続けられるまちだと思いますか。**  
(○は1つ)

**全 体**

「どちらかといえばそう思う」との回答が 44.1%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」34.1%、「そう思わない」8.1%、「そう思う」4.5%の順となっている。

『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）との回答が 48.6%に対し、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえばそう思わない」）は 42.2%と、桶川市が高齢者が安心して住み続けられるまちだと思うとの回答が上回る。



**【経年比較】**

桶川市は、高齢者が住み続けられるまちかについて、前回調査（平成 21 年度）と比較すると、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）との回答は、今回調査が前回調査を上回る。

それに伴い、今回調査では『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）を上回るなど、子育てしやすいかどうかと同様に、評価が高まっている。

(n=)	『そう思う』		『そう思わない』		無回答	『そう思う』	『そう思わない』
	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない			
H21 (1356)	5.2	38.5	38.9	9.7	7.8	43.7	48.6
H24 (1706)	4.5	44.1	34.1	8.1	9.2	48.6	42.2

単位: %

## 性別

桶川市は、高齢者が住み続けられるまちかについて、最も多い回答は、男女ともに「どちらかといえばそう思う」となっている。『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）との回答は、男女ともに5割弱と、性別による差はほとんどない。

## 年齢別

桶川市は、高齢者が住み続けられるまちかについて、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）との回答が最も多いのは、20歳代で6割近いが、50～60歳代では、4割台と評価が低くなっている。

(n=)	『そう思う』		『そう思わない』		無回答	単位：%		
	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない		『そう 思う』	『そう 思わない』	
全体 (1706)	4.5	44.1	34.1	8.1	9.2	48.6	42.2	
性別	男 (743)	4.6	43.9	36.1	7.8	7.7	48.5	43.9
	女 (893)	4.3	44.6	32.6	8.2	10.4	48.9	40.8
年齢	18～29歳 (137)	9.5	49.6	29.2	7.3	4.4	59.1	36.5
	30～39歳 (226)	5.8	43.4	37.2	7.5	6.2	49.2	44.7
	40～49歳 (258)	1.9	48.4	36.4	7.4	5.8	50.3	43.8
	50～59歳 (249)	2.0	42.6	39.0	7.6	8.8	44.6	46.6
	60～69歳 (382)	3.7	41.1	33.2	9.2	12.8	44.8	42.4
	70歳以上 (397)	6.0	44.6	31.0	7.8	10.6	50.6	38.8

## 居住地区別

桶川市は、高齢者が住み続けられるまちかについて、最も多い回答は、いずれの地区も「どちらかといえばそう思う」となっている。

『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）との回答は、旧桶川西地区のみ5割を超え、それ以外の地区は5割弱であり、地区による大きな違いはない。

## 家族構成別

桶川市は、高齢者が住み続けられるまちかについて、最も多い回答は、いずれの家族構成でも「どちらかといえばそう思う」となっているが、夫婦だけでは「どちらかといえばそう思う」と「どちらかといえばそう思わない」が拮抗している。

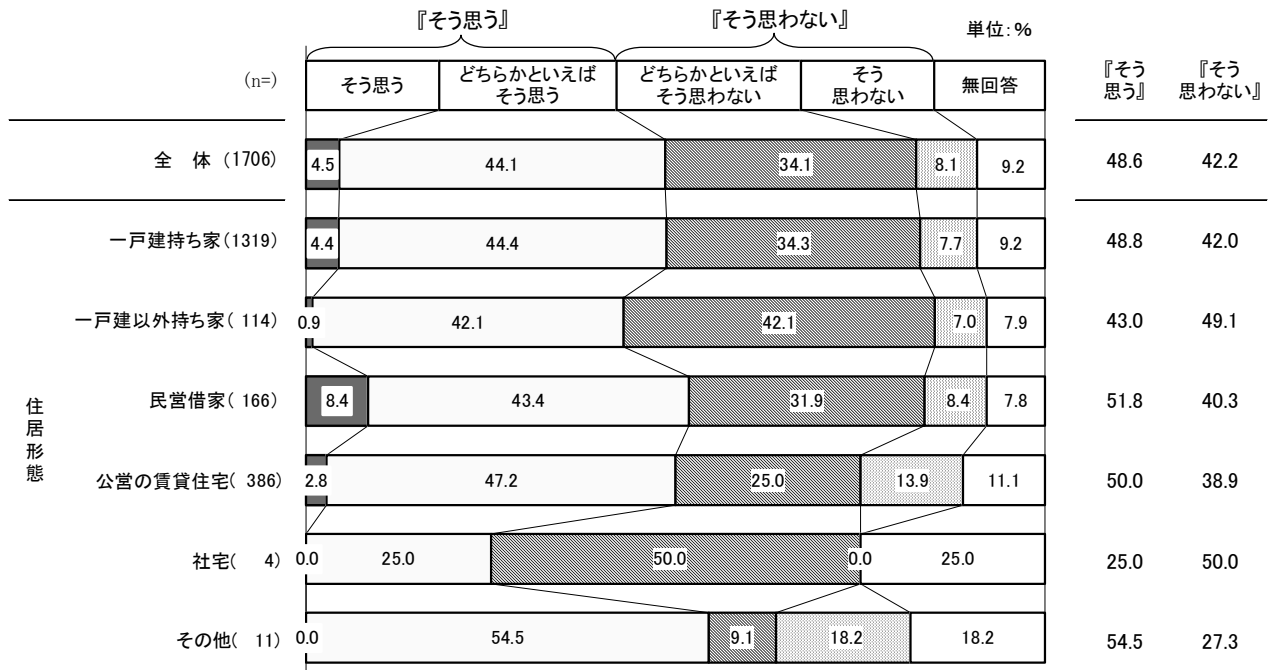
また、夫婦だけは『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）との回答が『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）を上回り、他の家族構成に比べ、評価が低くなっている。

(n=)	『そう思う』		『そう思わない』		無回答	『そう思う』	『そう思わない』
	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない			
全体 (1706)	4.5	44.1	34.1	8.1	9.2	48.6	42.2
居住地区							
旧桶川東地区 (370)	4.6	44.3	36.2	6.8	8.1	48.9	43.0
旧桶川西地区 (369)	4.1	47.2	33.1	5.7	10.0	51.3	38.8
上下日出谷地区 (370)	4.1	43.5	32.7	10.0	9.7	47.6	42.7
旧加納村地区 (386)	6.2	42.2	32.6	9.6	9.3	48.4	42.2
川田谷地区 (141)	2.1	46.1	38.3	6.4	7.1	48.2	44.7
家族構成							
夫婦だけ (485)	2.9	38.4	36.9	10.9	10.9	41.3	47.8
二世帯世帯 (728)	5.4	48.6	32.1	6.2	7.7	54.0	38.3
三世帯世帯 (81)	4.9	45.7	35.8	6.2	7.4	50.6	42.0
単身世帯 (139)	5.8	48.2	31.7	6.5	7.9	54.0	38.2
その他 (203)	3.4	42.4	35.5	8.4	10.3	45.8	43.9

## 住居形態別

桶川市は、高齢者が住み続けられるまちかについて、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）との回答は、民営借家と公営の賃貸住宅で5割を超え、多くなっている。

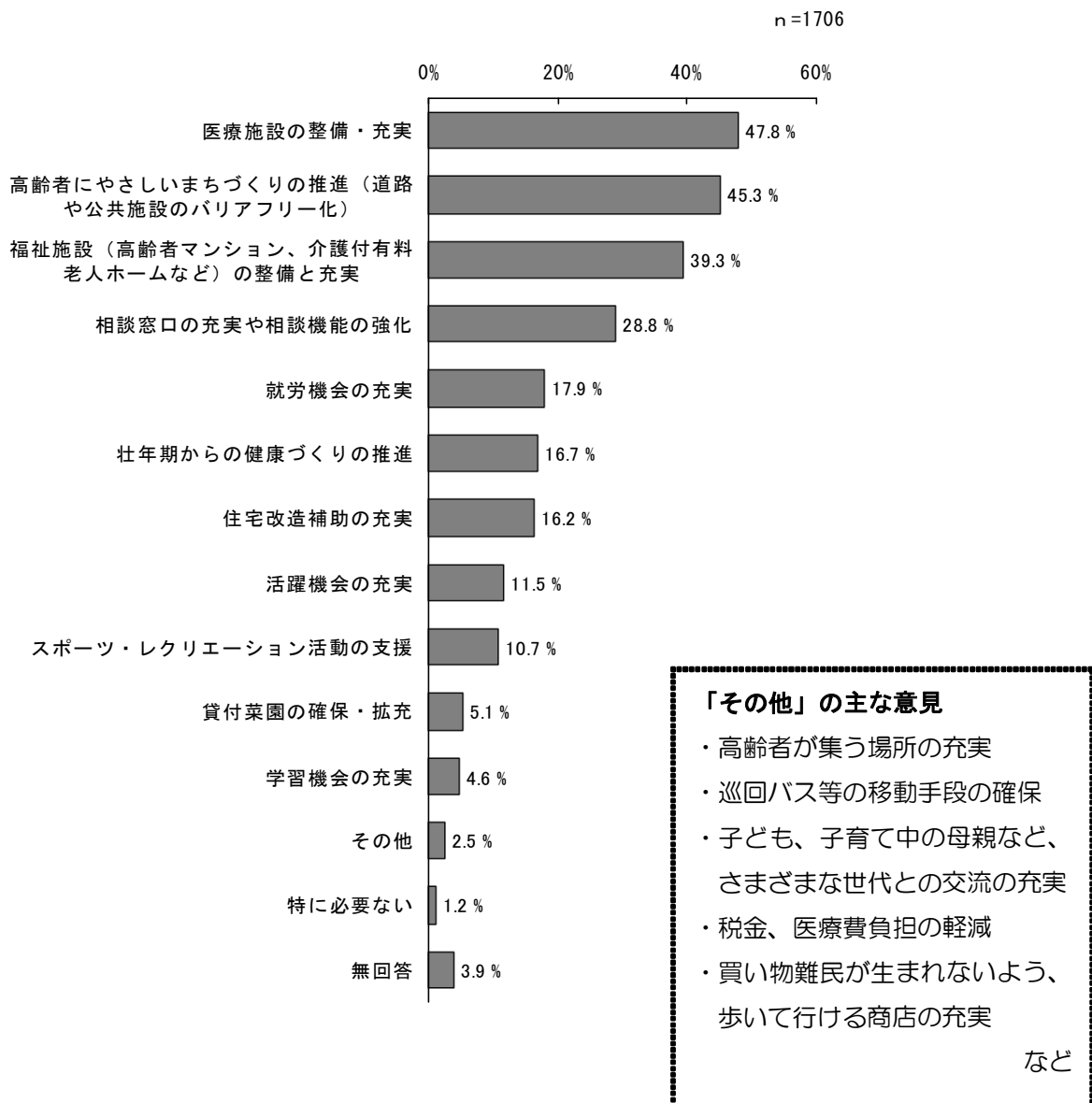
一戸建以外持ち家（分譲マンション等）では、『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）との回答が『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）を上回り、評価が低くなっている。（社宅（独身寮、公務員住宅を含む）は回答者数が少ないため、参考としての掲載にとどめる。）



**問 22 高齢者の生活を支えるために、市が特に取り組むべきことは何だと思えますか。**  
(〇は3つまで)

**全 体**

「医療施設の整備・充実」との回答が 47.8%と最も多く、次いで「高齢者にやさしいまちづくりの推進（道路や公共施設のバリアフリー化）」（以下、「高齢者にやさしいまちづくり」）45.3%、「福祉施設（高齢者マンション、介護付有料老人ホームなど）の整備と充実」（以下、「福祉施設の整備と充実」）39.3%、「相談窓口の充実や相談機能の強化」28.8%などが主なところであり、施設整備や道路・公共施設のバリアフリー化など、ハード面に関する項目が上位にある。



## 性別

高齢者の生活を支えるために市が特に取り組むべきこととして、最も多い回答は、男女ともに「医療施設の整備・充実」となっている。

女性では「福祉施設の整備と充実」「相談窓口の充実や相談機能の強化」「住宅改造補助の充実」との回答が男性に比べ多い。

一方、男性では「就労機会の充実」「スポーツ・レクリエーション活動の支援」との回答が女性に比べ多い。

		回答者数	医療施設の整備・充実	高齢者にやさしいまちづくりの推進(道路や公共施設のバリアフリー化)	福祉施設(高齢者マンション、介護付有料老人ホームなど)の整備と充実	相談窓口の充実や相談機能の強化	就労機会の充実	壮年期からの健康づくりの推進	住宅改造補助の充実
全体	人数	1706	815	772	670	492	305	285	277
	構成比		47.8%	45.3%	39.3%	28.8%	17.9%	16.7%	16.2%
男性	人数	743	357	333	273	202	160	122	111
	構成比		48.0%	44.8%	36.7%	27.2%	21.5%	16.4%	14.9%
女性	人数	893	422	412	372	270	131	152	160
	構成比		47.3%	46.1%	41.7%	30.2%	14.7%	17.0%	17.9%
属性無記入	人数	70	36	27	25	20	14	11	6
	構成比		51.4%	38.6%	35.7%	28.6%	20.0%	15.7%	8.6%

注意: 白文字 =1位 黒文字 =2位

		活躍機会の充実	スポーツ・レクリエーション活動の支援	貸付菜園の確保・拡充	学習機会の充実	その他	特に必要ない	無回答
全体	人数	196	182	87	79	42	21	67
	構成比	11.5%	10.7%	5.1%	4.6%	2.5%	1.2%	3.9%
男性	人数	91	93	42	41	20	9	29
	構成比	12.2%	12.5%	5.7%	5.5%	2.7%	1.2%	3.9%
女性	人数	97	84	44	36	21	10	31
	構成比	10.9%	9.4%	4.9%	4.0%	2.4%	1.1%	3.5%
属性無記入	人数	8	5	1	2	1	2	7
	構成比	11.4%	7.1%	1.4%	2.9%	1.4%	2.9%	10.0%



## 年 齢 別

高齢者の生活を支えるために市が特に取り組むべきこととして、最も多い回答は、20～40歳代までは「高齢者にやさしいまちづくり」、50歳代では「福祉施設の整備と充実」、60歳以上は「医療施設の整備・充実」となっている。

また、20～30歳代では「高齢者にやさしいまちづくり」、40歳代では「活躍機会の充実」、50歳以上では「相談窓口の充実や相談機能の充実」との回答が、他の年代と比較して多い。

注意: 白文字 =1位 黒文字 =2位

		回答者数	医療施設の整備・充実	高齢者にやさしいまちづくりの推進(道路や公共施設のバリアフリー化)	福祉施設(高齢者マンション、介護付有料老人ホームなど)の整備と充実	相談窓口の充実や相談機能の強化	就労機会の充実	壮年期からの健康づくりの推進	住宅改造補助の充実
全体	人数	1706	815	772	670	492	305	285	277
	構成比		47.8%	45.3%	39.3%	28.8%	17.9%	16.7%	16.2%
18～29歳	人数	137	58	72	43	23	27	18	20
	構成比		42.3%	52.6%	31.4%	16.8%	19.7%	13.1%	14.6%
30～39歳	人数	226	109	129	75	53	49	24	36
	構成比		48.2%	57.1%	33.2%	23.5%	21.7%	10.6%	15.9%
40～49歳	人数	258	110	116	89	66	68	36	39
	構成比		42.6%	45.0%	34.5%	25.6%	26.4%	14.0%	15.1%
50～59歳	人数	249	106	103	114	87	57	52	49
	構成比		42.6%	41.4%	45.8%	34.9%	22.9%	20.9%	19.7%
60～69歳	人数	382	195	143	164	116	66	80	66
	構成比		51.0%	37.4%	42.9%	30.4%	17.3%	20.9%	17.3%
70歳以上	人数	397	208	188	164	134	26	66	63
	構成比		52.4%	47.4%	41.3%	33.8%	6.5%	16.6%	15.9%
属性無記入	人数	57	29	21	21	13	12	9	4
	構成比		50.9%	36.8%	36.8%	22.8%	21.1%	15.8%	7.0%

		活躍機会の充実	スポーツ・レクリエーション活動の支援	貸付菜園の確保・拡充	学習機会の充実	その他	特に必要ない	無回答
全体	人数	196	182	87	79	42	21	67
	構成比	11.5%	10.7%	5.1%	4.6%	2.5%	1.2%	3.9%
18～29歳	人数	23	10	4	6	4	6	3
	構成比	16.8%	7.3%	2.9%	4.4%	2.9%	4.4%	2.2%
30～39歳	人数	22	19	15	11	5	3	7
	構成比	9.7%	8.4%	6.6%	4.9%	2.2%	1.3%	3.1%
40～49歳	人数	54	23	12	8	9	1	8
	構成比	20.9%	8.9%	4.7%	3.1%	3.5%	0.4%	3.1%
50～59歳	人数	28	28	11	8	8	2	4
	構成比	11.2%	11.2%	4.4%	3.2%	3.2%	0.8%	1.6%
60～69歳	人数	38	55	22	27	7	2	15
	構成比	9.9%	14.4%	5.8%	7.1%	1.8%	0.5%	3.9%
70歳以上	人数	24	42	22	17	6	6	24
	構成比	6.0%	10.6%	5.5%	4.3%	1.5%	1.5%	6.0%
属性無記入	人数	7	5	1	2	3	1	6
	構成比	12.3%	8.8%	1.8%	3.5%	5.3%	1.8%	10.5%

## 居住地区別

高齢者の生活を支えるために市が特に取り組むべきこととして、最も多い回答は、旧桶川西地区では「高齢者にやさしいまちづくり」、それ以外の地区では「医療施設の整備・充実」となっている。

また、旧桶川東地区では「活躍機会の充実」、旧桶川西地区では「相談窓口の充実や相談機能の強化」、上下日出谷地区では「医療施設の整備・充実」、旧加納村地区では「住宅改造補助の充実」、川田谷地区では「壮年期からの健康づくりの推進」「相談窓口の充実や相談機能の強化」などの回答が、他地区に比べ多い。

注意: 白文字 =1位 黒文字 =2位

	回答者数	医療施設の整備・充実	高齢者にやさしいまちづくりの推進(道路や公共施設のバリアフリー化)	福祉施設(高齢者マンション、介護付有料老人ホームなど)の整備と充実	相談窓口の充実や相談機能の強化	就労機会の充実	壮年期からの健康づくりの推進	住宅改造補助の充実
		人数 構成比	人数 構成比	人数 構成比	人数 構成比	人数 構成比	人数 構成比	人数 構成比
全体	1706	815 47.8%	772 45.3%	670 39.3%	492 28.8%	305 17.9%	285 16.7%	277 16.2%
旧桶川東地区	370	175 47.3%	170 45.9%	153 41.4%	88 23.8%	73 19.7%	71 19.2%	60 16.2%
旧桶川西地区	369	164 44.4%	177 48.0%	154 41.7%	121 32.8%	68 18.4%	63 17.1%	50 13.6%
上下日出谷地区	370	191 51.6%	163 44.1%	141 38.1%	115 31.1%	61 16.5%	62 16.8%	62 16.8%
旧加納村地区	386	189 49.0%	182 47.2%	145 37.6%	104 26.9%	67 17.4%	47 12.2%	76 19.7%
川田谷地区	141	61 43.3%	53 37.6%	50 35.5%	48 34.0%	23 16.3%	32 22.7%	22 15.6%
属性無記入	70	35 50.0%	27 38.6%	27 38.6%	16 22.9%	13 18.6%	10 14.3%	7 10.0%

	回答者数	活躍機会の充実	スポーツ・レクリエーション活動の支援	貸付菜園の確保・拡充	学習機会の充実	その他	特に必要ない	無回答
		人数 構成比	人数 構成比	人数 構成比	人数 構成比	人数 構成比	人数 構成比	人数 構成比
全体	196	182 11.5%	87 10.7%	79 5.1%	42 4.6%	21 2.5%	67 3.9%	
旧桶川東地区	53	28 14.3%	22 7.6%	13 5.9%	6 3.5%	8 1.6%	8 2.2%	
旧桶川西地区	46	45 12.5%	20 12.2%	22 5.4%	10 6.0%	4 2.7%	13 3.5%	
上下日出谷地区	34	42 9.2%	18 11.4%	15 4.9%	8 4.1%	4 2.2%	14 3.8%	
旧加納村地区	39	44 10.1%	17 11.4%	21 4.4%	8 5.4%	4 2.1%	17 4.4%	
川田谷地区	16	17 11.3%	9 12.1%	6 6.4%	6 4.3%	0 0.0%	7 5.0%	
属性無記入	8	6 11.4%	1 8.6%	2 1.4%	4 2.9%	1 5.7%	8 11.4%	

## 家族構成別

高齢者の生活を支えるために市が特に取り組むべきこととして、最も多い回答は、夫婦だけ・その他では「医療施設の整備・充実」、二世帯世帯・単身世帯では「高齢者にやさしいまちづくり」、三世帯世帯では「福祉施設の整備と充実」となっている。

また、夫婦だけでは「スポーツ・レクリエーション活動の支援」、二世帯世帯では「就労機会の充実」、その他では「相談窓口の充実や相談機能の強化」との回答が、他の家族構成に比べ多い。

		回答者数	医療施設の整備・充実	高齢者にやさしいまちづくりの推進 (道路や公共施設のバリアフリー化)	福祉施設 (高齢者マンション、介護付有料老人ホームなど)の整備と充実	相談窓口の充実や相談機能の強化	就労機会の充実	壮年期からの健康づくりの推進	住宅改造補助の充実
			白文字	黒文字		=1位		=2位	
全体	人数	1706	815	772	670	492	305	285	277
	構成比		47.8%	45.3%	39.3%	28.8%	17.9%	16.7%	16.2%
夫婦だけ	人数	485	256	215	194	141	69	83	76
	構成比		52.8%	44.3%	40.0%	29.1%	14.2%	17.1%	15.7%
二世帯世帯	人数	728	322	326	270	208	155	115	119
	構成比		44.2%	44.8%	37.1%	28.6%	21.3%	15.8%	16.3%
三世帯世帯	人数	81	34	36	38	21	13	13	16
	構成比		42.0%	44.4%	46.9%	25.9%	16.0%	16.0%	19.8%
単身世帯	人数	139	61	73	60	41	23	26	22
	構成比		43.9%	52.5%	43.2%	29.5%	16.5%	18.7%	15.8%
その他	人数	203	105	95	81	65	32	38	37
	構成比		51.7%	46.8%	39.9%	32.0%	15.8%	18.7%	18.2%
属性無記入	人数	70	37	27	27	16	13	10	7
	構成比		52.9%	38.6%	38.6%	22.9%	18.6%	14.3%	10.0%

		活躍機会の充実	スポーツ・レクリエーション活動の支援	貸付菜園の確保・拡充	学習機会の充実	その他	特に必要ない	無回答
全体	人数	196	182	87	79	42	21	67
	構成比	11.5%	10.7%	5.1%	4.6%	2.5%	1.2%	3.9%
夫婦だけ	人数	50	63	25	28	11	3	21
	構成比	10.3%	13.0%	5.2%	5.8%	2.3%	0.6%	4.3%
二世帯世帯	人数	107	75	37	35	20	8	24
	構成比	14.7%	10.3%	5.1%	4.8%	2.7%	1.1%	3.3%
三世帯世帯	人数	7	8	4	3	2	3	4
	構成比	8.6%	9.9%	4.9%	3.7%	2.5%	3.7%	4.9%
単身世帯	人数	8	6	10	6	3	4	5
	構成比	5.8%	4.3%	7.2%	4.3%	2.2%	2.9%	3.6%
その他	人数	15	22	10	4	3	2	7
	構成比	7.4%	10.8%	4.9%	2.0%	1.5%	1.0%	3.4%
属性無記入	人数	9	8	1	3	3	1	6
	構成比	12.9%	11.4%	1.4%	4.3%	4.3%	1.4%	8.6%

## 住居形態別

高齢者の生活を支えるために市が特に取り組むべきこととして、最も多い回答は、一戸建持ち家・一戸建以外持ち家（分譲マンション等）では、「医療施設の整備・充実」、それ以外の住居形態ではいずれも「高齢者にやさしいまちづくり」となっている（その他は、「相談窓口の充実や相談機能の強化」も同率1位）。

一方、一戸建て持ち家・一戸建以外持ち家（分譲マンション等）・民間借家（民間アパートを含む）については、「福祉施設の整備と充実」についても多く、ニーズの高さを表している。

		回答者数	医療施設の整備・充実	高齢者にやさしいまちづくりの推進（道路や公共施設のバリアフリー化）	福祉施設（高齢者マンション、介護付有料老人ホームなど）の整備と充実	相談窓口の充実や相談機能の強化	就労機会の充実	壮年期からの健康づくりの推進	住宅改造補助の充実
全体	人数 構成比	1706	815 47.8%	772 45.3%	670 39.3%	492 28.8%	305 17.9%	285 16.7%	277 16.2%
一戸建持ち家	人数 構成比	1319	642 48.7%	588 44.6%	528 40.0%	382 29.0%	225 17.1%	222 16.8%	219 16.6%
一戸建以外持ち家（分譲マンション等）	人数 構成比	114	58 50.9%	51 44.7%	45 39.5%	32 28.1%	25 21.9%	17 14.9%	15 13.2%
民間借家（民間アパートを含む）	人数 構成比	166	67 40.4%	83 50.0%	63 38.0%	46 27.7%	34 20.5%	27 16.3%	30 18.1%
公営（県営、公団、公社）の賃貸住宅	人数 構成比	36	14 38.9%	23 63.9%	9 25.0%	11 30.6%	9 25.0%	7 19.4%	6 16.7%
社宅（独身寮、公務員住宅を含む）	人数 構成比	4	1 25.0%	3 75.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	人数 構成比	11	4 36.4%	5 45.5%	4 36.4%	5 45.5%	0 0.0%	1 9.1%	1 9.1%
属性無記入	人数 構成比	56	29 51.8%	19 33.9%	20 35.7%	14 25.0%	12 21.4%	11 19.6%	6 10.7%

注意：白文字 =1位 黒文字 =2位

		活躍機会の充実	スポーツ・レクリエーション活動の支援	貸付菜園の確保・拡充	学習機会の充実	その他	特に必要ない	無回答
全体	人数 構成比	196 11.5%	182 10.7%	87 5.1%	79 4.6%	42 2.5%	21 1.2%	67 3.9%
一戸建持ち家	人数 構成比	143 10.8%	153 11.6%	67 5.1%	60 4.5%	32 2.4%	14 1.1%	50 3.8%
一戸建以外持ち家（分譲マンション等）	人数 構成比	10 8.8%	7 6.1%	5 4.4%	3 2.6%	4 3.5%	2 1.8%	5 4.4%
民間借家（民間アパートを含む）	人数 構成比	27 16.3%	11 6.6%	12 7.2%	10 6.0%	3 1.8%	3 1.8%	3 1.8%
公営（県営、公団、公社）の賃貸住宅	人数 構成比	6 16.7%	4 11.1%	2 5.6%	3 8.3%	1 2.8%	1 2.8%	1 2.8%
社宅（独身寮、公務員住宅を含む）	人数 構成比	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%
その他	人数 構成比	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%	1 9.1%
属性無記入	人数 構成比	9 16.1%	5 8.9%	1 1.8%	2 3.6%	1 1.8%	1 1.8%	6 10.7%

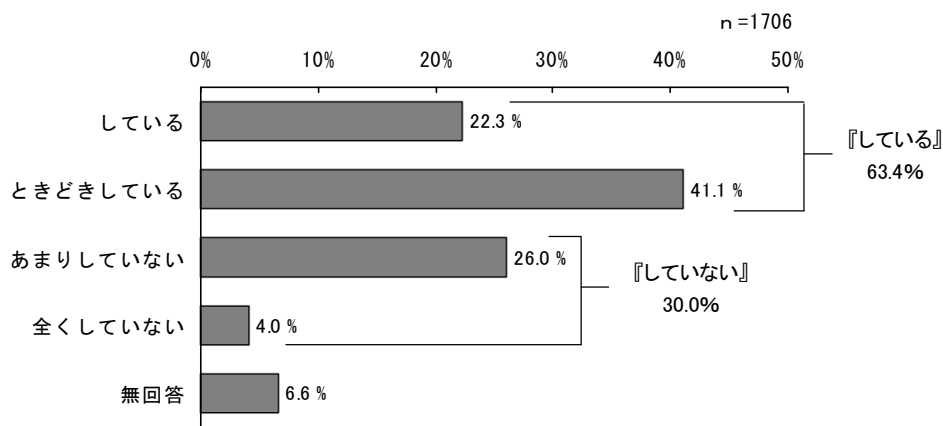
(5) 地球温暖化への取り組み

**問 23 あなたは、普段の生活の中で、地球温暖化への取り組みをしていますか。**  
(○は1つ)

**全 体**

「ときどきしている」との回答が41.1%と最も多く、次いで「あまりしていない」26.0%、「している」22.3%などが主であり、「全くしていない」は4.0%にとどまる。

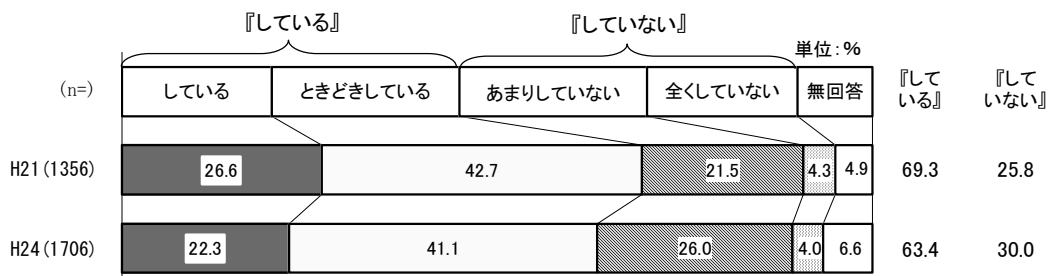
『している』（「している」＋「ときどきしている」）は63.4%と、全体の6割以上は地球環境問題への取り組みを行っているとは回答している。



**【経年比較】**

普段の生活の中での地球環境問題への取り組みについて、前回調査（平成21年度）と比較すると、『している』（「している」＋「ときどきしている」）との回答は、前回調査が今回調査を上回る。

一方、『していない』（「あまりしていない」＋「全くしていない」）については、増加していることから、市民の地球環境問題への取り組みはやや停滞している。



## 性別

普段の生活の中での地球環境問題への取り組みについて、最も多い回答は、男女ともに「ときどきしている」である。

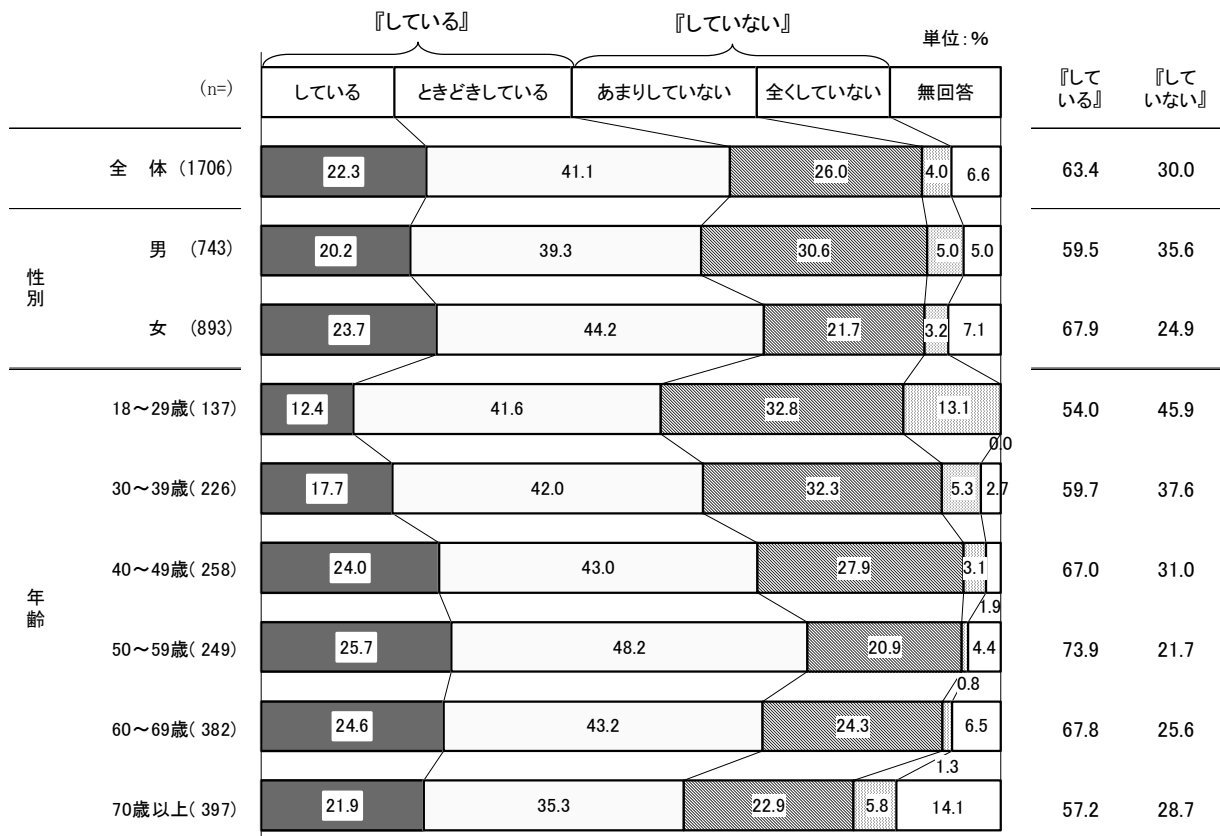
『している』（「している」＋「ときどきしている」）との回答は、女性が男性を上回り、女性の方が取り組みの割合が多くなっている。

## 年齢別

普段の生活の中での地球環境問題への取り組みについて、最も多い回答は、全ての年代で「ときどきしている」である。

『している』（「している」＋「ときどきしている」）との回答は50歳代が最も多く、次いで60歳代、40歳代などの順であり、最も少ないのは20歳代となっている。

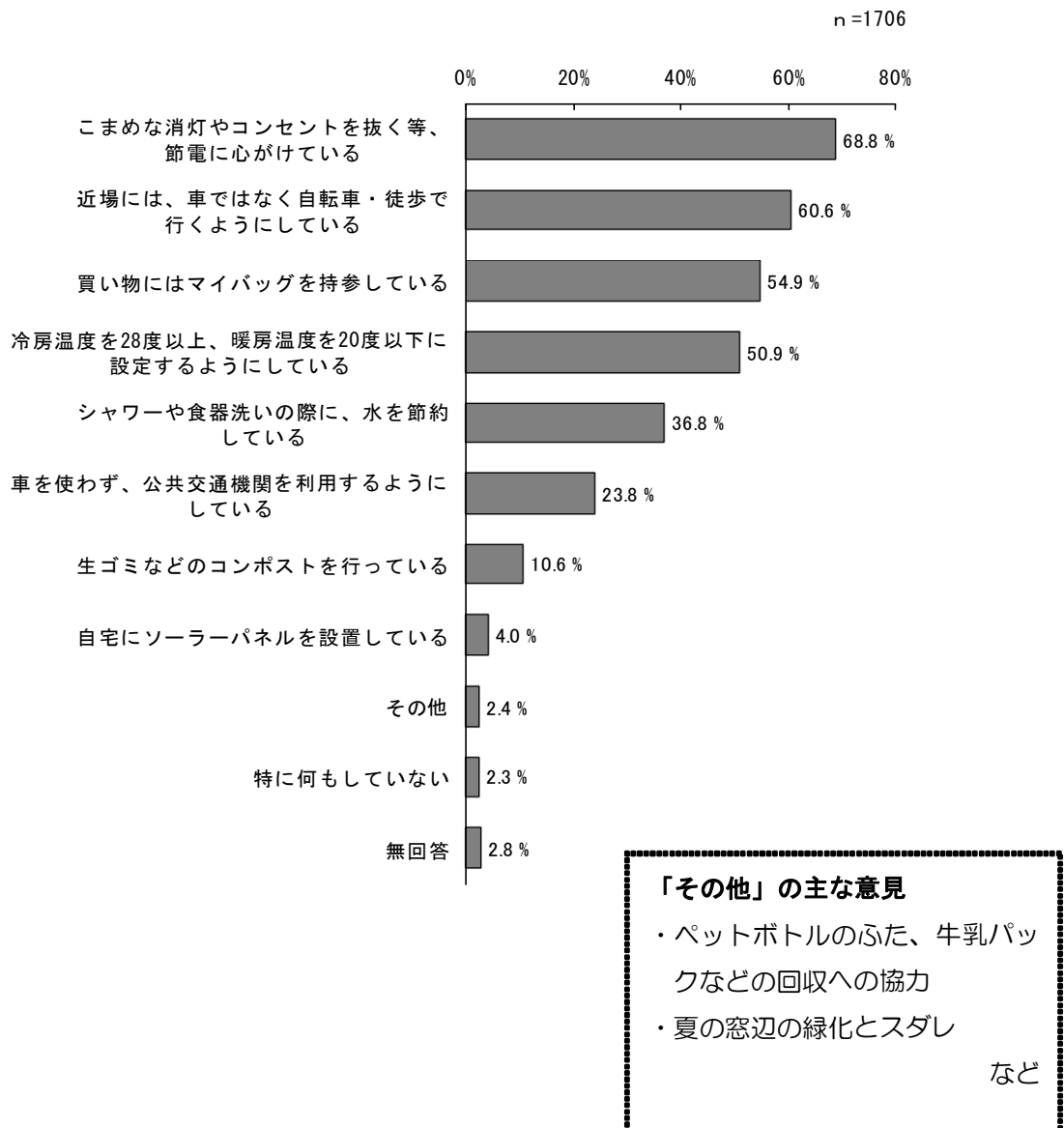
一方、『していない』（「あまりしていない」＋「全くしていない」）は20～30歳代で多く、若い世代での取り組みは比較的少ない。



問 24 次のうち、あなたが取り組んでいるものはありますか。(〇はあてはまるものすべて)

全 体

「こまめな消灯や、コンセントを抜く等節電に心がけている」(以下、「節電に心がけている」)との回答が最も多く 68.8%、次いで「近場には、車ではなく自転車・徒歩で行くようにしている」(以下、「近場には自転車・徒歩で行く」) 60.6%、「買い物にはマイバッグを持参している」(以下、「マイバッグを持参している」) 54.9%、「冷房温度を 28 度以上、暖房温度を 20 度以下に設定するようにしている」(以下、「冷暖房温度の設定の調整」) 50.9%などが主な回答となっている。



## 性別

地球温暖化への取り組みとして、最も多い回答は、男女ともに「節電に心がけている」である。多くの項目で、女性が男性を上回るが、特に「マイバッグを持参している」では、女性が男性を大幅に上回っている。

注意: 白文字 =1位 黒文字 =2位

		回答者数	こまめな消灯やコンセントを抜く等、節電に心がけている	近場には、車ではなく自転車・徒歩で行くようにしている	買い物にはマイバッグを持参している	冷房温度を28度以上、暖房温度を20度以下に設定するようにしている	シャワーや食器洗いの際に、水を節約している	車を使わず、公共交通機関を利用するようにしている
全体	人数	1706	1174	1034	936	868	627	406
	構成比		68.8%	60.6%	54.9%	50.9%	36.8%	23.8%
男性	人数	743	490	453	298	337	245	179
	構成比		65.9%	61.0%	40.1%	45.4%	33.0%	24.1%
女性	人数	893	640	541	611	495	360	209
	構成比		71.7%	60.6%	68.4%	55.4%	40.3%	23.4%
属性無記入	人数	70	44	40	27	36	22	18
	構成比		62.9%	57.1%	38.6%	51.4%	31.4%	25.7%

		生ゴミなどのコンポストを行っている	自宅にソーラーパネルを設置している	その他	特に何もしていない	無回答
全体	人数	180	68	41	39	47
	構成比	10.6%	4.0%	2.4%	2.3%	2.8%
男性	人数	63	34	14	22	24
	構成比	8.5%	4.6%	1.9%	3.0%	3.2%
女性	人数	107	31	23	15	20
	構成比	12.0%	3.5%	2.6%	1.7%	2.2%
属性無記入	人数	10	3	4	2	3
	構成比	14.3%	4.3%	5.7%	2.9%	4.3%



## 年 齢 別

地球温暖化への取り組みとして、最も多い回答は、いずれの年代でも「節電に心がけている」となっている。

また、20歳代では、「車を使わず、公共交通機関を利用するようにしている」、30歳代では「自宅にソーラーパネルを設置している」、40～60歳代は「マイバッグを持参している」、70歳以上では「冷暖房温度の設定の調整」「シャワーや食器洗いの際に水を節約している」「生ゴミなどのコンポストを行っている」との回答が他の年代と比較して多くなっており、特に70歳以上で、各項目への取り組みの回答が多くなっている。

注意: 白文字 =1位 黒文字 =2位

		回答者数	こまめな消灯やコンセントを抜く等、節電に心がけている	近場には、車ではなく自転車・徒歩で行くようにしている	買い物にはマイバッグを持参している	冷房温度を28度以上、暖房温度を20度以下に設定するようにしている	シャワーや食器洗いの際に、水を節約している	車を使わず、公共交通機関を利用するようにしている
全体	人数 構成比	1706	1174 68.8%	1034 60.6%	936 54.9%	868 50.9%	627 36.8%	406 23.8%
18～29歳	人数 構成比	137	79 57.7%	69 50.4%	66 48.2%	48 35.0%	37 27.0%	41 29.9%
30～39歳	人数 構成比	226	144 63.7%	128 56.6%	126 55.8%	115 50.9%	80 35.4%	42 18.6%
40～49歳	人数 構成比	258	183 70.9%	159 61.6%	150 58.1%	125 48.4%	103 39.9%	62 24.0%
50～59歳	人数 構成比	249	177 71.1%	143 57.4%	146 58.6%	118 47.4%	82 32.9%	55 22.1%
60～69歳	人数 構成比	382	272 71.2%	253 66.2%	225 58.9%	210 55.0%	140 36.6%	83 21.7%
70歳以上	人数 構成比	397	284 71.5%	251 63.2%	201 50.6%	222 55.9%	165 41.6%	107 27.0%
属性 無記入	人数 構成比	57	35 61.4%	31 54.4%	22 38.6%	30 52.6%	20 35.1%	16 28.1%

		生ゴミなどのコンポストを行っている	自宅にソーラーパネルを設置している	その他	特に何もしていない	無回答
全体	人数 構成比	180 10.6%	68 4.0%	41 2.4%	39 2.3%	47 2.8%
18～29歳	人数 構成比	10 7.3%	6 4.4%	4 2.9%	8 5.8%	2 1.5%
30～39歳	人数 構成比	6 2.7%	22 9.7%	6 2.7%	8 3.5%	7 3.1%
40～49歳	人数 構成比	16 6.2%	8 3.1%	5 1.9%	9 3.5%	3 1.2%
50～59歳	人数 構成比	32 12.9%	10 4.0%	4 1.6%	7 2.8%	4 1.6%
60～69歳	人数 構成比	49 12.8%	12 3.1%	8 2.1%	1 0.3%	8 2.1%
70歳以上	人数 構成比	60 15.1%	7 1.8%	11 2.8%	4 1.0%	20 5.0%
属性 無記入	人数 構成比	7 12.3%	3 5.3%	3 5.3%	2 3.5%	3 5.3%

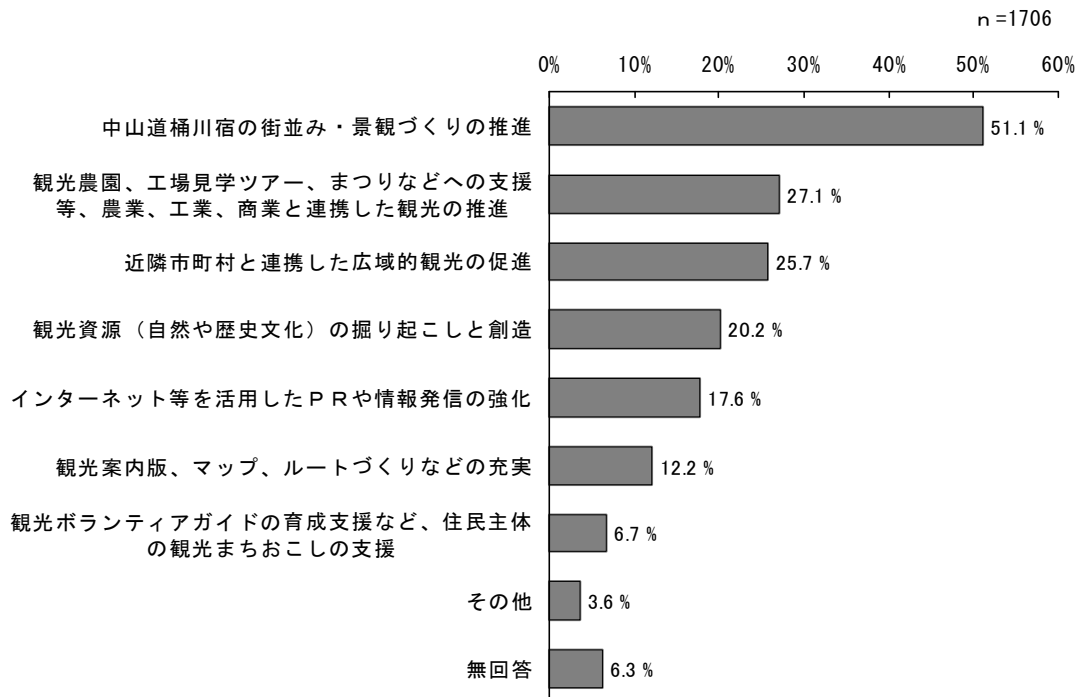
## (6) 観光振興

**問 25 あなたは、桶川市の更なる観光振興のために、市は、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。(〇は2つまで)**

### 全 体

「中山道桶川宿の街並み・景観づくりの推進」(以下、「中山道桶川宿の景観づくり」)との回答が51.1%と最も多く、全体の半数以上を占めている。

次いで、「観光農園、工場見学ツアー、まつりなどへの支援等、農業、工業、商業と連携した観光の推進」(以下、「農・工・商と連携した観光の推進」)27.1%、「近隣市町村と連携した広域的観光の促進」(以下、「広域的観光の促進」)25.7%、「観光資源(自然や歴史文化)の掘り起こしと創造」(以下、「観光資源の掘り起こしと創造」)20.2%などが主な回答となっている。



#### 「その他」の主な意見

- ・既存公園の更なる整備と維持管理
- ・観光の前に都市基盤整備を
- ・不要 など

## 年 齢 別

桶川市の観光振興のために今後市が特に力を入れていくべきこととして、最も多い回答は、全ての年代において「中山道桶川宿の景観づくり」となっている。

2番目に多い回答は、20～40 歳代では「農・工・商と連携した観光の推進」、50 歳以上では「広域的観光の促進」である。

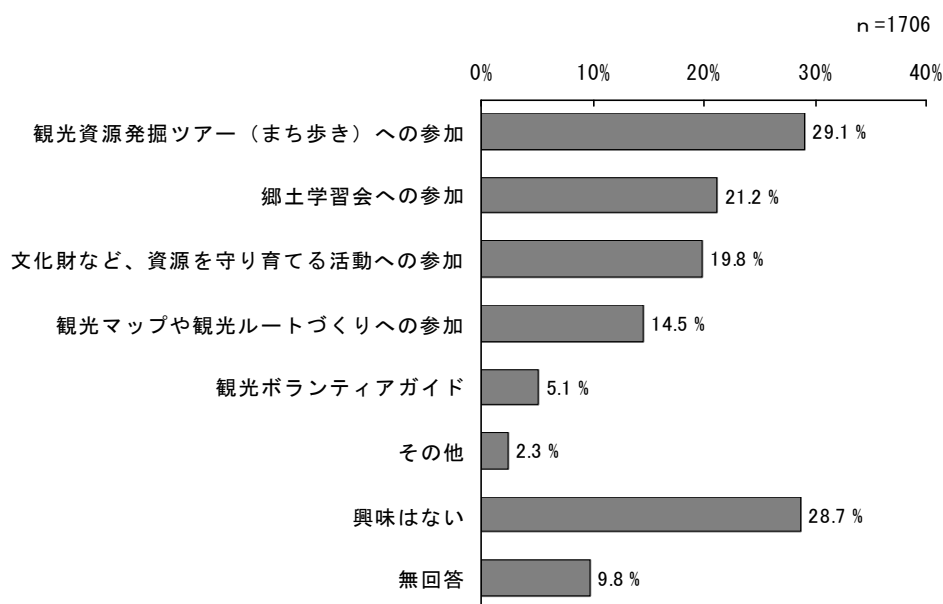
その他、30 歳代では「観光案内版、マップ、ルートづくりなどの充実」、50 歳代では「観光資源（自然や歴史文化）の掘り起こしと創造」との回答が他の年代に比べ多い。

		注意: 白文字 =1位 黒文字 =2位									
		回答者数	中山道桶川宿の街並み・景観づくりの推進	観光農園、工場見学ツアー、まつりなどへの支援等、農業、工業、商業と連携した観光の推進	近隣市町村と連携した広域的観光の促進	観光資源（自然や歴史文化）の掘り起こしと創造	インターネット等を活用したPRや情報発信の強化	観光案内版、マップ、ルートづくりなどの充実	観光ボランティアガイドの育成支援など、住民主体の観光まちおこしの支援	その他	無回答
全体	人数	1706	872	463	438	344	301	208	115	61	108
	構成比		51.1%	27.1%	25.7%	20.2%	17.6%	12.2%	6.7%	3.6%	6.3%
18～29歳	人数	137	75	48	26	24	28	10	11	10	4
	構成比		54.7%	35.0%	19.0%	17.5%	20.4%	7.3%	8.0%	7.3%	2.9%
30～39歳	人数	226	113	82	39	39	42	35	15	9	10
	構成比		50.0%	36.3%	17.3%	17.3%	18.6%	15.5%	6.6%	4.0%	4.4%
40～49歳	人数	258	140	86	56	49	50	23	13	12	7
	構成比		54.3%	33.3%	21.7%	19.0%	19.4%	8.9%	5.0%	4.7%	2.7%
50～59歳	人数	249	133	67	72	63	50	28	8	6	8
	構成比		53.4%	26.9%	28.9%	25.3%	20.1%	11.2%	3.2%	2.4%	3.2%
60～69歳	人数	382	200	90	109	79	66	54	33	10	21
	構成比		52.4%	23.6%	28.5%	20.7%	17.3%	14.1%	8.6%	2.6%	5.5%
70歳以上	人数	397	183	79	123	76	58	54	32	11	47
	構成比		46.1%	19.9%	31.0%	19.1%	14.6%	13.6%	8.1%	2.8%	11.8%
属性無記入	人数	57	28	11	13	14	7	4	3	3	11
	構成比		49.1%	19.3%	22.8%	24.6%	12.3%	7.0%	5.3%	5.3%	19.3%

問 26 あなたは、観光振興にかかわる、次のどの活動への参加に興味がありますか。  
(○は2つまで)

全 体

「観光資源発掘ツアー（まち歩き）への参加」（以下、「まち歩き」と）の回答が29.1%と最も多く、次いで「興味はない」28.7%、「郷土学習会への参加」21.2%、「文化財など、資源を守り育てる活動への参加」（以下、「文化財の保全活動」）19.8%などが主な回答となっている。



「その他」の主な意見

- ・郷土グルメの掘り起こしと宣伝
- ・参加する時間はない など

## 性別

観光振興にかかわる活動への参加について、最も多い回答は、女性が「まち歩き」、男性が「興味はない」となっている。

性別による大きな差はないが、「文化財の保全活動」「観光マップや観光ルートづくりへの参加」（以下、「マップ・ルートづくり」と）との回答が、男性が女性を上回る。

		回答者数	観光資源 発掘ツ アー(まち 歩き)への 参加	郷土学習 会への参 加	文化財な ど、資源を 守り育てる 活動への 参加	観光マップ や観光 ルートづく りへの参 加	観光ボラン ティアガイ ド	その他	興味はな い	無回答
全体	人数	1706	497	362	338	247	87	40	490	167
	構成比		29.1%	21.2%	19.8%	14.5%	5.1%	2.3%	28.7%	9.8%
男性	人数	743	218	158	158	112	30	21	221	61
	構成比		29.3%	21.3%	21.3%	15.1%	4.0%	2.8%	29.7%	8.2%
女性	人数	893	265	195	164	124	51	17	259	86
	構成比		29.7%	21.8%	18.4%	13.9%	5.7%	1.9%	29.0%	9.6%
属性 無記入	人数	70	14	9	16	11	6	2	10	20
	構成比		20.0%	12.9%	22.9%	15.7%	8.6%	2.9%	14.3%	28.6%

注意: 白文字 =1位 黒文字 =2位

## 年 齢 別

観光振興にかかわる活動への参加について、最も多い回答は、20～40 歳代では「興味はない」、50 歳以上では「まち歩き」となっており、全体として若い世代で関心が低くなっている。

一方で、20 歳代では「文化財の保全活動」、50 歳代では「マップ・ルートづくり」、同じく50 歳代と60 歳代では「まち歩き」との回答が、他の年代に比べ多い。

		回答者数	観光資源 発掘ツ アー(まち 歩き)への 参加	郷土学習 会への参 加	文化財な ど、資源を 守り育てる 活動への 参加	観光マップ や観光ルー トづくりへの 参加	観光ボラン ティアガイ ド	その他	興味はな い	無回答
全体	人数	1706	497	362	338	247	87	40	490	167
	構成比		29.1%	21.2%	19.8%	14.5%	5.1%	2.3%	28.7%	9.8%
18～29歳	人数	137	29	21	35	20	8	6	46	4
	構成比		21.2%	15.3%	25.5%	14.6%	5.8%	4.4%	33.6%	2.9%
30～39歳	人数	226	55	38	41	36	10	3	91	8
	構成比		24.3%	16.8%	18.1%	15.9%	4.4%	1.3%	40.3%	3.5%
40～49歳	人数	258	72	40	52	37	15	4	100	10
	構成比		27.9%	15.5%	20.2%	14.3%	5.8%	1.6%	38.8%	3.9%
50～59歳	人数	249	92	49	52	45	8	5	71	14
	構成比		36.9%	19.7%	20.9%	18.1%	3.2%	2.0%	28.5%	5.6%
60～69歳	人数	382	128	98	74	50	27	9	92	35
	構成比		33.5%	25.7%	19.4%	13.1%	7.1%	2.4%	24.1%	9.2%
70歳以上	人数	397	110	108	69	51	14	10	79	83
	構成比		27.7%	27.2%	17.4%	12.8%	3.5%	2.5%	19.9%	20.9%
属性 無記入	人数	57	11	8	15	8	5	3	11	13
	構成比		19.3%	14.0%	26.3%	14.0%	8.8%	5.3%	19.3%	22.8%

注意: 白文字 =1位 黒文字 =2位

## 4. 市政について

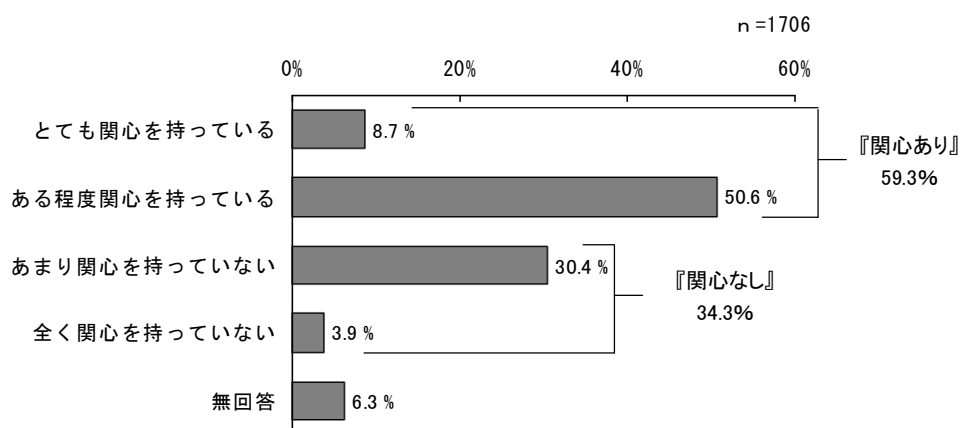
### (1) 市政全般への関心度

**問 27 市政全般に対するあなたの関心度について、該当するものを選んで下さい。**  
(○は1つ)

#### 全 体

「ある程度関心を持っている」との回答が 50.6%と最も多く、次いで「余り関心を持っていない」30.4%、「とても関心を持っている」8.7%となっている。

『関心あり』(「とても関心を持っている」+「ある程度関心を持っている」)との回答は59.3%と、全体の約6割が市政に関心を持っているとしている。



#### 【経年比較】

市政全般に対する関心度について、前回調査(平成21年度)と比較すると、『関心あり』との回答は前回調査と今回調査では、ほとんど変化がない。

一方、『関心なし』(「全く関心を持っていない」+「あまり関心をもっていない」)との回答は、微減傾向にあり、ここ数年の市政への関心度に大きな変化はみられない。

(n=)	『関心あり』		『関心なし』		無回答	『関心あり』	『関心なし』
	とても関心を持っている	ある程度関心を持っている	あまり関心を持っていない	全く関心を持っていない			
H21 (1356)	8.6	50.4	31.6	5.5	3.9	59.0	37.1
H24 (1706)	8.7	50.6	30.4	3.9	6.3	59.3	34.3

単位: %

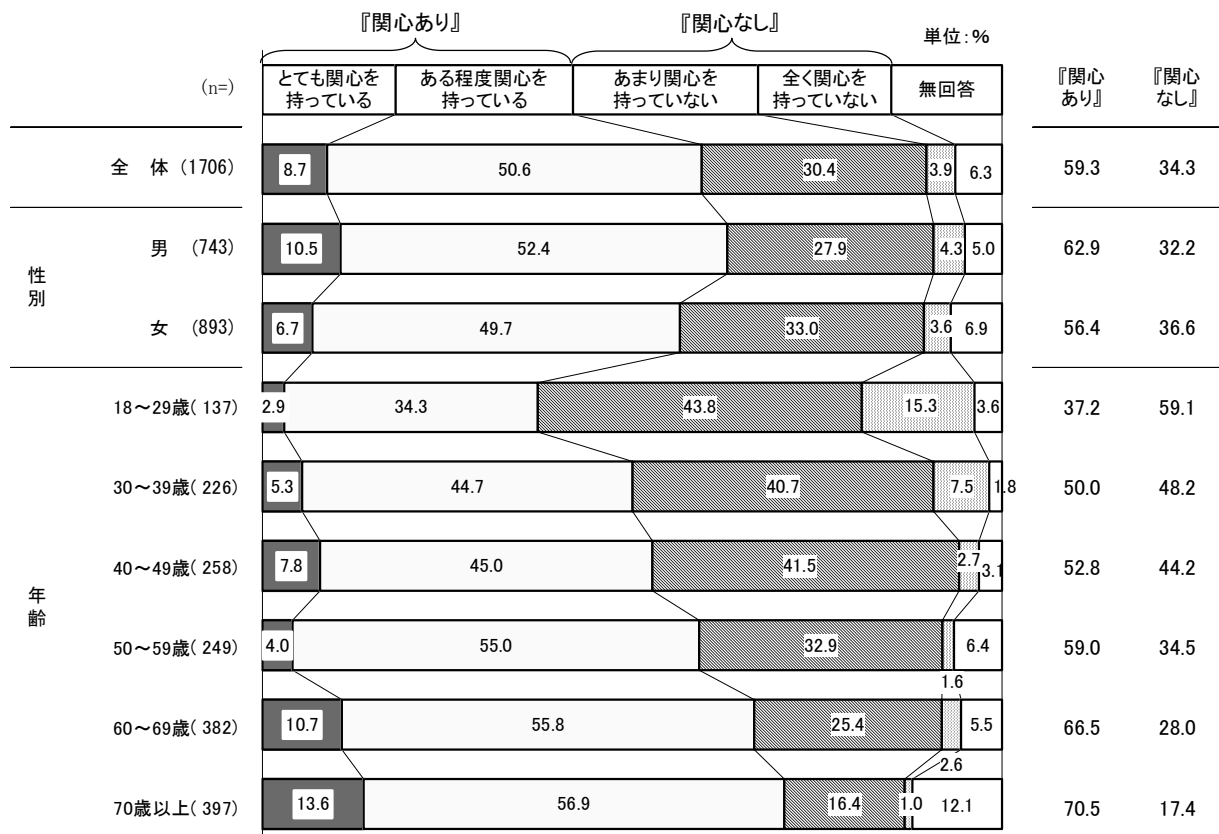
## 性別

市政全般に対する関心度について、最も多い回答は、男女ともに「ある程度関心を持っている」であるが、『関心あり』（「とても関心を持っている」＋「ある程度関心を持っている」）との回答は、男性が女性を上回り、女性に比べ男性で市政への関心が高くなっている。

## 年齢別

市政全般に対する関心度について、20歳代では「あまり関心を持っていない」、それ以外の年代では「ある程度関心を持っている」が最も多い。

『関心あり』（「とても関心を持っている」＋「ある程度関心を持っている」）との回答が最も多いのは70歳以上、最も少ないのは20歳代であり、年代が上がるほど市政への関心が高い傾向にある。





## 居住年数別

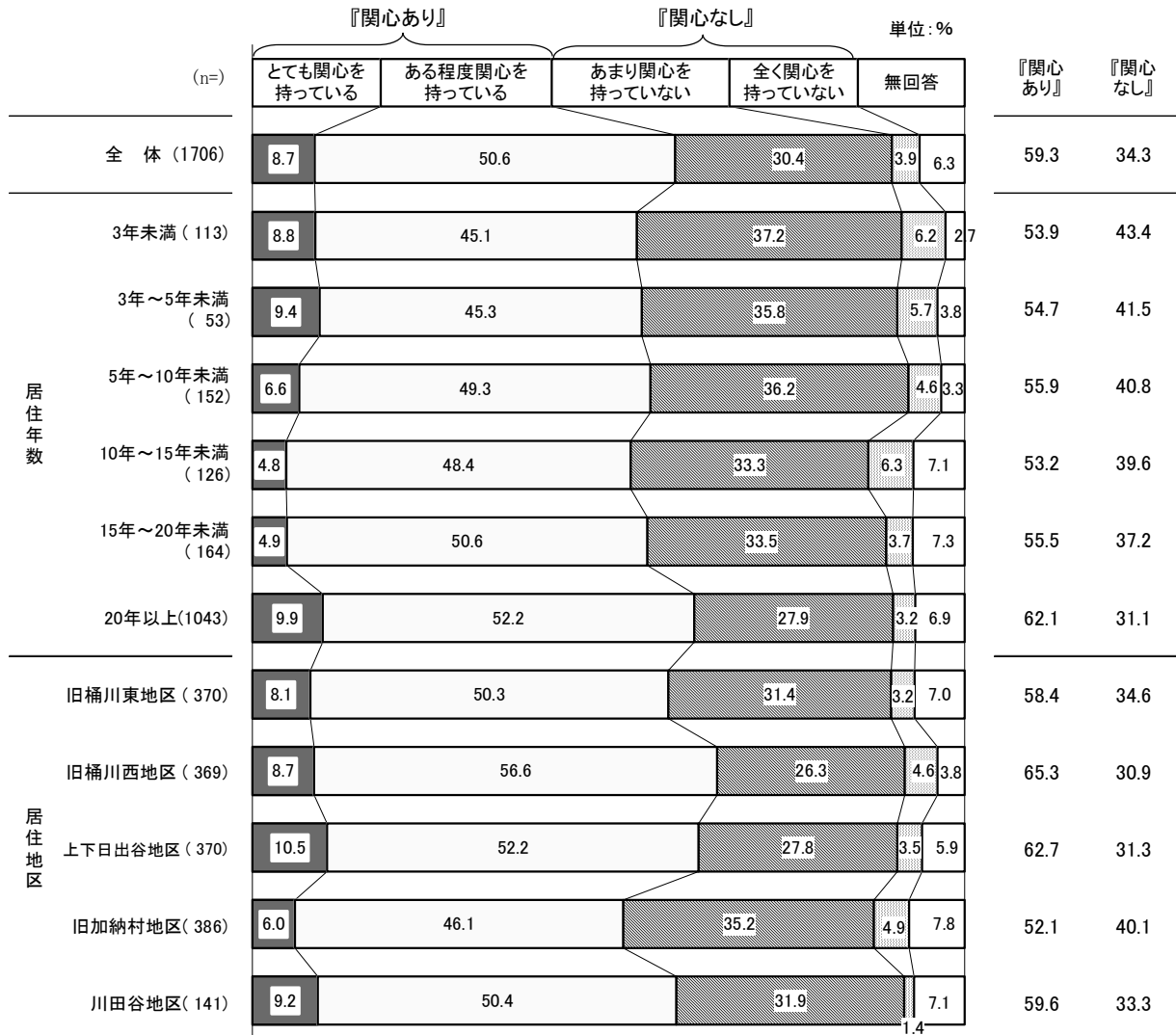
市政全般に対する関心度について、最も多い回答は、いずれの居住年数も「ある程度関心を持っている」となっている。

一方、『関心なし』（「全く関心を持っていない」＋「あまり関心を持っていない」）との回答が最も多いのは、居住年数3年未満、最も少ないのは20年以上となっており、居住年数が短いほど市政への関心が低い傾向にある。

## 居住地区別

市政全般に対する関心度について、最も多い回答は、全ての地区において「ある程度関心を持っている」となっている。

『関心あり』（「とても関心を持っている」＋「ある程度関心を持っている」）との回答は、旧桶川西地区や上下日出谷地区などで多く、旧加納村地区が最も少ない。

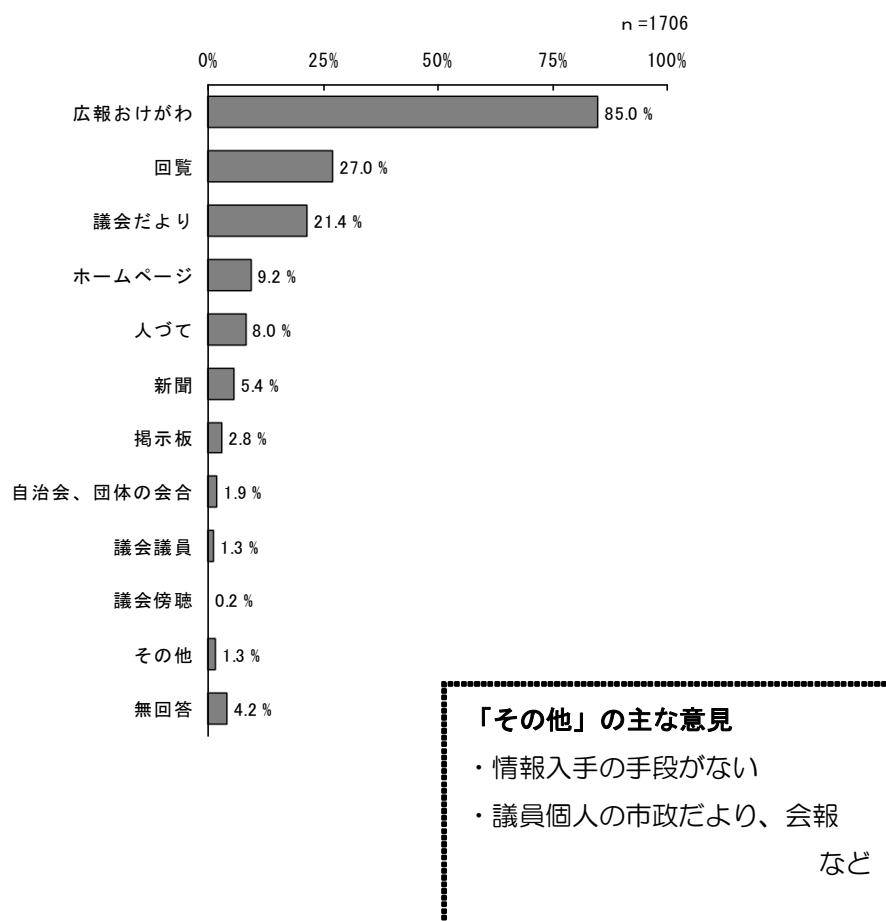


## (2) 市政情報

問 28 市役所の仕事や行事などについて、何から情報を得ていますか。(〇は主なもの2つまで)

### 全 体

「広報おけがわ」との回答が85.0%と圧倒的に多く、全体の8割以上を占める。次いで「回覧」27.0%、「議会だより」21.4%などが主なところである。



### 【経年比較】

市役所の仕事や行事などについての情報源は、前回調査（平成 21 年度）と比較すると、前回調査第4位の「人づて」と第5位「ホームページ」が今回調査では入れ替わっているほかは、変化がないが、上位3項目の「広報おけがわ」「回覧」「議会だより」はいずれも割合が増加している。

	前回調査 (平成21年度)		今回調査 (平成24年度)		H21との 順位比較
1位	広報おけがわ	81.7%	広報おけがわ	85.0%	→
2位	回覧	24.3%	回覧	27.0%	→
3位	議会だより	20.1%	議会だより	21.4%	→
4位	人づて	10.0%	ホームページ	9.2%	↗
5位	ホームページ	9.7%	人づて	8.0%	↘
6位	新聞	5.5%	新聞	5.4%	→
7位	掲示板	3.9%	掲示板	2.8%	→
8位	自治会、団体の会合	1.9%	自治会、団体の会合	1.9%	→
9位	議会議員	1.4%	議会議員	1.3%	→
10位	議会傍聴	0.0%	議会傍聴	0.2%	→

## 年 齢 別

市役所の仕事や行事などについての情報源として、最も多い回答は、全ての年代において「広報おけがわ」である。二番目に多いのは、20歳代のみ「人づて」、それ以外の年代はいずれも「回覧」となっている。

全体として、20～40歳代では「ホームページ」、50歳以上では「広報おけがわ」「回覧」「議会だより」との回答が多くなっている。

注意: 白文字 =1位 黒文字 =2位

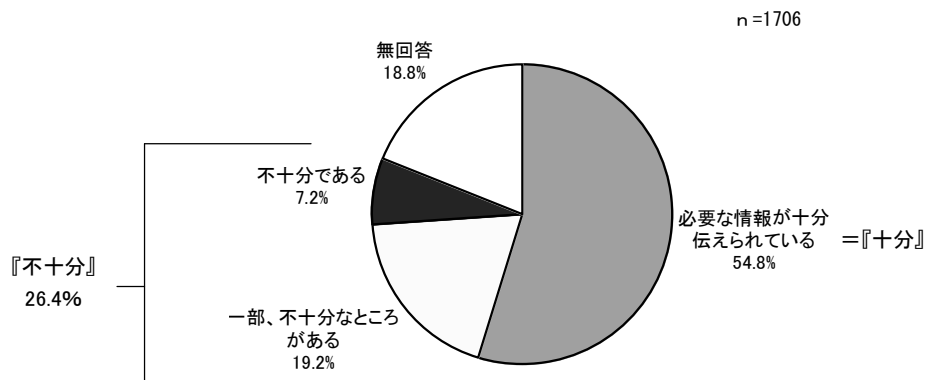
		回答者数	広報 おけがわ	回覧	議会 だより	ホーム ページ	人づて	新聞
全体	人数	1706	1450	461	365	157	137	92
	構成比		85.0%	27.0%	21.4%	9.2%	8.0%	5.4%
18～29歳	人数	137	87	29	11	22	33	2
	構成比		63.5%	21.2%	8.0%	16.1%	24.1%	1.5%
30～39歳	人数	226	181	49	36	46	21	8
	構成比		80.1%	21.7%	15.9%	20.4%	9.3%	3.5%
40～49歳	人数	258	222	56	55	36	20	13
	構成比		86.0%	21.7%	21.3%	14.0%	7.8%	5.0%
50～59歳	人数	249	223	68	63	20	15	13
	構成比		89.6%	27.3%	25.3%	8.0%	6.0%	5.2%
60～69歳	人数	382	347	104	102	23	18	19
	構成比		90.8%	27.2%	26.7%	6.0%	4.7%	5.0%
70歳以上	人数	397	351	139	87	5	23	32
	構成比		88.4%	35.0%	21.9%	1.3%	5.8%	8.1%
属性 無記入	人数	57	39	16	11	5	7	5
	構成比		68.4%	28.1%	19.3%	8.8%	12.3%	8.8%

		掲示板	自治会、団 体の 会合	議会議員	議会傍聴	その他	無回答
全体	人数	48	33	22	3	23	72
	構成比	2.8%	1.9%	1.3%	0.2%	1.3%	4.2%
18～29歳	人数	2	1	1	0	7	4
	構成比	1.5%	0.7%	0.7%	0.0%	5.1%	2.9%
30～39歳	人数	8	2	2	0	3	6
	構成比	3.5%	0.9%	0.9%	0.0%	1.3%	2.7%
40～49歳	人数	3	2	1	0	3	6
	構成比	1.2%	0.8%	0.4%	0.0%	1.2%	2.3%
50～59歳	人数	7	3	3	0	1	11
	構成比	2.8%	1.2%	1.2%	0.0%	0.4%	4.4%
60～69歳	人数	17	10	5	2	4	13
	構成比	4.5%	2.6%	1.3%	0.5%	1.0%	3.4%
70歳以上	人数	8	14	8	1	3	28
	構成比	2.0%	3.5%	2.0%	0.3%	0.8%	7.1%
属性 無記入	人数	3	1	2	0	2	4
	構成比	5.3%	1.8%	3.5%	0.0%	3.5%	7.0%

**問 29 あなたは市役所からの市政情報の提供についてどのようにお考えですか。(○は1つ)**  
**なお、「不十分なところ」については、( ) 内に具体的にお書きください。**

**全 体**

「必要な情報が十分に伝えられている」(=『十分』)との回答が 54.8%で最も多く、全体の半数以上を占めている。次いで「一部、不十分なところがある」19.2%、「不十分である」7.2%となっているが、一方で「無回答」も 18.8%と多い。



**【経年比較】**

市役所からの市政情報の提供について、前回調査(平成21年度)と比較すると、「必要な情報が十分に伝えられている」(=『十分』)と「一部、不十分なところがある」が減少している。

『不十分』(「一部、不十分なところがある」+「不十分である」)との回答は、前回調査に比べ増加しており、市役所からの市政情報に不足感を感じる人は、やや増えている。

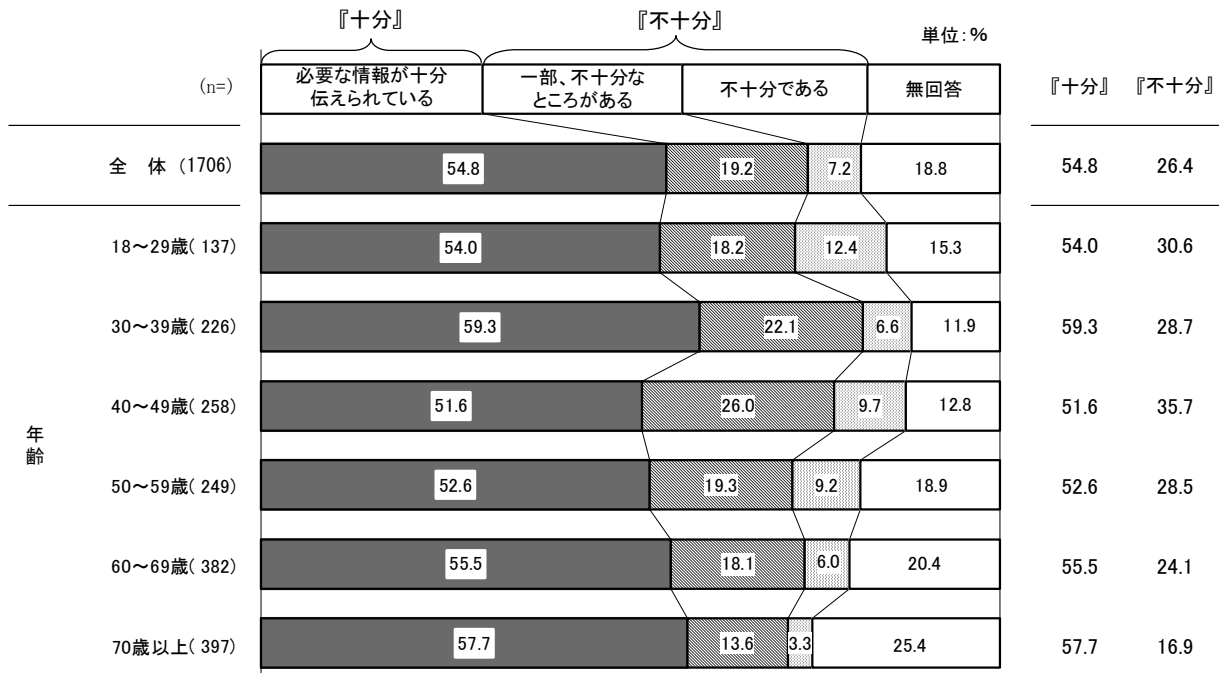
(n=)	『十分』		『不十分』		無回答	『十分』	『不十分』
	必要な情報が十分に伝えられている	一部、不十分なところがある	不十分である				
H21 (1356)	56.3	16.2	9.2	18.2		56.3	25.4
H24 (1706)	54.8	19.2	7.2	18.8		54.8	26.4

単位: %

## 年 齢 別

市役所からの市政情報の提供について、いずれの年代も「必要な情報が十分に伝えられている」(=『十分』)との回答が最も多い。

一方、『不十分』(「一部、不十分なところがある」+「不十分である」)との回答は、20歳代と40歳代で3割超え、他の年代に比べ多い。



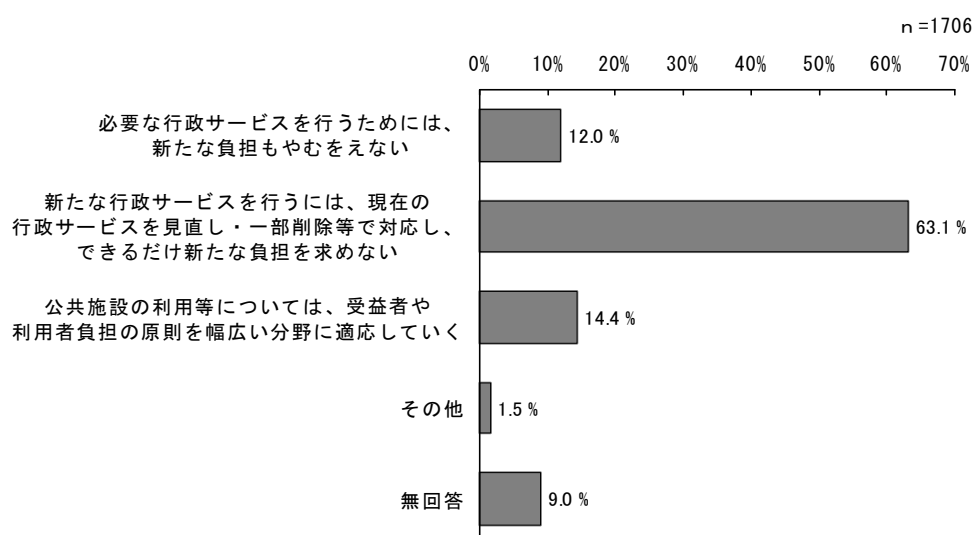
### (3) 行政サービスと負担

**問 30 あなたは、行政サービスとそれに伴う負担の仕方について、どのようにお考えですか。(〇は1つ)**

#### 全 体

「新たな行政サービスを行うには、現在の行政サービスを見直し一部削除等で対応し、できるだけ新たな負担を求めない」(以下、「新たな負担を求めない」と)の回答が63.1%が圧倒的に多い。

一方、「公共施設の利用等については、受益者や利用者負担の原則を幅広い分野に適用していく」(以下、「受益者・利用者負担の原則適用」)14.4%、「必要な行政サービスを行うためには、新たな負担もやむをえない」(以下、「新たな負担もやむをえない」)12.0%である。



#### 「その他」の主な意見

- ・新たな負担もやむをえないと思うが、現在のサービスの見直し、削減を徹底してから行ってほしい
- ・税金が高い割にそれに見合う充実感がない、税金が上手に利用されていないのではないか
- ・一時的な負担なら良いが、負担が発生する場合は、前もって説明する など

### 【経年比較】

行政サービスとそれに伴う負担の仕方について、前回調査（平成 21 年度）と比較すると、「新たな負担を求めない」との回答が、前回調査からわずかに増加しているものの、ここ数年での変化はほとんどみられない。

単位：%

(n=)	新たな負担もやむをえない	新たな負担を求めない	受益者・利用者負担の原則適応	その他	無回答
H21 (1356)	12.3	62.6		15.9	7.5
H24 (1706)	12.0	63.1		14.4	9.0
				1.6	1.5

### 年 齢 別

行政サービスとそれに伴う負担の仕方について、最も多い回答は、全ての年代で「新たな負担を求めない」となっている。

60 歳以上では「受益者・利用者負担の原則適応」、70 歳以上では「新たな負担もやむをえない」、20 歳代では「新たな負担を求めない」との回答が他の年代に比へ多い。

単位：%

(n=)	新たな負担もやむをえない	新たな負担を求めない	受益者・利用者負担の原則適応	その他	無回答
全 体 (1706)	12.0	63.1		14.4	9.0
18～29歳 (137)	9.5	73.7		8.0	7.3
30～39歳 (226)	12.8	68.6		9.7	7.5
40～49歳 (258)	11.2	69.0		14.3	4.3
50～59歳 (249)	11.2	65.9		12.0	8.8
60～69歳 (382)	8.9	62.3		19.6	7.6
70歳以上 (397)	16.6	51.6		15.9	14.4



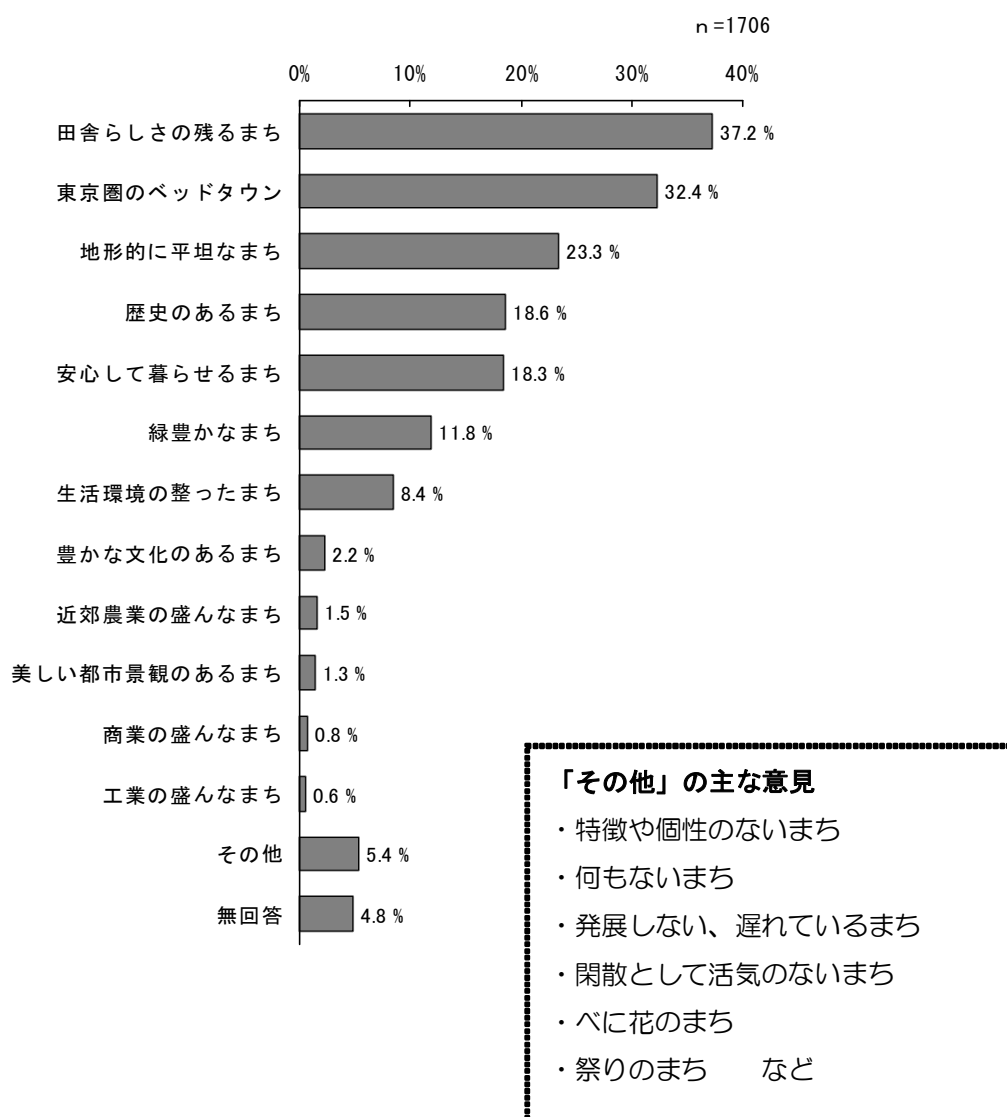
## 5. 桶川市のイメージや将来像について

### (1) 桶川市のイメージ

問 31 桶川市についてどのようなイメージをお持ちですか。(〇は2つまで)

#### 全 体

「田舎らしさの残るまち」との回答が37.2%と最も多く、次いで「東京圏のベッドタウン」32.4%、「地形的に平坦なまち」23.3%、「歴史のあるまち」18.6%、「安心して暮らせるまち」18.3%などが主な回答となっている。



## 【経年比較】

桶川市のイメージについて、前回調査（平成21年度）と比較すると、第8位と第9位の「豊かな文化のあるまち」「近郊農業の盛んなまち」が入れ替わっているほかは、変化がない。

	前回調査 (平成21年度)		今回調査 (平成24年度)		H21との 順位比較
	項目	割合	項目	割合	
1位	田舎らしさの残るまち	39.3%	田舎らしさの残るまち	37.2%	→
2位	東京圏のベッドタウン	31.3%	東京圏のベッドタウン	32.4%	→
3位	地形的に平坦なまち	27.6%	地形的に平坦なまち	23.3%	→
4位	歴史のあるまち	21.2%	歴史のあるまち	18.6%	→
5位	安心して暮らせるまち	15.6%	安心して暮らせるまち	18.3%	→
6位	緑豊かなまち	9.0%	緑豊かなまち	11.8%	→
7位	生活環境の整ったまち	5.3%	生活環境の整ったまち	8.4%	→
8位	近郊農業の盛んなまち	2.0%	豊かな文化のあるまち	2.2%	↗
9位	豊かな文化のあるまち	1.8%	近郊農業の盛んなまち	1.5%	↘
10位	美しい都市景観のあるまち	0.8%	美しい都市景観のあるまち	1.3%	→

## 性別

桶川市のイメージについて、最も多い回答は、男女ともに「田舎らしさの残るまち」、次いで「東京圏のベッドタウン」となっているが、「東京圏のベッドタウン」は男性が女性を上回り、「田舎らしさの残るまち」や「安心して暮らせるまち」は女性が男性を上回る。

注意: 白文字 =1位 黒文字 =2位

	回答者数	田舎らしさの残るまち	東京圏のベッドタウン	地形的に平坦なまち	歴史のあるまち	安心して暮らせるまち	緑豊かなまち	生活環境の整ったまち
		人数 構成比	人数 構成比	人数 構成比	人数 構成比	人数 構成比	人数 構成比	人数 構成比
全体	1706	635 37.2%	552 32.4%	397 23.3%	317 18.6%	313 18.3%	201 11.8%	143 8.4%
男性	743	263 35.4%	256 34.5%	164 22.1%	144 19.4%	125 16.8%	86 11.6%	65 8.7%
女性	893	344 38.5%	280 31.4%	214 24.0%	163 18.3%	175 19.6%	108 12.1%	71 8.0%
属性 無記入	70	28 40.0%	16 22.9%	19 27.1%	10 14.3%	13 18.6%	7 10.0%	7 10.0%

	人数 構成比	豊かな文化のあるまち	近郊農業の盛んなまち	美しい都市景観のあるまち	商業の盛んなまち	工業の盛んなまち	その他	無回答
		人数 構成比	人数 構成比	人数 構成比	人数 構成比	人数 構成比	人数 構成比	人数 構成比
全体	38 2.2%	26 1.5%	23 1.3%	13 0.8%	10 0.6%	92 5.4%	82 4.8%	
男性	18 2.4%	9 1.2%	11 1.5%	7 0.9%	5 0.7%	55 7.4%	34 4.6%	
女性	19 2.1%	16 1.8%	11 1.2%	5 0.6%	4 0.4%	34 3.8%	42 4.7%	
属性 無記入	1 1.4%	1 1.4%	1 1.4%	1 1.4%	1 1.4%	3 4.3%	6 8.6%	

## 年 齢 別

桶川市のイメージについて、最も多い回答は、70歳以上のみ「東京圏のベッドタウン」、それ以外の年代では「田舎らしさの残るまち」となっている。

全体的に、20～40歳代では「田舎らしさの残るまち」、50歳代では「歴史のあるまち」、60歳代では「地形的に平坦なまち」、70歳以上では「安心して暮らせるまち」が他の世代と比較して多くなっており、世代によりイメージの違いが見られる。

		回答者数	田舎らしさの残るまち	東京圏のベッドタウン	地形的に平坦なまち	歴史のあるまち	安心して暮らせるまち	緑豊かなまち	生活環境の整ったまち
			注意: 白文字 =1位		黒文字 =2位				
全体	人数	1706	635	552	397	317	313	201	143
	構成比		37.2%	32.4%	23.3%	18.6%	18.3%	11.8%	8.4%
18～29歳	人数	137	67	39	19	18	21	28	13
	構成比		48.9%	28.5%	13.9%	13.1%	15.3%	20.4%	9.5%
30～39歳	人数	226	104	78	40	33	25	25	15
	構成比		46.0%	34.5%	17.7%	14.6%	11.1%	11.1%	6.6%
40～49歳	人数	258	108	91	39	43	46	23	25
	構成比		41.9%	35.3%	15.1%	16.7%	17.8%	8.9%	9.7%
50～59歳	人数	249	90	86	62	51	43	35	14
	構成比		36.1%	34.5%	24.9%	20.5%	17.3%	14.1%	5.6%
60～69歳	人数	382	129	128	121	73	70	44	24
	構成比		33.8%	33.5%	31.7%	19.1%	18.3%	11.5%	6.3%
70歳以上	人数	397	110	115	99	92	100	41	48
	構成比		27.7%	29.0%	24.9%	23.2%	25.2%	10.3%	12.1%
属性無記入	人数	57	27	15	17	7	8	5	4
	構成比		47.4%	26.3%	29.8%	12.3%	14.0%	8.8%	7.0%

		豊かな文化のあるまち	近郊農業の盛んなまち	美しい都市景観のあるまち	商業の盛んなまち	工業の盛んなまち	その他	無回答
全体	人数	38	26	23	13	10	92	82
	構成比	2.2%	1.5%	1.3%	0.8%	0.6%	5.4%	4.8%
18～29歳	人数	0	1	2	1	1	14	3
	構成比	0.0%	0.7%	1.5%	0.7%	0.7%	10.2%	2.2%
30～39歳	人数	7	2	2	2	2	18	5
	構成比	3.1%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	8.0%	2.2%
40～49歳	人数	10	4	2	2	1	20	5
	構成比	3.9%	1.6%	0.8%	0.8%	0.4%	7.8%	1.9%
50～59歳	人数	6	3	5	2	1	10	11
	構成比	2.4%	1.2%	2.0%	0.8%	0.4%	4.0%	4.4%
60～69歳	人数	7	9	6	3	1	15	19
	構成比	1.8%	2.4%	1.6%	0.8%	0.3%	3.9%	5.0%
70歳以上	人数	8	6	6	2	3	11	34
	構成比	2.0%	1.5%	1.5%	0.5%	0.8%	2.8%	8.6%
属性無記入	人数	0	1	0	1	1	4	5
	構成比	0.0%	1.8%	0.0%	1.8%	1.8%	7.0%	8.8%

## 居住年数別

桶川市のイメージについて、最も多い回答は、全ての居住年数において「田舎らしさの残るまち」となっている（20年以上では「東京圏のベッドタウン」も同率1位）。

第2位は、いずれの居住年数においても「東京圏のベッドタウン」となっている。

その他、3年未満では「生活環境の整ったまち」、5年～15年未満では「歴史のあるまち」、15～20年未満では「緑豊かなまち」、20年以上では「地形的に平坦なまち」が他の居住年数に比べ多い。

注意: **白文字** =1位 **黒文字** =2位

		回答者数	田舎らしさの残るまち	東京圏のベッドタウン	地形的に平坦なまち	歴史のあるまち	安心して暮らせるまち	緑豊かなまち	生活環境の整ったまち
全体	人数	1706	635	552	397	317	313	201	143
	構成比		37.2%	32.4%	23.3%	18.6%	18.3%	11.8%	8.4%
3年未満	人数	113	54	34	18	18	14	13	13
	構成比		47.8%	30.1%	15.9%	15.9%	12.4%	11.5%	11.5%
3年～5年未満	人数	53	23	18	12	5	7	6	4
	構成比		43.4%	34.0%	22.6%	9.4%	13.2%	11.3%	7.5%
5年～10年未満	人数	152	71	41	19	34	17	16	15
	構成比		46.7%	27.0%	12.5%	22.4%	11.2%	10.5%	9.9%
10年～15年未満	人数	126	54	39	21	29	14	15	6
	構成比		42.9%	31.0%	16.7%	23.0%	11.1%	11.9%	4.8%
15年～20年未満	人数	164	56	54	39	23	33	23	16
	構成比		34.1%	32.9%	23.8%	14.0%	20.1%	14.0%	9.8%
20年以上	人数	1043	351	351	271	201	220	122	84
	構成比		33.7%	33.7%	26.0%	19.3%	21.1%	11.7%	8.1%
属性無記入	人数	55	26	15	17	7	8	6	5
	構成比		47.3%	27.3%	30.9%	12.7%	14.5%	10.9%	9.1%

		豊かな文化のあるまち	近郊農業の盛んなまち	美しい都市景観のあるまち	商業の盛んなまち	工業の盛んなまち	その他	無回答
全体	人数	38	26	23	13	10	92	82
	構成比	2.2%	1.5%	1.3%	0.8%	0.6%	5.4%	4.8%
3年未満	人数	2	2	0	2	2	6	5
	構成比	1.8%	1.8%	0.0%	1.8%	1.8%	5.3%	4.4%
3年～5年未満	人数	1	0	1	0	0	5	1
	構成比	1.9%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	9.4%	1.9%
5年～10年未満	人数	6	2	4	0	1	10	4
	構成比	3.9%	1.3%	2.6%	0.0%	0.7%	6.6%	2.6%
10年～15年未満	人数	4	0	1	0	0	11	9
	構成比	3.2%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	8.7%	7.1%
15年～20年未満	人数	4	1	2	1	2	9	9
	構成比	2.4%	0.6%	1.2%	0.6%	1.2%	5.5%	5.5%
20年以上	人数	21	20	15	9	4	48	51
	構成比	2.0%	1.9%	1.4%	0.9%	0.4%	4.6%	4.9%
属性無記入	人数	0	1	0	1	1	3	3
	構成比	0.0%	1.8%	0.0%	1.8%	1.8%	5.5%	5.5%

## 居住地区別

桶川市のイメージについて、最も多い回答は、旧桶川東地区・旧桶川西地区では「東京圏のベッドタウン」、それ以外の地区では「田舎らしさの残るまち」となっている。

地区別の特徴的な回答は次のとおりである。

旧桶川東地区	東京圏のベッドタウン（35.4%） 地形的に平坦なまち（27.0%） 歴史のあるまち（23.5%） 安心して暮らせるまち（20.8%）
旧桶川西地区	東京圏のベッドタウン（39.8%） 地形的に平坦なまち（25.5%）
上下日出谷地区	田舎らしさの残るまち（42.2%）
旧加納村地区	地形的に平坦なまち（26.4%）
川田谷地区	田舎らしさの残るまち（48.9%） 緑豊かなまち（32.6%）

注意: 白文字 =1位 黒文字 =2位

		回答者数	田舎らしさの残るまち	東京圏のベッドタウン	地形的に平坦なまち	歴史のあるまち	安心して暮らせるまち	緑豊かなまち	生活環境の整ったまち
全体	人数 構成比	1706	635 37.2%	552 32.4%	397 23.3%	317 18.6%	313 18.3%	201 11.8%	143 8.4%
旧桶川東地区	人数 構成比	370	107 28.9%	131 35.4%	100 27.0%	87 23.5%	77 20.8%	21 5.7%	33 8.9%
旧桶川西地区	人数 構成比	369	120 32.5%	147 39.8%	94 25.5%	66 17.9%	64 17.3%	47 12.7%	38 10.3%
上下日出谷地区	人数 構成比	370	156 42.2%	121 32.7%	60 16.2%	62 16.8%	70 18.9%	37 10.0%	28 7.6%
旧加納村地区	人数 構成比	386	152 39.4%	114 29.5%	102 26.4%	74 19.2%	69 17.9%	44 11.4%	27 7.0%
川田谷地区	人数 構成比	141	69 48.9%	21 14.9%	22 15.6%	18 12.8%	22 15.6%	46 32.6%	11 7.8%
属性無記入	人数 構成比	70	31 44.3%	18 25.7%	19 27.1%	10 14.3%	11 15.7%	6 8.6%	6 8.6%

		豊かな文化のあるまち	近郊農業の盛んなまち	美しい都市景観のあるまち	商業の盛んなまち	工業の盛んなまち	その他	無回答
全体	人数 構成比	38 2.2%	26 1.5%	23 1.3%	13 0.8%	10 0.6%	92 5.4%	82 4.8%
旧桶川東地区	人数 構成比	9 2.4%	5 1.4%	4 1.1%	3 0.8%	4 1.1%	21 5.7%	17 4.6%
旧桶川西地区	人数 構成比	16 4.3%	3 0.8%	7 1.9%	1 0.3%	1 0.3%	21 5.7%	9 2.4%
上下日出谷地区	人数 構成比	4 1.1%	7 1.9%	4 1.1%	4 1.1%	1 0.3%	25 6.8%	19 5.1%
旧加納村地区	人数 構成比	6 1.6%	5 1.3%	7 1.8%	2 0.5%	2 0.5%	15 3.9%	25 6.5%
川田谷地区	人数 構成比	2 1.4%	4 2.8%	1 0.7%	2 1.4%	0 0.0%	5 3.5%	8 5.7%
属性無記入	人数 構成比	1 1.4%	2 2.9%	0 0.0%	1 1.4%	2 2.9%	5 7.1%	4 5.7%

## (2) 市の誇りや自慢

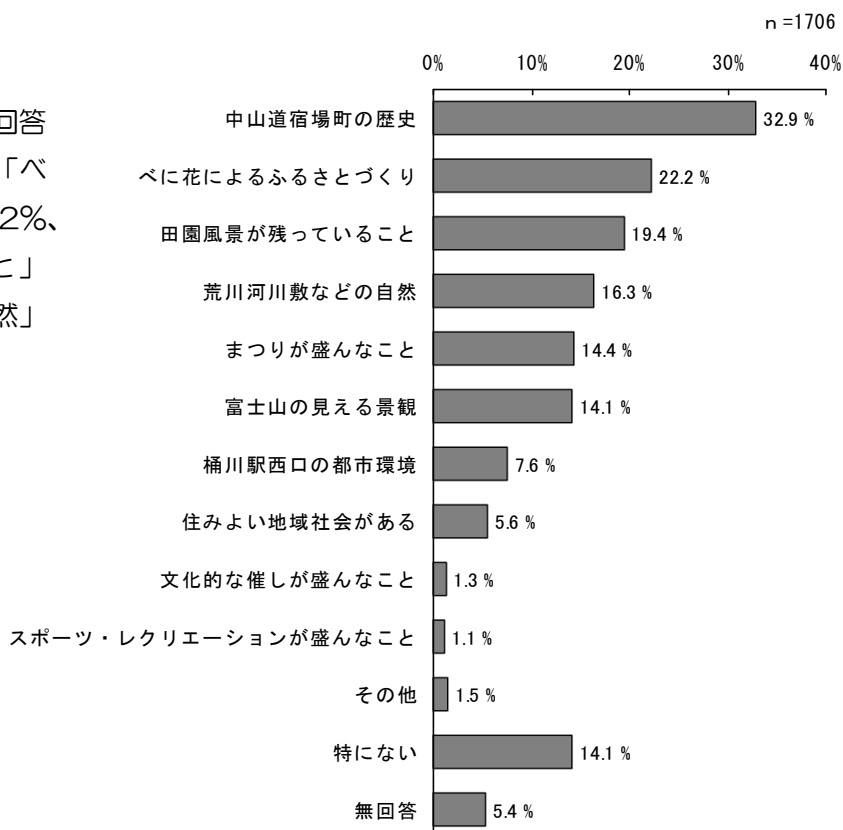
問 32 桶川市の自然、歴史文化、生活環境などで誇れるもの、自慢できるものは何ですか。(〇は2つまで)

### 全 体

「中山道宿場町の歴史」との回答が32.9%と最も多く、次いで「べに花によるふるさとづくり」22.2%、「田園風景が残っていること」19.4%、「荒川河川敷などの自然」16.3%などの順となっている。

#### 「その他」の主な意見

- ・自然災害が少ない
- ・都内へのアクセスの良さ
- ・ホンダエアポート など



### 【経年比較】

桶川市の自然、歴史文化、生活環境などで誇れるもの、自慢できるものについて、前回調査（平成21年度）と比較すると、第6位と第7位の「富士山に見える景観」と「桶川駅西口の都市環境」が入れ替わっているほかは変化がない。

順位にはあまり変化がないものの、「富士山に見える景観」や「まつりが盛んなこと」については、回答の割合が増えている。

順位	前回調査 (平成21年度)		今回調査 (平成24年度)		H21との 順位比較
	項目	割合	項目	割合	
1位	中山道宿場町の歴史	34.7%	中山道宿場町の歴史	32.9%	→
2位	べに花によるふるさとづくり	27.1%	べに花によるふるさとづくり	22.2%	→
3位	田園風景が残っていること	19.3%	田園風景が残っていること	19.4%	→
4位	荒川河川敷などの自然	14.9%	荒川河川敷などの自然	16.3%	→
5位	まつりが盛んなこと	11.1%	まつりが盛んなこと	14.4%	→
6位	桶川駅西口の都市環境	9.1%	富士山に見える景観	14.1%	↗
7位	富士山に見える景観	8.6%	桶川駅西口の都市環境	7.6%	↘
8位	住みよい地域社会がある	6.0%	住みよい地域社会がある	5.6%	→
9位	文化的な催しが盛んなこと	1.5%	文化的な催しが盛んなこと	1.3%	→
10位	スポーツ・レクリエーションが盛んなこと	0.3%	スポーツ・レクリエーションが盛んなこと	1.1%	→

## 性別

桶川市の自然、歴史文化、生活環境などで誇れるもの、自慢できるものとして、最も多い回答は、男女ともに「中山道宿場町の歴史」、次いで「べに花によるふるさとづくり」となっている。

性別で差がみられるものとして、「特にない」は男性が女性を上回り、「べに花によるふるさとづくり」「まつりが盛んなこと」などは、女性が男性を上回る。

注意: 白文字 =1位 黒文字 =2位

		回答者数	中山道宿場町の歴史	べに花によるふるさとづくり	田園風景が残っていること	荒川河川敷などの自然	まつりが盛んなこと	富士山に見える景観	桶川駅西口の都市環境
全体	人数	1706	561	378	331	278	245	241	129
	構成比		32.9%	22.2%	19.4%	16.3%	14.4%	14.1%	7.6%
男性	人数	743	239	144	133	126	92	105	54
	構成比		32.2%	19.4%	17.9%	17.0%	12.4%	14.1%	7.3%
女性	人数	893	302	221	184	141	144	128	73
	構成比		33.8%	24.7%	20.6%	15.8%	16.1%	14.3%	8.2%
属性無記入	人数	70	20	13	14	11	9	8	2
	構成比		28.6%	18.6%	20.0%	15.7%	12.9%	11.4%	2.9%

		住みよい地域社会がある	文化的な催しが盛んなこと	スポーツ・レクリエーションが盛んなこと	その他	特にない	無回答
全体	人数	95	22	18	25	241	92
	構成比	5.6%	1.3%	1.1%	1.5%	14.1%	5.4%
男性	人数	41	9	11	12	128	41
	構成比	5.5%	1.2%	1.5%	1.6%	17.2%	5.5%
女性	人数	50	13	7	13	100	43
	構成比	5.6%	1.5%	0.8%	1.5%	11.2%	4.8%
属性無記入	人数	4	0	0	0	13	8
	構成比	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	18.6%	11.4%

## 年 齢 別

桶川市の自然、歴史文化、生活環境などで誇れるもの、自慢できるものとして、最も多い回答は、20歳代では「まつりが盛んなこと」、30歳代では「べに花によるふるさとづくり」、それ以外の年代はいずれも「中山道宿場町の歴史」となっている。

また、20～30歳代では「まつりが盛んなこと」、40歳代は「中山道宿場町の歴史」、50歳代は「荒川など河川敷などの自然」、60歳代は「田園風景が残っていること」、70歳以上では「桶川駅西口の都市環境」との回答がそれ以外の年代よりも多くなっているなど、世代による違いが見られる。

注意: 白文字 =1位 黒文字 =2位

		回答者数	中山道宿場町の歴史	べに花によるふるさとづくり	田園風景が残っていること	荒川河川敷などの自然	まつりが盛んなこと	富士山の見える景観	桶川駅西口の都市環境
全体	人数 構成比	1706	561 32.9%	378 22.2%	331 19.4%	278 16.3%	245 14.4%	241 14.1%	129 7.6%
18～29歳	人数 構成比	137	29 21.2%	32 23.4%	27 19.7%	18 13.1%	35 25.5%	14 10.2%	5 3.6%
30～39歳	人数 構成比	226	61 27.0%	65 28.8%	33 14.6%	29 12.8%	43 19.0%	26 11.5%	14 6.2%
40～49歳	人数 構成比	258	94 36.4%	54 20.9%	41 15.9%	39 15.1%	39 15.1%	39 15.1%	14 5.4%
50～59歳	人数 構成比	249	76 30.5%	65 26.1%	45 18.1%	49 19.7%	41 16.5%	32 12.9%	14 5.6%
60～69歳	人数 構成比	382	133 34.8%	60 15.7%	96 25.1%	63 16.5%	42 11.0%	66 17.3%	31 8.1%
70歳以上	人数 構成比	397	154 38.8%	92 23.2%	77 19.4%	70 17.6%	38 9.6%	56 14.1%	49 12.3%
属性 無記入	人数 構成比	57	14 24.6%	10 17.5%	12 21.1%	10 17.5%	7 12.3%	8 14.0%	2 3.5%

		住みよい地域社会がある	文化的な催しが盛んなこと	スポーツ・レクリエーションが盛んなこと	その他	特にない	無回答
全体	人数 構成比	95 5.6%	22 1.3%	18 1.1%	25 1.5%	241 14.1%	92 5.4%
18～29歳	人数 構成比	12 8.8%	0 0.0%	0 0.0%	3 2.2%	26 19.0%	2 1.5%
30～39歳	人数 構成比	11 4.9%	6 2.7%	2 0.9%	5 2.2%	34 15.0%	5 2.2%
40～49歳	人数 構成比	9 3.5%	2 0.8%	6 2.3%	8 3.1%	49 19.0%	9 3.5%
50～59歳	人数 構成比	17 6.8%	3 1.2%	2 0.8%	4 1.6%	25 10.0%	17 6.8%
60～69歳	人数 構成比	25 6.5%	4 1.0%	3 0.8%	4 1.0%	53 13.9%	23 6.0%
70歳以上	人数 構成比	17 4.3%	7 1.8%	5 1.3%	1 0.3%	44 11.1%	30 7.6%
属性 無記入	人数 構成比	4 7.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 17.5%	6 10.5%



## 居住地区別

桶川市の自然、歴史文化、生活環境などで誇れるもの、自慢できるものとして、最も多い回答は、川田谷地区は「田園風景が残っていること」、それ以外の地区はいずれも「中山道宿場町の歴史」である。

各地区の特徴は次のとおりとなっている。

旧桶川東地区	中山道宿場町の歴史（35.7%） まつりが盛んなこと（23.2%）
旧桶川西地区	中山道宿場町の歴史（38.5%） 桶川駅西口の都市環境（14.4%）
上下日出谷地区	田園風景が残っていること（25.4%） 富士山に見える景観（17.8%）
旧加納村地区	べに花によるふるさとづくり（28.5%）
川田谷地区	田園風景が残っていること（31.9%） 荒川河川敷などの自然（29.1%） 富士山に見える景観（29.1%）

		回答者数	中山道宿場町の歴史	べに花によるふるさとづくり	田園風景が残っていること	荒川河川敷などの自然	まつりが盛んなこと	富士山に見える景観	桶川駅西口の都市環境
全体	人数 構成比	1706	561 32.9%	378 22.2%	331 19.4%	278 16.3%	245 14.4%	241 14.1%	129 7.6%
旧桶川東地区	人数 構成比	370	132 35.7%	77 20.8%	44 11.9%	42 11.4%	86 23.2%	32 8.6%	24 6.5%
旧桶川西地区	人数 構成比	369	142 38.5%	78 21.1%	57 15.4%	66 17.9%	43 11.7%	56 15.2%	53 14.4%
上下日出谷地区	人数 構成比	370	107 28.9%	72 19.5%	94 25.4%	66 17.8%	39 10.5%	66 17.8%	25 6.8%
旧加納村地区	人数 構成比	386	133 34.5%	110 28.5%	78 20.2%	52 13.5%	48 12.4%	39 10.1%	17 4.4%
川田谷地区	人数 構成比	141	29 20.6%	28 19.9%	45 31.9%	41 29.1%	15 10.6%	41 29.1%	8 5.7%
属性無記入	人数 構成比	70	18 25.7%	13 18.6%	13 18.6%	11 15.7%	14 20.0%	7 10.0%	2 2.9%

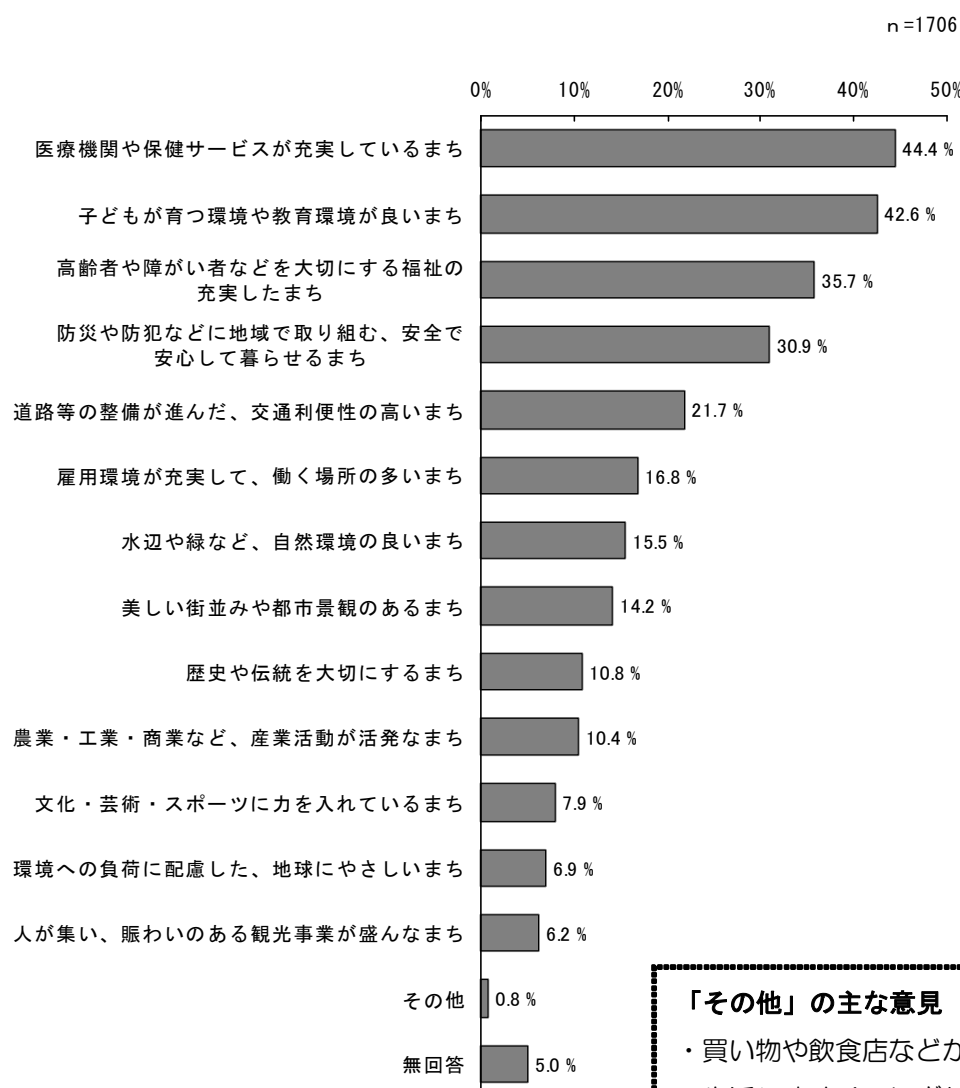
		住みよい地域社会がある	文化的な催しが盛んなこと	スポーツ・レクリエーションが盛んなこと	その他	特にない	無回答
全体	人数 構成比	95 5.6%	22 1.3%	18 1.1%	25 1.5%	241 14.1%	92 5.4%
旧桶川東地区	人数 構成比	21 5.7%	8 2.2%	5 1.4%	6 1.6%	64 17.3%	25 6.8%
旧桶川西地区	人数 構成比	24 6.5%	4 1.1%	2 0.5%	9 2.4%	47 12.7%	15 4.1%
上下日出谷地区	人数 構成比	22 5.9%	1 0.3%	4 1.1%	3 0.8%	53 14.3%	21 5.7%
旧加納村地区	人数 構成比	19 4.9%	9 2.3%	3 0.8%	5 1.3%	60 15.5%	19 4.9%
川田谷地区	人数 構成比	5 3.5%	0 0.0%	4 2.8%	1 0.7%	8 5.7%	5 3.5%
属性無記入	人数 構成比	4 5.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	9 12.9%	7 10.0%

### (3) 桶川市の将来像

**問 33 あなたは、10年後の桶川市がどのようなまちであってほしいと思いますか。**  
(○は3つまで)

#### 全 体

「医療機関や保健サービスが充実しているまち」(以下、「医療・保健サービスが充実したまち」)との回答が44.4%と最も多く、次いで「子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」42.6%、「高齢者や障がい者などを大切にする福祉の充実したまち」(以下、「福祉の充実したまち」)35.7%、「防災や防犯などに地域で取り組む、安全で安心して暮らせるまち」(以下、「安全で安心して暮らせるまち」)30.9%などが主な意見である。



#### 「その他」の主な意見

- ・ 買い物や飲食店などが充実した生活しやすく、にぎわいのあるまち
- ・ 市民の意見を反映できるまち
- ・ 静かでおだやかに過ごせるまち
- ・ 商業、観光事業の両立したまち など

### 【経年比較】

10年後の桶川市に望む将来像について、前回調査（平成21年度）と比較すると、第1位は、「医療・保健サービスが充実したまち」で変化がない。第2位は、前回調査は「福祉の充実したまち」であったが、今回調査では「子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」であり、割合も大きく増加している。

あとは、大きな変化は見られないが、前回調査10位の「環境への負荷に配慮した、地球にやさしいまち」は、今回順位を落としている。反対に、今回調査では「歴史や伝統を大切にするまち」が順位を上げ、10位圏内に入っている。

順位	前回調査 (平成21年度)		今回調査 (平成24年度)		H21との 順位比較
	内容	割合	内容	割合	
1位	医療機関や保健サービスが充実しているまち	42.2%	医療機関や保健サービスが充実しているまち	44.4%	→
2位	高齢者や障がい者などを大切にする福祉の充実したまち	42.0%	子どもが育つ環境や教育環境が良いまち	42.6%	↗
3位	子どもが育つ環境や教育環境が良いまち	31.5%	高齢者や障がい者などを大切にする福祉の充実したまち	35.7%	↘
4位	防災や防犯などに地域で取り組む、安全で安心して暮らせるまち	28.1%	防災や防犯などに地域で取り組む、安全で安心して暮らせるまち	30.9%	→
5位	道路等の整備が進んだ、交通利便性の高いまち	20.4%	道路等の整備が進んだ、交通利便性の高いまち	21.7%	→
6位	水辺や緑など、自然環境の良いまち	19.8%	雇用環境が充実して、働く場所の多いまち	16.8%	↗
7位	雇用環境が充実して、働く場所の多いまち	15.4%	水辺や緑など、自然環境の良いまち	15.5%	↘
8位	美しい街並みや都市景観のあるまち	13.4%	美しい街並みや都市景観のあるまち	14.2%	→
9位	農業・工業・商業など、産業活動が活発なまち	12.3%	歴史や伝統を大切にするまち	10.8%	↗
10位	環境への負荷に配慮した、地球にやさしいまち	10.7%	農業・工業・商業など、産業活動が活発なまち	10.4%	↘

## 年 齢 別

10年後の桶川市に望む将来像として、最も多い回答は、20～40歳代までは「子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」、50歳以上では「医療・保健サービスが充実したまち」である。特に30～40歳代では「子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」が、5割を超えるなど多くなっている。

その他、20歳代では「美しい街並みや都市景観のあるまち」や「道路等の整備が進んだ、交通利便性の高いまち」、50歳以上では「福祉の充実したまち」との回答が、それぞれ他の年代に比べて多いなど、年代による違いが見られる。

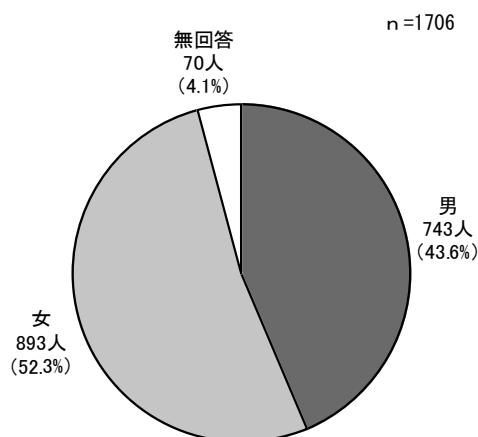
		注意: 白文字 =1位 黒文字 =2位							
		回答者数	医療機関や保健サービスが充実しているまち	子どもが育つ環境や教育環境が良いまち	高齢者や障がい者などを大切に する福祉の充実したまち	防災や防犯などに地域で取り組む、安全で安心して暮らせるまち	道路等の整備が進んだ、交通利便性の高いまち	雇用環境が充実して、働く場所の多いまち	水辺や緑など、自然環境の良いまち
全体	人数 構成比	1706	757 44.4%	726 42.6%	609 35.7%	527 30.9%	371 21.7%	287 16.8%	264 15.5%
18～29歳	人数 構成比	137	44 32.1%	60 43.8%	24 17.5%	43 31.4%	35 25.5%	19 13.9%	25 18.2%
30～39歳	人数 構成比	226	111 49.1%	138 61.1%	56 24.8%	63 27.9%	55 24.3%	35 15.5%	31 13.7%
40～49歳	人数 構成比	258	109 42.2%	130 50.4%	82 31.8%	86 33.3%	63 24.4%	48 18.6%	44 17.1%
50～59歳	人数 構成比	249	111 44.6%	88 35.3%	103 41.4%	86 34.5%	60 24.1%	44 17.7%	37 14.9%
60～69歳	人数 構成比	382	179 46.9%	146 38.2%	160 41.9%	114 29.8%	71 18.6%	67 17.5%	70 18.3%
70歳以上	人数 構成比	397	182 45.8%	143 36.0%	163 41.1%	119 30.0%	73 18.4%	69 17.4%	49 12.3%
属性 無記入	人数 構成比	57	21 36.8%	21 36.8%	21 36.8%	16 28.1%	14 24.6%	5 8.8%	8 14.0%

		美しい街並みや都市景観のあるまち	歴史や伝統を大切にするまち	農業・工業・商業など、産業活動が活発なまち	文化・芸術・スポーツに力を入れているまち	環境への負担に配慮した、地球にやさしいまち	人が集い、賑わいのある観光事業が盛んなまち	その他	無回答
全体	人数 構成比	242 14.2%	185 10.8%	178 10.4%	134 7.9%	118 6.9%	106 6.2%	13 0.8%	86 5.0%
18～29歳	人数 構成比	35 25.5%	18 13.1%	12 8.8%	9 6.6%	12 8.8%	15 10.9%	4 2.9%	2 1.5%
30～39歳	人数 構成比	40 17.7%	23 10.2%	25 11.1%	21 9.3%	9 4.0%	15 6.6%	1 0.4%	3 1.3%
40～49歳	人数 構成比	40 15.5%	25 9.7%	27 10.5%	26 10.1%	13 5.0%	15 5.8%	3 1.2%	7 2.7%
50～59歳	人数 構成比	42 16.9%	24 9.6%	28 11.2%	17 6.8%	27 10.8%	13 5.2%	0 0.0%	10 4.0%
60～69歳	人数 構成比	49 12.8%	40 10.5%	40 10.5%	22 5.8%	37 9.7%	28 7.3%	2 0.5%	16 4.2%
70歳以上	人数 構成比	30 7.6%	50 12.6%	38 9.6%	34 8.6%	17 4.3%	19 4.8%	2 0.5%	42 10.6%
属性 無記入	人数 構成比	6 10.5%	5 8.8%	8 14.0%	5 8.8%	3 5.3%	1 1.8%	1 1.8%	6 10.5%

## 6. 回答者の属性

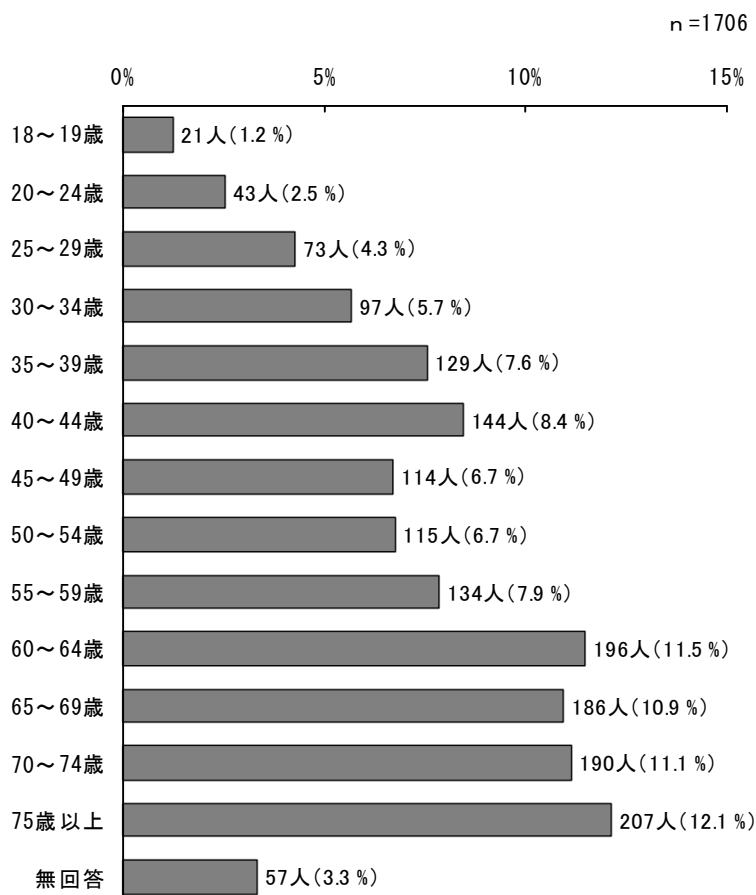
### F 1 性別

男性が743人(43.6%)、女性が893人(52.3%)となっている。



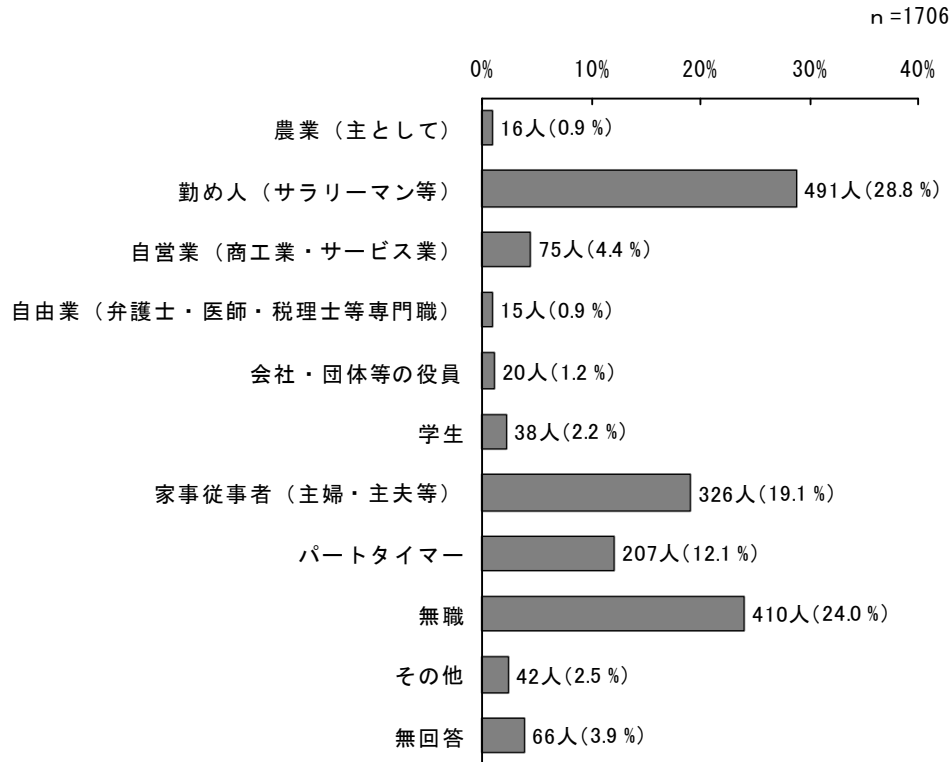
### F 2 年齢

「75歳以上」が207人(12.1%)と最も多く、次いで「60～64歳」の196人(11.5%)、「70～74歳」の190人(11.1%)、「65～69歳」の186人(10.9%)などの順であり、60歳以上の高齢層が45.6%と半数近くを占める。



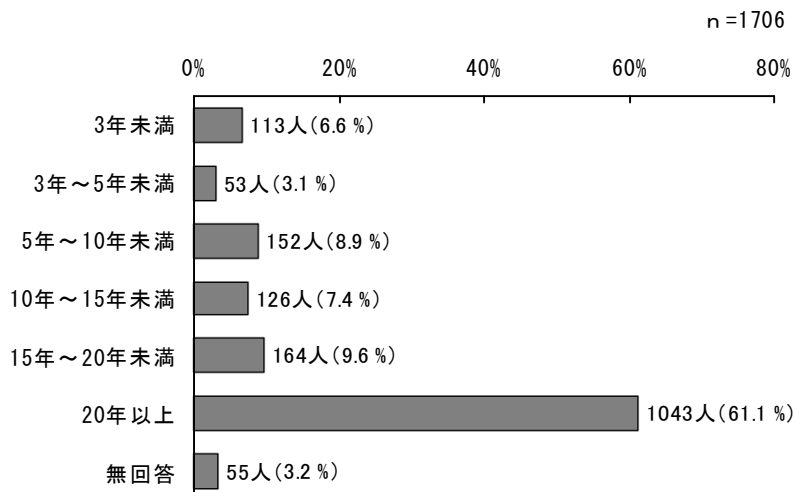
### F 3 職業

「勤め人（サラリーマン等）」が491人（28.8%）と最も多く、次いで「無職」の410人（24.0%）、「家事従業者（主婦・主夫等）」の326人（19.1%）、「パートタイマー」の207人（12.1%）などが主な職業である。



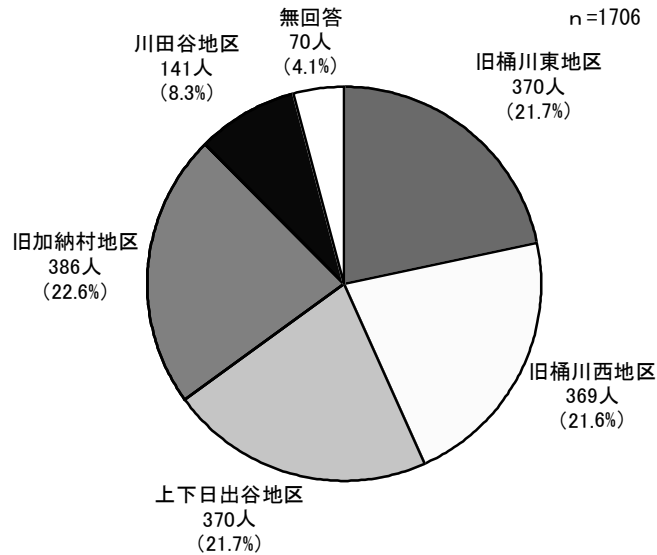
### F 4 居住年数

「20年以上」が1,043人（61.1%）と最も多く、全体の半数以上を占めている。次いで「15～20年未満」の164人（9.6%）、「5年～10年未満」の152人（8.9%）、「10～15年未満」の126人（7.4%）などの順となっている。



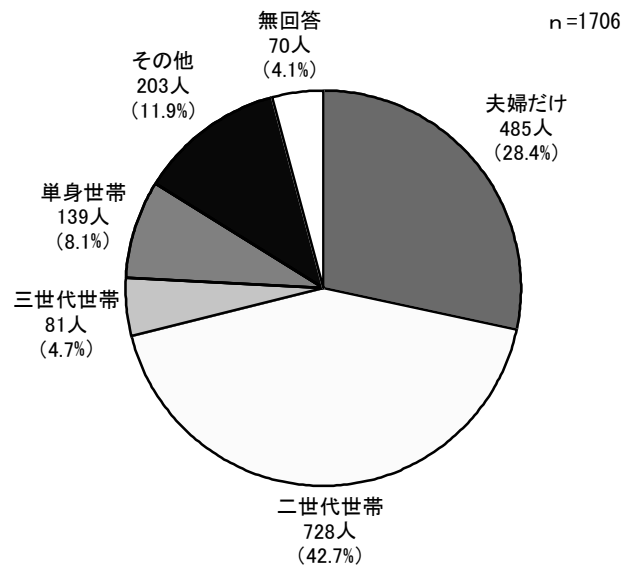
## F 5 居住地区

「旧加納村地区」が 386 人 (22.6%) で最も多く、次いで、「旧桶川東地区」と「上下日出谷地区」がともに 370 人 (21.7%)、「旧桶川西地区」は 369 人 (21.6%)、「川田谷地区」が最も少なく 141 人 (8.3%) であり、「川田谷地区」を除き、同程度の割合となっている。



## F 6 家族構成

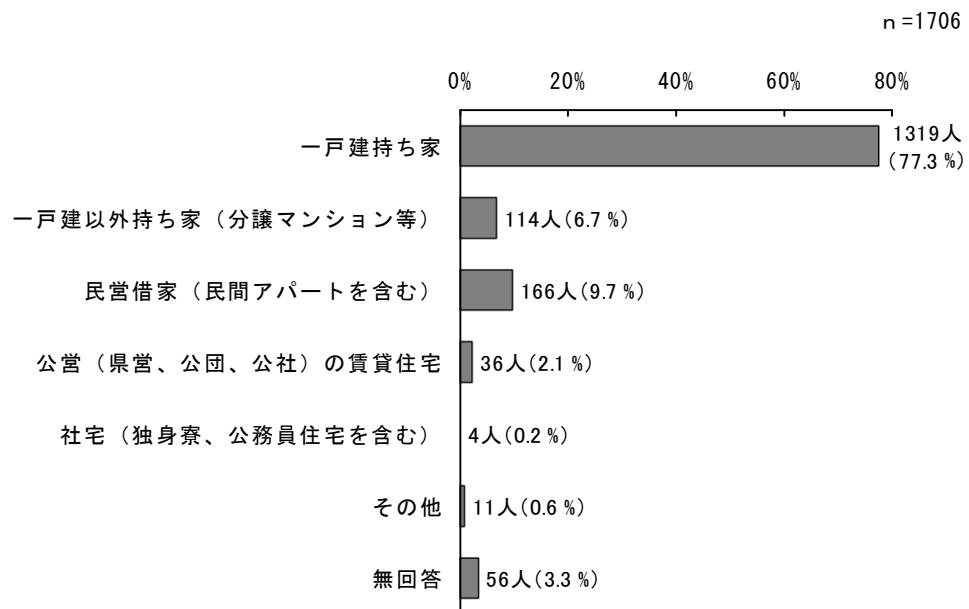
「二世代世帯」が最も多く 728 人 (42.7%)、次いで「夫婦だけ」が 485 人 (28.4%)、「その他」が 203 人 (11.9%)、「単身世帯」が 139 人 (8.1%) となっている。「三世代世帯」は 81 人 (4.7%) と無回答を除き、最も少ない。



## F 7 住居形態

「一戸建持ち家」が 1,319 人（77.3%）と最も多く、全体の7割以上を占める。

次いで「民営借家（民間アパート含む）」が 166 人（9.7%）、「一戸建以外持ち家（分譲マンション等）」が 114 人（6.7%）となっている。





### Ⅲ 自由意見

---



● 自由意見の掲載方法について

※ 原則、原文のまま掲載しています。ただし、個人を特定できる情報については削除しています。

※ 同一の回答者が複数の項目について述べている意見のうち、可能なものについては施策別に分けて掲載しています。

※ 自由意見は、第五次総合振興計画における課題把握を行うために、同計画の項目別に記載しています  
(以下、施策別件数を記載したリストは第五次総合振興計画の項目となっています)。

施策の大綱	施策	件数
1. だれもが主役の 桶川をつくる 【参画・協働】	101 協働の推進	29
	102 自主的活動の推進と交流促進	7
	103 男女共同参画社会の推進	2
2. 生きる力を育み 次代に繋げる 桶川をつくる 【教育・文化】	201 就学前教育の支援・充実	2
	202 学校教育の充実	26
	203 青少年の健全な育成	5
	204 生涯学習・生涯スポーツの充実	49
	205 人権教育・啓発と平和の推進	0
	206 文化・芸術の振興・保存・継承	12
3. 共に支え合い いきいきと暮らせる 桶川をつくる 【健康・福祉】	301 健康づくりの推進・医療の充実	65
	302 子育て支援の充実	64
	303 高齢者施策の充実	40
	304 障がい者（児）支援の充実	7
	305 地域福祉の推進	12
	306 自立した生活への支援体制の充実	3
	307 ノーマライゼーションの推進	7
4. 環境にやさしく 安全・安心に 住み続けられる 桶川をつくる 【市民生活】	401 地球温暖化対策の推進	3
	402 資源循環型社会の構築	22
	403 快適で衛生的な地域環境の創出	23
	404 防災対策の推進	22
	405 防犯まちづくりの推進	59
	406 交通安全対策の推進	20
	407 安全な消費生活の確保	0
5. みどりと調和した 暮らしやすい 桶川をつくる 【みどり・都市基盤】	501 良好な住環境の創出と保全	50
	502 歩いて暮らせるまちの実現	292
	503 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み	41
	504 都市計画道路の整備	37
	505 生活道路の整備・改善	60
	506 憩いの自然空間の保全と活用	31
	507 みどり空間の創出	43
	508 治水対策の推進	0
6. にぎわいと 活力ある 桶川をつくる 【産業】	601 農業の振興	16
	602 工業の振興	50
	603 商業の振興	76
	604 観光の振興	36
	605 就労支援と勤労者福利厚生への充実	14
7. 計画的で 将来を見据えた 桶川をつくる 【行財政運営】	701 計画行政の推進	140
	702 経営的な視点からの財政運営	27
	703 情報共有の推進	50
	704 広域行政の推進	28
8. その他意見		29
合計		1,499

# 1. だれもが主役の桶川をつくる

## 施策 101 協働の推進 (29 件)

1. 農・工・商・エネルギー・資源リサイクルの地産地消を通して市民の交流ある活動的な街にしたい。
2. 定期的に市民が参加出来る会議があると良いと思う。このアンケートも突然来た為、自分の考えをまとめるのに苦労した。長期に渡り意見を聞き、それらをまとめる会議にも行政側だけでなく、有識者・市民を交えてまとめられれば方向性が見えてくるのではないかと思う。(今すぐ何をどうすれば良いかと問われても、つけやきば的な考えになってしまう。)
3. 少子・高齢化が進む中、地域で協力できる人が気軽に集まれる拠点作りをまず一箇所から始めてみる。そこで何が今必要か。サロンのような感じで情報交換などをして、それを土台としてやるのはどうかと思う。
4. もっと若者も参加し、良い街にしていきたいと思う。
5. 北本市と同等の市だと思いますが、市民の政治に対する意識が低いような気がいたします。市議員の方も、もっと中央(埼玉県庁)とのパイプを強化して、桶川市に有利な運動を願っています。
6. 協働の街づくりを推進してほしいと思います。
7. 市民が市政に参加していくこと。
8. 住んでいる人がエゴを捨てて、良くしようという気持ちを持つ。
9. 高齢者の把握とアドバイスの提供を受ける。まつり開催の意義と広報の充実。
10. 市民の意識の向上が大事だと思います。
11. 市民が参加しやすい政治のあり方を考えている。
12. 魅力的な街であると思います。交通も便利になり、商業も農業も充実しています。自然も豊かです。それを無駄にせず市民が暮らしやすいようにみんなで努力していけたらと思います。
13. 若者と高齢者が協力して街を活性化させられるような取組み。例えば、中山道の街並みを活かして街を盛り上げるなど(近年上尾や北本市などで取り組まれているような若者が参加しやすい、興味を持ちやすい市政の取組)
14. 市民1人1人と市職員1人1人が共有の将来目標をもつこと。利便性を求める都市型エリアと自然環境を生かした田舎エリアを備えた独創性のある桶川市
15. 何をどうすれば良いか?と言われても具体的にどうとは申せませんが、しっかりとの方針を立てて、目標に向けて少しずつでも良いので順次実現出来るように皆で知恵を出し合っていてほしいと思います。
16. 市民と市役所、また企業とも連携して自然を守りつつも住みやすい桶川市を未来の子ども達のためにもつくっていく必要があると思います。
17. 市民は良いことは協力すること。
18. 地域活動を増やし(モデルを示す)その活動が地域で行えるよう行政は指導を行う→地域の絆づくり。例えば地域の公園などはその地域に行わせる。センターの仕事作りは早く止めるべきである→地域の絆作り。
19. より良い街にしていくには、住民の自覚が第一だと思います。市議会、行政には将来計画を示していただき、住民には計画実現のための協力を呼びかけることを望みます。
20. 市民が住民としての意識を高く持ち、桶川市の発展を行政や興味のある方だけに任せないこと。そのためには若い世代に対する意識付けや、意識をもたせるきっかけを行政に行って欲しい。

21. 市政、40年の時、昨年花火大会がありました。市内の企業、市民の協力一体感がありました。今後  
も良い活用で市民と一体になり、活動する市長の努力、リーダーシップを求める。議員さんたちの  
努力が必要。
22. 地域の人達が協力しあって安心して生活できるように、日頃のあいさつから気軽に話せるような環  
境になるようにと思います。まずは今、道路の整備で花壇の花の植え込みを皆でしました。できるこ  
とから一つずつ前進していけたらと思います。防犯パトロールにも進んで参加して、地域のことも  
っと知って、現況を知っていききたいと思います。
23. 毎日の身近な事です、市内で人々との触れ合いの中、一人一人が明るくあいさつをしたり、声掛  
けあったり、ちょっとした事でも会話をしたりするような地域になれば、明るく住み良い桶川になると  
思います。市民の何気ない一言が改善させるヒントになる場合もあるのではないかと思います。
24. 市民各々の文化交流への参加促進
25. 日本の元気がなくなっている。皆で知恵をだし考え、一人一人の力を出し合って、明るい社会を作  
っていききたいです。
26. 住民の中には素晴らしい力を持った方も多く思われます。それぞれの分野での協力を多く得  
られるよう働きかける。
27. なんでも話し合いのできる明るい桶川市に、住み良い桶川にしたいと思う。楽しい町にしたい。
28. 市の生活などの援助にばかり頼らず、個々が自立して生活出来るような環境作りと啓蒙活動をして  
ゆく必要があると思っています。
29. 高齢の男性の社会参加の推進をはかる。ある団体での1つの実態であるが、参加率をみると男：女  
＝8：2の数字がよくでてくる。広報誌なども男性の方が目を通さない傾向があるようだ。元気な男性  
の活動の場があるとよいと思います(大変難しいとは思いますが)。

## 施策 102 自主的活動の推進と交流促進（7件）

1. 65才～75才の元気な人材の活用(有償ボランティア)
2. 民生委員が不足していると思われる(ボランティアの参入も考慮してほしい)
3. 子育てをしていていつも公園を利用しているが、毎日砂場やトイレがきれいでも気持ちが良い。  
友達の住んでいる街では、見守りボランティアが昼間に公園にいて、子供達と一緒に遊んでくれるら  
しい。いろいろな世代の交流を子供にもさせたいと考え、いつも公園をきれいにしてくれるボラン  
ティアさんは顔を知らない。子供にとってみたらあしながおじさんの存在でしかない。すてきな交流  
が遊びを通してでも出来ると思う。
4. また、市民にもボランティアなどの力を借りて実行することなど計画してほしい。ごみが散らかってな  
い町づくり。皆で協力できるよう行政で計画してほしい。
5. 工業体のボランティア支援。
6. 少子高齢化社会に対応して、元気な高齢者にも研修等を行い、介護現場、地域での活動、子育て  
支援にもかかわってもらおう。
7. 自治会や子ども会活動に参加することで、近所付き合いも充実し、子育てには最適な環境だと思っ  
ています。学校にも地域のボランティアの方々がいらして、地域全体で子供たちを守って下さっている  
安心感をもてる「市」です。地域の方々のつながりを保つための地域住民の交流も重要かと思いま  
す。

### 施策 103 男女共同参画社会の推進（2件）

1. 楽しく暮らすためには物質面より心の問題の方がより大切だと思います。私も病気がちで主人に家事を手伝ってもらっていると、近所でいろいろ言われます。男女平等のはずなのに…。男の人は定年退職後、何もせず(家事も)暮らしている人は多いのに、女性だけあれこれ言われるのは変です。男女共同参画事業が男女平等を目指しているということを知らない人が多い。もっとやさしく住み良い町になれるよう個人の意識改革を望みます。
2. 保育所も育児休職中に入れられないなど、基本的に支援される体制ではありません(籍を取れなければ休職明けに職場には戻れない)。男女共同参画を考えるのであれば、その点も検討して欲しい。

## 2. 生きる力を育み次代に繋げる桶川をつくる

### 施策 201 就学前教育の支援・充実（2件）

1. 身近な問題として、他市からの幼稚園の入園希望者が非常に多いために、最寄りの幼稚園に入園できないという事態が起きています。小学校の学区内であるにも関わらず、定員いっぱいになってしまったため、離れた幼稚園に通わなければいけないのは、異常ではないでしょうか？桶川市の幼稚園である以上は、桶川市民を優先するなどの措置は取れないのでしょうか。安心して子供を育てられる環境作りを希望します。
2. 公立幼稚園をつくってほしい。

### 施策 202 学校教育の充実（26件）

1. 小中学校の教育の充実を図り、子ども達の知・徳・体のレベルアップを図っていく。地元地域を支えていく大切さも教えていく。
2. 小学校、中学校の義務教育の教育体制の向上することにより、その教育機関で育った者が自らの子どもにもここで教育することを選択するような環境を実現し、住民人口を維持・向上させる。
3. 特に語学面、交流面に関して遅れをとっている感じがする。やはり教育の充実は人口増加の観点からもっと真剣に考え、実行に移さなければいけない政策の一部であると感じます。
4. 道路整備等、生活環境は整っていると思うが、まだまだ十分とは言えず、古い歴史のある桶川市と首都圏に近くベッドタウンとして文化、スポーツ、学校教育に力を入れて欲しい。
5. 近隣市を参考に学校教育に力を入れて欲しい。夏休みの算数教室、体力づくりなど。又市内においても、地域によって学力の差が大きい。中学で他の小学校の児童と一緒になった時に、学力の差がはっきりと出ている。
6. 未来ある子供のために、学校教育の充実、家庭教育へのサポート、社会教育のための提案、サービスの提供。今後数十年・数百年続くような歴史と文化のある桶川、未来に希望ある桶川も期待している。
7. 学校教育の強化。子供の育成に力を入れてほしい。
8. 子供が安心して学べるような公園や教育に力を入れてほしい。学校は先生の力量によってかなり差があり、相談にのってもらえない先生もいる。発達の遅れている子が安心してすごせる環境、学校・先生を作っていってほしいと思っている。
9. 教育機関の質の向上。地域活性化につながる。

- 10.中高生の教育
- 11.教育にかかる予算をもっと多くするべき。近隣のさいたま市や上尾市等はクーラーが設置されている。子供達にお金をかけずして将来の桶川はない。
- 12.他の市町村と比べて、何となく活気がない。小中校生の活動・活躍を助長して、若さを発揮して欲しい。
- 13.桶川市は教育レベルが低いとの話をよく聞く。意識を高め、教育の充実にもっと力を入れてほしいと考える。
- 14.小学校、中学校の建物の整備、設備の改善など。
- 15.現在、「桶川市」といってもあまりよく知られていない現状である。「大宮、上尾、熊谷」といった認知度の高い町になるのにはどうしたらよいだろうか。幸い桶川市は規模の小さな町である。教育や保育の充実には血のかよった政策が可能であろう。
- 16.すべてが高いレベルである必要はないが、平均より低いものは底上げする必要がある。また将来に向け、大切なものは何かを明確にし、大切にする姿勢を示すべきと考える。(子は宝である)
- 17.小中学校にエアコンを入れてほしい。県内の市でも入っているところが多い。埼玉の夏は、エアコンなしに、仕事も勉強もできる状況ではありません。
- 18.中学校が荒れていると聞きます。安心して子供を通わせられるように早急の対応を求めます。学校選択制の導入を希望します。小学校等のPTA活動は、保護者の負担が多いように感じます。
- 19.子供が安心して通える学校(教師の意識の向上)
- 20.中学校の校外での生徒の部活。公共の道路を体操服を着た生徒が走っている。危ないのでやめてもらいたい。通行のじゃまです。
- 21.教師の質が悪い。先生になった後の教育を！
- 22.自校式の給食はずっと続けてください。転勤で他県に住みましたが、センター式給食でした。桶川と比べるとメニューも少なく、内容が乏しかったです。成人した子供たちは今でも「桶川の給食はおいしい！！〇〇が食べたい」と言っております。財政的に大変ですが、いつまでも続けてください。
- 23.上尾市の小学校にはエアコンが設置されていると聞きました。ぜひ桶川にも設置してほしいです。
- 24.小学校の老朽化がかなり進んでいるようです。特に水回り(子供たちはトイレに入るのも苦痛なようです)改修工事を望みます。
- 25.市立高校の設立を目指すのはいかがでしょうか。現在の県立高校2校は、桶川駅および市街地から遠く離れているため、通学においてかなり不便かと思えます。地元の若者を市で教育する、という理念の下に教育機関を作り、育てていくことは、地域の意識を若い世代に強く印象づけるとともに、周辺地域や県内へのいいアピールになると思えます。また高校のパワーは経済効果も向上するぐらいのチカラがあると思えます。抽象的な見解ですが、何かのヒントなどになれば幸いです。
- 26.学校のいじめ問題がなくなるようにしてほしい。

## 施策 203 青少年の健全な育成 (5件)

- 1.小・中学生の土曜休日の社会福祉への活用。毎週土曜日の休みのうち月1回午前中、道路清掃及び草刈り等社会福祉を体験させ、若い内から「空き缶ポイ捨て、道路汚し防止」と環境美化につなげる。
- 2.敬老精神

- 3.子供達にきちんとしたマナーを覚えさせる(大人も子供と一緒にマナーを守るようにする)
- 4.サッカー、野球だけでなく、アンダーグラウンドなスケートボード、サーフィンなどで、今まで活躍していた人の為に市の政治に関わる人達にもっと理解してもらいたい。施設の設置、公園の理解がない限り、才能のある人間を無駄にしてしまうのはとてももったいない事だと思う。
- 5.学童・教育・しつけを学校等にまかせず、親が第一に行ってほしい。

## 施策 204 生涯学習・生涯スポーツの充実 (49 件)

1. 市民ホールに自習室のような学習スペースをつくってほしい。
- 2.趣味の講座を増やして欲しい。
- 3.マインに図書館が入っているのはとても良いと思う。他地域の知人も感心していた。もっと充実させて欲しい。
- 4.老人にも校舎を利用して夜間小学程度の勉強ができればうれしいと思います。もちろん有料授業費で。
- 5.それから、将来的なビジョンの1つとしての提案ですが、桶川市には、子どもと一緒に楽しめる施設がありません。我が家は週末、県内外の関東近辺にある科学館、未来館、動物化石館などによく行きます。桶川市は後谷遺跡が出土したので、本来ならば歴史民族博物館などが望ましいのかもしれませんが、できれば未来の子ども達の身近な所で科学や物理、数学や天体など体感しながら学べる総合施設がほしいと思います。大人も子どもも楽しめる最新の充実した施設があれば、各地から人が集まると思います。
- 6.桶川図書館の駐車場に入れなかった時の悲惨。第2駐車場に入れる際、まわり道をしなければならぬほど一方通行が多すぎる。
- 7.市内の図書館は小さく、狭い駐車スペースや駐輪場も5~6台、駐車スペースは1~2台がやっと停車できる有様。建物もビルみたいではなく、広めの平家にして、市民が一日ゆっくり静かにできるような図書館にしてほしい。本もきれいに整理整頓して読みやすいようにしてほしい。
- 8.図書館が充実していない。気軽に利用できるスペースと、利用可能時間を拡大してほしい。
- 9.図書館ももっとしっかりしたのがほしいです
- 10.文学館をもっとみんなの利用価値のあるものにかえてほしい。
- 11.図書館の本やCDを新しく増やしてほしい。
- 12.桶川は進学校への進学率が意外と高い。だが図書館に勉強できるスペースがなかった。
- 13.図書館の本の種類が少ない。
- 14.公民館の増設
- 15.公民館・体育館を使用させていただいていますが、予約が3か月先で、しかも一回一回の予約です。多くの利用者のためにも、せめて一か月単位の予約ができれば時間のロスもなく、事務所の人員削減にもなるのでは。
- 16.図書館をきれいにしてほしい(本・施設)。
- 17.地域の幅広い世代の人が交流できる施設の充実(コミュニティ施設)。このようなアンケートなどから市民の生の声を聞くことはとても大事だと思います。
- 18.料理教室・パン教室などもできるようなところ。平日に行っているところがあるので、土・日もできるようにしてほしい。
- 19.公民館の質と数。活動していても施設が足りない。市民の声を現実化してください。それができなければ、桶川にいる意味がありません。



20. 転入時がっかりした。図書館の様子です。本の数はともかく、落ち着いて調べ物や書き物のできるスペースがまったくなく、学習する学生の姿もないのが残念でした。響の森に文学館や図書コーナーがありますが、閉鎖的な感じがし、足が向きません。暖かくオープンな場所になってほしいです。
21. 図書館を利用して、新刊が少ないと思う。
22. 桶川市役所の皆様。いつも私たち市民のために精勤頂き有難う存じます。桶川市が今後一層よくなる、魅力ある市となるために図書館の充実を提案致します。駅東口の図書館は 17 時閉館となっておりますが、会社帰りも寄れるよう、21 時までの開館を希望致します。駅西口の商業施設がなくなり、マンションになるという噂を聞いたのですが、図書館がなくなるのではと心配です。是非とも残して頂きたい。川田谷に移設されますと、遠方になる為、利用できません。私は車に乗れない為、平日夜寄ることのできる西口図書館が頼りです。どうか、何卒よろしくお願い致します。
23. 公民館にバスケットボールコート一面ほどのフロアーホールがほしい。北本は桶川に比べ、公民館にそのようなホールが桶川以上に見受けられる。フロアーは木製であること、ピータイルでないこと。
24. また、子どもが育てやすい環境にするためにも、スポーツ少年団等の普及をすると共に、運動ができるグラウンドの整備をしてほしい(体育館はサンアリーナがある)。
25. サン・アリーナの様なスポーツ施設を東口にも
26. 桶川東地域に総合グラウンドまたは中規模の体育館建設。現在は西側にサンアリーナが作られているが、東側の住民は不便をきたしているし、大会があると便えなくなっている。そこで東側の住民にも利用しやすい総合グラウンドまたは中規模体育館の東側地域の建設を希望する。
27. スポーツ、レクリエーションの開放と場所の整備(参加しにくい)
28. 道路整備等、生活環境は整っていると思うが、まだまだ十分とは言えず、古い歴史のある桶川市と首都圏に近くベッドタウンとして文化、スポーツ、学校教育に力を入れて欲しい。
29. 親子で楽しめるスポーツやレクリエーション活動が出来るような施設の整備。プール等。
30. スポーツができるグラウンドや犬が遊べるようなドッグランのような施設があると良いと思う。
31. 桶川市主催マラソン大会の開催(5km、10km、ハーフ、フル)
32. 芸術やスポーツに力を入れ、若者達が安心して働くことのできる街作りにして欲しいと思う。
33. 働いている人を応援するために、サンアリーナの夜のスポーツ教室等をもっと増やす。
34. 子供たちのために市営プールの復活を強く望みます。多額の税金がかかると思いますが、環境のためにと小さな川をつぶし、用水路に変え、たしかに大水が出ることがなくなっても、子供は水の世界を知るチャンスをなくしてしまいました。子供だけでなく、高齢者も、一般市民も健康増進のために使えるような、プールや温泉施設があればいいなと思っています。
35. 多目的運動公園の増設。少年サッカー、野球から高齢者のランニングコース、歩行、グラウンドゴルフ等のできる公園。
36. 駅の近くにスポーツジム(コナミなど)がないため、仕事帰りにジムに通えないのが残念。また、ジムでなくても、市民プールがあったらとても嬉しいのにと思います。
37. 老後の健康を維持するためには、日頃の管理が必要です。それには公営のスイミング教室が出来れば良いと思います。寝たきり老人を少しでも減らすのに役立つのではないですか。
38. 子どもや高齢者が市民全体で使用できる(上尾あっぱーらんど)のようなプールが何もない。健康のためにはすばらしいし、安心して使用し体を鍛えることができる。桶川～上尾まで行くのは遠いし、桶川も考えてください。大型店舗、東口の開発も高速道路もできたので、周辺にも他の町から来てくれるようなアウトレットなど必要では。
39. 小学校のPTA役員をやっていたときの事です。P連バレーボール大会の担当校になって、駐車場

を借りるためにJAとヨークマートにお願いに行きました。ヨークマートは30台分置かせていただきましたが、今はどうなっているのでしょうか？剣道や柔道の大会が行われるときも、駐車場を確保するのが大変と聞いたことがあります。サン・アリーナの近くに市役所や保健センターなど、休日に休みになる施設をつくって、スポーツ大会のときにはその駐車場を開放し、予防接種などの時にはサン・アリーナの駐車場も使えるようにする。そうすると便利だと思います。広い駐車場が確保できれば、B1 グランプリなどのイベントを開いて、たくさんの人に桶川のことを知ってもらい、来てもらいたい機会になると思います。

40. 皆が安心して歩けるスポーツ広場があるといいですね。
41. 市民が使うことが出来る運動施設を増やして、運動ができる機会を増やして欲しい
42. 身近なスポーツなどが出来る広場の整備(南小跡地、各所の公園、草が生えて使えない)。
43. 理想を言うなら、リーズナブルな体育館・図書館・健診があれば嬉しいです。
44. 誰でも気軽に利用できるようにスポーツ施設や、外国みたいに街中にバスケットボールのコートを作  
ってほしいです。
45. プールを桶川市として実現してください。施設の充実を優先させてください。
46. スポーツの施設をもう少し充実してほしい。(市民プール・屋内プール・野球場などができれば駅  
の近場にあるとよいと思う)
47. 総合スポーツ施設(大きな大会ができて近隣から人が集まるような)。
48. スポーツレクリエーション活動ができる場所、機会を設けてほしい。
49. スポーツ施設を核とした、多目的公園の整備

## 施策 205 人権教育・啓発と平和の推進 (0件)

## 施策 206 文化・芸術の振興・保存・継承 (12件)

1. 文化面に力を入れて欲しいです。県展入選者が審査に出ている頃より少なくなった様な気がします。  
以前は桶川は県で多い方でしたから。
2. 歴史や伝統の継承 etc
3. 市民にとって有意義な行事の発掘と育成。門松飾り(市役所関係、商業施設、街に賑わい)、どんと  
焼き(場所の確保)、ひな祭り、子どもの日、十五夜 → 公民館で祝いの料理・菓子などの料理教室、  
すすはらい、年末の掃除 など
4. 他の地域に比べて公共施設が不足している。もっと充実させてほしい。以前あった美術館巡りなども  
またやって欲しい。
5. 最近歴史や文化に力を入れているようですが、まだまだ不十分な気がします。もっと川越を見習って  
ほしいです。
6. 文化活動が盛んな点を今後も継続して伸ばして行ってほしい。
7. 芸術や歴史、スポーツ、防災体制等を整備する。
8. 文化面での活動も近隣市町村に比べると、まだまだ不十分。施設も同じ。教育も含め、今よりさらに  
文化度の高い町にしたいものと思う。
9. まつりを土日に行ってください。通勤のじゃまです。
10. 祇園祭は桶川の特徴あるお祭りの一つだと思います。以前のように 22 時までお祭りをやることはで  
きないのでしょうか。都内勤めの人がお祭りを楽しむのには、21 時終了では早すぎます。地元で働

く人しか参加できないのでは、お祭りの意義がとても弱いものになってしまうと思います。これに限らず、桶川市に住んでいる人は桶川で働いている人もいますが、市外や都心に通う人も多いので、そういう人たちも桶川市に住んでいるということを誇りに思えるような町であれば、おのずとより良い町になると思います。市政としてより長く桶川で過ごしている人の意見を取り入れるというのもわかりますが、そうでない人でも過ごしやすく、かつ楽しい日々を過ごせるような町であってほしいです。ベッドタウン、田園風景と農業、宿場町の歴史、どれも大切な桶川の文化であり、風景だと思います。今、普段見ているものが、安心な生活の中で保てていければいいと思います。無理に開発を進めるより、現状を維持する努力をしたほうがよいのではないのでしょうか。

- 11.音楽が盛んであってほしい。ストリートフェスティバルのような。
- 12.歴史文化はたくさんありますが、あと10年もたつと忘れられるものが多い。今のうちに手を打っておかなくては…。

### 3. 共に支え合いいきいきと暮らせる桶川をつくる

#### 施策 301 健康づくりの推進・医療の充実（65件）

- 1.使われていない土地に大きな病院を誘致して、子どもから年配者まで安心して住み良い街にしてほしい。桶川市に病院がなく、手術などの場合他市の総合病院に行ったり通わなくてはいけない。
- 2.大きな病院(公立)がほしい
- 3.市内に総合医療の設備
- 4.大きな病院の建設や大学(有名な)誘致
- 5.総合病院設立(上尾、北本の病院の世話になっている)
- 6.できれば総合病院が誘致できるとよいですが。
- 7.病院の数はそこそこあるが、場所が偏っている。下日出谷、上日出谷周辺に、総合病院を誘致してもらいたい。
- 8.診療科目の多い総合病院の誘致と、増設(高齢者社会となるので、遠くへは通えない(週一の診療科や専従の医師不足など)。
- 9.高齢者のため、一番の関心は健康面である。医療機関の充実を是非お願いしたい。
- 10.高齢者が今後増えていく社会を考え、医療整備を充実させてほしい。上尾の病院に行く人が多いようだ。桶川の病院の何が問題か検証してほしい
- 11.大きな病院、市民病院を新設してほしい。
- 12.病院の増設
- 13.専門的な病院がないのもどうかしてほしいです。
- 14.実際には病院の不足だと思います。急速に高齢化が進んでいる桶川では、小学校の跡地にムリヤリにでも医療機関のものを作るとかしたほうがよかったかと思います。そのようなものができたら、そこに従事する人間も多く集まってくるのですから、大きなチャンスだったように思います。お年寄りしか使わない公園等、必要ないと思います。桶川に行けば充実した医療が受けられると思うような町づくりに税金が使われるのならいいと思います。
- 15.総合病院のような大きな病院が近くにできてくれるといいなと思っています。
- 16.大学病院を誘致すれば、高齢者にとっては住みやすい町になると思います。
- 17.高齢化している市民への対応として、大きな総合病院がないのは致命的です

- 18.十数年前に桶川市に転入する際、「桶川市は医療過疎」と医療関係者から聞いたことがありますが、現在もあまり変わっていないように思えます。子供の急な夜の診療は他市を紹介されることも多く、これでは子供を育てるうえで不安が大きいです。医療機関の充実は必須だと思います。大きな病院があっても、必要な時に専門医がいないなど、利用できないのでは意味がないと思います。
- 19.市立の質の良い総合病院の設置をぜひ願います。市西側に希望します。
- 20.総合医療機関も満足できない面あり。
- 21.医療面では、市民総合病院など、地域の核となるような病院が欲しい。そして、地域の開業医と連携して充実した医療体制を作って欲しい。
- 22.桶川市に総合病院を作ってください。
- 23.医療機関の充実と質の向上を望みます。産婦人科医の増設と質の向上。
- 24.大きい大学病院があると安心ですね。
- 25.病院が少ない。夜間、急患が対応できないことが多い。いつも決めて通っている病院でも見てもらえない。救急車を頼んできてもらうのは、早くても1時10分も家で待ったことがある。そんな市では困ります。病人も生きられる人も死んでしまいます。
- 26.大学病院が出来るといい。介護施設充実。
- 27.駅前近くに総合医療機関の誘致(上尾駅西口のように)
- 28.総合病院ができると良いと思います。
- 29.今後も安心して住んでいくことができるように、桶川市内での緊急医療の充実(各クリニックや医院、県央病院との連携)
- 30.医療機関を誘致するなど(脳神経外科とか成人病を予防する食事療法専門の病院)考えてほしいと思う。
- 31.大きな医療施設がほしい。
- 32.医療機関(大学病院)がないこと
- 33.自分が東側にいるので、病院があまりないのが残念と感じる。医療機関の充実もしてほしい。
- 34.医療機関(市立病院等、入院設備のある)を充実してほしい。市立の養老院等、今後の課題だと思う。
- 35.医療施設の高度医療のできる医療機関の設置を。敷地場所を提供しても設置してほしい。※大学病院等。介護施設の拡充を急いでほしい。
- 36.駅から近い総合病院があった方が良くと思う。定期的の上尾中央病院に通っています。先日桶川から来ていらっしゃる方と話をし、自宅から上尾まで電車で来るのは大変だと話していました。
- 37.市立病院の建設(医療の充実)
- 38.大きい病院をつくってもらいたいものだ。何のために税金を出しているのか。払いたくない。
- 39.老人が増えているので、市立病院を作してほしいです。
- 40.とても充実した総合病院を設立してほしい。設備が整ってないので、急な場合、結局死に至るまでになっている。
- 41.桶川には大きな総合病院がないので、上尾か北本に行ってしまうので、桶川で間に合えば助かる。
- 42.医療機関(特に産婦人科が桶川市にはありません)を増やしてください。
- 43.医療関係の充実

- 44.中規模以上の医療施設の充実を！
- 45.病院が少ないことに驚いています。安心して生活するためにはもしもの時の病院って…。市内にほしいです。
- 46.医療機関を増やす。
- 47.総合病院の誘致
- 48.大型医療機関をお願いいたします。
- 49.耳鼻科が少なすぎる。
- 50.総合運動場や大きな病院があるといいと思います。
- 51.医療施設の充実
- 52.総合病院の誘致
- 53.医療機関の充実もはかってほしい。
- 54.中心部に総合病院がほしい。
- 55.高齢化社会に向けての医療施設を充実することについて、少ないことから選択の余地がない。しかたなく最も近い医療施設で済ませてしまうため、不満な材料が伴う。
- 56.これからは高齢者社会になるので、医療サービスなどに力を入れてほしい。
- 57.桶川市には病院もないし、老いてきたら近いところにも出来て欲しいです。
- 58.産婦人科が少なく他の市まで行かなくてはいけないのが不便。土日にやっている病院があるとありがたいです。
- 59.医療機関→経営的に困難とは思いますが、近隣自治体と連携して広域的な機能を持った病院がほしい。
- 60.福利厚生、健診をもっと市民に受けやすくする為、低コストでの提供をして欲しい(ガン検診など)
- 61.安心して生活するために医療費負担割合を少なくしてもらいたい。
- 62.福祉と言うと負担だと思う。病気の人を補助する方向ではなく、皆健康でいてもらう方向へお金を使って欲しい。子供は無料だからと、家でゆっくりさせれば治る風邪や、数日放っておけば治るレベルの発疹程度で病院に行く親が多いのが疑問だ。麻生元首相が言っていたように、一定期間病院に行かずに健康でいた人に報奨金があっても良い気がする。皆ががんばって健康でいようと思うのではないだろうか。本当に、これからの大増税と高齢者の介護を考えると気が重い。子育てどころではない。2人以上は絶対に育てられない。頼むから高齢者は自立してお荷物にならないでほしい。高齢者のほうが沢山お金を持っている。
- 63.1人1人が健康に気をつけて医療機関に暇つぶしにいかないようにすること。小さいことがすごく大切だと思います。ちなみに母は83才で元気なのですが、毎日欠かさず病院に行っています。市のサービスの無駄遣いですね。申し訳ございません。自分だけはそのようにならないよう、市のため頑張ります。
- 64.特定健診の診療科目が以前より減り、金額も高くなっているのので、予防に予算を使い、子宮がんも2年に一回ではなく、40歳以上は1年に一回にしてもらいたい。
- 65.市民の健診1つをとっても他の市や村では市民であれば胃・レントゲン等の検査まで含んでの市民健診をやっているのに、桶川市では(年齢にあっては)肺レントゲンさえも撮ることなし。やってもやらなくてもいい程度の項目で「健診サービス」と言っているのので、本当に必要なものは何か見直したり、無駄に「今までこうしているから…」といった古い慣習で続けている行政は改めていく。そんな進化の出来る市政であってほしいと望みます。

## 施策 302 子育て支援の充実 (64 件)

1. ベッドタウン化を進めるために、駅(東口)付近に公共の託児所等複合施設をつくるとか…。
2. 少子化なのに産婦人科がなくなるのはおかしい。小児科も少ない。
3. 私はフルタイムのパートタイマーで、小学生の子どもがいます。仕事をしながらの家事、子育てで毎日大忙しです。子どもが長い休みに入ると、学童に預けていないので、家で留守番をさせていますが、とても心配です。働いているお母さん達がたくさんいる中で、学童に入れなかったりする子どももたくさんいると思います。そういった人たちに安心して一時利用できる場所があればいいと思います。
4. 桶川市はベッドタウンとしてサラリーマンが住みやすい町にしてほしいと考える。子育てや医療、福祉を充実させるべき。現在は、買い物等、他市に出ている人も市内で消費させるべき。今後高齢化が進んでいくので、老人よりも現役世代とその子どもが住みよい町を作るべきだし、推進していくべきである。
5. 産婦人科の充実
6. 具体的には思いつかないが、子供や高齢者に優しい街作りをすることが必要だと思う。
7. 安心して子育てが出来るような近所とのつながりも大切にするような街。
8. 保育所の充実(桶川メインへの設置)
9. 産婦人科と保育園。子供が産める病院が本当に選べない。木下産婦人科が近かったが、来年2月で終わってしまう。北里メディカルも雲行きが怪しい。残るは上尾総合くらいか。子供を預けて働きたくても保育園の空きがない。私立は保育費も高いため、せっかく働いても保育費で消えてしまう。ひがし保育園のような施設をもっと増やせないだろうか。
10. 子育て出産ができるすばらしい環境をもっと増やすべきです。まだまだ少ないように感じます。福祉施設も足りてないような…。桶川市にはもっと一層の努力をしてほしいです。
11. 私は今子育て世代ですが、このままだと桶川はどんどん子供が少なくなってしまうと思います。それは赤ちゃんを産みたいと思っても産むところがないし、子供の医療費も窓口で支払っているのは、埼玉県で数少ないうちの一つだからです。産婦人科の誘致は市ではやっていないのかもしれませんが、けっこう深刻な問題だと思いますので、考えていかなければいけないと思います。
12. 若者が集まるまちづくり、若者が住みたいと思うまちづくりに取り組むべき。それには子育て環境、商業施設・観光事業等に力を入れるのが有効だと思う。小さい子供を持つ若い世帯が「定住」したいと思うまちづくり。あちこちに散らばる公共施設を一か所にまとめ、子供や老人にもやさしいまちづくりをしてほしい。
13. 10年後をよりよい街にするには子育て支援が欠かせない。充実すれば人が集まり、医療や道路の整備、設備が必要になってくると思います。また、新たな行政サービスはいいことだと思います。ぜひ行ってほしい。多少な負担はやむをえないと思います。何に使って何を削減するかを考えていてもらいたいし、考えたいです。
14. 保育所の充実(主婦の就業不機会の解消)
15. 子育てのために、支援サービスの充実
16. 育児サービスの充実。子育て支援センターが増え有難く思いますが、育児に疲れた時に支援していただけるようなサービスがほしい(一時保育など)。ファミサポは料金も高く、事前にやらなければならないことが多く利便性に乏しい。
17. シングルマザーが経済的にも制度的にも安心して子育て出来る地域にしてほしい。

- 18.子育て環境を整える(子供がボールを使って遊べる公園が全くない)
- 19.特に子供の育成に力を入れて欲しい。
- 20.主人の転勤が多く、桶川市に来る前に住んでいた所と比べると、福祉関係がとても薄く感じました。健康診断(婦人病検診)など…。東京のベッドタウンとして他からの移住も多いはずで、子どもや若い家庭も増えてます。地元の方からお年寄りには住みやすいけど、というお話もたくさん聞きます。一言で言うには難しいのですが、子育てに優しい町づくりをしていただければ、人も多く集まり、もっと活性化されると思います。
- 21.質問の主旨とは離れてしまうかもしれませんが…産(婦人)科がほしいです。桶川には産科がひとつもないのは問題ではないかと思います。
- 22.親としては子育て(出産)に特に支援がほしいと思います
- 23.保育所への待機児童がなくなるように、保育所を増やして欲しい。
- 24.子育てサービスの充実(保育所、学童保育サービスなど)
- 25.人を増やすために。子育て支援、医療施設の整備・充実
- 26.無駄をなくす。小さなことから節約するとよい。例えば、子ども医療支払い通知。子供二人いたら各1枚ではなく、1家庭に統一するなど。ゴミを増やすだけだと思います。できれば上尾のように、窓口で提示して未払い方法がいいです。
- 27.東京に比べて公立の幼稚園が少ないし、保育が充実していないと母が言っていた。自分が子育てをする立場になった時、不安を感じる。冒頭の件などをアピールしつつ、子供を育てる環境を整備し、若い世代を呼び込むことが桶川の活性化につながると思う。
- 28.一言で言うなら、子供が健やかに育つことができるようなことを考えた施策を実行することです。例えば問33に示されているような内容です。それらは個別の目指す「まち像」ではなく、関連しています。あとは優先順位をつけ、一つ一つやっていくことが肝要かと思います。この桶川に住んで良かったと思えることをやってほしいと願うものです。
- 29.保育所等の充実で子育てのしやすい環境を望みます。
- 30.子どもを育てる環境が本当に悪いと思います。公園へ行くにも車を使わなくてはいけないのです(子どもを乗せる自転車が高く、二人目がいないと補助が出ないのはなぜですか?)。産院はありませんし、小児科も少ない。働こうと思っても預けるところの料金が高い。不満をあげればきりがありません。子どもが育てやすい市であれば人はどんどん住みますし、町も活性化すると思います。今は引越を考えているところです。
- 31.保育所、働く母親が働きやすい環境作り
- 32.私は桶川で生まれ育って60年余経ちました。地域のPTA、自治会等の役員も経験させていただきました。その中で思ったことは、私が住んでいる地域は珍しいくらいに地域住民同士の交流や協力が良いところです。それは何故かという、先輩の諸兄達が苦労して良好な関係を築いてきてくれたからだだと思います。新住民の世帯も半分以上おられますが、皆様良く協力をしてくれます(生えぬきの人たちより、頼りになることもあります)。夏祭りや運動会、神社の用事(祭り含む)等本当に良く協力してくれます。桶川市の将来も私どもの地域の様な強固なつながりがあれば、もっと住み良い町になるものと思います。従って、様々な考えをもった人々の力のベクトルを合わせられる実行力ある企画を発信して、市民の皆様にも夢と希望をもってもらえるような方向性を示して導いてくれると良いと思います。目指す方向は、子育て環境ナンバーワンの桶川共和国のスタートです。
- 33.保育園を増やしてほしい(それこそ空き地の有効活用!)。働きたい女性はたくさんいると思う。
- 34.若者が住み良い街づくり(子育て環境、若年夫婦への支援)により活性化を進める。

35. アンケート結果を踏まえ、要望の多いものから順に対応をお願いしたい。特に子供の住み良い環境を作れば、自然に町は活性化していくのではないのでしょうか。より住みやすい町になるようにがんばってください。期待しております。
36. 子育てがしやすくなるように子育て支援の強化。
37. 女性の立場としては、子供の保育施設を充実してほしい。働く女性が働き続けても育児のできる環境を整えてほしい。
38. 落ち着いた家庭が築けるよう、子どもが育っていける文化支援の充実。自然環境の整備。
39. 若い世代の住宅地が増えている中で、子供をいきいきと育てられる環境は、正直悪すぎる。もっと整備された公園・児童館・図書館の拡充を図ってもらわないと、少子化は進むばかりだと思う。子供とお年寄りが一緒に過ごせるような公園・児童館など、特に駅周辺から2～3km離れた地域に力を入れてほしい。
40. 産婦人科も。安心して子供を産めない。
41. 妊婦健診の助成金が少ない。子どもの一時保育が1時間〇〇〇円ではなく、他市のように一日〇〇〇円にしてほしい(保育園の)。高くて預けられない。かといって他市は断られる。
42. 子育て支援の施設がしょぼくてびっくりした。もっときれいに使いやすくしてほしい。西口の健康センター？のトイレにおむつ交換台や赤子を乗せるイスがなくて不便であきれた(4か月児検診の時や赤ちゃんサロンの時)非常に困った。桶川市は子育てにやさしくない市だなあとつくづく思う。子ども医療費もいちいち手続きしなければいけないし…。桶川駅東口にもエレベーターを設置してほしい。ベビーカーで行けない。不便すぎる。上尾に比べてどうしてこうもすべてが遅れているのかがっかり。
43. 病児・病後児保育への援助をして、もっと利用できるようにしてほしい。子ども医療費の申請を簡便にしてほしい。窓口での支払いがないように。
44. 若い世代の方達が、出産、育児を安心してできるよう、病院(産婦人科、小児科)の増設や、保育園の増設も必要だと思います。
45. 私はまだ独身で子供はいませんが、医療や子供に対する環境がまだ整っていないと、正直桶川にずっと住みたいとは思わない。
46. 桶川駅西口の都市環境よりも、東口の環境づくりにも力をいれてほしい。エレベーターがなく、ベビーカーでとても不便しています。小児の夜間救急体制はぜひ、改善して下さい。子育てをされていて、こんなにも不安になる市はありません。
47. 保育料値上げの説明の中で、「子供は保育所に預けず、親が育てた方が幸せ」「審議会の内容を漏らすな」「市議員が出席するなら実施しない」、また、保育所建て替えの説明の時に、「今の坂田と似たものは、いつまでもつかわからない」などと、堂々と父母の前で発言してしまうお粗末な保育課に、今後の保育を任せているかと思うとぞっとする。内密に保護者との話し合いを実施するような指示をする市長もまたしかり。こんなに黒い世界だとは思わなかったのでかなりショック。形だけの意見交換会で、父母を丸め込むようなやり方はあまりに汚い。ここに書いたところで、こちらの声など届かないだろうと半ば諦めに近い状態。なぜ桶川市に越してきたのか、後悔している。子育てやめるなら桶川市。
48. 桶川市の政治等詳しくは分かりませんが、18 で出産を経験し、その時、助成券や給付金みたいなものがあって、すごく助かりました。
49. 子どもの医療費無料は市外県外の人にもうらやましがられました。汚い(失礼ですが)役所をそのままに、そのお金で市民のための行政をしてくれる市だと思っています。
50. 子ども医療費の窓口払いをなくしてほしい。手持ちのお金がないときに、具合の悪い子どもを連れ



ての銀行へ行くのが大変。

- 51.私も小さい子供がいるが、医療費など負担していただければ、安心して病院にも連れて行けると思う。小さい子(後の桶川を背負う)がのびのび暮らせるような街にするべきだと思う。
- 52.子供医療費の申請が手書きなのがおかしい。時間と紙代などムダが多すぎる。病院が少ない。小児科と産婦人科が少ない！県立病院の必要性が感じられない(小児科がなくなったのはなぜか？子供が多い地域なのに…)。保育園が少ない。
- 53.子供医療費の窓口負担をなくしてほしい。
- 54.子供の病院代ですが、結果的に戻ってくるのであれば、窓口負担はなくせないのでしょうか？その手間にもお金が発生しているのではないですか？中学まで無料で病院を受診できるのはありがたいと思っていますが。
- 55.病院。こども医療費の申請紙がちよっと面倒
- 56.子どもの医療費無料化。
- 57.上尾も北本も医療費が窓口で無料化されています。桶川は中学3年まで無料化になって良いことだとは思いますが、ぜひ窓口無料の方がたくさんのお母方は助かると思います。力を入れて下さい。
- 58.幼児医療費支払いも桶川は非常に面倒。
- 59.子供医療費の窓口支払いをなくす。
- 60.こども医療費助制度の窓口の支払いをなくして、会計のないスムーズな病院での診察を望みます。
- 61.子供(小学生が二人)がいるが、病院にかかった時の窓口負担をなくしてほしい。いちいち申請書を市役所に持っていくのが面倒。ピンクの用紙に番号や主人の名前、住所などをいちいち記入するのがイヤだ。
- 62.子供医療費の窓口無料化(北本、上尾)
- 63.子ども医療費の助成について。医療費の立て替え→市内だけでなく、近隣の市町村と協定を結び、医療費の立て替えを無償にしてほしい。保育所の充実。民間委託をして延長保育の充実。東口(上尾より)につくってほしい。
- 64.子供医療費の窓口支払いが残っているのは近隣でも桶川市だけです。

### 施策 303 高齢者施策の充実 (40 件)

- 1.西口に老人センターを作っていたきたい。近くに楽しむ場所があれば、外に目を向けて出掛けられると思う。お風呂なども作り、ゆっくり出来る場所を作って下さい。
- 2.高齢者が困っていることを解決してもらいたい。困っていること。一日中やることなく退屈している。仕事したくても仕事無い。遊びたくても遊ぶところがない。これではボケが増えます。
- 3.高齢者の1人暮らしが多くなっている現状に対し市は無策だ！
- 4.高齢者が人材として生き生きと暮らしてける社会環境などもほしい。
- 5.高齢者の福祉の強化や医療施設の増設、子供達に対する学習支援を進める。
- 6.これからの高齢化社会を考えると、福祉事業に力を入れ、高齢になっても安心して住み続けられる場所であって欲しいと思う。
- 7.高齢者等が住みやすくするため、バリアフリーの街作りを進めるとともに、公園・生涯学習施設の充実を図り、住みやすさを桶川のセールスポイントとする。
- 8.高齢者が集う施設がない。日中、メイン内に設置されている椅子だが、1～4階に高齢者がたくさん

- 座っている。子供と高齢者が一緒に集える場所がほしい。昔の遊びを教えたり、高齢者にとっても子供達が刺激になると思う。
9. 高齢者は桶川市だけの問題ではないため、すぐにでも施設等の充実を考えなくてはならないと思う。その為にも、企業の誘致により財源を確保していくべきだと思う。
  10. 介護保険料をもっと安くしてほしい。年金が少ないので厳しいです。
  11. 高齢者の福祉に取り組んで、安心して暮らせる町。
  12. ベにばな陸橋ができ、圏央道ができ、高齢者には生活しにくくなってきたように思う(スーパーマーケット、ホームセンターが近くになくなってしまったので)。
  13. 団塊の世代、高齢者の医療が一番心配である。
  14. 高齢者に安心と参加出来る企画が充実した街。
  15. お年寄りが住める場所。団体でどんどん増えていく。年寄りには先を考えると心配である。
  16. これから高齢者社会になって年金も国より引かれることも多いし、収入が少なく楽しい老後とはとても遠いので、たよりになるのは市政であると思う。元気で生きている老人も仕事のできる場所を増やし、老人も楽しくできることにしてほしい。年をとると目標がなくなる。目標をもって生きることに取り組んでほしい。
  17. 高齢者が楽しむ施設を作る。高齢者からお金を取りすぎ。
  18. 皆さんが誰にでもなんでも言葉で言える。高齢者を大切にしてください。
  19. 高齢者施設、運動施設(体力維持、寝たきりにならないような運動用具などがそろっている所) 高齢者がますます増えることでしょう。老人でもできることを見つける。
  20. 高齢者の福祉の充実したまちにしてほしい
  21. 高齢者が多くなってきますので、福祉の充実。
  22. これからの社会は高齢者の社会です。福祉施設は絶対に不可欠です。安く入居出来る施設があれば、老後は少しは安心できるのです。どうか市政としても反映していただきたいと思います。高齢者としては医療機関が近くにあることや、生活必需品や買える店が近くにあれば大変助かるし、生活しやすいと思うので良い姿勢の誘導をお願いします。
  23. 現在、今後は高齢都市化になります。今の状況は社協に頼っておりますが、市政として頑張りたいのは地域の住民が気軽に集い楽しめるコミュニティセンターなど、東側、西側に用意していただけたらと考えております。よろしく願い致します。
  24. また、自然を残した新しい街づくりを進めると同時に、高齢者が一人で生活できる福祉施設を充実することである。
  25. 高齢者のお風呂(東公民館)。東側に一つ、できれば西側にも考えてくださればと…色々な面であると思います。東西に一つづつを！
  26. お年寄りが元気でいられる環境づくり(老人福祉施設、シルバー人材など)
  27. 高齢者(両親)のことを考えると、福祉の充実した町を望む。
  28. 老人が増えているにもかかわらず、老人会活動が低調である。老人を健康にしておくことが本人も幸せであり、医療費の減少に寄与できると思う→街の活性化
  29. 高齢者福祉に力を入れること。福祉の生活基準が低い。敬老の祝い金が桶川は上尾や鴻巣より少ない
  30. 高齢でも自立している場合、低家賃の住居の提供等ご検討いただきたく存じます(一部存在しているかもしれませんが)。

- 31.高齢者に対しても特に力を入れてほしい。魅力のある町に変身してもらいたい。
- 32.地域の高齢者の負担が多いように感じます。地域の高齢者の方等で協力してくださる方に参加してもらおうほうがよいのでは？
- 33.高齢者も住み良い街づくりを進める。
- 34.高齢者をただ年金もらっているだけというふうにしない。お年寄りならではの知恵を後世に伝える会を開き、先生となってもらおう。年寄りの生き甲斐として！普通の学校へお年寄りを学生として派遣する。
- 35.独居老人への気配り。私の居住している団地は、入居40余年になりますので、住民ほとんどが75歳以上ですので、他家への気づかいをするゆとりもないのが実情です。幸い私は夫婦二人で暮らしていますが、いつ独りになるかわかりません。それで行政側から独居老人を把握して、常に生活状況を見守ってもらいたいと思います。長年住んだ桶川市からは、孤独死などの悲しいニュースは聞きたくありません。
- 36.これから先、年金だけで生活できるかとても不安です。福祉の充実した高齢者も住みやすい町づくりを願っています。
- 37.市内における老人等がきさくに集え、友好を深める場所を市が支援し、お茶を飲んだり軽食ができるくつろぎの場を多くつくってもらおう(マインの場所に多くの年をとった人があつまっているのは不自然である)。
- 38.高齢者が多くなるので福祉の充実
- 39.今後さらに高齢化社会になっていくため、高齢者施設、医療施設の充実を望みます。
- 40.高齢者に負担がかからず、若者と高齢者が共に安心して暮らせる町であってほしい。

### 施策 304 障がい者（児）支援の充実（7件）

- 1.高齢者や障害者への医療サービス
- 2.障害者福祉に関して、中学校卒業後からの生活支援の場などの提供。
- 3.足、腰、目等身体の不自由者のために手助けをお願いしたい。
- 4.私の家は知的重度障がいの62才の息子と、87才の母親と二人賃家(家賃月六万円)。年金、母の年金と自分の障がい者年金とで母は病院に入退院で毎月食べるのにも困っています。私の年金は65才にならなければもらうことができないと、それもとでもたまげるほどの少額で母と二人食べることも家賃を払うことにも困っています。市役所の方々もよく我が家の困っていることもわかってくださっています。助けて下さい。
- 5.障害者の生活ホーム建設への助成金を。
- 6.障害者の福祉施設を増やしてほしい。
- 7.介護保険分を食費にまわしたいくらい、介護関係は何もしていただいていません。助け合い等もなく、身障の私と90近い母はどうなるのか不安でいっぱいです。近くのスーパーまでやっと思い物に行っていますが、そちらもつぶれるとうわさを聞いています。

### 施策 305 地域福祉の推進（12件）

- 1.福祉の一層の充実
- 2.福祉施設も足りてないような…。桶川市にはもっと一層の努力をしてほしいです。
- 3.まだ引っ越して10か月くらいです。高齢者や子供が安心して住める町になると良いです。

4. 桶川が良くなるためには、ここ数年高齢者の方々が多くなってるように思います。高齢者の方々に対してもっと外へ出てもらえるような公園や、福祉や、スーパーでの案内や応対、一般の人たちがもっと声をかけて元気な町になるように、もっと高齢者、障がい者の方々を優しく親切に心掛ける気持ちが大切だと思います。
5. 上尾市や北本市にないもの、例えば高齢者や障がい者や健常者が一緒に作業する施設
6. 安全で安心して暮らせる町づくり。人と人が笑いあえる福祉の充実した町。
7. 子供達、高齢者どちらに対しても平等に。どちらも住みやすい町であってほしいです。
8. 個人的には桶川市は住みやすい町だと思いますが、まだ足りない物も多いと思います。少子高齢化が進む中、子育てと高齢者が住みやすい町作りをしてほしいと思います。
9. 高齢者や障がい者などが安心して暮らせる福祉の充実したまちにしていくことが大切だと思います。
10. もともと桶川市に居住している者と他所から移住してきた者との地区内でのコミュニケーションが少なく、排他的な風土がある。特に高齢者の保守的な生活態度が目立つ。定年退職者が年々増加し、利用施設(特に図書館)がゆっくりできる状況でない。
11. 高齢化が進む中、医療機関や保健サービス、老人介護施設の充実とともに、健康増進のための適切な指導をしてくれる機会が増えることを希望します。また、孤独死が起きないように行政と地域の市民が連携をはかって、目配り気配りができる市であってほしいです。市民の方達がそれぞれの立場で高齢者や子育て世代の相談や、支援ができればさらに住みやすくなることと思い、実現するよう願っています。
12. 高齢者が増えるにも関わらず、新しい政策がでない。古い体質のままのやり方で先の見通しが無い。商業施設の誘致より、病院や介護施設をしっかりさせ、安心・安全を目指した町づくりをせよ。市議会議員も何をしているやら、古い頭の人ばかり。桶川は住みにくい町になっている。

### 施策 306 自立した生活への支援体制の充実（3件）

1. どんなに高齢になっても、福祉に頼ることなく、自力で生活できる環境の為に体も動かして働ける場所を増やす
2. 生活保護の問題。良く調査して、本当に困っている人に生活保護を支給して欲しい。
3. 市民1人1人が自他共に慮し思いやって暮らす。自分でできることは自分ですね。権利だけ主張しないで義務も果たす。(生活保護認定厳しくし、自立指導徹底を)

## 施策 307 ノーマライゼーションの推進（7件）

1. 新たに開発する地域の道には、自転車専用道、バリアフリーの歩道を必ず確保すること
2. 高齢者や障害者が住みやすい街作りをして欲しい。
3. 高齢化が進み、私も70半ば、総合病院や、また買い物にも歩いて行けるような毎日を過ごせたら幸せだと思っています。現状の桶川はまわりの市から取り残されているようです。あまり便利に住んでいるとは思えません。
4. 駅東口の下りにエスカレーター等を早めにつけてほしい。これからは年配者や障がい者の方も増えてくると思いますので、やさしい町に。
5. 駅東口に下りのエスカレーターかエレベーターを早くやってもらいたい。
6. 子供から大人まで年を重ね、車いす利用者になっても安心して歩ける道路確保。
7. 高齢者が住み良い歩きやすい道路にしてほしい。

## 4. 環境にやさしく安全・安心に住み続けられる桶川をつくる

### 施策 401 地球温暖化対策の推進（3件）

1. 太陽光パネル、小規模水力発電等の自然エネルギーの活用と、これを利用した街灯の設置（日中発電した電力の夜間利用）
2. 新聞で読んだが、メガフロートソーラーは興味深い。
3. 地球温暖化への取り組みに力を入れてほしい。クリーンセンターの大型化と分別を希望する。

### 施策 402 資源循環型社会の構築（22件）

1. ゴミ処理についても、一定地区に必要以上に集積所が存在するなど、住宅地開発とあわせ市で管理することが必要になってきていると思う。
2. ゴミの回収日を増やしてほしいし、粗大ゴミは家の中から運んで欲しいです。
3. ゴミの分別については今まで住んだどの場所よりも分別が進んでいて、大変感動しました。しかしどのゴミがどこに分類されるのか迷うことが多くあり、市で発行している分別例だけだと判断がつきません。より正確に分別できれば、リサイクルの効率も上がると思います。
4. ゴミは本当にリサイクルされているのでしょうか？
5. ゴミ集積所の資源ゴミを持ち去って行く人がいるので、パトロールするとか、ステッカー等をとりつけてほしい。新聞だけを持っていきます。誰かがいると通り過ぎて何度も何度も来ます。とても声をかけるのは怖い感じです。
6. 家庭ゴミの収集について。私が住んでいる地区は、ゴミの種類によって出す場所が統一されていない。いろいろなゴミが2箇所に分かれており、以前住んでいた市から桶川市に引っ越して来たがとても不便で、数年経った今でも慣れなくて不便極まりない。同じ桶川市の中でも、東口は全てのゴミが1箇所に統一されているのに、なぜ私の地区は2箇所に区々にゴミを出さなければならないのか。とても住みづらく感じてしまう。昔ながらなのか。発展性に欠け、同じ桶川市内なら、全てにおいてゴミの収集の場所を統一してほしい。上尾市から見たら、桶川は遅れていると感じる。
7. ゴミの分別が上尾と比べて面倒なので、もっと強力なゴミ処理施設をつくってほしい。
8. 燃やせるゴミの収集時間をもう少し早くして欲しい。地域や順序など理由はあるのですが、下日出

谷地区は夕方です。カラスや猫などの被害が多く印象が良くありません。道路の整備(自転車専用レーン)。駅前には自転車が多く高齢者も多いため危険です。

9. ゴミを出すのにゴミ袋を買うのは高い。昔のように、庭に穴を掘ってゴミを埋めたほうがいいのかと思う。
10. ゴミ袋の指定をなくしてほしい
11. 生まれて、ずーっと桶川在住です。あらためてアンケートに答えるような考えを持ったことなくきてしまいました。この長い年月、思ったことなく、立ち遅れている町としてきてしまっています。新しく住み良い町にしていこうと「力強い」議員もいないのかと思っています。そんな考えのない私の中に、まずゴミの件。アルミ・プラなどの収集に分別して出すことが徹底されていない。北本市などはこまかく分別されていて、出す場所も広くあります。他の所を真似して、桶川市はどうするのか？考えてくだされば…と。
12. 最近自宅近くのゴミ収集場所にゴミを捨てに行ったら、近所の人から「ここは指定された人以外のゴミ捨てはできないと言われ、ゴミをその場所に捨てられなかったことがありました。収集場所は市が指定されているのでは？ゴミの捨て場所のトラブルはよく耳にしますが、市は住民がだれでもゴミを収集場所に捨てられるような場所を考えるか、近所にある収集場所は誰が使用してもかまわないという表示をしてほしい。
13. ゴミ置き場の不法投棄が年々ひどくなっています。一軒一軒の家の前にゴミを置いて収集してもらうシステムにはならないですか？
14. 税金を納めているのだから、生ゴミ袋ぐらい無料配布してほしいものです。プラスチックやペットボトル・紙パック etc…お金に換金するのはいかがでしょうか？現にそのような取り組みをしているところもあるのです。
15. ゴミ問題(不法投棄をなくす)、環境センターの充実。環境センター内に廃棄物処理業者の窓口を置いて、環境センターで処理できないゴミも処理できるようにする。
16. 些細な事ですが、ゴミ袋の規定が他の市町村よりきびしく感じます。そのわりに住民税は高く感じます。
17. リサイクルのゴミを持って行かれるのを防ぐ。いつも同じ車。新聞を必ず取って行く。
18. ゴミが多い。生ごみを肥料にして、農家に渡すなどのシステム作りをするか、家庭の生ごみを機械で自宅で肥料にしたものを市で買い取り、農家や家庭菜園をしている人に売るなど、生ごみを有効活用する。日本中のさきがけとして、見本・お手本となるようなことをやってみせたいと思う。
19. ゴミ等も捨ててある所が多く、これは市民への啓発活動も大事だと思います。
20. ゴミの出し方が複雑で大変です。リサイクル等考えれば良いのかもかもしれませんが、回収されないゴミが道にあるのは、どう見えるでしょうか。またプラスチックごみが週一回なのも量が多いので大変です。
21. ゴミの分別がややこしいと思う。もう少しわかりやすいものがほしい。上尾市のように、分別をもっと楽にしてほしい。燃えるごみ袋も自由にしてほしい。
22. ゴミを出すのにわざわざお金を払ってゴミ袋を買わないといけなののが許せない。市によってゴミの分別が偉く分けなくてもよい市があるのに桶川は分けないといけなのが大変。

## 施策 403 快適で衛生的な地域環境の創出 (23件)

1. 交番があるのに不正改造の車やバイクが多すぎる。ストーカー事件は警察だけの責任だと思いますか？選挙の時の車、うるさい以外何の役にも立たないのでやめさせてください。駅前演説だけにしてください。夜勤の人間の事を知らないのですか？
2. 工場誘致や都市整備などによって広い道路をつくるのは結構ですが、その道路を夜中になると自動車やバイクが騒音をたてて走っています。うるさいです。何らかの対策を取って下さい。お願いします。
3. 市外に勤めておりますが、帰宅すると駅から自宅までゴミ、タバコの投げ捨て等が気になります。タバコを吸いながら歩行、自転車の人もかなり多い町で、市外地との住民レベルの違いにがっかりすることが多くあります。
4. 私の家は道路が広いところに面していて、自動車の大きいのが毎日通っています。家がすぐなので、揺れがすごいです。毎日が揺れていて、友達が来ると何の揺れと聞いてきます。4～5年前から道路のやり直しをしてくださいと市役所に言っているのですが、いつものことでしょう。
5. 夜中のバイクの音。初夏などに窓を開けて寝れないのはつらい。いつもいるはずなので対処してほしい。
6. 最近、夜、首都中央道か川越栗橋線かわからぬが騒音がする。完成すれば騒音は増加すると思うが、市の対策はどうするのか。解答すべきと考える。
7. 学童は学校の敷地内につくるべきだと思う。子供達の騒ぐ声が騒音に感じる。指導員の指導不足を日々感じている。
8. 本下水の工事。ドブ川にフタをしてもらいたい。
9. 私は子ども達を連れてある試験に行きましたが、帰り桶川に着いた時、子供の一人が「あ、くさい」「何これ。何のにおい。やだはずかしいわね」下水道のにおいではないかと思います。外国の方なんかいやな感じでしょうね。
10. 本・桶川インターの振動は 3.11 以降、地震かと思う程のものすごさです。
11. 桶川のはずれですが、騒音・振動がひどいです。安心して暮らせるように願っています。
12. 私の家の周りには多くの方が散歩しています。朝・夕方、歩いています。気持ちよく歩いてほしいのですが、犬のふん・おしっこのかけて、ティッシュペーパーの投げ捨て、食べたお菓子の袋、弁当のカラ、本当に目に余ることもあります。
13. 犬のフン 犬にも住犬税
14. 道路に犬のフンだらけ(条例でもっと厳しく)
15. 歩きただこの人がまだまだ多い。歩道も狭いし、子供にあたりそうでこわい。煙も体によくない。
16. 環境をそこなう行為に対しては(不法投棄、野焼き、たき火など)積極的な対応をぜひお願いします。
17. 桶川に越してきて30年以上たちますが、いまだに川田谷という地区は住みづらくあります。以前調整区域というところに1号店舗という形で家を建てさせていただきましたが、土地の不具合にて引っ越ししかなく、いまだにトラブルを抱えています。誰も手を貸してくれず困っています。ぜひ知恵を貸していただきたい。
18. 工場の振動等を少なくしてもらおう。
19. 駅西口の鳥のフンがひどい。雨が降ると生臭い。どうにかしてほしい。

- 20.ムクドリがうるさいので駆除してほしい(ツバメは許す。駅に作った巢の保護は立派だった)。
- 21.桶川駅西口の駅前のムクドリの排除(糞害)桶川駅西口、夜の暴走族(?)の排除(騒音)
- 22.駅前の鳥をどうにかしてほしい！！
- 23.アライグマ等、外来生物の排除

#### 施策 404 防災対策の推進 (22 件)

- 1.市役所は広く、明るい環境の中に災害に強い避難場所として利用できる、埼玉県桶川市、市役所を  
考えてみては？
- 2.高齢のため回答できない問も多くあります。何より、災害が少なく、非常に安心して暮らせる街です。
- 3.災害発生時等の緊急連絡体制の整備
- 4.防災おけがわが聞き取りにくいので、聞き取りやすくしてほしい。
- 5.防災無線(市役所近く)が聞き取れない(若い人達も同様に言っている)。音がわれて何を言っている  
のか、半分以上はわからない。
- 6.この近辺はスピーカーがなく、市の放送が聞こえません。災害時など困ります。ぜひ付けて下さい。  
いろいろとすみません。よろしくお願いします。
- 7.活断層調査と地震対策
- 8.来るべき災害時に、住民に正しい情報が届くようにすることが第一であるが、そのヘッドとなる市庁舎  
が現状のままでは不便である。機能的な庁舎の建設が早急に望まれる。
- 9.江川の整備を。上尾に流れ、川床の掘り下げ。小川の整備を実施したら。荒れ放題。水害のない町。  
流れをよくしておく。
- 10.防災では地震や津波に強くする…泥沼化させない地盤作り。ハザードMAPの徹底で、旧断層や  
高潮へ備え、(将来予測される東海地震では、桶川に助けが来るのはのぞめない。北海道と九州  
地区だけ生き残る)。
- 11.防災計画等の中で中学生や高校生の役割を積極的に考えるべきだと思います。高齢者の方の避  
難、誘導には大きな力になると思います。
- 12.防災放送されていますが、倉田地域(明星院)そばは全く聞こえない、聞きづらい
- 13.小さな子どもからお年寄りの方まで安心して住み続けられるよう施設や環境作りを引き続き取り組ん  
で欲しい。また、自然災害に備えた活動があると安心して暮らせます。
- 14.3.11 があってから、私の住んでいる寿では、公園・広場がなくどこに避難したらいいのか、地震があ  
るたびビクビクしています。
- 15.防災への取り組み
- 16.防犯放送の内容が聞き取りづらい。
- 17.防災について。いざという時どこへ行ったらいいのか?とても不安です。
- 18.消防車の出動先がわかるものをつくってほしい。専用TELにかけると「〇〇で火災発生の為出動  
中」などアナウンスがあるような。
- 19.防災放送を流す時、もう少し聞き取りやすくしてほしい。
- 20.防災無線がまったく聞こえません。このことを市は知っているのでしょうか。
- 21.防災無線が聞き取りにくい。各戸に受信機を設置できないか。
- 22.防災の観点からは、自主防災組織の充実とあわせて、集約した防災倉庫の整備を行い、防災拠点



としての新庁舎建設を推進し、全市民が安全に安心して暮らせるまちづくりを進める。

## 施策 405 防犯まちづくりの推進 (59 件)

1. 外灯が少なく、暗くて歩道もこわいもっと明るくした方が安全なのではないでしょうか？
2. 街灯を増やしてほしい。車でも怖いと思う所が多すぎる。
3. 夜の移動が危ない場所があるので、暗い道の街灯を充実してほしいです。
4. 夜になると、駅周辺は明るい、少し離れると暗くて怖いので、街灯があると良いと思う。
5. 街灯が少なく、夜とても怖い
6. 街灯の増設(末広町)
7. 桶川では、女性が襲われる事件が起きているようだが、防犯に力を入れて欲しい。何年も前から西中の田んぼの畔道に街灯が欲しいと言う声があったのだが、とうとう家の子も卒業してしまったが全く変わっていない。犯罪が起きないと動かないのかと思ってしまう。確かに米の生育に支障があるのかもしれないが、子供の命の方が大切なのでは。せめて時間で切れるような街灯があれば良いと思う。
8. 街路灯の充実
9. 小・中学校の近くに住んでいます。街灯が少なく、自転車で帰るのに、人が見えないほど暗いです。もう少し増やしてほしいです。
10. 駅前を明るく。帰り道が怖い。
11. 防犯対策に力を入れてほしい。駅から遠くなるにつれて暗い道が多い。治安が悪いのでどうかしてほしい。
12. 街灯が少なく、市内全体が暗く、夜道が不安。特に旧中山道は、北上尾と北本駅周辺がキレイに整備されているのもあり、差がありすぎて悲しすぎる。
13. 裏道は街灯が少ないので夜こわいです。
14. 夜には街灯の少ない道が多く、すごく暗くて、1人で通行するには不安に思うこともあります。
15. 防犯設備に力を入れてほしい。
16. 街灯の整備をしてほしい。
17. 安心して暮らせる治安の良い町にするためには、道路の照明が非常に暗く、夜出歩くことの怖さ
18. 外灯が少なすぎて夜こわい思いをする。
19. 防犯対策のためにも、明るい町。街灯の設置、奥の道にも(大通りから外れると暗すぎる)。パトカーの夜の巡視を増やす。
20. マイン側の駅前には暗すぎる。ただでさえストーカー事件のイメージがある街なのに、正直最初来た時ひいた。駅前周辺の道くらいは明るくしていかないと。
21. 道が暗く、防犯上少し心配な所がある。住宅地として、安心・安全に暮らせる町として維持してほしい。
22. 川田谷地区が街灯が少ないため夜間がこわい。
23. 外灯の拡充、住宅地等の小さな交差点のところとかあってほしい。
24. 防犯設備の充実化(夜間照明等)
25. 街路灯が少なく暗い
26. 街灯をもっと増やしてほしい。17号、旧中山道以外の道がとても暗いので、もう少し明るくしてほしいと思います。

- 27.暗い道が多く、危ないので街灯を少しでも多くしてほしい(東和銀行の近辺など)。
- 28.街灯も少なく、夜は危険なので、パトロールの強化、交番をもっと増やしてほしい。
- 29.街路灯設置の充実
- 30.街灯を多くしていただきたい。
- 31.防犯について。夜、暗く危ない道が多いので、今一度点検し、ライトの設置をお願いします。
- 32.住宅地域が暗い→街灯の増設
- 33.通学路の街灯設置などの防犯対策。
- 34.家の周りは夜になるとほとんど真っ暗なので、もう少し街灯を増やし、安全になればと思います。
- 35.夜間に照明が暗く、防犯上整備して欲しい。
- 36.住宅地など加納の方など、とても街灯が少なく、夜道が心配です。一度夜道の桶川をまわった方が分かると思います。
37. 暴走族の排除
- 38.ストーカー事件のテレビを見て、何かあっても助けてはいただけないのだととても不安になりました。隣に泥棒が入ったり、街灯が少なくて夜道が恐いです。
- 39.夜の若者のたむろ。バイク、改造車等の暴走等、駅周辺の環境悪化を止めて下さい。犯罪の温床になると思います。
- 40.格差社会がこれから進むと考えられます。その結果としての犯罪の増加が懸念されます。桶川には警察署がありません。所轄署は上尾警察ですが、防犯などのパトロールの比重が桶川は低いと昔から感じています。今から新たに警察署はつくれないと思いますが、駐在所ではなく、分署的な組織を桶川に設置できれば効果的な防犯施策ができると思うのですが。あと学校専門の警察署の設置も必要になってくると思います。これは上尾とか桶川だけではなく日本全国的な傾向になりますが。スクールポリスがアメリカのように必要だと思います。これからは防犯が重要だと考えます！
- 41.防犯対策
- 42.押しボタン式信号機や街灯を増やして、防犯に市民も一緒に取り組むことが必要。
- 43.中学校の自転車通学を認めてほしい。学区内の端に住んでおり、徒歩だと30分以上かかる。女の子なので、防犯面から自転車の通学を強く望む。
- 44.大人から子供まで安心して暮らせるように、防犯の強化、住環境の整備。
- 45.治安は悪くはないが良くもないと思うので、防犯をもっと市全体で取り組めば良いと思う。夜(深夜)にバイクで騒音を立てて何台か家の前の道路を何回も通り、ちょっと不快な思いもしたし、駅周辺に若者達がたまったりと不便なときがあった。安心して暮らせるために防犯は最も必要だと思う。
- 46.ストーカー殺人事件のような怖い事件がまた起こらないように、警察だけでなく、市に相談しやすい環境を作ってもらえれば良いと思います。古い良いものも残して欲しいです。
- 47.防犯、防災の充実を図って欲しい。
- 48.安心して歩ける道。
- 49.私の住んでいる区には小中学校があります。防犯面の整備
- 50.初めて桶川へ来た時、疑問に思ったことがあります。それは警察署がないことです。小さな町や村なら交番や派出所程度なのもわかります。しかし桶川は市であり、約7万5千人が暮らしています。犯罪も決して少なくありません。実際に引っ越してすぐ、原付バイクを盗まれた経験があります。もっと大きな防犯体制が必要なのではないのでしょうか。そして、市民全体で犯罪を減らす取り組みを積極的に行うことで、安心・安全を手に入れられると思います。近隣の市町村に頼らず、自らを守る

警察署を希望いたします。市民の防犯意識も高め、より良い環境の桶川になることを切望してやみません。期待しています。

51. 町おこしも大切ですが、安全・安心で暮らせる市であってほしい。西口公園などは昼間でもアヤシイおじさんが子供に声をかけたりとかがあったし、西口の駅前では三井銀行側から歩道に乗りつけてエンジンをかけたまま走る原付バイクが、りそな銀行側(マイン前)の道路に抜けたりして、とても危ない。そのような小さな危険を早期発見して対策していただけるようなのが望ましいです。
52. 桶川市に転入して驚いたことは、いまだにヤンキーのような格好をしている人たちがいることでした。ずいぶん田舎に来たものだ…と思いました。マモトラのスーパーの前でうろついたり、バイクで大きな音で走ったりしているのを警察の方は何もしてくれない…というか、なくならない。やっているのかもしれないが。子供を持つ親として環境が心配です。集まる場所を作らない、防止策などを考えてほしいです。(モスキート音など)
53. まだ学生(高校)なので、自分の将来のことを考えているだけですが、安全で暮らしていけたらいいと思っています。
54. 安心して日常が送れるよう。例えばひとり暮らしの人の不安がないように。
55. 桶川へ引っ越してきてまだ一年半ですが、環境も良く非常に満足しております。桶川ストーカー殺人事件であまり良い印象のない桶川ですが、実際に住んでみるととても良い街です。しかしながら、最寄りの警察署が上尾であったり、交番がとても少ないので、安全面で不安がある方もいると思うので、そういった点を改善すべきだと思います。そうすることで、もっと良い印象に変化していくと思います。
56. 1999年桶川ストーカー殺人事件のことを忘れないように、防犯などはいつも以上に取り組んでほしい。
57. 不審者などが出ないよう防犯活動を充実してほしい。
58. 犯罪にすぐ対応すべき交番が少ない。警察署の設置を強く望む。
59. 防犯が悪すぎる(盗難やいたずら、夜間青少年がコンビニや駅周辺や公園などでさわいでいる。警察のパトロールを強く希望したい)

## 施策 406 交通安全対策の推進 (20件)

1. べにばな立橋が出来てから桶小の前を通過して中山道にでることが非常に多く、また子どもを迎えの車の列、遊びから帰る子ども達を毎日見ていると、いつか事故が起きないかととても不安です。
2. いつも思っているが学校職員の駐車が校内の一等地に置いてあるが、個々自分で駐車を借りて校内を有効に使って欲しい。事故も起きかねない。絶対に良いことではない。
3. 川田谷諏訪神社の信号が見にくいです。
4. 新たな道路ができて、そのまわりも歩道が整備され、それは良いのですが、それに伴って、カーブミラーや止まれなどの標識も一緒に付けてほしいです。道路が良くなって子供の自転車のスピードが出て、カーブミラーがないため、左右が見えず、こわい思いをしたことが何度もありました。(川田谷小の脇)
5. 歩道のある場所での自転車使用を理解している人が少ない。だれでもわかる目印があると良い。
6. 交通マナー(自転車通行、特に)
7. 通学路のあるところの自転車(学校、交通関係に伝えてもらいたい)
8. べにばな陸橋の下に警察の方がレッドカードなどで取り締まりをしているようですが、年末特に多い感じがします。常にいるわけではなく、朝ならまだしも夜中に突然出てきて違反だと言うこともあるよう

です。もっと違う取り締まり(路駐)をしたらどうでしょうか？北一丁目のうすい商店の信号のところの自転車横断歩道の渡り方おかしいです。車と一緒に進む人がいます。他にも事故が多いのに一時停止をなくしてしまった場所等…よく見て欲しいです。

- 9.17 号沿いでガードレールがないところはぜひ付けて下さい。この付近は道も狭くカーブも多く、通学の途中でも危険なことが多々あります。個人の土地でも話をさせていただいて、道路の整備などを進めて欲しいです。
- 10.道路側外灯等の整備を推進して安心して通れる横断歩道等
- 11.桶川郵便局より最初の信号までの一方通行路は今後も現状維持を執行し、絶対に対面交通とせざることを。これに関連してガードレール(歩行者保護のため)取り付けのこと。せまい一方通行の道路を対面交通にすることは非常識も甚だしい。事故多発は十分に考えられる。
- 12.桶川市に引っ越してきて3年になります。一番驚いたのが、交通ルールが守られていないことです(自動車・自転車・バイク・歩行者)。交通ルールの講習会を地域で開いてほしい。
- 13.大型車の交通規制の強化。
- 14.道路(住宅地の)が狭いので、自転車・自動車に乗るときは十分に注意しているが、自転車の危険運転が非常に目立ちます。警察だけでなく、行政でも注意を促す活動をしてほしい。
- 15.新たな道路整備はやめてほしい(現状でも過剰)。超高齢社会ではクルマを利用できない市民が今後ますます増えていくと考えられます。しかもクルマの走行速度は高齢歩行者の対応できるスピードをはるかに越えていて、毎日が死と隣り合わせです。子ども達の健全な成長のためにも、クルマ・トラックの走行の増加を招く道路整備はマイナス面が多すぎます。特に高速道路インターチェンジ。幹線道路とそれにつながる道路の整備・拡張は、市民の日常生活から穏やかさや潤いなど、数字では表せない大切なものを根こそぎ奪います。そして事故・犯罪・環境汚染を確実に連れてきます。それに伴って精神を病み、苦しむ人の増加も心配です。クルマ(道路)に頼らないことで、まちににぎわいを取り戻した例も国内外に多くあります。クルマ優先の都市計画よりも持続可能な市民の生活を重視したまちづくり(クルマを走りにくくする工夫)を強く希望します。
- 16.桶川市というか私事で申し訳ないのですが、我が家脇の道で交通量が大変多くなってきています。交通事故も多発しています。家の周りには老人、朝・夕は高校生の自転車通学も多い場所です。信号機設置など、何とかしてほしいです。安心して生活すること願っています。また交通量が多いので、家も大変ゆれるようになってきています。
- 17.狭い道にバス・自動車・自転車が走っていて、歩行者としては身の危険を感じることもある。道路環境の整備をお願いしたい。桶川駅付近の中山道にある横断歩道はいつも交通量が多く、そこで立ち止まっても、車は止まってくれない。信号の設置は難しいと思うが、何か対策を考えてほしい。
- 18.交通事故防止策として、スピードを出さないように50m間隔にハンプを盛る方法、そして道路を広く利用するため縁石を除きラインを引く。旧中山道クラスの道幅では、この二つを実行しましたら事故は少なくなると思います。これは桶川市だけの問題ではできないことです。縁石なくすことに反対意見も出るでしょうが、思ったより安全です。もちろん駐停車は禁止します。実施しましたら、旧中が豊かな親しみのある町になります。いかがですか。世界ではこのような道路があります。
- 19.住宅地の道路整備を早く進めて、子供たちが安全に通行できる信号、横断歩道などを設置してほしい。
- 20.道が広がり、交通の便がどんどん良くなっています。利便さが増す一方、歩行者の安全の確保(歩道の安全化)にも力を入れていただきたいです、子育てのしやすい環境だと思っているので、これに関しては現状維持でも十分だと思います。

## 施策 407 安全な消費生活の確保（0件）

# 5. みどりと調和した暮らしやすい桶川をつくる

## 施策 501 良好な住環境の創出と保全（50件）

- 1.市街地に置ける住宅地の整備を進め、土地の有効利用を図る。
- 2.高齢者、子ども、助成に対する取り組みは努力しようとしているが、働き盛りの30～40代の男性の生活環境や生活充実度が桶川は低いと感じる。
- 3.桶川駅近辺をできるだけ早く住み良くしてほしい
- 4.街灯の更なる設置などの住環境整備を進めることで、市民に満足してもらえる桶川市に近づいていくと思う。
- 5.高額所得層を誘致するため、駅から徒歩5分以内に高級住宅街(国家公務員住宅の誘致も)を民間資本により整備する。特に、東口の歴史を活かした再整備により、魅力ある住宅地を確保する。
- 6.緑豊かな自然を大切にし、子供・高齢者・障害者など、社会的弱者が住みやすい街にすることが、健康な働き盛りの成人も生活しやすい場所になると考えている。
- 7.住宅地に空家を作らないための工夫を施行する。
- 8.桶川駅より1.5km 圏内住宅地を多くして、人口を増やした方がよいと思います。人口が多い方が桶川市が元気になるのではないのでしょうか。住宅地があれば、サラリーマン家族は駅近だから集まって来ると思います。人口が増えれば商店も来るし、にぎやかな桶川市になると思います。
- 9.少しずつでもより良い環境作りを進めていってもらいたい。特に高齢者・子供達に良い環境であることを願います。
- 10.市街地からはずれた調整区域に住んでいる住民がもっと生活しやすい環境になってほしい。医療機関や商業施設等を充実させてほしい。
- 11.市街地の開発について、他市より大変遅れているように思う。もっと積極的に政策を進め、先を見つけて行くべきと思う。
- 12.桶川市の手付かずな自然がいいと思うので、壊さずに開拓などできるだけせずに、自然環境を配慮した住宅など、人を増やすことを考えたほうが良いと思います。近隣の市町で商業施設などがあるし、電車に乗ればすぐ都会です。ならば住める場所づくりをしたほうが良いかと…。
- 13.動物を大切にする街(野良犬・猫を街全体で見えるようにする)
- 14.いつまでも平凡で静かな街であるように祈る。
- 15.市街化調整区域の見直し。
- 16.東京圏のベッドタウンとして住宅地の充実を図り、子供から高齢者まで良い環境で暮らせるようにしていただきたい。農業と商業の発展に期待出来ない現状にあっては、住民の誘致に力をいれると良いと思う。工業は周辺環境に配慮が必要である。
- 17.身近にショッピングセンター、医療機関、高齢者や障害者・子供が育つ環境や教育、住み良い桶川市にしてほしい。
- 18.住環境の整備(区画整理地内の空き地の管理)
- 19.子どもと老人の一体化。桶川に移住、人口増加。動物に優しい街の取り組み商店街の充実。年金の保障。条例の充実。ホテル建設。コミュニケーションがとれた街、連携プレーができるよう

20. 桶川は都会でもなく田舎でもなく、中途半端な立地と環境が良いところだと40年住んでいて思っていることです。何をどうすれば良くなるかはわかりませんが、良いものは残し、良いものは新しく取り入れ。商業施設、工業団地、住宅地とうまく棲み分けが出来たら良いと思います。
21. 住宅地を増やし、店を増やす。
22. 自然環境の中で安全で安心して暮らせるまち。
23. 住宅地まで商業施設侵入せざることを。特に文京区内にギャンブル性のある商業施設を許可せざることを。
24. 南小の跡地を活用してほしい
25. 南小跡地の有効利用→託児所、自転車置き場(市営)→24 時間営業または電車運行中に開いている条件で
26. 南小跡地の開発。東口開発(広くする)。東側商店街。
27. 空き地、荒地が多く、無駄な土地が多すぎる。公園にしたり、ゆとりある住宅地の建設など、開発を進める方が若者集まる活気ある街になると思う。駅周りもメインは便利だけれど、いかんせん古い印象だし。町の商業施設も少ないため、高齢者ばかり住んでいる印象。町に活気があまりない。もっと明るく広い道路、きれいな街を目指した方がよいと思う。
28. 東京都のベッドタウンとして活躍すべく、住環境を整えるべきです。耐震環境、千葉、神奈川地区は今後、地震対策が叫ばれる中、埼玉への移動が十分予測される。他市町村にとられないように、住環境を整える必要がある。桶川は上野駅から電車で40-45分と通勤圏内ですが、通勤時間からすると選択ぎりぎりのところと思われます。できれば上尾地区となるでしょう。北本となれば少し遠い気がする。土地価格からすると上尾より桶川地区を選択される場合も予測される。そこで住環境が整っていれば、桶川の人気も上がるのではないのでしょうか。そうすれば、住民税、地方税も入り、市も潤うのではないのでしょうか。
29. 東側の早期開発、整備の取り組みが必要と思います。桶川市の古い伝統、歴史をいかすべく賑わいのあるまちづくりのため。特に桶川は東京圏のベッドタウンとして住み良いまちづくりによって人口はますます増加が見込まれるからです。
30. 高級感のあるまちづくりにより、高所得者の転入・定着を促進し、税収増加をはかる。
31. 近隣の市町(北本、上尾、伊奈)に比べ、すべての面で遅れている部分が見られる。庁舎、福祉施設、公園等、予算も限られていると思うが頑張してほしい。税収を増やすための努力、発案も必要と思う。全体として、良い町とは思いますが、今後質の向上も含めて、住み良い環境を作ることに努力してほしい。
32. 遠く場所に行かなくても、最良のサービスが得られるよう、今ある公共施設や商店などへの支援。
33. 東京のベッドタウンとして、住環境や永住できる町づくり。
34. 上尾と北本に挟まれ、桶川は地盤沈下してみえますが、二市と張り合わずに、地味に住み良い市にしてください。
35. 住みやすさの追求。
36. 平成 11 年退職して、市内の行政他に關心をもつようになりました。現在は川田谷の楽中遺跡で発掘補助員として働いています。市内鴨川に在住していますが、道路事情や商業施設の計画性のなさが目についているところです。首都圏のベッドタウンで、個別地主さんの都合もあると思いますが、住みやすい環境になればよいと考えています。
37. 生活環境を良くして若い世代の転入世帯を増やす。企業誘致を積極的に行う。これらに必要な対策を実施する。

- 38.桶川はベッドタウンです。今後人口が減少して、東京への人口回帰が進むと桶川の人口も減っていくと思います。その時大切なのは町の魅力だと思います。買い物や街路樹、周辺の緑や田園風景などが、人口の流出防止や転入促進につながると思います。私が20年前に桶川にやってきたとき、子供が遊べる林や牛を飼っている農家もありました。0歳児保育をしていたこととあわせ、こうした環境も桶川を選んだ理由の大きな点でした。これからも発展や開発重視の発想でなく、住環境や生活のトータルな質を考えていくことが大切ではないでしょうか。
- 39.市内各地域で行われている区画整理組合による開発が途中で色々な問題をかかえ、停滞している。東京など都心へ向かう(勤務する)方々のベッドタウンとして、最適な地域の一部として、住宅環境の整備が急務であり、市のかかわりは今まで以上に行うことが必要。
- 40.川田谷は下水道の普及が全体的にされていないので、どうにかしてほしい。
- 41.大雨の後、下水から臭いがする。下水道の整備を願う。
- 42.下水道の整備をしてもらいたい。
- 43.上下水道が完全に整備できていないエリアが桶川市内にはあるように漏れ聞きますが、完備してこそ都市計画も可能になるのでは？ 一部の既得権者のエゴに振り回されないようにしてもらいたい。
- 44.道路、上下水道、整備を充実してほしい
- 45.市街化調整区域に住んでいますが、下水を流す所がなく困っています。早急につくってほしいです。
- 46.道路・上下水道の整備等、都市基盤の充実。
- 47.下水道の検収が遅い
- 48.上下水道整備を早くしてほしい。
- 49.第一に望むことは倉田地区の下水道の整備をよくしてください。倉田地区は特に遅れていると思うからです。
- 50.市が川整備、冠水対策。

## 施策 502 歩いて暮らせるまちの実現 (292 件)

- 1.桶川駅東口を北上尾東口以上にすること
- 2.高崎沿線で、駅周辺の開発が一番遅れている東口の再開発を早く進めることである。その結果として桶川市のイメージが少しでも高まると思われる。地権者との合意を得て、早いうちに開発が進むことを期待します。
- 3.駅西口周辺・西口広場の拡張が必要。非常に狭く常に車が警笛をならす状態。市外から来るまで来る人達は「この駅西口ロータリーは狭くて車が安全に移動するのが困難だ」と常に言われる。東口開発には余裕を持った広場、ロータリーにしてほしい。
- 4.桶川駅西口の開発。道路、三井住友駐車場入口一方通行である。桶川東口の開発。特に道路は中山道まで。
- 5.桶川駅東口を広くして欲しい。西口等もロータリーなどを広くして、駅周辺をショッピングモールを建設して活気あるところにしてほしい
- 6.桶川ストーカー事件の町しか、周りの人達は桶川の事を知らない。悪いイメージがあるので、桶川駅周辺を新しく整えて欲しい(若い人達が集まれるような場所)
- 7.桶川市は開発やそれに伴う実行力が遅くスピード感が欠如しているように思える。他市に比べて駅

前の開発や道路整備など。例えば上尾駅など40年程前は桶川駅とそっくりな駅舎だったそうです。それが今では2度目の改良が終了してきれいな広く使いやすい駅舎に変わっています。また市役所庁舎もしかり、東日本地震があったばかりなので特に思いますが、現庁舎ではいつ崩れても不思議はありません。あのような建物で防災の拠点としての機能が果たせるのか住民としても不安です。まず何をおいても最優先で行うべきです。5年後・10年後などと悠長なことを言っている場合ではありません。優先順位をつけて実行していくことが必要だと思います。

- 8.桶川駅東口前の整備(道路・商業施設 etc)
- 9.東口駅周辺商店街の開発を早くやってほしいです
- 10.メインが寂しい、駅前開発
- 11.税金の収入を増やすためにも、まずは桶川市の玄関口である桶川駅前(特に東口)の整備をする必要があり、桶川の人口を増やすために整備をする必要があると思います。
- 12.桶川駅東口の再開発
- 13.桶川東口のバス通りを整備して住み良い町を早く作って下さい
- 14.桶川東口の開発。特に駅前から中山道までの区間。朝晩の交通渋滞が危険です(送り迎えの車、自転車等)。駅前の学校跡地を市民のために有効に使うて欲しいです。
- 15.企業誘致、駅周辺の活性化
- 16.桶川駅東口は近隣で一番遅れていて狭い。開発を希望します。
- 17.駅東口の開発(駅前の道路、中山道商店街の活性化等)
- 18.40年桶川にいますが、昔と変わらない街並みです。バス2台が通ると動けなくなってしまう駅前、夜7時半には暗くなる中山道商店街、小さすぎる市役所。高崎線の便利さがあっても、桶川だけが周りの開発に取り残されている気がしてなりません。若い人達が自慢できる住みやすい桶川市に変わらなくては、そのうちに桶川という町がなくなりそうでこわいです。
- 19.駅周辺整備も他市に比べて遅れており、特に東口駅前の整備は急務だ。駅周辺の整備なくして市の発展は望めないのでは？
- 20.桶川駅東口の前整備
- 21.ショッピングモールや大型商業施設などにぎわえる場所がほしいです、駅前に自転車屋がないので不便です、駅東口通りが閑散としているので何とかしてほしいです
- 22.東口の再開発により、駅への車等の利便性を図ることが急務である。
- 23.もう少し商業店舗がほしい。東口再開発により、増やせないか？
- 24.桶川駅の東口を広くして欲しいです(バス、タクシーの場所)
- 25.駅東口整備
- 26.東口開発をして頂かないと通勤通学駅利用人口が多いにもかかわらず、不便で使いにくい。近隣駅に比べてもすごく使いにくい。
- 27.東口の駅周辺の道路整備と商店街の活性化。自転車を安全に使用できる道路(自転車専用道路等)が出来れば良いと思います。現状は自転車に乗りたくても道路状況が悪くて車を使用してしまう。また、運転者からは自転車は非常に危険に感じる。
- 28.桶川東口駅前が活気づく様な町づくりをしてほしい。意味がない空き地など無駄な土地利用を少なくして、緑を残して有効な土地利用をしてほしい。
- 29.駅前の整備、道路整備
- 30.駅周辺の道路の整備(狭い)。駅周辺に人が集う何かを。



31. 駅東口の整備、開発しないことには、桶川市は発展しないと思います。
32. 東口の開発を早急にやる(他市と比べて駅前の景観がみすばらしい。魅力がない)。西口に文学館があるので、ついでに足を伸ばしてショッピングなどできるようにしてほしい。
33. 東口駅前の再開発。駅もきれいに。駅前の道がせまく、駅も古く汚い。寄りたいたと思えない。きれいに整備され、新しいお店が入れば、人も来ると思う。桶川に住んでいても、買い物は他の市に車で行くので不便。駅より東側は公園もなく交通量が多いため、子育てはとってもやりづらい。ベビーカーを押すスペースすら確保できなかつたりする。もっと整備して欲しい。子どもが遊ぶには危険な道が多い。
34. 市役所は現在の場所にて、東口の整備(計画性のある都市計画)、西口の交通整備(狭すぎる)
35. 桶川駅東口駅前通りを、徒歩の人が歩きやすく、商店もショッピングセンターにして、買い物しやすいお店を作って欲しい。
36. 桶川駅東口周辺の整備を速やかに推進して欲しい。市役所を、南小跡地に建設したら如何だろうか。
37. 駅前開発。イメージ的に駅前は市の顔だと思う。両隣市に挟まれ、桶川は埋没しています。朝夕の送迎で混雑する。とても危険だ。トップの方々のやる気、本気で独創力を発揮していただきたい。
38. 桶川駅東口の開発をしてほしい。
39. 桶川駅西口から川越方面(武蔵野銀行側)の道路を明るく、片側(川口銀行側)も広げてほしい。また、駅ロータリーももっと拡張してほしい。
40. 桶川駅東口、及び中山道の整備
41. JR 桶川駅について。ホームが狭く、階段が混み合っているため、整備が必要と思われる。東口に広いロータリーを設置してほしい。
42. まずは、桶川駅東口の整備が必要であると思う。あまりにも昔とかわらず、来客などの際は恥ずかしく感じられる。又、中山道の街並み。良いところは残してほしい。どの世代にも住みやすい便利な街であることを望む。
43. いつも行政のお仕事お疲れ様です。私は西口在住だが、是非東口の開発・整備を希望する。街全体が元気であればこそ、市政も活発化すると思う。東口は居住年数の長い方や、古い自治会活動を小規模ながら行っている地域など、感心させられる地区も多い。少子・高齢化の進む中、地域ぐるみで笑いあえる豊かな環境の街になる事を願ってやまない。これからもお力添えを宜しく願います。
44. 桶川駅東口の整備、旧中山道の整備(出来れば昔の宿場町の風情を残して)
45. 桶川駅東口にエレベーターを設置してほしい。
46. 駅東口を活気のある街にして、桶川市の表の顔に。中山道桶川宿の美しい街並み作り。
47. 桶川駅東口の開発
48. 桶川駅のリニューアル
49. 桶川駅東口の整備
50. JR 高崎線を利用しているが、東口の道路や歩道が狭いので、道を広くしたり、ロータリーなどを作って、利用しやすい桶川駅にしてもらいたい。
51. 桶川駅東口のロータリーが遠い。信号の区間が短い場所がある。
52. 桶川駅東口の道路の整備。ロータリーを作るなどして、車・自転車・通行人などが危険でなく歩きやすい環境にして欲しい。古い店舗や施設など、開いてはいない店は立ち退きして、ロータリーや道

路幅として確保する。

53. 駅周辺の道路整備と商店の充実。夕方の東口は自転車や歩行者が恐い。バス、タクシー、迎いの車が入り乱れている。東口は駐輪場ばかりでシャッター街なのでさびれて見える。エルミ鴻巣のように大型ショッピングモールにしてしまった方がよい。桶川はベッドタウンとして優れていると思うので、単身者用に深夜でも食べられる店、オリジン弁当、24 時間営業のスーパー等が駅周辺にあると助かると思う。現在は、深夜だと飲み屋しかない状態。昼間は子供連れのママが集まれる場所を作るべき。現在は、mine のマクドナルドか3階のこども広場しかない状況。
54. 桶川駅東口をもっと活性化すべき
55. 次の様なプロジェクトを組み合わせれば、桶川市は一層活性化すべき。桶川駅東口の整備と中山道に歩行者・自転車・自動車を区別した道路を作り、景観を良くする。及び、南小跡を第3セクターにして、新しい市役所庁舎を建設する。
56. 高崎線の宮原から鴻巣駅間で、駅前の開発が遅れているのは桶川駅ぐらいだ。特に東口が遅れている。わかっているのだが、なかなか進まない。昔の桶川宿の街並みを残すなら、残す為の取組をして、駅前を整理していかないと、他から悪いイメージで見られてしまう。
57. 桶川駅東口の活性化
58. 私は桶川市に転入して約20年たちます。その中で感じていることは、駅東口通り中山道の整備が一向に進まず、旧態依然の状態です。今日まで来ていることです。今日の車社会の中で、非常に不便を感じています。隣の上尾市・北本市と比較し、その改善状況は雲泥の差です。一刻も早く整備してください。
59. 桶川駅東口周辺の開発を早く進めてほしいと思います。駅通りなど狭い道路のため、何度か危ない状況があったので、特に早く広い道路になってほしいと思いました。南小学校跡の土地の利用はどうなっているのでしょうか。
60. 桶川駅東口の道路を西口のように整備して、人も車も安全に通れるようにしてほしい。あぶない！
61. 桶川駅東口の開発促進
62. 桶川駅東口が開発が緊近の課題だと考えています。駅周辺の地権者を整理して、住宅(空き家の利活用でもいい)、保育所、公園(広場)、商業スペースなどを整備する。住宅は特に高齢者世帯、子育て世帯が住みやすい居住空間として、保育所は例えば女性が安心して就労できる必須の施設とし、公園(立派なものじゃなくてよい)はみどりや安らぎの空間として、また、商業スペースは、高齢者が生活必需品を簡単に調達できることや市民の就労の場所として、整備していくのが望ましいと思っています。何十年も駅東口周辺は変わらなさすぎると思います。工業用地の造成とか企業の誘致はせつかくの桶川の自然環境が損なわれる恐れがありますので、必要がないと考えています。それよりも上述の整備により人口を増やし、市民税で収益を増やしたほうがよいと思っています。
63. 東口開発の促進。マインのこれからの動向(もし、ベニバナウォークができた後、東武が撤退して空になってしまったら、市役所が入所すればよいと思っています。そうすれば今よりも交通の便が良くなり、市役所に行きやすくなり、建て替えよりはるかに安いと思うので)。
64. 駅の整備と東口周辺の開発、旧中山道の道路環境の整備
65. 駅周辺に商業施設を増やしてほしい。
66. 桶川駅東口の商店街の整備に力を入れてほしい。駅前なのに、道が狭くて危険。お店によっては、道路にまでワゴンを出している所があり、危ない。
67. 駅東口の整備。ロータリーをつくり、区画整理をする。東口に大型商業施設を誘致する。道路の整備。駅西口からの道路を整備する。道路を拡張し、幅のある歩道を設ける。

- 68.桶川駅東側の都市開発を望みます。
- 69.東口整備をとにかく早く行ってほしい。狭い道、危険があります。
- 70.駅前の開発(道路など)に力を入れる。
- 71.桶川東口周辺の整備(道路が狭い)。歩道がないため通学時危険である。
- 72.駅前東口の整備を一日も早くしてほしい。特に駅前通り。旧南小の跡地をなんとかならないか？
- 73.駅東口のロータリーがなく、迎いの車を置く場所が少なすぎるので、もっと多くの車が止まれるようにしてほしいです。
- 74.桶川は東口の駅周辺の開発がちっとも進みません。駅も高齢者などは上りのエスカレーターはあっても下りがないので、足の悪い人などは帰りは西口に出て、家の人に迎えに来てもらう人などいます。近隣の市などは開発が進んで便利になっているのに、桶川は東口の開発に目をつぶっているのですか。中山道や駅の周辺でも、人の通りが少ないのはなぜなのか考えてみたほうが良いと思います。街に人が集まって楽しく買い物ができるような街、そんな東口にしていただけたらと思います。
- 75.桶川駅東口の駅周辺の環境が不便すぎる。道幅は狭い、ロータリーはない、数え上げればきりがなし。市を活性化させたいのであれば、駅周辺の道を整備し、車や自転車の往来をきちんと考えるべき。
- 76.近くの市と比べ、駅前(東西)の整備の遅れ
- 77.東口まわりの道が狭いわりに交通量が多いので、通行を控えることが多いです。改善していただければありがたいです。
- 78.(桶川駅東口について主に書きます)桶川駅東口で一番繁盛している商売はわかりますか？「駐輪場」です。駅周辺の道路は狭く、ロータリーもなく…友達に桶川駅に来てもらうのがはずかしいです。近隣の市は「駅近」に「屋根付き」の市営駐輪場があります。利用者の立場に立った場所になれば価値がありません。なんにでも手を出し全て中途半端なため、有効活用されていない施設が多いように思います。今から駅周辺に大きな商業施設は望めないですから、災害に強い、利便性の良い道路を作り、住環境を整えることが一番よいと思います。
- 79.桶川駅東口開発。
- 80.東口駅前の道路の整備
- 81.駅前東口の商店街の活性化。
- 82.桶川駅東口周辺を整備し、商業施設を充実させ、人々が生活しやすい街づくりをする。
- 83.東口駅前の開発と南小跡地の有効利用。
- 84.駅前通りを広くする。駐車スペースを多くする。
- 85.桶川駅東口周辺の整備の推進、実行。桶川市が工業、商業の誘致を行い、桶川市の住民の増加を図る。桶川市へ人が流れるような施設の推進を行う。結果軌道にのれるよう推進すれば、ますます桶川市は良くなると考えます。
- 86.桶川駅通りの道幅を広げ、送迎車用のロータリーがあると良い。朝・夕の渋滞が多少減ると思います。
- 87.桶川駅東口、駅前通りの整備
- 88.駅東口の開発(どこよりも遅れている。恥ずかしいと皆さんの声)
- 89.桶川駅を新しく建て直してほしい。ホームも狭いし汚い。幅を広げて駅中の店舗とかも充実させてほしい。駅のトイレも便器の向きがおかしく、入りづらい。階段も狭いし、思い切って全面改装すべき。

- 90.まずは東口の駅前整備を早急にやってほしい。歩行者と自転車に車が猛スピードで走ってくるので本当に危ない。宮原、上尾、北上尾、北本、鴻巣は駅前がとても整備されてるのに、桶川だけが古いまま。バスも通りづらそう。雨日の車の駐車も本当に迷惑です。
- 91.桶川東口の方の整備、もう西口はいい。商店街は廃れ具合がひどいので何とかしてほしい。商業施設、娯楽施設を増やして(若者向けの)。おけちゃんのキャラをもっと立たせて。イオンをつくってはどうか。図書館の蔵書が専門分野に関して甘い。桶川駅東口の設備向上を。
- 92.東口駅前の整備推進。北本、鴻巣、両駅を参考にしてください。
- 93.駅周辺(東口→東中学校)道路の整備。自転車が安心して通行できる道をつくっていただきたいです。
- 94.桶川駅東口の方へと大きなショッピングセンターをつくる。商店街を整備する。住宅街にスーパーを増やす。通勤者に便利のように大型の駐輪場や駐車場をつくる等。
- 95.また、西口の開発は進んでいるが、東口はなかなか進まず停滞もしている。圏央道の開通とともに発展するよう取り組んで欲しい。
- 96.駅前、特に東口は活気がなく、道も狭く大変危険です。もっとチェーン店を導入したり、駅のバリアフリーや駅舎をきれいにする事で、桶川に元気が出ると思います。上尾駅や北上尾駅は栄えているのに、桶川駅はさびれていて、帰ってきてても買い物するところや食事をするところがありません。もっと人が集まる東口にすべきです。
- 97.早く駅前開発(東口)を整備してほしい。一番遅れていると思う。
- 98.桶川駅東口開発・道路整備(歩道・自転車専用道路・通学道・右折車線等の整備)
- 99.桶川駅東口駅前通りの活性化 駅前交差点周辺の道路整備
- 100.桶川駅東口の開発、道路等。
- 101.桶川駅東口の整備を早急を実現する。区画整理を早急に終了する。市役所は早く建て直しをする。
- 102.道路を広くして、平らに舗装して欲しい。東口方面の街並みを新しく変えて欲しい。
- 103.桶川市に住むようになり 15 年間、上尾駅のリニューアル、北本駅の東西口の整備を見てしまうと、桶川駅の改善が全く進んでいないことが残念でならない。圏央道が開通に向け工事が進んでいると思うので、次は是非駅前の整備に力を入れて欲しい。そして、行政サービスを充実させ、若い世代が住み続けたいと思ってもらえる街にする必要があると思う。
- 104.桶川駅東口の再開発は勿論の事、全体的に住宅が少ない。駅西口のパターンの小規模なものを市街化調整区域にも拡大して、住宅街を作り、人口を増大させる。圏央道が出来るのを機会に、東西を走る道に沿って開拓してはどうか。(17 号の)西側と比べると、東側が遅れている(住宅が少ない)と思う。
- 105.桶川駅東口を開発を早急に進めて欲しい。今のままではゴースタウンである。
- 106.桶川駅東口整備。上尾・北本に比べ遅れている。桶川に住みながら、北本に行った方が便利。
- 107.桶川東口の駅前周辺の開発を進めてほしい。
- 108.桶川駅東口の道路が狭い。古い感じを変えてほしい。
- 109.桶川東口駅前通りの整備。まずは東口駅前通りを広く整備しない限り、桶川市の発展はないと思います。
- 110.埼玉県桶川市を思う。日本にしかない埼玉県桶川市にすること。上尾市や北本市から旧中山道がみずばらしいです。また久喜市菖蒲町と川島町に大きな商店街があるのに桶川市にはなく、桶川市は遅れています。市の公共施設がバラバラにあるために市民におおいに負担をかけています。桶川市の東口の道路を 17 号まで広くする。西口も開発を進める。旧中山道を開発する・温泉を掘

る・桶屋を作る店を作る・宿場を作る・大きいモール店を作る。桶川駅に駅ビルを作る。駅前に市役所等を作る。川島町と話し合いをして、ローカル飛行場をどちらかに作る構想を考える。飛行場を結ぶ桶川駅と桶川北本インターの幹線道路を整備する。桶川市は何事も遅れている。

111. 駅前、その付近を人が通っても安全であるように。道幅が狭く、車のすれ違い・人との接触でいつ事故が起きてもおかしくない状況であると思うので。
112. 桶川駅東口をもう少し都市化してほしい。
113. 東口をなんとかしてほしい。
114. 桶川東口駅前の整備。駅はまちの顔だと思います。ここで暮らしたいと思うようなまちにしてい。ロータリーが無理ならば、活気ある商店街作りに力を入れてほしいです。
115. 桶川駅および駅周辺の整備
116. 駅東口開発は、南小がなくなっただけで商店街が残っている。反面、東京圏の住宅地として、上尾にない中級以上の場を提供できる土地がある。商業地・中級以上の住宅地として売り出すことが必要(中山道の歴史にこだわらない…今はそれしかない如くこだわっている)。公共事業は多数に支持されたVISIONと、少しだけの強権も必要。
117. 桶川駅東口周辺、中山道の整備
118. 40年経過しても、駅東口商店街は整備ができない。できない理由はあるのだろうが、沿線の市街で発展実現できているのだから、桶川市の特殊事情を言っても始まらない。桶川・北本間に、設置運動している新駅についても同じことが言える。行政区域が違えば、桶川市は何もしていないように見える。駅ができれば桶川市民も使うであろうに、何か目に見えるお手伝いがやれないものだろうか。
119. 駅東口の再開発を最優先すべきである。東口の再開発は今に始まったことではない。先祖代々受け継いだ土地を有効活用するという、極めて保守的な人たちを説得するのは容易ではあるまい。市議選があれば、立候補者は異口同音に「東口再開発」をスローガンに掲げる。しかしこの数十年何の進展もない。取り残されているのは、東口開発が遅れている桶川のみである。朝の通勤・通学時間帯に一度立って、様子を見るべきである。
120. 駅東口の整備を早くしてほしい
121. 駅前の整備、自転車置き場で生計をたてているように見えているが、自転車置き場を市がまとめてやってほしい。
122. 市内中山道を広げていく。まず駅を中心として道路、その他考えていく
123. 桶川駅東口の活性化を。
124. 東口駅前の活気がほしいですね。タクシー乗り場等の整備。広さが十分ではないと思うので、それ以上の広さをつくれないのかなあ、と思いますが、私から見ればごちゃごちゃしてる気がします。もう少しきれいになればと思います。シャッターが下りている場所は使わないのがもったいないので、福祉・学童保育や、くもん教室を開いたり、高齢者の集まる部屋(飲み物はあらかじめポットを置いておく)があると、もっと活気がでてくるのでは。くもん教室を自宅で開いている人がいますが、家の事情で出来ない人もいます。その人達のためにも使用するべきと考えます(シャッターが下りている所は、色々なことで使用できると人も自然と増えると思う。)
125. 桶川駅東口の周辺の開発が遅れているようですが、いつになったら整備できるのでしょうか。道路が非常に狭く車が通るたびに怖い思いをします。また、店舗も閉ざされたままの状態がありますので寂しい感じがいたします。駅前が整備されていないような町は、町全体が活性がなく、さびれていくような感じがします。

126. 桶川駅前の道路整備。中山道の歩道狭すぎ！狭いのに業者が車をとめるので、自転車で子どもを乗せているとき、車道にでなければいけないのですごく危ない。上尾はすごく道が良くなっているのに桶川は全然変わらない。桶川は遅れているなあとと思う。
127. 桶川の玄関である桶川駅東口整備は非常に遅れています。早急を実現して欲しい。近隣の市と比べ見劣りしているのが現状です。
128. 上尾市に比較して上尾駅の充実、また、駅周辺の商業施設の活性化など大変差をつけられています。ぜひとも上尾を見習い、一歩でも近づくように桶川駅並びに特に東口駅周辺の開発をお願いします。
129. 若者がもっと集まる魅力ある町になってほしい。商業施設・教育機関などを誘致すると思う。でも環境悪化にもなりかねないのでむずかしい。早急をお願いしたいことは、桶川東口駅前および駅通りの整備です。
130. ここ30年間、まわりの町はそれなりの変化は見られるものの、なぜか桶川だけが衰退的現象を呈している。その象徴が中山道界隈の「さびれ」。なぜか？桶川駅東口周辺の開発放置。観光資源を持ち合わせないなら、せめて投資を呼び込むような街並みの開発・整備・いわゆる投資環境の整備は不可欠のはず。保守的な地元有力現状維持者は、己を長期的に亡ぼしていることに気づいていても、反対するからうらめしい。10年後、20年後、他の町に一層差を広げられているか。それとも、やるか。
131. 東口の開発
132. まず駅周辺を発展させてほしい。
133. 圏央道ができ、交通に関しては便利になってきているが、その一方で桶川駅周辺、特に東口には不満をもっている。まず道の狭さ。駅前のはずなのに、道路が一方通行。夜の帰宅ラッシュ時は車も多く、歩行者にとって危険な場所となっている。商業で言えば、失礼な言い方であるが「寂れている」と感じてしまう。隣町の北上尾駅のようにはならないのだろうか、常日頃思っている。
134. 人を集めるために。桶川駅周辺の整備、工業・商業の拡大
135. まず、第一に東口の整備に力を入れてほしい。さびれた狭いいまの駅東口の状態ではひどすぎる。北上尾駅や北本駅の変化を見るたび、早急に開発してほしいと思う。桶川の東口だけが取り残されている。通勤族でいろいろなところに住んだ経験上、桶川市には特別これといって誇れるもの・自慢できるものがない特徴のない「まち」といった感じがする。
136. 桶川駅東口周辺地域の整備推進をなんとしても進めてほしい。10年くらいの期間で。現在はみずぼらしい、さびれた町の印象です。
137. 東口開発を中心とした街づくりから活性化を図っていただきたい。
138. 駅周辺の環境整備と中山道の整備（歴史的な街並み）。
139. 桶川駅東口広場・道路の整備（上尾、北本駅東口のように）
140. 桶川駅東口も整備されていない。道路を整備し、公共施設への交通の整備をしてもらい、バスなどで行けるようにしてほしい。
141. 駅前を早く整理してほしい。
142. まず東口周辺の整備を。
143. 交通の便を良くし、駅前に人が集まるようショッピングセンター等の大型施設があると良いと思う。
144. 駅東口再開発、整備。何と行っても桶川市の顔である。あれでは市民が誇りをもつこともできない。圏央道、上尾道路の使用（今からでは遅い面もあるが）。企業誘致による雇用創造、税収及び活気造成。市の道路整備。都市基盤整備。都市計画の見直し。大きな交通の流れによる変化による

見直し。市民が住みやすいと各世代が感じ、誇りをもてる街になってほしい。

- 145.もう少しデパートや桶川駅を開発して欲しいです。
- 146.桶川駅東口周辺を整備して活気のある町にしてほしいです。
- 147.桶川駅東口の道路拡張と整備をまず第一に実行していただきたい。
- 148.桶川駅の整備や、東口の整備を行って欲しい。
- 149.桶川駅東口の整備がされると良いと常々通勤しながら思っております。
- 150.桶川駅東口周辺地域の整備
- 151.桶川駅ロータリーが狭いので、もっと広くしていただきたい(ここ数年通勤・通学の車が多くなってきている or 大型の観光バス、スクールバスなども多くなってきている)。
- 152.駅前の整備、東側の道は本当に狭くて危ないと思う。(特に駅までの道)バスがすごくスピードを出して走ってるので高齢者や子どもは危ないとよく思う。
- 153.交通の便を良くする。駅周辺の活性化、娯楽地を増やす。自転車をもっとよく使えるような交通(横断報道や踏切)
- 154.桶川駅東口駅前を通行するとき、危なくて仕方がない。東口駅前をよくしてほしい。
- 155.桶川駅西口のマイカー乗り入れが非常に不便。せつかく西口を開発したのに、駅まで人を送迎するのに車を置くところがない。バス、タクシーが我が物顔で横行し、一般市民車が邪魔される。真ん中に公園のように植物が植えてあり、これを撤去して少しでも広くすべき。開発をしたときの計画性のなさがすぐわかる。車を駐車する場所がないからマインの前の道路両側においている車が多い交通の妨げである。私の家のすぐ脇の道を多くの車が送迎のためにとんでくる。道路がガタガタになっているが、少しも市では改善されない。
- 156.とりあえず駅周辺の交通をもっと良くすることを進めた方が良いと思います。バスが通れなかったり、事故が起こりそうな場面によくでくわします。
- 157.駅東口よりバイパスまでの道幅、バスのロータリー(駅前)、第一はそれです。高崎線で一番遅れている。25~30年前にできたら、桶川市そのものが違って来たと思う。だから高崎線で一番遅れた町になったと思う。出遅れたので他にない町づくりを考えてください。桶川市は他の町とは違うねと言われるようにガンバレ。
- 158.桶川駅周辺の区画整備を至急に行い、道路交通環境の整備を発展的に実施してほしい。計画を完成させてほしい。
- 159.桶川駅東口の開発
- 160.桶川駅東口駅前通りの道幅を広く整備し、活性化を図る。
- 161.東口を早く開発して、人を呼び込み、活気をつける。
- 162.桶川駅東口周辺および中山道の商店街の再構築が必要であると思います。基地などの移設が難しい用地もあるかと思いますが、駅前通りと中山道の道路の幅を広げ、市外も含めて多くの人が駅周辺に集まりやすい環境作りを最初に行うのが良いと考えます。
- 163.次に、日常的に利用する店・施設を作ります。具体的には駐輪・駐車場を整えた後、フードコート、日用雑貨屋、医療福祉施設を作ります。このフードコートは既存のものとは異なり、安価な家庭料理を売りにします。今後、ひとり暮らしの人が増えるでしょうから、毎日通える外食店があると喜ばれると思います。現状のままでは、桶川駅東口およびその商店街は衰える一方だと思っています。祭り、住民の転居など、様々な問題はあると思いますが、駅周辺の活性化には欠かせないと思います。商店街の方々には、商売のくら替えを含めての交渉をしなければならないかもしれません。大変身勝手な要望ですみません。

164. 東京圏のベットタウンとして、田舎らしさが残っている町で、駅まわりが開発され発展していくことを願っています。
165. 駅西口から桶川マイン2階の通路ですが、雨でもぬれずに済むように、傘のようなアーケードがほしい。東口駅前が狭い。商店街も活気がなく、さびれている感じがする。西口とは違った、どこかなつかしく感じるような街づくりができればステキだと思う。日配品が買えるドラッグストアは多いが、食料品が買えるスーパーが少ないと思う。
166. 桶川駅東口の再開発。
167. 東口近辺の開発がまったくなく、道路は狭く、車とバス、自転車・歩行者が入り乱れ、商店を見る余裕などない。もっときちんと歩道を整備し、ショッピングセンターを増やし、抜け道になっている通りをスピードを出している車もあるので、もっと調査し、カーブミラーを増やしてほしい。
168. 駅東口の開発・整備を！市の玄関口として現状は恥ずかしい限りと思う。「道の駅」について。ホンダエアポートとリンクさせて、防災拠点の機能だとか、自然・歴史を生かしたとかの意味づけはあまり意味がないと思います。利用しやすく、多くの市民・県民が訪れるような「道の駅」を設置すべきです。立地が第一です。
169. 桶川駅(特に東口)近辺の道路拡張と駅前広場の造成…予算の拡大による実現には時・日を要すると思いますが。
170. 駅東口の道路拡張および再開発。東口周辺にコンビニがない。珍しい！ 中山道の拡幅
171. 桶川駅東口周辺の再開発、道路の整備
172. 東口の整備など。
173. 東口駅前の整備(公園の数、歩道の充実(りそな銀行から17号に向かう所は危険)、自転車道(いかげんにつけてほしい)。店によっては当たり前のように看板を歩道においている。注意してほしい。車も歩道によくとまっている。さいたま市、上尾市と比べて差があります。たばこのポイ捨てが多い。マナーを呼びかけるポスターを貼ってほしい。
174. 桶川駅東口周辺の車の乗り入れを規制してほしい。特に雨の日などは歩行するスペースが車で埋め尽くされ、危険な状態です。また桶川駅の拡張を望みます。特に下り方面の(ホーム)階段は幅が狭く危険です。
175. 近接の上尾駅、北上尾駅に引き続き、東口の駅前の開発に力を入れてほしい。
176. 東口駅前の道路整備
177. 東口駅前の開発
178. 駅東口開発
179. 桶川駅東口周辺の利便性をよくしていただけたら。
180. 駅東口の開発。難しいと思うが、駅は町の顔だと思うので。旧南小学校跡地等を含めた開発ができれば活性化につながるのでは？
181. 桶川駅東口が狭く利用しづらいので、もう少し広く、きれいにしてほしいと思っています。近隣市の駅はきれいになっているのに桶川だけ…とってしまいます。
182. 桶川駅東口の開発。道路整備、駅前のロータリーなど広場にしてほしい。
183. 住めば都で40年も暮らしておりますと不満が何かはわからなくなってしまっておりますが、本当は近隣市町村と比べますと、大変遅れているのではないのでしょうか。狭く危険な駅東口開発の遅れは異常です。早急な東口開発などを希望します。
184. 至急、東口を開発を求む。



185. 桶川駅東口へのロータリーの建設など、車の通行に対する整備をしてほしい。
186. 桶川駅東口の再開発の推進 旧中山道の道路幅の推進
187. 駅東側の商店街には車が入らず、元南小あたりにロータリーがあって、多くの人が商店街で買い物を楽しんでから車やバスを利用するようになればよいと思います。
188. 東口再開発が遅れている。
189. 第一は駅周辺(特に東口)をなんとかできませんか。南小の跡地はいつまでそのままですか。積極的に動く人はいませんか。市役所建て替えさせておき、駅周辺をいつも思っています。その他することはあってもまずここからです。
190. 駅東口の区画整備をし、車の乗り降りを安全にしてほしい。
191. 今は北本や上尾と比べると、桶川市がいちばん活気がないように思います。桶川の東口ももう少しきれいになればいいと思います。中山道、人通りが静かなので、もう少し活気づいてほしいと思います。賑わいのある時は、お祭りの時だけのように思います。
192. 桶川駅東口周辺の再開発も必要だと思います。旧南小学校跡地の有効利用と、駅周辺の道路整備を行って、安全な環境をつくってほしいと思います。
193. 祝日の道路工事作業(緊急漏れなどは除く)は全面休止にしてほしい。桶川駅東口のエレベーターを設置してほしい。
194. 桶川駅東口周辺の道路の整備。
195. 桶川駅東口周辺の整備。きれいな商店街にしてほしいと思います。ここ20年何も変わっていません。またせっかく圏央道もできるわけで、桶川インターで下りてみたくなるほどの何かがあってほしいと思います。そして高齢者や障がい者などが安心して通れる道路を作ってほしいと思います。二年前に行われた花火、最高にきれいでした。暑くない寒くない10月で、本当に気持ちよくみることができました。毎年見られたら幸せです。桶川市発展のため、頑張ってください。
196. 東口の再開発。週末もさびれた雰囲気、上尾や西口とあまりに差があります。便利な立地なのに、非常にもったいないです。大型商業施設、スポーツ施設などの複合大規模開発を行えばと思います。住宅・工業地域、商業地域、農業地域の明確な区分。
197. 桶川駅東口の中心市街地整備を早急に実施願いたい(街にあまり活気が感じられないので)。近隣の駅(北本、鴻巣、北上尾)は駅前整備が進んでいるが、なぜ桶川だけが遅れているのかわからない。上尾や鴻巣並みとはいかないまでも、大型商業施設や文化施設を整備し、自然と調和した活力ある町づくりを積極的に進めていただきたい！また桶川、北本インターチェンジ付近は、産業・流通の核として整備願いたい。
198. 歩道が細すぎてベビーカーでストレス。歩行者、自転車、車が混ざったりしている。そういった道路環境が古すぎる(とくに東口駅前)。道路を広げて安全な道を。東口にエレベーターを。
199. とにかく桶川駅東口周辺の整備推進を特に切望いたします。交通安全面・環境がよくない！
200. 東口駅前の活性化は必要ではないか。区画整理
201. 桶川駅東口再開発(整備)
202. 桶川駅東口周辺の整備推進。
203. 東口駅前の開発に力を注いでもらいたいですね。
204. 隣の上尾市や北本市に比べて、道路や街の整備が悪いのに、税金ばかり高い気がする。独身者は税金を払う一方で行政サービスのメリットを感じることができない。駅東口が汚い。きちんと都市計画を立てて、産業が活性化するような街づくりを望む。
205. 桶川駅東口の商店街の通りの道幅が狭く、バスが通ると歩くのにもストレスの状態、危ないので

ぜひとも東口を開発してほしいです。

206. 駅東口の整備。ロータリーが狭いし、一通なのはどうかと…。
207. 桶川駅東口の駅前通りは、あまりにもひどすぎる。バスのすれ違いもままならない状態であることから、歩行者がより安心して通行できる道路作りを望む。さらには地球温暖化対策の観点からも、歩道・自転車専用道路等の整備が必要ではないかと思う。
208. 駅周辺特に東口の整備は急務であると考える。
209. 私は21年前に東京より引っ越してきました。桶川は大きな町になり、よいところだと思いました。駅は21年前のまま、昇りのエスカレーターが東口にはついただけです。何も変わりなしです。商店はさびれているし、なんとかしなければいけないと思います。これからの若い人達が嫌がっています。どうかしたほうがよいと思います。私はもういいですが。
210. 私の住んでいるところは公園も近くにあり、子供が遊んでいたりと、お年寄りが散歩をしたりしていますが、道路が狭かったり、街灯が暗かったりしているので、子供が遊んで帰るときに自転車でスピードを出して暗い道を通っていると、散歩から帰るときにぶつかったり、車も見づらかったりします。桶川は道路の整備をもう少しよくしてほしいです。それは、東口の整備からだとも思います。
211. 桶川駅東口の再開発をして中山道の有効利用をする
212. 桶川駅東口の再開発。40年来何も変わっていません。駅前通の整備、南小学校跡地の有効活用。
213. 駅前の整備及び活性化。駅は桶川市の顔だと思います。駅がさびれているとイメージが悪いです。近年、周辺の駅はとてもきれいに整備されています。桶川駅もぜひ駅周辺の環境を見直すべきだと思います。
214. お祭り行事などを大切にし、ふるさとらしさのある町だと思いますが、桶川の玄関である桶川駅と東口の開発に力をいれてほしいと思います。
215. 桶川駅東口の再開発
216. 駅前周辺の整備(特に東口)
217. 桶川駅東口の整備と活性化とバス乗り場や、道路の幅を広げる必要があると思います。自由が丘などにある駅近くの遊歩道、ベンチ+歩道+樹は、とても景観も美しく、東口商店街の方々の新たな移転先として活用してもらえば良いのではないのでしょうか？大型施設の誘致だけではなく、桶川らしい街づくりになると期待しています。犬の散歩道としても利用しやすいよう工夫されるのもいかがでしょうか？
218. 桶川駅西口ロータリーの整備。雨の日の混雑はあのロータリーに原因があると思う。事故が起きそうなので整備して欲しい。
219. 桶川駅東口整備により、まちの顔づくりを進めながら駅周辺の居住環境を充実するとともに、桶川IC周辺開発の促進により雇用機会の充実を図る。また、生活に身近な商業施設を整備し、歩いて暮らせる利便性の高いまちづくりを進めることが必要である。交通に関しては、圏央道の開通により成田空港と短時間で結ばれることから、世界への玄関口としてのまちづくりを図る必要がある。
220. 桶川駅東口の整備を早急をお願いしたい。中山道の電柱の地中化と歩道整備。
221. 桶川駅東口の開発、拡充。南小跡地の有効活用。
222. 駅周辺の整備(もっときれいな街並み)にしてほしい。きれいに都市化された場所であれば自然と人が集まる街になると思う。
223. 駅から遠い地域が不便(バスが少ない、買い物する所)なので、駅周辺の開発だけでなく、広い視野で開発を進めてもらいたいです。

- 224.市内バスの本数を増やして欲しい。
- 225.べに花号の時間帯に、朝の10時～10時10分までの運行バスを一本増設してほしい(主婦の外出時間に合うから)。
- 226.市内循環バスについて。行きは便利だが、帰りが不便である。反対回りも運行してほしい。
- 227.市内循環バスの反対廻りも出来ればほしい。
- 228.バスの便数が少なく、紅花号の運行便数や路線を増やすと便利になり、車での送迎も減り、Co2削減にも繋がると思う。
- 229.公共交通を充実させ、ベッドタウンとしての機能を向上させる。
- 230.循環バスの往復(一方方向だけでなく)
- 231.交通の便が悪い。電車の本数が少ない。バスも本数を増やしてほしい。
- 232.市内循環バスの本数を増やしてほしい。
- 233.上日出谷に住んでるのですが、バス停が家から遠いので、もっとバス停を増やして交通の便を良くしてほしいです。中山道がさびしいので、もっと活性化させてほしい。
- 234.市内循環バスですが、1時間で1本は少ないと思います。往復路線は無理なのでしょうか？高齢者はバスが頼りです。
- 235.市内循環バス。一方通行でなく、帰りの反対方向も出来ればお願いします。80才の女性。役に立たなくてすみません。私には難しい所がありました。
- 236.バス路線の充実
- 237.観光にするにせよ、バスなどの交通の便が悪すぎる。エコ活動といえども、今のバスの本数では、とても車なしでは生活出来ない。十数年間車を利用せず生活をしているが、若い内は頑張れた。高齢になったら…と思うと不安である。
- 238.電車の数があまりにも少なくて、学校へ向かうのに不便。バスの数もすくない。もう少し増便してほしい。
- 239.駅から遠くの住まいの人のために、もっと市内バスのダイヤや終バス時間を検討してほしい。
- 240.バス路線が少ない
- 241.循環バスをもっと増やして欲しい。
- 242.駅までの足…170円バスを100円に。(100円バスを廃止し、その費用を回す)自転車道を作る。(特に市役所前から駅にかけて大型バスも通るのでヒヤヒヤして通る)→バス代が100円だったら毎回使う。
- 243.市内循環バスの路線と本数の増加
- 244.ニューシャトルの延長。内宿で止まっているが伸ばしてほしい。料金が高いのでもう少し安くしてほしい。
- 245.下日出谷のバス停がありません。
- 246.どこに住んでいる人も市内循環バスが利用できるよう範囲を広げてほしい。
- 247.市バスの増数
- 248.川田谷周辺の市内巡回バスが少ない。
- 249.バスの(市内)路線を人口の多いほうを通るようにお願いいたします。私は薬師堂に住んでいます。17号線より離れておりますので、ほとんど利用しません。100円バスでなく、値上げをして(300円でも)、近くを通っていただければタクシーよりもかなり安くつきます。または乗り合いバス(車)でも

あれば、高齢者は助かります。駅まで一日に午前午後ぐらいでもありがたいのではと考えます。

- 250.あと、病院とかスーパーとか駅とかを經由した“べにばな Go”を通してもよいのではないのでしょうか。他の市にもありますが、温水のプールや大型図書館等、他の市の人も行きたくなるようなものがあったらいいかなと思います。
- 251.屋根付きの、一時預かり駐輪所をつくってほしい
- 252.鉄道インフラの整備(高崎線以外に、京浜東北線等を上尾市と共に延長させる活動を行って欲しい)
- 253.桶川・北本間に新駅を設置して、人口を増やす
- 254.道路…駅前や中山道で危ない箇所がいくつかある
- 255.防犯と駅前の整備に重点を置き、宅地の開発も小規模ではなく大規模を提案する。市内を高速と主要国道が通っているので、地域的に県の中央を押して行き、商業面で大胆な発想で駅東口の再開発を進めてみる。西口もマインのリニューアル等、提案して駅の東西のリニューアル開発で人口面を上向きにする努力があってもいいのではないかと。人が住みたい街にするために中期的に考えるべきかと。
- 256.市役所の皆様、いつも大変お世話になります。このアンケートにて記入はどうかと思いますが、窓口がわからず、日頃より近所の皆さんと話しているのですが、坂田、「ニトリ」から「町田自動車」のあたり、坂田保育所の付近にバスが運行してもらえると大変助かります。市の循環バスはこちらには来てもらえず不便です。こちらから近いのは細谷バス停のみです。そこに行くのは離れていて年寄りの自分は大変です。見直しをお願いします。市のバスなら税金のはずです。見直しをしないまま、長らく同じ所ばかりでは、不公平かつ税金を払いたくないです。近所の方々も皆さん同感です。道路もたくさんできて、年寄りは大変です。ぜひご検討の程よろしくをお願いします。
- 257.桶川市民は自分の懐ばかり増やすことを考えている人が多いように思います。何の施設をつくるにして反対ばかり、だから町に大きな施設もなく全部隣の町に持っていかれる始末です。町が発展する訳ないですよ。今時あんなプレハブのような市役所なんてありません、恥ずかしいです。東口駅周辺なんて、雨が降ったり夕方になると家族のお迎えの車でいっぱいです。道幅を狭くしているんですよ。北本、北上尾、上尾の駅周辺を役所の人、見に行ったことありますか。東口駅通り、中山道はシャッター通りなんて言われてるのをご存知ですか。恥ずかしくて桶川はいいところなんて言えません。駅通り開発と言われて30年以上にもなるのに一つも進んでませんよね。私たちが生きているうちは無理なのではないでしょうか…南小学校跡地に市役所を持ってくれば町の発展にもなったのではありませんか。桶川は中途半端な物しか作らないんですね。市民ホールにしても、駅からマインに行くまでの所ぐらいアーケードにしたらいいのにね。
- 258.鉄道の利便性(都心に出るのに大混雑がひどい)
- 259.人の流れの中心となる桶川駅を中心に、高齢者や子供が安心して通行出来る道路の整備を求める。特に、東口及び中山道は整備が遅れすぎ。安心して歩ける歩道が何故整備出来ないのか疑問である。20年前からこの街を知っているが、いい加減本腰を入れて取り組んで頂きたい。文化や歴史保全とかの話をするのは、街としての整備がきちんとなされてから考えるべきことである。圏央道整備に伴い、交通の流れに変化が生じることが想定されるが、道路整備等、変化に対応して安全面をしっかりと見据えた開発として欲しい。道路をつくることで事故が増えたりしないよう管理をお願いしたい。東口駅前を、安心してスムーズに人・自転車・車が流れるよう、早急に整備をしてほしい。朝の通勤時、非常に危険である。期待している。
- 260.南小跡地に駅からコンコース連絡路で結んだショッピングモールを建てる。遠くから電車で来てくれるような魅力的な店舗展開が望ましい。

- 261.生まれた場所のため嫌いではない。桶川駅からも近いのだが、東口のため、毎日の食品の「買い物難民」である。一時期横浜に住んでいたが、住民のほとんどが自分の街が好きで、車が無くてもバスの便が良く、高齢者の公共施設や乗り物、浴場などの優遇、コミュニティ施設も多く、いきいきと地域の活動に参加している人々がいました。規模が違い条件も違う土地だが、快適で住み続けたいと思えるような所であった。このアンケートに答えるのが申し訳ないほど街作りに参画していないのが現状だが、ストレス少なく暮らせるのは、市長を始めとする市役所の皆さんのおかげだと思う。まずは、できることは手近なことから。駅前の整備辺りであろうか。また、市役所も立派にしなければ、職員の方々のモチベーションも維持できないと思う。
- 262.公共施設・交通機関の充実
- 263.交通の便が良いと思うので、そこを活かしていくと良いと思う(高速道路・高崎線・湘南新宿ライン)
- 264.圏央道の建設の為か、次々と店舗が消えていき、買い物もバイパス側に多数お店が移ったり建設されたりと、西部に住む者としては不便を感じている。駅に出るにも、自家用車を使わないと行けないし、市内バスが通っているが、本数が少なく、路線を考えてもらえないだろうか。駅から帰るのに大回りしてるので時間がかかる。
- 265.始発電車の時間を早めてほしい。
- 266.桶川・北本区間は長く、アクセスしにくいので、間に駅がほしいです。
- 267.自転車をよく利用するのですが、幹線道路の歩道は狭く、車道は車がたくさん走っているので、走りづらい状況だと思います。駅の東口も、ロータリーなどが無いので、とても危険なことが多いです。
- 268.開発の観点から見ると、駅前に集中するのをやめてみてはと思う時がありますが、もう各地方に集めた商業施設ができてこの時に、駅前にムリにお金をかける必要があるかと思えます。バス等の公共交通手段の充実をはかるとか、いろいろな方法はあると思えます。
- 269.私は川田谷に住んでいますが、べにばな号が朝と夜に増便してもらえたら、どんなに良いかと思えます。
- 270.桶川に移り住んで40年になる。昔は歩いて駅まで行ったが、タクシーを利用するようになった。老人になっても、生き甲斐をもって住める、コミュニケーションの豊かな街になってほしい。
- 271.大宮駅までの交通機関が高崎線のみであり、利用者も多く、要となっている。しかし信号機故障や人身事故なども多く、度々遅延するので不便さを感じる事がある。桶川市をより発展させ、経済的にも豊かにする上でも交通機関の充実を図ってほしい。
- 272.北本と桶川の間に駅を作ってほしい。
- 273.私はさいたま市に通勤しており、駅は北本駅を利用しています。はっきりいって、桶川駅周辺を利用することはほとんどなく、桶川市民なのかな？と思ってしまうこともしばしば。でも小さいころから住んでいるので、不便な土地柄だと思いますが、愛着はあります。年齢を重ねるごとに、ここでずっと暮らしていきたいと思っています。駅周辺は住宅地と3つのブロックにわかれているけど、お互いの相互利用があれば、もっと人が集まり活性化するのではないかと思います。
- 274.都内へのアクセス充実、高崎線の代替交通がほしい。サラリーマンの団塊世代が退職し、その子供たちがやはり都内へ通勤する時、桶川から通わなくなる例が私の周りでは多い。
- 275.私は40数年この地に住んでいるが、駅が西口方に出口ができ、道路舗装されたが、無計画な道路整備がされているような気がする。上尾や北本の都市計画が良いように思っているからです。
- 276.旧中山道の活性化を望みます。道路を整備し広い駐車場を確保して車の乗り入れを制限し、中山道を市民の散策の場にしたらどうでしょう

277. 中山道宿場町の復活による活性化。
278. 幹線道路等主要な道路が不備である。東口駅前道路、川越栗橋線のべにばら高架線より川田谷方面の道路は県道でありながらもことに不備な道である。また、通学道路の不備(下水のふたのこわれ、ガードレールがないところ、交差する道路のミラーなし)があり危険である。
279. 個人的事情で恐縮ですが、交通の利便性(湘南新宿ライナー「快速」電車の停車、本数の増加等)にご尽力いただければ幸いです。
280. 桶川は道が悪いですから、道路を整備し、安全で整った住宅地を増やし、工業用地とははっきり区別する。車社会ですから、幹線道路沿いへの街並みを推進する。メリハリをつければよいと思います。
281. 上尾バイパスが通る川田谷、川島方面にある農家・民家を陸の孤島にしてほしくない。バイパスを渡らないと駅の方へ買い物・病院へ老人でも安心して生活できるように。道路整備をお願いしたいです。
282. 公共の交通手段が少ないですね。JR高崎線は常に混雑、さらにすぐに止まってしまうという…通勤・通学するのに不便です。
283. 桶川は上尾・北本、両隣の市に比べ、どんどん遅れをとっている。主道路の拡張、市の顔である市役所(今のままでは年寄り用があって役所に行っても二階に上がれない)の新築。せつかく市に二つもの高速道路のインターができるのに、人が集まることを考えなくてはだめ。桶川で生まれ育った人間として、上尾・北本にどんどん遅れていくのは見ているのはとても悲しい。
284. 交通利便促進のために、公共施設(特に市営駐輪・駐車場・バス)の充実・整備には真っ先に取り組んでほしい。
285. アンケートの内容とまったく関係ないと思いますが、桶川駅、通勤快速全面停車と土日限定の特急列車全面停車を実現してほしい。
286. どうすればいいかはちょっとわからないが、電車に乗っていると、上尾、北上尾、北本は駅のまわりがキレイに整備されていていいなと思います。桶川は少し出遅れている感があると思います。
287. 農業・工業の振興のためにも、県道12号、上尾バイパス等、道路整備を早く進めてほしいです。
288. 働き、遊び、集いを通して、人と人のつながりを縦・横に広げて未来に可能性を疑いなく感じる地域になっていくことが望ましい。
289. 北本市と相談しながら駅の設置を。
290. 道路の整備が一番。駅通りは大人でも危なくて大変。
291. 西口の川越線(県道)の区画整備を早急に(歩道が狭い。自転車の走行に難あり)
292. 交通利便性の高いまちであれば人口も増え、活気のあるまちになりますので、充実を願っています。

### 施策 503 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み (41件)

1. 人に優しく、安心できる、人に自慢したくなるような市になって頂きたいです。家から見える富士山はとてすばらしいです。
2. 自然環境をなるべく今のまま残し、若い人が働くことができ、安全、安心して子、親、祖父、母(3世代)が暮らせる町。公園など自然環境が良く、買い物もしやすく、病院も充実していること。
3. 街並みの美しさ(歩道内の緑地帯が雑草だらけ)(アパートや店舗の側は特に)
4. 街の景観(緑を増やすこと)

- 5.いろいろと住み良い街にするために行動して下さる事はわかるが、何だか雑然としていて、美しさには乏しいように思う。人が増え、住宅が建ち並び、昔とは変化著しい思いがするが、何だか緑が少ないのか、自然な美しさにほど遠い。私たちが桶川に来た時は、道路も悪いし店も少ない。でも、心静かに暮らせる街でしたが、今は中途半端な街という感じ。落ち着きのない何となく騒がしく感じる街になったように思う。それも、街が発展している面もあるだろうが、豊かさを失わないように、その上仕事も街で通勤(長時間)時間の短い所に働けるようになれば、もう少しゆとりを感じて生活できるように思う。屁理屈ばかり書いて申し訳ない。皆々様の健康を祈る。
- 6.あまり派手な街ではないので、このまま自然な水辺や緑やお花の沢山咲く、優しい街でいいかと思う。最近では便利が良くて、やりたい事がすぐ出来て、きりのないほど美味しい物が食べられて、いつでも人の声が聞こえ、物音が常にしている派手な街。このような街にするのはお金さえあればできるが、お金では買えない街、自然の多い街にしたい。
- 7.駅前ロータリーのセンス。花植えなどもセンス良く。クリスマスの飾りもセンス良く。駅前の椋鳥、何とかならないだろうか。
- 8.自然環境と都市機能のバランスが良く整然としている景観のある街。社会が落ち着いていて、適度の活動的であること。必要以上の娯楽施設やイメージの良くない施設をなくしていく。今の桶川は過密な感じを受ける。住環境も過密なように見える。無理な開発は避けるべきだと思う。整然とした無理のない街作りを求めます。
- 9.「歴史のある市」の景観を残し、美しい街並みが他とは違う伝統に裏打ちされた市であることが第一であると思います。したがって、どこにでもある今風の街並みではなく、「中山道宿場町」としての風格のある街並みであることで、「人が集い、賑わいがある市」の特長になると思います。これがひいては子供が育つ環境や高齢者などを安心させるものだと考えます。
- 10.身近な雑木林がどんどん切り開かれ、あとには住宅会社が細かく土地を切り分けて、狭苦しく家を建ち並べている。今ある緑、特に雑木林を大切に、見苦しくない住環境を整えてほしい。近くには猫の額のような公園風景しかない。道路は狭く歩道も分かれていないので、車が通ると危ない。駅西口近辺のようになると良い。長期的な都市づくりの計画をもって、乱開発を防止し、美しい街づくりをしてほしい。
- 11.緑をこれ以上減らさない町づくりをする。
- 12.田園地域と市街地の明確化(都市化抑制)
- 13.桶川市の面積が小さいため、人口が少ないが、もう少し活気が欲しい。伝統や文化も大事だが、今の時代に沿ったマルチな活性化を求めたい。他県の人々に「桶川ってあの桶川でしょ」と言われるくらいの影響力があると良い。桶川市民以外が興味を持ってくれると良い。人口は増えても、転々とした商業施設。自然はあっても紅花だけでは寂しい。
- 14.商業・工業・農業がバランス良く、自然環境との共生が出来る街
- 15.散歩をしても楽しめるような街の景観やスポット作りも必要。
- 16.コンセプトを持ってまちづくりをしてほしいです。例えば景観だったらアスファルトの工事の際、レンガを代用したら景観も良くなるし、また工事するときは、取り外してまた使えばエコにもなると思います。これはオランダかドイツのまちで実際されているのですが、そういったまちをモデルにして、良いところは真似していけばよいと思います。
- 17.街路樹を植えたからにはきちんと管理してください。美しい街並みを作るのなら、その先のことを考えて。
- 18.緑豊かな地域がなくなっていき、道路ばかりでき(区画整理の関係もあり)、人や車が通らない道路ができている。もっと計画的に考えるべきだ。

- 19.このアンケートの中には「環境」とか「景観」とかいう言葉がたくさん出ていますが、日常散歩して楽しい、美しい道路、街並み、神社の境内などをつくってほしい。
- 20.べに花の本数増えたらいいかも？
- 21.宅地開発管理が非常にルーズで、市内あちこちに勝手な団地が次々にできている。道路も4mギリギリで、非常に住みにくい。市として街並みをきれいにする発想があるのか？これ以上、勝手なミニ開発を許すべきでない。
- 22.緑が多い落ち着いた雰囲気街づくり。
- 23.私は生まれてからこの桶川に住み、40年近くになります。今は大きな道路にスーパー、病院や交通機関が整ってきましたが、反面自然に囲まれた場所はどんどん減ってきているように思えます。市民として桶川市がどんどん発展していくことは喜ばしいのですが、緑に囲まれた美しい景観は、いつまでの残してほしいものです。
- 24.樹木等多く植栽してほしい。
- 25.旧中山道商店街、古く沈んでいる所に街灯も古臭く、県外の人に見せたらはずかしい。せめて街灯くらいしゃれたものに替えてほしい。
- 26.また、駅から離れた地域では自然を残しつつ住みやすいよう整備して行ってほしい。
- 27.下水道、電線地中化による防災対策、美環確保。
- 28.やはり街が綺麗だと人の心も豊かになります。掃除をこまめに。
- 29.無理な企業誘致などよりも、自然、景観を残した町づくりを望みます。
- 30.圏央道を含む都市計画推進の中で、商工業団地(特に流通関連)の整備充実をはかり、市財務向上に努める。
- 31.旧中山道周辺の建築物の統一化(特に外装の色・素材・形等)
- 32.桶川駅から降りて一番大事なのは、車道と歩道が整備されていないことです。これは桶川の住民として恥じています。都会的なんていう言葉は桶川には必要ないです。周りの市が近代化になっていく現在、レトロ的を生かした街並みを皆が手作りで、桶川独自の市を作っていくてください。
- 33.自然と人間の共存。まだまだ自然がたっぷりの桶川ですが、町の整備が進み、その大切な自然が失われつつあります。おいしい空気、水、自然環境に配慮した町づくりをし、そこを桶川のアピールポイントにしてください。それがひいては私たちが健康で暮らせる源でもあると思うのです。
- 34.雑木林を失い、簡易な住宅が増えていることを心配しています。
- 35.収入が増えても他の市町村へ転出してしまわないような魅力のある町(都市機能を自然・文化・歴史等の調和)に。
- 36.特徴のあるまちづくり
- 37.水田や、荒川河川敷や富士山の見える風景が孫の代にも残していけるような街づくりを計画して欲しい。
- 38.緑豊かで歴史や環境にやさしい町づくりをしていくことを大切にしてほしい
- 39.道路の整備が一番。駅通りは大人でも危なくて大変。
- 40.西口の川越線(県道)の区画整備を早急に(歩道が狭い。自転車の走行に難あり)
- 41.交通便利性の高いまちであれば人口も増え、活気のあるまちになりますので充実を願っています。

## 施策 504 都市計画道路の整備 (37件)

- 1.作りかけで放置されている道路等の早急な整備。



2. 近隣市町に対して、過去数10年の間において取り残された感は否めません。駅及び周辺、中山道・国道 17 号沿線を比較すると明白です。よって桶川市は過去の取り組み(計画・実施)を総括的評価をし、課題を明確化することが必要と思います。その上で今回のアンケートが考慮されれば良いと思います。
3. 圏央道の利用できる早急の近郊の整備
4. 駅前開発より、旧中山道道の整備をお願いしたい。
5. インター周辺の整備を望む。庁舎は必要ない。
6. 重複した無駄な道路工事が多すぎる。
7. 道路の整備が中途半端な所があるが、2〜3年放置されている。その辺が草が生えていて良くない。計画性がないのではないか。
8. 収支を安定させる為には、外資の獲得が必要。強みとしてアピールしている紅花や中山道道については、徹底した取組をしてはいかがと考える。例えば、中山道の電線の地中化等。圏央道の早朝全通と同時に、IC 周辺の整備により通過点ではなく、交通便利性を活かした街作りを行う。
9. なかなか工事が進まず、いつになったら開通するのかわからない下日出谷〜上日出谷の道路。上尾から桶川に入った途端、風景が一変してしまうほど道路が悪い。
10. JR 桶川駅東口エリアの早期開発(道路幅・商店街)
11. 圏央道の IC が出来ることになり、さまざまなチャンスが生まれると思う。そのチャンスを活かし、企業の誘致をする。そして税収を増やす。桶川駅周辺の再開発により、活気を取り戻す。
12. 以前に比べて住宅も増え、圏央道の工事も進み、町が活性化されて来たように感じます。
13. 圏央道の開通を急ぎ、大企業を誘致し、税収を増やし、財政を安定させてください。そして医療や福祉を充実させてほしいです。
14. 桶川市の魅力ある町づくりについて、もともと大都市(東京)のベッドタウンとして人口増加した地区であるから、その延長でものを考える必要がある。交通の利便性(JRの本数の増加、料金の引き下げ)、市内の生活道路の整備。区画整理と道路整備(上尾地区と比べ遅れが歴然)。インターを中心に工業団地の誘致。若者の住みやすい環境の整備等。
15. 道路整備についても、上尾・北本など中山道や広くなり通りやすいのに、桶川だけがまだ狭い状態。昔から桶川だけ何も変わってない。かえって酷くなっている。
16. 過去に住んだ所で最も“きたない”街である。道路はきたない、歩道もきたない、歩道は狭い、歩道はでこぼこ、ごみだらけ、安心して歩けない etc 計画的なまちづくりが行われているとはとても思えない。住んで30年以上になるが良くなったと思われないことがない。そんな市に何が期待できる？むしろ何もせず“いなか”でいる。隣の市に税金を納めてそちらで充実させてはどうか。消防署は古い、警察署はない、お金がない理由？支払っている税金は同じはず。東京都に20年近く住んでいたが、いろいろな設備は充実していた。重ねて言うが支払う税金はあまりかわらないはずである。なぜだ、なぜなんだ。この理由の解決策が答えではないのか？
17. 土着性を捨て、新開発に積極的に参加する。
18. 市としては既にお気づきのところであると思うが、中山道の街並みの整備等が必要かと思われる。お隣の上尾市及び北本市は既に中山道等の整備が日進月歩進み、道路と歩道等を分け、車と人の安全に取り組んでいる。よって、中山道の都市整備計画を早急に進めるべきではないだろうか。桶川市の10年後は人と車の安全配慮を優先的に進めていく必要がある。又進めていくべきだと願う。先日新聞で見たが、納税率が圏内でトップであったが、それに対する税金の使い方、10年後桶川市全体の都市計画整備の策定及び高齢者のの配慮をいかに進めていくべきかを策定して頂き

たいと願う。そして、市民生活において、喜ばれる行政を常に行って頂ければと思う。

19. 圏央道の開通に伴い、インターチェンジ予定地周辺には、道の駅だったり、客が入りたくなるようなお店をたくさん建てて、桶川がどんな市なのかを知って貰い、何度でも足を運んでもらえるような街にしていければ、産業が豊かになると思う。又、渋滞しやすい道の整備などもしてほしい。
20. 幹線道路の整備に伴い、流通の活性化。工業用地・商業用地と住宅地の調和により、市全体の活性化に取り組んでほしい。
21. 交通に関しては早急に対応すべき所が多い。特に 12 号は混雑がひどく、工事が遅すぎる。工業を誘致するなら、交通の便を良くしていかなくてはならないと思う。細かい所も大事だけれど、まず全力で大きな所から改善していかないと。
22. やりかけた区画整理をやりとげてください(作り途中の道路等々)。
23. 首都高速と桶川北本インターを接続して、交通の利便性アップ 住宅地の増加
24. 桶川西地区は整備されるが、東地区は力不足を感じます。道路整備、マーケットは隣接市に劣り、中山道は毎日交通量が多いのに単なる通過地区で活性されず、歴史のある町とは言えない。町の美化はない。ただし今回アンケート調査を行うなどの行政活動については一定の評価をしたいと思います。
25. 市内の道路を見ると、交通量の少ないところで非常に広くきれいなところととてもバラツキがあるように思います。平均して良くなってほしいです。
26. 桶川、北本 IC へ続く道路の大幅
27. 桶川は駅周辺にもっと力をいれて賑やかな町にしてほしい。買い物も隣町や他の町に行かないように自分の町にお金を落とすようにしてほしい。
28. 桶川陸橋から北本方向へ向かう中山道の道路の渋滞の改善。
29. 道路の整備(車道・自転車道・歩道)
30. 道路の整備を進めてほしい(歩道が狭くて危ない場所等)。
31. 2~3年後には圏央道も開通すると思いますが、2つのインターチェンジ周辺の開発も進めてほしいです。商業施設や工場を誘致することで、多くの人に桶川に来てもらえれば、市の活性化につながると思います。
32. 幹線道路を早く整備してほしい。長くかかりすぎ。庁舎問題にしても、一転二転して、なかなか進まない。桶川市にいらだちを覚えます。最初に決めていた下日出谷から一転二転してなかなか進まない桶川市に不満を覚えます。桶川駅東口についても進まないで予算ばかり使ってしまう。もっとスピードをもって他市より遅れないよい桶川になって、住み良い市になっていきたい。
33. 近隣の市と比較するとすべてにおいて低迷しているように思える。道路工事の中途半端(下日出谷地区、坂田地区は一部整備されたが抜け道がない)
34. 圏央道の開通による自動車の増加に伴う道路整備ができていない。上尾、北本は道路整備も早いように思うが、桶川はどうして出来ないのか？ 駅東口整備は地元商店街がやる気がないように考えられます。商店街がやる気になってからでいいと思います。商店街の意識改革が必要。
35. 人づくり。挨拶ができない、ルールが守れないなど共同生活が苦手のような(転居、核家族、個性尊重等の背景もあるが)。→歩く道路の整備、自転車道路の整備、道路沿いの植え込みの手入れなど、人と人の触れ合う機会になるような取り組み。さらに公園、集会所など、目的をもって集まれる場所づくり。
36. 道路整備の推進(特に日出谷小前、市道 13 号線・下日出谷東区画整理除外エリア内)
37. 特にここ1~2年は圏央道の完成と一体化を考慮して遅れている道路整備を中心に、住み良い桶

川を目指し、指導強化(率先)して行って欲しい。

## 施策 505 生活道路の整備・改善 (60件)

- 1.交通インフラの整備。歩行者・自転車・自動車が通行しやすい路線をつくること
- 2.道路の拡幅(車のすれ違いのできない道路が多すぎる)
- 3.幹線道路の整備は(圏央道と連動で)ここ数年進んでいるのに、例えば稲荷通りからまっすぐ東へ伸びる道は、17号を渡ると、歩道があり得ないほど狭い。高校生の通学自転車(桶川高?)など本当に危険。子どもは1人で歩けない。そういう所を整備して、歩く人、住んでる人に優しい道にしてほしい。
- 4.道路の舗装をきちんとしてほしい。無駄なところにお金をかけないで。
- 5.圏央道や上尾道路ができ、そこから流れてくる車が多い周辺の道路の歩道が整備されていないので、トラックなどが通るたびに歩行者や自転車的人是ひやひやです。車はその人達をよけるために中央線をはみでなくてははいけなく、皆が危険です
- 6.あと川田谷は細い道や暗い道が通学路になっているところが多く、道路もぼこぼこで道のはじなどに穴が開いているところもあります。子どもが細い道で車をよけて舗装されていない土のところによけ、靴をどろどろにして帰ってくる日もあります。安全面的にも何とかして欲しいと思っております。
- 7.道路に垂れ下がっている大木の枝や雑草、何とかしてほしいです。
- 8.道路整備
- 9.自転車道路の整備
- 10.安心して乗れる自転車道路・歩道の整備(事故防止のためのマナー)
- 11.自転車で桶川の街を走ると、道路の整備が遅れていると感じる。街路樹はいつまで植えないつもりだろうか。季節を感じる事が出来、街並みが美しくなるのに。個人が植えた草花では統一されておらず、かえって美しくない。街路樹を植える予定の土の部分には、雑草が伸びており、犬の糞が落ちている状態。
- 12.道路整備。とにかく道が狭い。一方通行が多い。自転車しか足のない人間には走りづらくて大変である。費用がかかる為難しいとは思いますが、特に東口周辺は建物を一度全て壊して道路を広げたいぐらいだ。
- 13.朝に自転車で駅まで行くのだが、家を出てすぐの所の道に気が何本が立っているのだが、その木は葉が下に垂れてくる木なので、葉が視界を覆い、非常に危ないと思った。計画的に公園・植物の整備をしたらもっと良くなるのでは。
- 14.夏場近くになると街路樹を切り落として木陰がなくて暑いです。私は神奈川に住んでいたのですが、枝を切らないので夏はとても涼しい思い出があります。
- 15.歩行者・自転車・車を運転するドライバー、お互いが気持ちよく交通できるように道路を整備してほしい。
- 16.上尾や北本の中山道の歩道の遅れが淋しい。
- 17.桶川駅周辺の発展だけでなく、隅々の住宅街の道路整備を行い、スムーズな通行が可能な調整のとれた街並みにしてほしい。自然を生かした遊歩道の整備。
- 18.住宅地の道路が狭く、歩道も十分でない所が多いので、改善されれば安心して通行できる道路が増えるのではないかと思います。私は車や自転車、徒歩での移動をするので、どの方法でも怖い思いをすることがあります。
- 19.道路の整備。

- 20.交通整備。
- 21.市内の道路整備(安心・安全の道路)
- 22.道路のアスファルトの亀裂がひどく、段差もあるため歩くことの危険さ(幼児、高齢者)
- 23.べに花陸橋と17号の坂田の交差点にある信号はなくしてほしい。あれが出来てから私達が住む住宅街に暴走する車が増えて迷惑。車同士がすれ違うのにもせまい道のため、大変です。
- 24.大通りばかりでなく、住宅地の道路整備(区域によって違う)
- 25.さわやかな緑や水や風の自然環境をいつまでも守り続けると共に、子供も大人もお年寄りも皆が安全に暮らせるように、自動車と自転車、歩行者が別々に通行出来る道路環境を整えなければならぬと思う。
- 26.私は桶川市に来て40年あまりになりますが、東口は一つも変わっていません。どうしてですか。一日も早くなんとかしてほしい。私の道路は私道4号線です。トラックや大きな車が通りますし、いやです。近所には県央が通りますし、現在はべにばな号がありますので助かっていますが、圏央道ができたらべにばな号はなくなるのかと思っています。どうなるのかな？生活道路はだいたいぶかしらと近所の方達と話したりしています。近くにスーパーやコンビニもないですし。今は家族6人で生活しています。娘もいます。孫もいますから助かっています。
- 27.道路等の整備を良くしてください。
- 28.べに花はたくさんあったほうが良いと思う。道路は歩道が広くあったほうが良い。
- 29.道路の整備をする。
- 30.道路面の段差もなくして、住みよい町になってくれればと思っています。
- 31.安心して歩ける歩道づくり
- 32.道路整備(道路に段差があり、高齢者にとって歩きづらい)
- 33.行政サービスを「物づくり」から「住民参加」の桶川市行政に変える。日本社会が高齢化社会となる中で、桶川市は商業・工業化を抑制し、桶川市に生活する人々の『豊かな町』へ高めていくことが重要である。旧17号沿いに商業施設が増え、車が渋滞して沿道環境は悪化しており、改善が必要である。対策としては、歩道拡幅・右折帯の設置を進める。
- 34.遊歩道の増設・整備
- 35.道路が狭いため、広くしてほしい。
- 36.住宅街の道が狭いため、すれ違うのが大変。危ない。早く道路整備を進めてほしい。未完成道路が多すぎる。一部完成しているところは通行できるようにしてほしい。
- 37.道路整備、歩道が狭い
- 38.道路整備(加納小学校交差点は、工業団地に入る車の右折のため、渋滞が常です)
- 39.安全な歩道になるようお願いします。老いても健康でいられるように、買い物は自転車を使うように心掛けております。しかしあまりにも道路に段差が多く危険です(17号坂田交差点)。交差点のあるところでは、急な上がり下がりがあり、歩道を走っておりますと電柱や標識、ポールが立っている。道幅が急に狭くなったり、下水の蓋の編み目の所が切れているなどあります。車道と歩道のガードレール区切りのみで、歩くことも車いすや自転車でも平らな道路になり、危険が少なくなると思います。グランドゴルフに行くのに自転車での移動で元気な楽しい毎日を過ごせると思います。
- 40.西口駅前の中学校前の道等、車も自転車も徒歩の人も安心して安全な道になりますよう心から願っています。サンアリーナまでの道も一部歩道が狭く危険。
- 41.とにかく交通の不便さが極端に目立ちます。市街地、住宅地、中山道、国道。全てにおいて歩道の

不備がひどく、非常に危険。さらに違法駐車や運転マナーの悪さなど、ハードを利用する側にも大きな問題があります。前者が改善されれば後者にもゆとりが生まれ、改善されるかもしれません。ともあれ、交通事情の改善(道路工事の優先、違法駐車や交通ルール無視の取り締まり)を強く希望します。アンケートに参加でき嬉しく思います。良い市政に心より期待致します。

42.道路整備(自転車道の充実)

43.川田谷地区の交通改善

44.道路等の整備などをしてほしいと思います。子は宝です。

45.道路の幅を広くしてください。電柱が道の方に出て、歩行者や自転車は危ない。

46.安心して乗れる自転車道路が少ない。

47.毎日自転車で移動するため、安全の乗れる道路の充実をお願いします。

48.マイン北・西の歩道街路樹の根が盛り上がっている。市役所へ出向いた時、でこぼこ道だから直してとお願いしたら順番にやりますよとの話をされたが、半年たってもその気配がない。駅へ行く人通りが多いからお願いしたのに、けがをしたらどうしたらよいのか。

49.歩道が狭く、自転車や歩いてみるとあぶない道があるので、整備してください。

50.通学路の整備、道路の整備。

51.道路の整備(特に私道の舗装化に向け、行政の支援と補助)

52.桶川郵便局交差点から日出谷方面の道路。ときわ幼稚園前の一方通行を早く両側通行に。初めて通る人など戸惑います。

53.通学路への自動車進入を規制する。歩車分離のガードレールの設置。

54.朝、夕方と西口の一二三食堂の信号が異常に混む。右折レーンをつくってほしい。駅までの歩道が、上尾側は広くて平らで自転車で通りやすいが、桶川側はせまくてガタガタ。子供が自転車で転んだのを見た。朝は通勤・通学で自転車が多く、歩行者が気を使って歩いている。広い・平らな道を作ってほしい。いつも上尾と比べてしまう。市民税も払っているんだからどうかしてくれ。

55.安全のための道路整備。自転車専用道路の必要性を感じる。

56.生活道路が歩きやすいように。

57.高齢者が安全・安心して歩ける道の整備

58.自転車が安心して通れる道路

59.駅に向かう際、歩行者1人しか通れない狭い歩行者専用道路があるので、少し危ないかと思いました。

60.道路整備について、近隣住民が何を求めているのか、しっかり耳を傾けてほしいです。何年も整備をお願いしていても、マニュアル的な対応をされる。対応される職員も心ある対応、親身になって聞いてほしいと思います。まずは住民と同じ視点に立って、住民の思い・願いを心から理解しようとしないと、真の発展はないと思います。

## 施策 506 憩いの自然空間の保全と活用 (31 件)

- 1.自然を減らさずに、どんな人でも住みやすい設備や施設のある桶川市になってほしい
- 2.桶川市民(老、壮、青、子ども)が自然環境の中、生活出来る安全な魅力ある利便性の濃い都市計画を推進してください
- 3.桶川市は近隣市と比較して自然を活用した施設等が遅れている。特に東側地域には市民の憩い場が何もないのは寂しい。

- 4.荒川河川敷、特にホンダ飛行場周辺を、もっと桶川市民が自由に使えるようにすることが一番だと思う。
- 5.道路や街並みの整備・開発も必要だが、元からある自然や景観を守りながら進んでいくことはできないだろうか。この10数年間に坂田・加納地区では、大きな林がなくなった。大規模な住宅地整備が進んだが、その分豊かな自然が消えて、昔からある住宅地の下水道整備等が遅れているように思える。開発を急ぐのではなく、足もとを見つめ直していけば良いと思う。
- 6.IC が近々できるせいか、背の高い建物が増えてきて、きれいな環境が消えつつあると思う。少し淋しく感じるが、栄えてほしいのもあるので、何とも言えない。
- 7.田園風景を生かしつつ、高齢者と子供が交流できる場所を数多く作り、生き生きとした生活を楽しめるような工夫、アイデアを求められる。子供・高齢者・自然を中心に重点的取り組みを！！
- 8.自然を残す。
- 9.高速道路、上尾バイパス等、これ以上の自然破壊はやめて、自然の多いことをアピールするほうが将来のためになると思う(商業施設・工業誘致は不要)。税収が不足すると思いますが…。
- 10.住宅の建物が多くなり自然が少なくなってきた。一年の四季を感じるのは暦の中だけになるのかと思うと淋しく思います。自然を残してほしい。
- 11.桶川市には、木陰のある遊歩道が全くとっていいほどない。市内の中小河川の両岸などに植樹や遊歩道の整備をしてほしい。要するに、市民の憩いの場となる緑地公園などを全面的に整備してほしい。
- 12.自然がだんだんなくなり、緑を残してほしい。
- 13.昔から比べれば、住宅が増え続けている状態です。そのために緑地、自然、たんぼが失っています。昔は夏になるとカエルの合唱を良く耳にしたものです(もっと奥に行けば聞こえると思いますが)。地球温暖化の問題が出ていの中で、都市や他の市は高いビルが建っています。道路が出来れば、車でのお出かけも多いと思う。空気は悪いと思います。一番、自然を消していつているのは人間です。自然、森、山、川がなくなれば、当然動物も食べ物を探しに来ます。桶川市だけが良くなるためではなく、これは日本全体の問題です。
- 14.工業化では日本の企業が海外へ進出。安い賃金の国へ工場が移転し、川口市などは『サビレた町』となっている。桶川市は東京・大宮などのベットタウンである。東京で言えば国分寺などの「文教の町」「自然のある町」として桶川市をアピールしていくべきである。そのためには、川田谷の自然、荒川の堤防、江川の自然など「うるおいのある街」に高める材料はある。東口は17号沿いの町街を保存する。バイパス沿いに緑地帯10mを設置し、公害のない、安心して暮らせる街づくりを進める。
- 15.これ以上緑をなくしてほしくない。自然を残して下さい。
- 16.自然環境の保全
- 17.都市整備と同時に、自然・環境保護も大切にしていってほしい。未来ある子ども達には豊かな自然の中で成長していってほしい。
- 18.最近、圏央道やバイパスの建設により、近所の森がつぶされる予定です。川田谷の自然は自慢できる唯一のところなのに(キジの鳴き声がきこえる。タヌキの存在など)。それが森の破壊によってなくなってしまうことがすごく悲しいです。
- 19.私は川田谷に住んでいます。自然がまだ残っており、環境は満足しています。しかし新しい道路、林を住宅にしたり、小川の護岸工事等で自然が少なくなってきました。これ以上道路を作ってしまうのか理解に苦しみます。道路にあたって立ち退きし、お手盛りの保証の出費は税金のムダです。また護岸工事をするにより災害はなくなるかもしれませんが、生態系が侵されてしまいま

した。これでは子供の情操教育もできません。桶川は辛うじて自然が残っている地域です。これ以上自然を壊さないでください。桶川は振興とか発展とかそんなに背伸びしなくても十分です。必要ないと思います。

- 20.桶川市の駅前広場、駅通り、中山道の歩道等の整備、区画整理、高速道路、インターチェンジなどにより、緑がなくなりました。再生してほしい。
- 21.ある程度の開発は良いが、あまり多くの開発はよくない。桶川としては、首都東京のベッドタウンであり、武蔵野を思わせる緑の多い街であってほしい。
- 22.緑と花の多い自然環境の良い町。
- 23.ほとんどの方々が東京方面に勤めに出る傾向があるので、週末に自宅の近辺で休養できるような、緑と広々とした公園の整備をしていただきたい。
- 24.郊外の遊休地・空地の整備
- 25.緑の多い市に。
- 26.緑をこれ以上なくさないよう(自然)
- 27.大きい道路ができるのは便利ですが、緑も残していければよいと思います。
- 28.河川の整備
- 29.駅周辺の充実。城山公園の充実。魅力的な遊具の設置と自然に触れ合えるものの充実。(池をもう少し活かす、散歩道の整備など)
- 30.住宅地の中に公園を整備し、緑豊かでうるおいのある町に。(子と子、子と大人、大人と大人など、人のつながりや絆が生まれると思います。)
- 31.生まれも育ちも桶川なのですが、どんどん街並みが変わってきてとても便利になっていくけど、畑や田がたくさんあることは桶川らしさなんじゃないかなと思います。

## 施策 507 みどり空間の創出 (43 件)

- 1.区画整理事業は失敗の連続であったことから、既存の住宅地の中にある休耕地等を公園として整備するなどして、住宅だけが過密し、子ども達の遊び場もない。住宅地の乱開発を抑制するなど、方向性をもった都市計画を実行してもらいたい。
- 2.東口側に公園を
- 3.計画的な公園作りは？
- 4.城山公園の遊具を増やしてほしい。
- 5.子供が遊べるグラウンドを東口側にも欲しい。
- 6.子供が遊べる施設をもっと充実していただけたらと思う。児童館、おもちゃルームの先生はとても親切で話しやすくとても良いと思います。特に児童館の先生は、子供と一緒に遊んでくれ、子供も本当に楽しんでいます。ただ、もっと大きくなったら児童館ではおもいきり体を動かせないと思います。室内でももっと大きいスペースがあったらと思います。
- 7.これという遊び場もない。公園が所々あるが、子供達は道路で遊んでいる。子供が楽しめるような場所の提供を望む。
- 8.子供達が安心して遊べる場所の確保
- 9.桶川駅の東口は公園が不足している。子供から大人まで快適に利用出来る公園の整備を望む。桶川市内の公園はペットが入れないのが理解できない。近隣市町はペット可。現代のペット事情をご理解されているかが不明。

10. 子供が利用できる施設をもっとつくる。
11. 子ども支援センターや児童館をもう少し作ってほしい。自宅から遠く、また公園も少ないため、安心して子供を遊ばせられる所がない。全体的に子供を育てにくい街だと思う。
12. 桶川駅東口の開発。小学校の跡地を子供の遊べるアスレチックを設けた公園にするなど考えてほしい。上尾市のように、子供の城などもないので…。それにあわせて、旧中山道の歩道を広くするなど、様々に見直す所があると思います。
13. 歩いて行ける範囲に公園をつくってほしい。
14. 高齢者や子供の健康のために公園を作る。(西2丁目には公園がない。他の市町村に比べて桶川市は少なすぎると思う)
15. 坂田のオートバックス近く在住です。市長、市議選時、まわってこられる方に常々広い公園を！と訴えています。西側には公園がたくさんあり、同じ税金を払っているのに不公平です。坂田弁天公園まで17号を渡って遠くでも行ってきました。子どもも成長し、最近ではボール遊びや自転車の練習をしたくても広場がありません。仕方なく住宅の路地で遊びますが、飛び出したりしていつ車にひかれてもおかしくない状況です。みんな駐車場に車が入っているので、ボール遊びもできません。市長は用地がないとおっしゃってましたが、新しい住宅がどんどん増えているので土地を市で買い上げてぜひ広場をお願いします。
16. 子どもが安心して遊べる場所をつくってほしい。
17. 桶川駅東側には公園がありません。広くなくても良いですから、高齢者や子ども達が集える場が必要だと思います。桶川駅のエレベーターの設置を早く実現して欲しい。
18. 公園の増設
19. 城山公園
20. 公園の充実
21. 桶川市西2丁目在住です。近くに小さい子供が遊べる公園がまったくありません。公園まで車で行くのも…と思い、子供が小さいころは遊ぶ場所を探すのにとっても悩みました。現在子供は小学生ですが、結局家の中ばかりで遊んでいます。近くには住宅ばかり増えています。一つでも小さくても公園があればと、周りのお母さん方とよく話しています。
22. 水遊びができるような公園の充実
23. 特に不満などはない。べに花を推して町おこしみたいになっているし、中山道も散策できるようになってきているし、いろいろ力を入れてるのがわかる。個人的に近所に公園がないので、子育て世代としては少し不便なのと、駅東口が道が狭く危ないのと、少し閑散としてるので、少し変われば良いと思う。市役所もきれいになるといい。
24. 森林や公園といった子供の遊び場がなくなって、どんどん住宅が建っているが、もっと子供が遊べる場を増やすべきだと思う。
25. 市民が意見を伝える機会があまりないので、意見しやすいようにし、どういう所が良いか、どこを直すべきか等、実際に住んでいるからこそその、日頃からの思いを市政に反映していったら良いのではないのでしょうか。今回のアンケートを受け取ったことで、桶川市について考え直すことができたので、一定の期間ごとに色々な人の考えに目を向けてみると良いと思います。私個人としては、東側に住んでいますが、公園の少なさに不便な思いがあり、子供を遊ばせるためだけに自動車でも北本や上尾や菖蒲まで行きます。歩いて行ける距離に公園があれば、地域の人々ともっと多くふれあうことができ、防犯やよりよい環境づくりにもなっていくのではないかと感じております。
26. 桶川市は都心に近いわりには知名度があまりなく、周囲にアピールするものが少ないと思う。城山



公園は広くていいが、車がないと行けない。小さな公園・小さな図書館・小さな公民館が多く、他市より優れている公共施設がないような気がする。

27. 東側にも公園を。子どもが安心して遊べる施設。
28. 北1丁目に住んでいるので公園がないのであれば良いと思います。
29. 夏には木陰のある公園などを増やして。
30. 住宅地内の公園の拡充(子供がのびのび遊べる場所)
31. 子供が安心して遊べる広場や公園。子供の遊具などが奥の方にあつて、人の目がないから、例えばテニスコートの周りなどにあれば、大人が近くにいるから母子でいて安心。
32. 中途半端な公園は行く人が限られています。他種目な公園の実現を！(土地を有効に購入)城山公園をもっと駅寄りに(日出谷)。
33. 高齢者が安心して体力づくりができるウォーキング道をつくってほしい。現在北本の中丸スポーツ公園に毎日通っています。子供達もスポーツができ、その上遊具がたくさんある環境であってほしい。
34. 子供の遊べる公園を増やす
35. 現在、高崎線を挟んだ東側と西側では、地域開発において格段の差が見受けられます。東側に公共施設や子ども達の遊べる公園等、地域密着型のコミュニティを希望いたします。現在我が家には孫、3歳・2歳がおりますが、歩いて遊びに行かれる施設がありません。若い家族も住み始めていますので、少子化のおり、少しでも住み良い環境作りをお願いいたします。
36. 児童公園が少なすぎる。子育てをしていた時、痛感していました。
37. 旧南小跡地をただの空き地でなく、利用しやすい公園広場にしてほしい。
38. 子供が遊べる所がありません。アスレチックやプール、屋内遊戯施設があれば近隣からの集客も見込めるかと思います。
39. 大きな景観の良い公園がほしい。
40. 上尾市の「こどもの城」のような子供が安心して遊べる場所がほしい。
41. 江川の流域は水辺公園にし、ジョギングなど安心して(交通事故)できるように進めてほしい。
42. 子ども達が安全に遊べる施設や公園を増やし、緑や農地の整備に力を入れてほしいと思います。
43. 公園がない(駅東側・高崎線～国道17号線までのエリア)。

## 施策 508 治水対策の推進 (0件)

## 6. にぎわいと活力ある桶川をつくる

### 施策 601 農業の振興（16件）

1. 農地の保全、農業の支援
2. 市街化であっても必要な雑木林はこれ以上なくさないでください。「坂田」という地名はその名のよう  
に「田」があること。農業をなくさないでほしい。緑があるので住みやすいのでやめてほしい。
3. べに花以外の新たな農作物の売り込み（ブランド米、おいしい野菜等）
4. 今、本当に住みよい環境作りがされているのか疑問です。道路、宅地のために緑がどんどんなくなり、  
高齢化のために農地はなくなり、本当に大切な支援に血税を使って欲しいです。
5. 農業について、特区制の活用などを検討し、大規模集約的な農業を先駆的に実現する。株式会社  
の参入による新たな農業の展開の可能性を探る。
6. 平成の大合併で、周辺市町で合併しないことを決めた以上、コンパクトな街作りを進めるべきだと思う。  
例えば、桶川駅東口は狭いが、狭いからこそ祭りのときににぎやかになるので、下手な区画整理など  
せず、人を呼べる方法を考えるべきだ。又、圏央道と上尾道路の整備は重要だが、大手家電メー  
カーの工場誘致が例に見られるように、現在は必ずしも工場（企業）誘致が安定した雇用の創出とな  
っていないことから、安易な工場誘致などせず、近郊農業の活性化を図り、作物を関東各地に配送  
するための手段として道路を活用すべきと考える。
7. 桶川市は全体的に狭いイメージがあるので、工業よりも商業・農業・福祉などの事業を進めた方が良  
いと思う。
8. 個人的に、農地を借りて畑仕事をしてみたいのだが、借りの方法などを教えて欲しい。
9. 農業を守り（高齢化）、ICをうまく使う。
10. 農産物・畜産物などの地産地消の推進
11. また桶川の地場産米の発展を望みます。一度の多くのことを成し遂げることは難しいと思いますが、  
大好きな桶川市がいつまでも元気でいられるように、ゆっくり前進して行ってほしいです。
12. 桶川市はゆったりしており静かな町で、生活しやすさを感じております。区画整理も進み、環境が整  
ってきております。ただ気になることは、わが町の食料は自分たちでとることがあります。農家の  
方々が米づくり・野菜づくりできるものは作り続けられるように、生活環境があればと願っております。  
都心に近く便利な土地柄ゆえ、今の環境を大切にしていない方々が多いのではと感じております。  
わが町にとって何が必要で何が重要なのか、一人一人が考えていかれるような町になってほしいと  
思っております。
13. 自分としては緑多いこの地区が気に入っているが、まわりには休耕地も多く、先行きを案じていると  
ころです。今後農業の活性化を図りつつ、インターチェンジを利用した思いきった工業・商業圏を  
創造し、住居地と共にめりはりのある桶川づくりをお願いしたい。また桶川くらいの町では市会議員  
はパートタイムでよろしいかと考えていて、議会も夜の開催でよいのではと思っています。
14. 農家を絶えさせないよう農地を買い取り、農業の会社を作り、失業してしまった人などを使って「お  
いしい野菜」を作り、売る。またそういうものを使った名産品を開発し、全国へ売り出す。
15. 地産地消の推進。桶川にはよいものがたくさんある。
16. 利用されていない農地の活用。農業を継続しない土地は、活用の道を考える。

## 施策 602 工業の振興 (50 件)

1. 桶川インターをきちんと活用し、企業誘致も積極的にしていただきたい。
2. 無駄なことに税金を使わず、多くの企業を誘致し、文化、スポーツ、医療などをもっと良くして欲しい。
3. 圏央道の利便性→工業団地などの誘致を積極的に行っては？ 税収面で有益。工業地域、移住地域、商業地域をなるべく切り分けて街づくりをしてほしい。
4. 大学を卒業しても働く場所を見つけるのが大変な時代であるため、大きい会社を誘致して欲しい。
5. 40年以上住んでいて、駅周辺(東口)は、旧態依然としてちっとも変わらない。又、江崎グリコのような大企業を誘致して、雇用を促進するような構想もうかがえない。市長始め市議の方々、市の発展のために多めに力を尽くして欲しい。
6. 大型企業・中小企業等、雇用推進も考え、誘致にも力を入れて欲しい。
7. アンケートにもあったが、企業(環境などに安全な)を誘致して、雇用の確保をする。
8. 財政は企業の誘致だろうか。圏央道は桶川市の景観の良い所を切り裂くように出来た。その道路をメリットにしたらどうだろうか。桶川がますます良い街となりますよう、私も活動していきたいと思う。
9. 市全体がもっとお金を持って欲しい。
10. 高速 IC が2箇所出来るため、商業・工業用地を増やす。
11. 圏央道の特徴を活かした企業の誘致を行う。
12. 商業や工業の誘致を増やし、雇用の場を多くして、地元で働き消費して市民が潤える町。
13. 桶川は東京に近いベッドタウンとして考えられていると思うので、退職した後の老後も暮らしやすいように、サービスを充実させる。圏央道も開通するので、企業(工場等)を誘致して税金を増やす。ドライバーに桶川 IC で降りて、「桶川の街に行こう」と思ってもらえるようなスポットを作る。べに花では人は呼べないと思います。
14. 何をすることも税金(お金)がないと先に進まない。やはり住宅地とは区分された工業用地を開発して、企業誘致を積極的に進めるべきだと思います。圏央道の開通が実現している。今こそチャンスで、この機会を逃したら桶川市は上尾・北本市に挟まれた取り残された街になり、将来は隣の市との合併の道しかないと思う。工業団地としては、川島町のように広大な敷地の工業団地が理想。
15. 工業団地を強化し、企業を誘致し、就業機会を多くし、雇用の拡大を図る(主婦のパート等の)。
16. 企業有地をもっと大きく保有し、事業税の増額等(議案を増し)県内で一番高額な市民税の汚名を解消すること。
17. 商業、興業が少ないため、働く機会が少ないので、商業、興業の積極的な企業誘致をして働く場を増やして欲しい。
18. 桶川に属する企業が少ないと思います。会社(企業)が増えることで変わると思います。
19. 法人税をたくさん落としてくれる企業誘致を行って欲しいです。
20. 圏央道 IC(桶川、北本 IC、桶川 IC)等、周辺の土地に工業団地等の誘致。
21. トーハンのように、地元の人達を多く雇ってくれて、安心して働ける企業を多数誘致して行ってほしい。
22. 企業誘致をし、個人の税負担を軽減してほしい。
23. 企業を積極的に誘致して、産業活動を活発にし、雇用を生み出して欲しい。
24. 桶川には中規模以上の商業・工業がない！グリコも誘致できなかった。
25. 大きな産業がきてほしい。企業からの税金が桶川は少なそうなので、市民税が高いのではないかと

常々思っています。

- 26.圏央道開発までに、もっと倉庫業者の誘致は図れないのか？
- 27.財源を確保するためには企業誘致が必要と思う。
- 28.圏央道IC付近の再開発(工場、商業施設の誘致)
- 29.郊外への大企業工場の誘致を行い、財政を豊かにしていただきたい。
- 30.現状のままでは環境的には多少良いかもしれませんが、将来の桶川を良くするためには、工業用地を増やし、雇用の充実、増収への取り組みが必要かと思います。
- 31.都心に通うサラリーマンとのベッドタウンとしての一面と、歴史や文化や伝統を持ち、中小企業の育成も行う雇用環境に良い街となってほしい。幸いにも交通流通も鉄道、高速道等に恵まれているため、幅広く産業、研究等の学術的な面も検討でき、隣接市町村になく桶川独自の方向に行けばいいと思う。隣接市町村と同じでは意味ない。
- 32.田んぼの向こうに伊奈町の街並みが見える場所に住んでいます。とても道路がきれいで散歩に行ってもとても気持ちが良いです。工業団地をつるとか、住宅を増やすとか、市街化がとても必要に思います。
- 33.収入の確保(大企業を戦略的に呼ぶ)
- 34.インターチェンジ周辺への産業の誘致
- 35.上場会社の誘致(大企業)
- 36.大きい会社が来るように誘致してほしい。
- 37.企業を誘致して税収増加をはかる。
- 38.商業・工業施設を充実させてほしい。
- 39.積極的に企業等への誘致をして、経済的に困窮しない街づくりを求めます。
- 40.日頃特に考えたことはないですが、今回アンケートで感じたことは、今までの桶川市とは少し違うということです。がんばってください。豊かな町づくりをするのなら、税収を上げなければなりません。人と産業が必要です。
- 41.住民一人一人が平等に行政サービスを受けられる街になってほしいので、企業誘致し、雇用・税収を増やして、まずは行政サービス充実をしてほしいです。
- 42.既得権の維持だけを目的とする商業組織を解体して、大型店、工業の誘致を行い、市民の働く場所を作り活性化してください。
- 43.住宅地・工業団地を増大して、税金をたくさんとれて。豊かな町にしてほしい。
- 44.多種の企業が集まる桶川市ならば、企業に協力してもらい、イベント・フェアなど、宣伝をこめ、人を呼んでみてはどうか。例えばグリコならお菓子フェア。電気なら家電フェアなど。北本市でやったガス会社のフェアなどを参考にして、桶川市はもっと町の中心でやってみてはどうか。
- 45.企業誘致をして、将来年金などもう少し安くなってくればいいと思います。
- 46.工場を誘致し雇用を増やしたり、
- 47.法人税の収入を増やす。市民人口の増加。10万人くらい？
- 48.市の活性化を図る上では税収が必要。それには住宅を増やせる、商業、産業を増やすなどして規制を緩和する土地利用規制緩和制度を強化したほうがいいと思う。桶川市の将来像、ビジョンを行政として持っていないのではと思う。上尾、北本、鴻巣は立派に町づくり・市活性化に積極的に町並みを変化しているが、桶川市だけはちょっと遅れている感じがする。
- 49.高齢化が進み人口の減少に若い人達が楽しく住める市にするように努力をしてほしい。とにかく企

業を積極的に誘致していただき、若い人たちが働ける場所を作るような努力もお願いいたします。

- 50.圏央道桶川北本 IC、桶川 IC 周辺地域に工業団地と商業団地を併設造成し、出店に積極的な企業に対して、一定期間固定資産税等の減免を行う。

### 施策 603 商業の振興 (76 件)

- 1.商業施設の誘致(特に大規模)元桶川小学校跡地の活用
- 2.大型ショッピングセンター誘致
- 3.活発化(商業・工業)
- 4.インター周辺への企業、商業施設の誘致
- 5.道路整備ばかりしてないで、大型ショッピングモール等、人が桶川に来るような施設を作って下さい。
- 6.商業施設の誘致
- 7.桶川市は商業施設が上尾・北本に比べまったくなく、唯一西口の桶川マインしかない。まったく魅力がない。田舎で土地があるので、大きい施設の誘致ができるのではないですか？そうすれば自ずと一戸建て、マンションなど増えて人口も増えて行くのではないですか？逆に施設がないため、若い世代が桶川に魅力を感じず、土地が高くても上尾・大宮など都市部へ流れていくのではないですか？桶川市は老人が多くなっていくと思いますが。
- 8.中山道通りの商店街を活性化出来ないか。近隣の市に比べて、桶川市の中山道通りはあまりにもさびれていて情けない。
- 9.IC が2箇所出来るので、それを最大限に利用することが必要だと思う(第2東名のようなサービスエリア等)。桶川市内で、お金を落とす工夫が乏しいと日頃から思う。私自身、日々の食材やちょっとした日用品は、近所のスーパーで買うが、ほとんどは他市町村の店舗に行く。「ここに行って買い物がしたい」と思う場所がない。桶川市に住んでいるメリットが感じられない。
- 10.桶川は大型店舗がマインだけであるため、他に大型店舗があると便利だと思う。
- 11.圏央道のインター周辺に大型商業施設をつくる。
- 12.商業・工業などを推進し、もっと活気のある街にする。
- 13.駅前に学生が遊べる所がない。駅前が栄えていなくて、学生は行く場所が自転車でいける場所しかない。地元にも何もないため、東京の友達を桶川に呼んでも遊べない。友達も呼びたくない。ラウンドワンのような遊び場があれば、少しは栄えると思う。駅が汚い。図書館が駅前にあってほしい(勉強できるスペースがほしい)映画館をきれいにしてほしい。
- 14.圏央道の所に道の駅を作って欲しい。
- 15.おしゃれなバーやカフェの出店(若者世代への起業支援)
- 16.デパートをつくって欲しい。
- 17.人が集う店を作る。店舗の拡大等、近隣市町に負けないように街作りをして頂きたい。
- 18.圏央道の廻りに流通センターを作ったほうが良いと思う。
- 19.高速 IC が2箇所出来るため、商業・工業用地を増やす。
- 20.北本市と比べてしまう。北本市は、商業・企業誘致を行っているように思える。
- 21.桶川市周辺(駅周辺)ですが、1軒スーパーマーケットがつぶれてしまったため、下日出谷に大型のショッピングセンターができる予定とうかがいましたが、桶川駅周辺にも、もう1軒デパートがあるので、スーパーマーケットの設立を考えていただきたい。食料は生活必需品なので、お年寄りなど買

い物弱者を増やさないように、町の政策案として設けていただけるとありがたいです。

22. 経済を活性化させる。下日出谷地区に大型商業施設が誘致されますが、そこを中心に、その周辺に大型スポーツ施設、大型娯楽施設(健全なもの)を設ける。かなり大規模な広範な商業施設にし、地元はもちろん、市外・県外からの人の流れを創り出す。
23. 商店(商業)を増やしてほしい(スーパー)。
24. 大型、商業、工業の推進・整備
25. 桶川駅周辺の商業施設化。駅周辺店よりも、民家の自転車置き場しかない状態では町に活気もない。買い物も他の市に行かざるを得ない状況では桶川は廃れるだけ。
26. ショッピングモール他があると良い。
27. 人口を増やす努力。イオンモールみたいな何か。
28. スーパーにはあるけど…お弁当屋さんやファミレスなどが駅の近くにない！仕事などで帰りが遅くなってしまった時など、コンビニしかなくて、困ることがたくさんあります。お弁当屋さん1軒でもいいから、駅の近くにつくってほしいです。結局、店などがなくて人は流れないので活性化はしないと思います。
29. 商業施設、文化施設、観光アピールが中途半端で、相対的に地味な街のイメージがある。現在、大きな商業施設は駅前のメインのみ。近隣にあう商業施設(ショッピングモールなどの大型店舗)へ食事にまで行けるため、大きな商業施設は必要ないかと思われるが、車の無い人にとっては市内にある商業施設で販売していない物など買い求める際に、電車やバスを利用しなくてはいいけないため不便さを感じる。個人商店も少ないことが影響していると思う。同県の人でも、べに花の町=桶川を知らない人が多いのでは…？かつての宿場町、中山道は夏祭りや文化の日のお祭り以外は閑散としているように見受けられる。圏央道、桶川・北本ICの開通されたことで、その周辺に商業施設を設けるなど町の活性化・発展を目指すなら近隣をはじめ、多くの人に訪れてもらうような街づくりも必要だと思う。もちろん、住みよい町づくりや市の発展を目指すには、予算たるものが必要かと思うが。
30. 桶川で生活が事足りるよう、金融機関や商業施設を充実させていくと良い
31. 商業用地を増やして消費税が自分の住む市で使われるようにしていきたいと思います(現状は桶川には商業施設が少ないので北本市や上尾で買い物をし、消費税を払っています)。
32. 魅力的な買い物タウンがなく、家族で休日に行きたいと思う大型ショッピングセンターがない現状では近隣市・町に皆さんがお金を落としてくる。桶川では買い物をしない。
33. 桶川市周辺に大型ショッピングモールなどがあり、週末になると市外へ出掛けることがある。桶川にも1つあると生活・雇用等に役立つと思う。
34. 商店の空き店舗等も、若い人への転用などに考えてみてはいかがでしょうか。
35. 桶川市直営のスーパーを作り、農産物や食品等を安く販売する。
36. 産業の誘致については、中山道のお店、又メインが存続できることが前提である。誘致することによって中小企業を守ってほしい。
37. 中山道をアーケードにして、高齢者と子供が雨・風と気にせず散歩出来る街(商店街)
38. 駅前を中心に商業施設を充実させ、便利で活気のある街になればよいと思う。
39. 東口駅通り商店会、中山道商店街が「シャッター通り」と陰口を言われています。地権者の方との交渉や様々な障害があると思いますが、世代交代をして、若い人の力が発揮できるなら、行政のほうでも何か支援をしてもらえればと思います。このままでは近隣市町に置いて行かれます。
40. 年寄りは今、買い物に不自由しています。道路は整備されても、お店がなくなり、とても困っております。

- 41.次々となくなっていく本屋を再建させ、DVDショップを増やしてほしい。大きい電気店を増やしてほしい。公衆便所も増やしてほしい。色々なカルチャースクールも増やしてほしい。マイン以外のデパートを増やしてほしい。以前にあった映画館を復活させてほしい。ファミリーレストランももっと増やしてほしい。ロッテリアやケンタッキーも出してほしい。
- 42.大規模商業施設の誘致
- 43.スーパーをもう1店誘致する
- 44.あと、東側はシャッターがしまっているところが多い。引越をしてきて、すごく残念と感じたのを覚えてます。商店街は充実してほしい。桶川での名物品で市外からも人が来るようになるといい。
- 45.商業施設に力を入れてもらい、なお自然のある街
- 46.商業施設の活発化
- 47.幹線道路沿いの大規模商業施設の誘致
- 48.市民が喜ぶおまつりやイベントなど楽しめることを企画してほしい。子供が喜ぶと親も楽しいと思うのでショッピングモールなども作ってほしい。
- 49.紅花館にボーリングして風呂を作る。そして遊園地を作る。カラオケもできるようにする。
- 50.観光面での成長はあまり期待できないと思う。そちらよりは働く場や生活に必要な商業施設の充実をはかり、人が集まる、住み続けたい町を目指してほしい。
- 51.近隣に比べ大型商業施設およびファミレスを含めたレストラン等が少なすぎ。
- 52.圏央道のインターチェンジ建設に伴い、その周辺に大型商業施設を誘致し、市外からの集客を目指す。
- 53.商業・工業施設を充実させてほしい。
- 54.工業団地のそばなので、スーパーが近くにない。歩いて買い物ができるように近くにほしい。
- 55.上尾と比べ人口も少ない、魅力もない。もっと商業施設の誘致を積極的に行うべき。
- 56.人の集まる施設(スーパー等)を多くしないと活力がない市となると思う。中山道を見ればよくわかるが、上尾と北本の差が大きすぎる桶川にはがっかりする。
- 57.小学校跡地の早期利用(ショッピングセンター等)。
- 58.桶川に住んで四十数年になりますが、道路・下水は良くなったが、生活する基準となるスーパーマーケットが全然なく、高齢になり自転車も乗れなくなり、歩いての買い物は大変になってきています。便利の良い北本・上尾への引っ越しも考えています。何とか住み良い桶川市の発展を希望しています。
- 59.桶川西口はとても良いお店が多くある商店街で積極的に利用していますが、もっとお店と連携して活性化していくべきだと思います。せっかく良いお店ばかりなので、つぶれてしまったらもったいないと思います。他の市に比べて、そこが桶川の良い所だと思っています。例えば、私の地元である川口市でよく配布されている「ぼど」のような地元密着型の情報誌などあったらおもしろいと思います。商店街のお店とタイアップして商品開発するとか…。お店のメニューなども、よくあるB1グランプリのような名メニューを作ったりするとか、そういうのがあったら面白いと思います。(べにばなカードだけじゃなく)
- 60.商業施設など充実していけば、人もそこに集まるようになるし、桶川も活気が出てくるのではないかと思います。
- 61.川田谷。圏央道ができたので、インターチェンジ近くに便利なショッピングができる商業施設ができるといい。他地域からも足を運びたいような個性豊かなものを建設してほしい。

- 62.スーパー等食料品販売店の低価格化を図るため、商業施設を活性化してほしい(モール施設誘致等)。
- 63.駅東口側周辺の商業開拓
- 64.中山道の商業開拓
- 65.お年寄りも歩いて行ける小型スーパーの充実
- 66.駅周辺…特に東口。中山道。あまりにも商業地域が元気なさすぎ。街並みが20、30年前と変わらないことがさびしい。周りの上尾、北本などがどんどん整備されているのに、桶川だけ昔のまま…若い人も残らないのではないのでしょうか。北上尾の駅前のように、市営の駐輪場にして、駅前をきれいにしてください。東口が変わらないと、桶川全体のイメージが悪い。高崎線に乗って少し降りて歩きたい街に！！
- 67.スーパーの数も種類も少なく不便。物価が高い。わざわざ上尾のスーパーまで買いに行くはめになっている。全体的に道路が狭い。良い所が見つからないのが残念。以上、元上尾市民の0歳児を育てる主婦からの意見でした。
- 68.商業施設などを作って賑わいのある町にしていきたい。
- 69.特色を外へ発信。桶川市は学校給食がとてもおいしいです。高校で市外へ出ると桶川市民がどれくらい給食を愛しているかがわかりました。給食を食べなくなって十数年経った今でも、どのメニューが好きだったか、何が食べたいか友人と話し出すとスラスラ出てきます。そんな記憶に残るおいしい給食を市外の人にも提供できる一般向けコンセプトレストランのような食堂が桶川の窓口になるメインや市役所内などにあれば「大人になってもおいしい給食献立メニューが食べられる街」として名物化できないでしょうか。手ごろな価格帯、バリアフリー、代金先払いなど、入りやすい環境であれば、高校生から年配の方まで利用しやすいと思います。また、スペースの一部を勉強したり、知らない人同士で情報交換・共有できるようなコミュニティスペースがあるとよいのでは、と思います。
- 70.インター周辺にアウトレットやイオンなどの大型商業店舗の誘致。
- 71.上尾バイパスの両方(西東)を住宅や商業地にし、活気あふれる場所にしてほしい。
- 72.また、買い物等もスーパーも近くにありますが、久喜市にあるような大型のものもなく、外へ行くしかないのでは、どうかなあと思います。
- 73.商業施設が充実していない→買い物難民が予想されるので、その面も考慮してほしい。
- 74.桶川駅周辺の娯楽施設の少なさ。中学生～大学生くらいまでは遊びたいと思うので、駅前にカラオケぐらいは増やしてほしい。
- 75.圏央道開通後の、交通の利便性をアピールして産業の誘致をする。
- 76.商業誘致。商業誘致力のある市町及び議員の着任。

## 施策 604 観光の振興 (36 件)

- 1.何をどうすればいいのかわからないのですが、知人や友人を桶川に来てとは言えないし、「何かある？」と聞かれても「ない！」としか言えないのが現状です。来客があっても食事に連れて行く店もない。いろいろなお店があればわざわざ他の市には行かないのでは、と思います。
- 2.中山道に接客できるような店を
- 3.何か一つ目玉(魅力)のあるもの(うどん、そば、ラーメン、餃子等)と四季の花を組み合わせ、一年中人が集まる流れを作ることにより町の活性化を図る。
- 4.2年ほど桶川に住んでいますが、桶川市内のどこかへでかけようと思ったことはありません。そのため、魅力的な施設があるといいと思います。



- 5.アニメーションとのコラボ
- 6.「桶川市には〇〇あり」を1つ作る(お金をかけ規模もグレードも近隣にない素晴らしいものをぜひお願いします)。
- 7.桶川には文学館があるので、もっと途中下車をして立ち寄ってもらいたい。埼京線？高崎線上には桶川ありと、周辺の市民に注目され、愛される街づくりを目指していただきたい。大変でしょうけれど頑張ってください。
- 8.紅花の里をもっとアピールする。
- 9.文化・芸術の振興。歴史を大切にし、観光などにも活かせるように工夫すべき。
- 10.桶川～北上尾～上尾間の狭さを活かした中山道の観光地化を図る。
- 11.桶川は乗降客も多いので、買い物できる場所や、遊べる場所が充実していてよいと思います。桶川の知名度は低く、アピールできるものがないので、何かアピールできるものなどでしてほしいです。テーマパークがほしいです。
- 12.他の市町村から人が行きたいと思うような施設や観光地を作ること。桶川市という名前が、負でなくプラスになるような素敵な町になってほしい。そうしたら自然と税収も増えるのでは…？
- 13.観光の目玉(例:紅花)。息長く徹底して全国にPRできるように、栽培面積や市全体で常に関心をもち目玉をシンボルにする。現状では何か一つ、徹底して完成させることではないか。何も徹底されていない。
- 14.中山道がさびれているので、景観をととのえて観光客などがくるようになると発展すると思う。石畳みにするなど。街灯を川越風にする。電柱を地下にうめる。
- 15.誰もが桶川市に住んでみたいと思えるように美しい街並みや伝統を大切にし、地域のつながりのあるまち、その他企業が多数有り、働く環境で法人税アップで行政サービスも充実している。地元にお金を落とすように B1 グランプリなどを通じて観光客を増やし、好循環のサイクルに入る。ハウスメーカーと共同でスマートシティ開発で入居人口を増やす。圏央道の立地を生かし、物流拠点をつくる。ショッピングモールの誘致とそのまわりの住宅・マンション開発。とにかく人口を増やす、企業を増やす、増えた税収で魅力ある町づくりに投資そのスパイラルをつくっていきましょう。
- 16.観光する上で公衆トイレの設置を希望する
- 17.桶川市と言えば「これ」と言えるものがない気がする。何か1つ誇れるものがあれば、他の地域からも多くの人を訪れると思う。駅周辺が活気がない気がする。特に東口にはコンビニすらない。もっと何か活気のある街づくりを行ってほしい。
- 18.イベントが少なくないですか。この前行った花火大会とかもっとやればよいと思います。おもしろそうだな、ということを増やせば、市民の目もよくなる方向へ向くのでは？
- 19.夏祭りをもっとアピールする
- 20.歴史・文化マップを作り、桶川近隣と連携した観光の促進
- 21.「べに花」をアピールしているので、べに花ふるさと館をもっと良いものに(何度でも行きたくなるような)してもらいたい。うどんの味の改良も。企画・イベントも、もっと工夫して若い人も来たくなるような、また家族皆で来られるようなイベントなども開催してもらいたい。
- 22.べに花で有名らしいけど、桶川に住んで一年半、べに花がどこにあるかもわからないし、見たことがない。有名なわりに力を入れてないのでは？
- 23.駅から史跡などへ遊歩道や自転車レーンで行ける
- 24.温泉を掘り起こしてください
- 25.また、中山道という歴史的に価値のある道路がある。今こそ歩いてみたくなるような中山道の整備

がなされれば、市民はもとより外部からの観光客も増え、商業も盛んになるであろう。川越の蔵造りの街並みが多くの観光客を呼び込んでいるように。東口開発とともに一緒に整備してほしいものである。

26. べに花観光開発も非常に中途半端で、なんだ、あったのか？程度の印象しか残らない。
27. 最近、歴史や伝統があまり盛んでないように感じるので、なるべく「桶川市では〇〇が有名」というのを人々にアピールした方が良いと思う(例「桶川市では、紅花が有名です」など)
28. 中山道の歴史をもっと大切にし、それを観光などに役立てればと思っています。
29. 古い文化と共に新しい町づくりを市民と一緒に、協力して、観光にも力を入れて、市を活性化させていけばよいと思います。
30. 同時に観光事業にも力を入れ、大型商業施設にきた客が二度三度来たくなるような街づくりをし、桶川の良さをアピールする。結果地域の活性化につながる。
31. 桶川市にはべに花以外の特長がない。もう少し誇れるものがほしい。
32. 中山道宿場館を新築し、資料館・展示館機能をつける。中山道の宿场景観をつくる。江戸時代じゃなくても、大正・昭和の景観化。中山道の松並木をつくる。楓並木でもいい。市出入口口に「ようこそ桶川市へ」「またおいで桶川市」の標示柱を立てる。中山道出入口口に馬頭観音・道祖神を移動する。一里塚を復元する。
33. べに花等の特色をもっとアピール。また街をあげての取り組み。
34. 桶川市に他県より多くの方々がきてもらえるイベント、文化活動、専門の学校等、多くの文化、教育施設を誘致し、未来の若者が桶川市の存在を伝えられるような街づくりをしてもらいたい。生活に密着した行政も大事だと思いますが、未来に生涯に希望のもてる具体的な未来を拓くのは若者が思い出を語り合える街を目指してもらいたい。
35. 守るべき景観や農地はできるだけ守り、今までどおり観光ポイントとしてPRする。
36. 中山道や宿場町などの歴史や伝統をもっと多面的に創造活用し、住民が我が町に誇りをもてるようにするとともに、他地域からも人がやってくるような魅力とにぎわいのある町になるために、行政ももっと本気で力を入れてほしい。

## 施策 605 就労支援と勤労者福利厚生の実施 (14 件)

1. 高齢者の雇用により重きを。
2. シルバー人材センターの運営が不透明であり、ワークシェアリングの原則に疑問があります。
3. 雇用を増やすような対策をする。
4. 雇用・保育施設が整い充実していれば、若い人達の居住も増え、街の活性化に繋がると思う。
5. 地元で働ける場所の確保を!!
6. 中高年(特に 50・60代の人)の雇用の拡大。
7. 雇用・働く場所を多く。
8. 働ける場所を増やす。ある程度の年齢まで働けるようにする。
9. とにかく働く場所多くすべき。
10. 若者が集まるチャンスのある街作りで人口増加を目指す街
11. 働ける場所を増やしてほしい。
12. 雇用環境が増して活気ある町づくりをしていただきたい。

- 13.若い人達の仕事のできる町づくり。老人も皆、気持ちの良いお付き合いの出来る場があればと思っております。
- 14.若い人も安心して働ける職場づくりなど。

## 7. 計画的で将来を見据えた桶川をつくる

### 施策 701 計画行政の推進 (140 件)

- 1.議員と市役所の人自分へのプラスマイナスを考えず、桶川市の将来のことを考え実行して下さい
- 2.仕事を辞めたとき、市民税を一括で支払って欲しいと言われた。仕事を辞めた人間によくそんなことが言えますね。かといって、市が仕事を紹介してくれる訳ではないし。金だけ取れば OK ですか？目に見えるわかりやすい仕事をしてください。今のところ正直ゴミ収集くらいのもんです。目に見えてわかりやすいのは！このアンケートもどうせ市政に反映なんてされないでしょうから、無駄以外のなにものでもないです。もうアンケートなんてやめて下さい。他の市と同じ様なことしたって、ちっとも良くなるわけないんです！口先、小手先だけの事はもうやめて市民のこと考えましょうよ？まともにやればとくに市庁舎なんて建て替えが終わってると思いますよ。
- 3.駅前には複数の地権者がいるため、開発が進んでいないが、高崎線沿線で駅前ロータリーがないのは、桶川東口だけであることを考えると、行政の運営にも問題があるのではないかと感じる。
- 4.こういったアンケートを書いてみるまで、「市」を良くしていくにはどうすればいいかということ考えたことはありませんでした。こういうのが過去4回あったわけですか？埼玉が、何か特筆すべき風土があるとか産業があるわけではないから、「市」単位で何か盛り上げていこうとしても、たかが知れているのでは？むしろ住んでいて思うのは、震災の影響で観光地の旅館ガラガラ、とか工場から公害が、とか大雨で土砂崩れが、とか大きな災害がなかったことの重要さです。「このへんは何もないから良かった」ということもあるんじゃないかなあと。ま、それでは答えにならないので、何か「こうしてほしい」と意見があったときには積極的に対応してくれる市役所であってほしいです。また、市役所側から提案があれば、市民誰でも参加できる会議をしてみて、良さそうだったら実行するとか。ところで、桶川では(土地の)放射性物質測定器のレンタルとかやってるんでしょうか？
- 5.市長を民間人に変更、公務員リストラ、駅周辺の開発、マインの撤退、こんな感じのアンケートをする見返り、周囲の票固めをする議員削減、本当によくするつもりなら、地主あがり、自民党の施策もろくに答えられない議員の削減、融通の利かない公務員削減。
- 6.市職員の異動のためか？伝達の悪さか？一つのことが「しり切れトンボ」のように思えてならない。市にすれば簡単なことでも住民(市民)にとってはとても大事なことです。
- 7.「デンマークの行政」を見習ってほしいです。働けるのに働かない人たちに血税を使って欲しくありません。
- 8.市役所自体に活気がない
- 9.広い駐車スペースを有する市庁舎の移転建設。
- 10.40年住み続けていますが、あまり変わらない町だと思います。変わらない良い面もありますが、桶川の場合、あまり良い意味ではありません。桶川駅東口の駅通り、市役所庁舎など私が生まれたときと何ら変わりありません。西口の一部が変わったにすぎません。南小の跡地もそのままですし、駅東口には子ども達が安心して遊べる公園がありません。また、桶川市には「売り」となる素材が乏しく、何でも中途半端な感じがします。最近「紅花」をかなりアピールしているようですが、まだ認知度は低いと思います。行政で何かをするには課題も多いと思います。しかし市民の意見もありますが、行政の一存で何かを発信するのもあり？なのではないでしょうか？

- 11.働いて税金を納める労働者に対する市政推進を切に願う！
- 12.生活保護家庭補助が本当に必要かどうか、よく調べて補助すべき。母子家庭というだけで働くとお金ももらえないからと、健康体であるのに働かず車に乗り、遊びまわっている若者を見ると行政は何をしているのかと疑ってしまう。補助の仕方を考えるべき。民生委員の人選も同様。障害者家庭のタクシー券、不正利用が多い。本当に必要な時だけにすべき。車イスの方や歩行が不自由な人のみにするとか、考えて欲しい。税金の無駄使いは中止してください。
- 13.市会議員の削減(議員手当を減らす)市職員の削減、人件費を減らす(リストラ)。
- 14.市会議員もスリムに人数の見直しを。生活保護世帯の正しい調査を支給を。市民税の負担を少なくし、ゆとりある生活を。
- 15.上尾市・北本市に比べ、桶川市の行政活動はよくやっているなど市民が感じられるように頑張ってもらいたい。そうすると市民は、市民税が有効に使われていると思う。市役所の職員が頑張っているから、我々も協力しなくては、と市民の姿勢が変わってくると思う。
- 16.あまり大都会にならず、良い人が沢山住んで欲しい。その為には、行政の方の一層の努力をお願いする。日頃は特別な考え方はあまりしていない。
- 17.桶川に住み長くはないが、大きく変化していると思えない。隣の北本市の変化はスピードを感じる。大きな桶川も更に住み良い街になることを希望する。
- 18.私は長年この地に住んでいるが、市に対しては別に不満はない。しかし桶川市は、近隣市と比べて福祉は悪く、税金等も高いと聞いている。市庁舎の新築も早くされるべきだが、規模は小さくて良いと思う。
- 19.市議会傍聴するが、傍聴人以外は我関せずの態度である。各議員がもっと真剣に議会というものに力を入れて取り組んで欲しい。これらができないならば、何を企画しても絵に描いた餅である。
- 20.桶川市の市政は、観光・産業活動・都市整備・スポーツ施設など、どれを取っても中途半端のような気がする。何を本当にやりたいのか見えない。もっとリーダーシップを取って何事も進めて欲しいと願う。
- 21.昔から桶川は中途半端な街というイメージがあります。都会のようなスマートな感じもなく、田舎街のような素晴らしい景観があるわけでもない。はっきりとしたビジョンを決めてからしっかりと街作りをこれから取り組まなければいけないと思う。
- 22.不要な道路工事をしないでほしい。
- 23.桶川市の現状は、住み良さで自慢できる街だと思っております。この良さを保持するため、市街化の推進には慎重であってほしいと願っております。
- 24.桶川市は活気がない。なぜグリコが北本なのか？なぜ桶川に誘致できなかったのか！？市役所と市長は何をやっていたのか！？グリコができて、マスコミが注目し、テレビでも放映されている。当然街は活気づく！桶川は取り残された感がある。市長は釈明してほしい！いつまでも東口も開発されない。私の何人かの知人は東口に降りて驚く！汚らしい感じに見えるようだ！地元の古くからいる人たちと折り合いをつけて開発するのが市職員と市長である！何をしているのか！公共施設、市民も大切に扱わない。モラルの教育も必要。サン・アリーナの2階会議室に何百万というお金をかける必要があるのか？そのお金でもっと公共施設の至らないところにお金はかけられないのか！？あるいは更衣室にエアコンはつけられないのか。お金のかけかたが違うと思う。市は古くからいる人たち(地主)には何かと言い分を聞く！？しかしそうでない人たちの言い分は後回し！おかしい！
- 25.桶川市の生活保護者に対する給付の審査が、どこの市区町村よりも甘いと思われています。審査を厳しくし、本当に困っている人に給付するようにすれば、血税が市全体に行き渡ると思っています。

- 26.坂田ニトリの陸橋、利用者ほとんどなし。税金のむだ。陸橋そのものがです。税金とは働く人の涙・血・生命をけずり取ったものです。上に立つ人、自分のお金を使用していない人、考えてください。私ども、今日一日太陽がおがめて感謝しています。若い人の税金考えてください(えらい人へ)。生活保護受けている方々、酒・パチンコ他、スーパー内で遊び、談話。
- 27.臨機応変的な役所の仕事に努める。
- 28.行政のスリム化。大変遅れていると思う。大胆な改革が必要。
- 29.計画書には必ず数値目標を入れて、途中の進捗状況を公表して、もしもできない時はどうして、だれの責任でを公表してほしい。現在の場所に市役所を設立するようであるが、大災害が発生した時、道路は幅も狭く、たくさんの方の出入りが予想される時、あの場所では不満である。(現在の高校生以上の市民にこれからの市役所建設のあり方を投票させる)意見を公表してほしい。
- 30.はっきり言って周りの市に埋もれている感がある。周りの市と足並みを揃えるのではなく、桶川市のオンリーワンをもっと育ててほしい。私達の市民税を有効に活用していただき、限られた予算の中であれこれ手を出すのではなく、市民の利益につながる活動を通して1つの事を達成してもらった方が少しは納得できるのではないかと思う。個人的には利便性・他事業の開発云々よりも、市民1人1人の生活の質を向上するために社会保障全般のサービスに特に力を入れてもらいたい。桶川市民の1人として、今後のまちづくりに大いに期待しています。
- 31.行政サービスの効率化。桶川市は歴史のある街であるがゆえ、他地域からの転入者が少ない。地元意識が強く、疑問に思う人が少ないせいか無駄な作業が多い。同じお知らせが届いたり、提出物が多かったりするので、行政・市民共に簡素化する必要がある。
- 32.行政の新しいサービスや改革は近隣の市町が行って、それが普通になってから桶川はやっと腰をあげえる。こども医療費も窓口支払いとしているのは桶川だけ！上尾も北本も、もうないです。全て後手後手で、よりよい市政のためにですが、このようなアンケートも回答しても、と疑問はあります。年齢を問わない住民のことを考えた新しい市政を。桶川だけ古い、年寄りくさいイメージが根付いていることは残念でなりません。
- 33.何事においても、弱者に優しい行政を願う。
- 34.そもそもこんな質問を市民にして、桶川市、バカにしてないか。勉強して考えた方がよい。数十年税金を根こそぎ取って、何も出来てないと思う。時代にも合っていないし、消防署が市内に2箇所、救急車が2台。十数年、有名人が出たわけでもないし、私鉄が延びたわけでもないし、いつになっても暗い街だ。医療は千葉付属に来させるべきだ。整骨院、消防署もできると思う。学校にエアコンつけたって良いと思う。公園のトイレにトイレトペーパーをつけたって良いと思う。労働者を保護するのなら、バスを24時間動かすべきではないのか。24時間営業の市役所があっても良いではないのか。私立の中高が来て良いのではないのか。発展とは何か。アメリカ辺りに行って勉強してきた方がよい。
- 35.他市との色々な交流や勉強会の中で沢山の情報交換をしていって欲しい。
- 36.都市化計画の実行性がないように見受けられる。保守的な行政と思う。市職員に積極性が見られないように見受けられる。すぐにあきらめると聞いている。
- 37.桶川の街づくり計画を明確にし、着実に実行していくこと。近隣の市からの遅れは何かを明示し(上尾市や鴻巣市)何から取り組むか？何年後のビジョンを立て着実に実践できなければ、市は衰退していくでしょう。
- 38.問題点を抽出し、解決をはかる。何が重要なのかを明確にし、それを満たすためのプロセスを検討して実行する。
- 39.市長選・議会議員選の投票率アップを図る。

40. 市政に外からの新しい風が必要。
41. 行政のスリム化、リストラ。新たな事業はやらない。経営者の登用。職員の再教育キャンプ(自衛隊・デパート等)。
42. 議会さん方へお願い。時流にのること。皆さんの努力を期待しています。総論賛成、各論反対では市政は進みません。
43. この街に暮らして早 47 年になりました。当時は淋しく本当に田舎町に来てしまったと悲しい気持ちで過ごしていたように思います。が、“住めば都”、いつしか静かで落ち着いた桶川市が好きです、と言えるようになりました。役所の皆様方も毎日一生懸命やっていることとは思いますが。子ども達が安心して大きく成長できる街。そして老人にやさしい街、明るく清潔に住める、若い人たちが大勢移り住んでくれるような活気ある桶川市に発展するよう、頑張って行政業務(これは議員さんたちですかねえ)、精をだしてください。よろしくご依頼致します。勝手なことかきました。お許し下さい。
44. 他の地方行政に習うのではなく、独自の行政を望みます。
45. 公共施設をいかかわしい業者に利用させないよう、市は事前調査を厳密に実行のこと。
46. おとなりの上尾市がとてもしつから、まねしてもらってもう少し人との交わりがたくさんある場所を増やしてほしい。
47. 市政の透明化。一般市民は市政についてよくわからないことが多すぎると思う。また、若い市長の誕生を心待ちにしている。
48. 大人から子どもまで安心して毎月をすごせる街になってほしいと思います。また、桶川市の職員、議員さん、他の協力などで桶川市の市民が安心して生活する上に何で何の心配もないように努力してほしいと思います。
49. 市職員給与を下げ、スリム化してほしい。市会議員数の削減。市関連事業への職員採用の平等化(OBの天下りをなくす)
50. 「土地区画整理事業」失敗→赤字(税金投入?)。「桶川市新庁舎建設」失敗→裁判。特に上記の2件を踏まえ、市長・市会議員・市職員の能力の欠如(過去の人も)。反省を学習し、二度と失敗しないよう勉学に励むこと。会社の経営と同様であることを認識すること。特に合併問題はどうか? 第三者(民間)機関の導入を視野に入れて考える。
51. 桶川市役所は現存地で「小さな庁舎」として予算を抑制し、一層の住民サービス向上を目標に努力することが住民から求められており、職員は質の高い行政サービスと財源を考え、住民負担の小さい行政を実施することである。
52. 若い世代が市政(政治)にもっと興味を持つべきです。興味がわかないのは、市政に(桶川市に)魅力がないからではないでしょうか? 近隣の市政を見ても、若い世代が市長選・市議選に立候補している。若い世代が桶川市を良くしなければならぬと思えるような、市政に関わる機会を作してほしいと思います。
53. 市政が自信を持って進むべきで、そのためには市役所をわかりやすい場所へ建設すべきです。実行できないのは、自信と実行力が不足だと思います。自らにプレッシャーをかけて頑張ってほしい。
54. コンビニで住民票を取れるようにしてほしい。市役所の場所が使用しづらい。
55. 地方公務員の給与を減らす。
56. 古いカビの生えた市民生活。小生満州より引き上げ、大変驚いた思いがあります。物事の考え方が古い。終戦まで70年になるろうとする今でも首をかしげることがあります。暗闇に太陽の光をあてて、カビのないように(青カビはペニシリンを生むが)市政に携わる方々の努力をお願いします。
57. 北上尾や北本、伊奈町はどんどんきれいになっていっているのに、桶川だけが取り残されていって

いるのが高校生の目から見てもわかります。市の中心となる職についている人はもっと働いたらいいと思います。選挙だけで頑張らないで下さい。

58. 桶川の住人になって 25 年。何かが変わったという実感があまりありません。高齢化が進んで税収が減り、支出が増え続ける現状では、いかにして市政を合理化してスリムにするかにつきると思います。市の規模にしては多いと思える議員数と職員をもう少し削減し、さらに出先機関を含め、仕事の内容によっては、もっとOBやパートを活用することによって、人件費を減らせるのではないかと思います。今後、どのような街づくりを目指すのか、市長の声をはじめ、市民にもっと方針や考え方等を発信してほしいと思っています。
59. こんなこと書いて失礼とは思いますが、行政の方達のお考えは、私たち市民にはわかりませんが、あちらこちらに新しい道路が作られ、何メートルも離れていないところにまた道路、しかも途中という。桶川市の発展のためにお考えでしょうが、現場を把握し、また近所の生の声を聞いて着手されては交通事故とか利用価値のないところが見られるように思われます。お願い申し上げます。アンケートとは検討がいのことですか。
60. 桶川に来て30年以上になります。住み始めた当時、出身地との差に愕然としたことを覚えています。配偶者はそれ以上だったと思います。いつも思うことは「上尾の駅前はとても素敵でいきたいお店がたくさんあるのに、なぜ桶川にはないんだろう」ということです。上尾と桶川の関係は「主従」なんですか。よくわからなく、情報もあまりなくて、コメントするのも失礼かもしれませんが、上尾への依存から脱却し、追いつけ追い抜こうの気持ちで進めていただけると幸いです。隣町ですから、すぐ比較してしまいますよね。
61. 体制が古すぎる。伝統を重んじることは大切だが、時代の流れに乗った対応が必要！
62. ルール作りと徹底。自由な発展の前には、社会ルール作りとそれを守らすこと。行政はスローガンとルールの徹底だけ行い、後は民が自由にやる。一点突破は大事。街の農・食・商・教なんでも良いから一点だけ日本一を目指したい。
63. 行政への市民の参画は忙しいため期待できない。よって施策案等を作成する実務者、つまり市役所職員の質の向上がもっとも重要である。しかし桶川市はe都市ランキングにおいて、埼玉県で最下位になるなど、行政としてのレベルが低い。行政のレベルを上げるには、職員の質を向上させることへの施策を行うことであるが、具体的には任用制度を改めて、民間経験者の採用を拡大して、職員の入れ替えを推進したり、民間企業や他の自治体への出向や受け入れ制度を積極的に活用することである。一時的に職員が不足したとしても、質が向上した職員により、最終的には行政サービスの向上につながる。
64. 桶川を一層良くするために、まず第一に住民も市役所も、どんな町にしたいとの共通目標を持たねばならない。目標が出来上がると方法はおのずとできるものだ。具体的には「豊かな文化のある町」とすれば、「花のあふれる町づくり」「歴史を大切に作る町」などと具体的な方策が出てくる。それぞれの目標を「いつ」「どういう方法で」ということができるだろう。このアンケートもその有力な方法の一つであろう。市役所のご健闘を祈念している。具体例は駅前の整備、中山道の歴史を生かすことなど、いくつも出てくるだろう。良い町づくりがんばりましょう。
65. 人件費の削減→市役所の職員・市会議員の人数の削減。
66. 土日でも市役所の窓口が開いている課を増やしてほしい。
67. 市政の活性を望む。
68. 月に一回でもいいので、土曜・日曜にも開庁してほしい。もしくは平日20:00まで市役所が開いている日を設けてほしい。働いていると会社を休まないと手続きができないことがあるので。
69. 市街が大きくないので、教育・文化・芸術・スポーツ等、医療・高齢者のまとめやすい町だと思っているので、

市がイニシアチブを強くもって、先どうすると決めることで、すべてがまとまりよくなります。それには市の中央に立派な市役所を作り、市民に誇りをもたせてください。

- 70.スピードをもって、何事にも対応していただき、進化してゆく市となってほしい。今ある自然を守りながら、人間の生活の利便性を高めることは、難しいとは思いますが、近隣の市ではそれができているので、桶川だからできないということもないと考えます。
- 71.各事業等、本気になって行動できる人がほしいですね。
- 72.市の職員の方々の税金で働いている意識改革です。時間に来て、時間に帰るにしては、給与が多すぎて保障も恵まれすぎ。もらっているだけの仕事をしてください。市長のリーダーシップが見えませんが、退職した人を再就職させるのが見られますが、それもやめてほしい。働けない若者が多い中、もう少し仲間うちで内定を決めないで下さい。給与のあり方も22才まで子供のお金がでるのはおかしい。市の職員だけ、ボーナスは多い保障も出るのでは、税金を払うのがばかばかしい。今の時代にあった給与に改正したほうが良いのでは。以前市役所に行ったとき、50代の方が20代の人に聞きながら仕事をしていました。年配の人で能力の難しい人の配置転換や、若い人をどんどん入職させて、市の職員の活性化をはかってはどうかと思います。やはり民間は厳しいので、そのような人はリストラされてしまいます。職員の質も考えてほしいものです。公務員でやめられないなら、見合った給与制度にしてほしいです。市への不満は職員の給与が税金の多くをとるのではなく、未来を担い子供達につかってほしいんです。年配の人は若い人にお金をまわして、今後も桶川市が子供の多い市にならない限り、税収も見込めません。
- 73.日頃は、生活に追われ「市」のことを考える余裕はありません。一人一人が自分のなすべきことをしっかりやることで、社会、市がよくなっていくのではないのでしょうか？そのために、市議会、市役所があり、それぞれが動いていただければと思っています。
- 74.市の予算の2分の1が人件費と聞く。これでは何か事業に取り組もうとしても不十分で、何も達成できない。人件費や無駄な予算は思いっきり削って、あまった予算を大切な個所にまわしてもらいたい。市役所の仕事は余計なことが多すぎると思う。スーパー等で買い物袋を節約しているように、市も余計な紙袋を配布しない。こじんまりとした計画ばかりでなく、市の事業をワイルドな計画を取り入れ、他の市町村にはない、アイデアあふれる個性的なものを取り入れてほしい。そして桶川市の特徴を大いに生かしてほしい。そのためにはファイトのある人の採用を望みたい。
- 75.市役所庁舎の建設
- 76.新しい市役所庁舎の建設
- 77.市役所の移転、及び新市役所建設、花火大会の毎年実施化
- 78.市役所も他市と比べてみずばらしいかぎりだ。財政の問題もあろうが、行政を司る場所でもあり、しっかりした(充実した)仕事ができる環境にすべきと思う。
- 79.市役所庁舎と公民館の建て替えと移転
- 80.市、または国が所有する土地(国有地も含む)の活用が十分ではないと感じる。市役所の市庁舎に関しては老朽化は否めなく、元桶川南小学校の跡地などに複合施設などを建設し、行政・文化・活動の拠点とすべきではないかと感じる。
- 81.市役所を建て替えるなどと言い出さない。
- 82.新庁舎の建設
- 83.皆が安心して暮らしていける、また、楽しく生活できるそんな桶川にして下さい。早く市役所を広い駐車場のある便利な所にして下さい。
- 84.市役所の改築



- 85.スリムでも機能的な市庁舎の建設を進めて、市民がスムーズに用がたせること。
- 86.市役所を新設してほしい(2階の階段が狭い)
- 87.桶川市役所の立地(駅からの距離)
- 88.市役所庁舎の建設を市街化調整区域に、広い土地・駐車場・部署。
- 89.市役所を立派な建物にしてほしいと思う。
- 90.市役所の場所は現在の場所が今後も良いと思います。駅周辺は便利です。
- 91.市の顔である市役所が古すぎる！ 予算がないのか、あまりにも近隣の市や町に比べて酷すぎる。
- 92.市役所の建て替えをしてほしい。どこに何があるのか分かりづらい。駅をきれいにしてほしい
- 93.市役所は一応桶川市の顔であるのだから、あのみすぼらしさはないと思う。
- 94.桶川市は市役所をはじめ公共施設の老朽化が問題です。市役所は新市庁舎建設のために買収予定地の地権者との話し合いを進めているとは思いますが、市役所を現在の場所にそのまま建設し直すのは、かなり難しいように思います。遅々として進まないのが寿広場(旧南小学校跡地)あたりに桶川市(宿場町)らしいデザインの建物でしっかり駐車スペースがある市役所ができる方が望ましいように思います。他市のような高層ビルを建てるとなると、市街地から離れるようになってしまい、市民の足を考えるとやはり現市庁舎地のように市の中心がよいと思います。土地利用の規定など、何も知らない者が言うことなのですが、仮庁舎の工面もいらないし、事務所の引越も一回で済むし、いろいろな面で経費節減になるのかなと思います。また、デザイン重視の建物は案外、その実、使い勝手が悪いので、建物の外観はともかく、内部の間取りについては、実際に働かされている市の職員の方々の意見が反映されるように予め話しあえるといいですね(既に新庁舎の計画がすすんでいたら、失礼しました)。
- 95.今の場所に庁舎を建て替えることに決定したようですが、町の中心部であり非常に交通アクセスが悪く、転入して来た人たちにはわかりにくい場所ですね。
- 96.メイン4階への市役所の一部移転
- 97.市役所を新しくする。
- 98.市役所を早々建設し、訪問者が安心できる場所。
- 99.市役所の建て替え。市長・議員・職員の皆さん、これが市役所だと自慢できますか。私は友人等に市役所ですと紹介できないのが残念です。市税関係は他の自治体より安い方ではないのですから、サラリーマン化している議員定数の削減と、年俸削減を図り、また職員の給料の見直し等のほか、市の遊休資産の売却等で市役所を建て替えるのであれば、市民も負担をするでしょう。まずは市の顔からスタートしてもらいたい。
- 100.市役所を移転し多くの人が桶川に住み続けるような環境づくりをする。市役所は街の顔。できるだけ立派な建物にしたほうが良いと思います。他県から桶川に住もうと思い、市役所には必ず訪れます。現在の市役所では、桶川に住みたいという気にならないと思います。まずは市役所を新しくすることです。
- 101.早く市役所を建てましょう。桶川市が元気になるために。
- 102.市役所の新設、至急行うべきだ 議員・地元各地区優先を考えて行動する人が多い。全体的に考える人が少ない 積極的に行動する人が少ない。
- 103.市庁舎建設・都市整備。
- 104.新しい市役所庁舎の建設を早く進めてほしい。市役所を見ていると、こんなさびれた市役所は他に見当たりません！！職員も市民もやる気・活性が低下するばかりなのではと思います。桶川市に住んで24年になりますが、都市圏なのにさびれた印象が強いです。

- 105.市役所の所在地はやはり市の中心部にある方が良いと思うので、現在地が最適なので建て替えも現在地にしてほしいと思ってます。
- 106.市役所の改築を早くすべき。市の中心的心臓部が機能を失ってしまっている感がある。分庁舎、教育委員会等重要な部署がばらばらでは行政がしっかりした一本柱となりにくい。市民も大変不便を感じている。
- 107.新市役所を早くつくる。
- 108.市の窓口としての庁舎の整備。現状はさびしい。桶川市にふさわしい庁舎の建設を。
- 109.市役所の新築、ことぶき広場の有効活用(この状態では小学校のままだ良かった。小学校が遠くになってしまった)
- 110.金融機関もつくってほしい。まずは市役所をなんとかしてほしい。恥ずかしい。逆に知られたくない。市民まつりなどの費用も考え直したらいかがでしょうか？
- 111.利用しやすい新庁舎の建設
- 112.市役所を移転し、市民が利用しやすい場所にしてほしいです。
- 113.市庁舎を何とかすべき。移転の話も二転三転してわからない。
- 114.市役所を小学校跡地に建て…例えば上尾駅前に建てられたマンション、店舗のような高層マンション(店舗二階、役所一階)を考えてほしい。分譲住宅マンションにすれば、桶川人口も増え、税金も増え…。いつまでも土地を遊ばせてもったいない。早く有効活用してほしい。
- 115.市のシンボルともいえる市庁舎を早期に建設し、市民が誇れる市にしてもらいたい。行政のスリム化、議員定数のさらなる削減でムダをなくす努力をする。過度な市民サービスを見直し、メリハリのある対応、弱者を見捨てない行政。
- 116.市役所の立て直しを希望します。
- 117.市役所が古いとイメージが悪い。
- 118.商店もだめだし、第一市役所が今につぶれそうでびっくりです。田舎でももっと立派だと思います。やはり桶川の顔です。早く直していただきたいと思います。
- 119.市役所の建設を早急に実現し、行政を確立すること私も市役所を利用しますが、特に福祉課には大変お世話になっています。打ち合わせ等の場所のスペースがなく、日常業務をする上で不便を感じていると思います。(狭いけれど、大変良くサービス提供してくれます。)日常業務を行うので勤務環境がよくなないと市民サービスも十分提供できないと思いますので、ぜひ実現させてください。
- 120.市役所の環境が悪い(建物が古い、各部署が分散化、職員人数が少ない、職場が狭い、職員の給与が安すぎる)駅周辺の整備(再開発)を希望したい。各公共施設の更新(桶川市は特に物をつくったらつくりっぱなし、適正な整備をすれば長く物が保つのにメンテナンスをしていない)
- 121.一部の市役所の職員の対応が悪く非常に残念に思いました。若い人達は、行政やその他の事柄についてもこれから学んでいく世代なので、知らないことが多いのですが、教えてもらいたくてもバカにされたような態度を取られ、とても嫌な思いをしたことがありました。ぜひ改善していただきたいと思います。議員さんの方が親身になって相談にのってくださいるので、とても助かっていますが、市役所の方の対応には納得できません。
- 122.保健センターなどに電話をした際、電話に出た方の名前を名乗ってほしい。以前お電話をした際、名前を名乗らず対応をされて、あまり良い対応ではなかった。
- 123.市役所に行くと、職員が沢山いる。人数は適正なのか。きびきび働いていない、のんびりしているように思う。

- 124.市役所の無能な職員を退職させ、職員のレベルを上げる。市の職員のやる気がみられない。
- 125.清掃員の業務意識の改善(業務態度が悪い)。私が車で運転中、後ろに清掃車がいて、私が遅い動作をしたとき、クラクションを鳴らされて。後日、逆になり清掃車が前で後ろが私の場合、私がクラクションを鳴らしたら、清掃員に怒鳴られ睨まれた。桶川駅東口のみずほ銀行付近の(有料駐車場)で駅に向かう途中、右端を歩いていた私にクラクションを鳴らし、私をどかして駅のガードレールに清掃車を横付けした。
- 126.職員の日頃の態度があまり良くないため、もう少し良くしてください。
- 127.まず一番は、桶川市役所の職員の意識改革。ある案件で桶川市と北本市の役所に行ったが、対応の違いに驚きました。桶川はいわゆる「お役所体質」がひどいと感じました。新しい時代に合わせた発想を持っていただきたいと思います。
- 128.いろいろな面で市民を引っ張っていくのは市役所であるから、トップならびに市職員の方々のプロ意識をもって行動をしていただきたい。今、自分はここで何をしなければいけないのか？常にそういう疑問をもちながら職務を全うしてもらいたい。それから市民の方も、最近自分勝手な考え方が多い。市役所もただイエスだけの返事ではなく、ノーが言えるように知識を得ていただきたい。
- 129.市役所に勤務している人達が、市民に対して優しく親切に対応していくことが先だと思う。親切に出来る人は役職に就いていない方が多く、偉い方は挨拶も出来ない人が多い。どんな人が来ても、市役所に来ている人は用事がある行くのであって、親切に挨拶の一つかけてあげるだけで、それでも気持ちのいいものだと思う。そこからやっていかなければ、そんな仕事をしたくても、桶川市はいい街とは言えない。もっと努力をしてほしい。たまにしか行かない人だから気付くことも多いはず。市民のためにもっと気持ちをもってちゃんとしていただきたい。いい街にする気持ちは私たちがだって同じである。中心になる方々が努力・協力していき、市民がついて行くと思う。
- 130.行政の意識改革、公務員の人材育成により、より優れた業務レベルの向上に取り組んでほしい。市議会議員の活動が不明確で必要性を感じない。市民の声が反映しているとは思えない。
- 131.桶川市役所の職員が市民を「お客様」と呼ぶのをまずやめたほうがいい。
- 132.桶川市の職員が進んで実行して欲しい。このアンケートは取るだけでなく、市の職員が自動車ではなく、歩いて町の中、道路、草がぼーぼー生えている道路などを見て、直接市民との会話をし、前向きに一歩一歩進んでほしい。
- 133.隣市の上尾といちいち比較してしまう程、落差を感じる行政だ。市庁舎移転の土地収用のゴタゴタは見たくない。市窓口の応対も一般に冷淡。他人ごとにも感ずる。職員の個人プレイも目立つ。
- 134.縦割り行政を改め、一か所で相談が終わるような組織づくり。
- 135.市役所の職員の人に、私の個人情報に対して、とてもひどいことを言われたことがあります。それも良くしてほしいです。とても悲しい思いをしました。ばかにされました。
- 136.職員研修を初歩からしていただき、住民サービスの向上を希望します。第一歩進む前に職員の質の向上をはからなくては、10年後もこのままの町だと思います。住民サービスを向上させてから、諸税の値上げをしてください。昨年3/11市役所等へTELしても対応の方の感じは悪くて…。基本的、臨機応変対応できるようにお願いします。
- 137.市役所の担当者により、非常に対応が良い場合と何か物足りない場合とが電話であり、電話でもよく質問の内容を理解してから、後でもよいかから返事をしていただけるようにしてほしい。
- 138.市役所の対応が事務的で良くない→一般企業の対応を勉強してほしい。
- 139.座っているだけに見える公民館の職員はいらないと思う。仕事は平等にすべきだと思う。市役所の人、無愛想で感じ悪い。めんどくさそうに仕事をしている印象があるので、なおしてほしい。新しい市長を！！協力し合うこと。これができていれば、自然と良くなるはず。仕事をしっかりやっている

人には、それなりの給料が支払われなければいけない。真実を見極められる人が上に立ってほしい。「アンケートお礼」のハガキ、ムダ！！

140.職員の日頃の態度があまり良くないため、もう少し良くしてほしいです。

## 施策 702 経営的な視点からの財政運営 (27 件)

- 1.東京方面への通勤者が多く、市民税の多くを担っている半ベッドタウン。地理的な特色を忘れた、皮算用で方向性を間違わなければ、悪化はしないでしょうが、大きな変革も向上も簡単ではない。
- 2.市の財政が豊かな街でほしい
- 3.桶川の方向性については隣接する上尾、北本、久喜等の例を踏まえ、各案件(道路、街作り等々)に対応しなくては行けなく、それらも全て市の財政を踏まえて行われるものといえる。従って財政を潤う様働きかけが必要となり、市税及び地方交付金に頼る事となる訳であり、それには市民負担も多少生じる事となってしまい具体的な解決には繋がらず…。既に財政が破綻した市町村例を踏まえ、桶川なりのスリム化を目指していただきたい。
- 4.アンケート返信にあたり。郵送による返信もいいのですが、折角の機会でもあり、市役所に直接出向き企画課の現状を見られる等の方策や、駅等に回収箱を設ける等、経費削減を検討されては如何でしょうか？返信封筒も「のり付」を廃止するだけでもコストカットにつながります！
- 5.税金が高くて払えない。
- 6.東口開発は今更必要ない。したとしても、活性化は不可能。それよりも、財政の立て直しが第一。
- 7.桶川市の財政立て直しを図りながらも、他市町村との連携を大切に、桶川に住みたいと言われるような市作りをめざしていくこと。
- 8.とにかく税金が高い。
- 9.人や企業を集め、税収を増やし、公共事業へ投資していく。
- 10.市の財源が少ない。
- 11.経費削減と収入(税収)増額の方策
- 12.公団住宅を増やし人口を増加させ、税を徴収し街作りに役立てる。
- 13.行政に対しては、国政も含めて期待できないと思っている。行政に入る税金の使い方や目的が明確になっておらず、執行されているように見受けられる。一方会社は、お金の流れは全てガラス張りで「見える化」が進んでいるが、行政は？という疑問符がつく。サービス向上もさることながら、市職員全てがその意識をもってお仕事に取り組んでもらいたいです。
- 14.税の無駄使いに徹底的に無くす。例えば、公園内と街路樹の感覚を広くして、多く木を植えない事。管理費用を減らせる。
- 15.お金は有効に使う(財源は有効に)。
- 16.市民税が高い
- 17.新庁舎建設にあたり市役所のまわりを測量したが、結局新庁舎の話はどうなったのかわからない。測量した業者には支払われたのだと思うが、はっきりと決まってからやれば無駄はなかったのではないだろうか？
- 18.一般経費明細の実名公開。利用目的が明確でない支出の検証→再発防止。例)公団整備の市長名のモニュメント
- 19.財政支出を計画的に多年度化することになるインフラ整備を地域社会と協議すべき。人件比率の低減に努力し、事業資金を増やすこと。

- 20.桶川市民人口を増やすためには、どのようなことが考えられるかを理念とす。どうすれば税収の増を考えられるか。高層住宅ビル・インター周辺と主道側の商業工業団地の開発の実現の入札は現在の手法で良いわけがない。革命発想。無駄な経費の再々チェック(有識または大学職員等にお願いはいかがですか)。余裕がないながらも市役所新建築希望(どうすれば可能か)。
- 21.日本のほとんどの自治体が大赤字で行政を行っている。少しでも減らして黒字に近づいてもらいたいと思います。そうでないと、あれをやってほしい、これをやってほしいという勇気ができません。赤字がますます増えるのはとても恐ろしいです。
- 22.何をすることもお金がかかる現実がある。税収を上げるために学童保育や、夏、冬、春等の長期の学校休みの際の保育施設を充実させ、例えばパートでも労働者を増やし、税収を上げる努力が必要。公園予定地など10年近くも保留、予算不足など、結局そちらに負担がきていて、上尾、北本等に比べて道路も狭く、生活がしにくい。もっとスピードをもって政策をしてほしい。
- 23.税の収入の多い市にすれば他の面も改善できる。税率を上げる意味ではありません。企業等の誘致とか納税する住民を増やすとか、意味ないところへの無駄使いをやめるとか。
- 24.市議会議員定数の削減、10名程度。桶川駅東口の商店街は自助努力がない限り、公費を投入すべきでない。
- 25.地区選出の議員も全然頼りにならない。高い給料をとっているのだから、報酬にあった仕事をしてほしい。議員の定数をもっと減らすべき。私も地区から選出されてボランティアに近い活動をしているが、すずめのなみだのような活動の実費で行動している。社会的に責任とどんどん重くされ、仕方なく引き受けたものの議員を見ていると議長にまで運転手付きの車が与えられている。人口7.5千人程度の市です。考えるべき。
- 26.議員定数14人
- 27.議員の数が多。市議会だよりを読んでも、この内容ならもっと少なくて良いと思います。

### 施策 703 情報共有の推進 (50件)

- 1.地域の市議さんが年に何回か住民の話を聞いてまわってもいいのではないかな。小さなことでも気軽に話すことができればと思う。それが実現が難しいことであっても、日頃感じていること、小さな、小さいなことでも聞いてもらえたらと思います。まずは気軽に話すことが出来るような市民の代表であってほしいと思います。
- 2.迷子等の放送がちよくちよくありますが、何を言っているのかわかりません。
- 3.市議会の情報発信が少ないと思います。市議会議員の活動をまったくみかけません。選挙時以外の活動報告を義務化して欲しい。また税金の無駄使いになっていることを自覚してほしいので、議会と執行部は市政を常に前進させるように心がけていただきたい。日中不在の納税者が不公平感を感じることのない町づくりを！
- 4.行政の情報公開、何事も平等に
- 5.また、桶川市の広報は財政上の問題か、ホッチキスどめがされておらず、読みにくい。また内容に関しても隣の市と比べても劣ることは否めない。
- 6.市政決定プロセスに係る情報公開及びホームページ拡充も必要と思われます。
- 7.“人との和を大切に”市民が気軽に市長さんと話が出来る場を多くの所に設けて欲しい。年1回でも。桶川市好きです。
- 8.市民が興味をもつような、市政・行事等を、市と市民とが共に考えられるように、又幅広い年齢の意見を聞いてほしい。

- 9.若者の意見や考えを取り入れる。
- 10.市の活動をわかりやすく案内してほしい。
- 11.住民の知恵を集める機会を増やす。
- 12.ホームページの内容について、サービスへの取り合わせ場所しか案内していないが、具体的な手続き方法や見本をもっと盛り込むべき。職員の対応はとても良いので、このまま保ってほしい。
- 13.頭の硬い役所の人ではなく、一般企業から情報や案件を提示してもらったり、「街のデザイン募集」等いろいろな人から意見案を仕入れる。北上尾駅を利用する人の為に、桶川駅からみの掲示板をはらせてもらえるよう交渉すべき。
- 14.市役所への仕事を市民に細かく部署ごとにおおいにPRしたほうがよいかなと思います。
- 15.広報はどのくらいの人が目を通しているだろうか。無関心な人々にもアピールする、手に取って開いてもらえる方法を考えたい。アンケートを投函する前にお礼状が届きました。普通郵便よりも安く送付できる方法があるので、税金を節約できます。
- 16.職員の役所根性を捨てて、本気で住民の声を聞いてほしい。何かを始めるにしても、都合が悪くなると責任転嫁する。
- 17.桶川市のことは広報おけがわで知ることなので、これはありがたいと思いますが、市民の声なども聞いて一方通行ではなく、共に桶川を良くすることで明るい方向性ができればと思います。
- 18.市役所に投書箱を(意見を出させるような)設置にはどうか(まちづくりの提案を広く募集する術として)。
- 19.市政の様々な課題について、できるだけ市民の声を拾い反映させていく手法が必要だと思います。「まちづくり活動」は一般の市民には敷居が高くてなかなか参画できませんが、このようなアンケートを課題ごとに頻繁にとったり、楽しく学べるフィールドワークをしながら、課題についての研究集会(町学びの会)等を開催して、様々な方の意見が聞けるような仕掛けがあるといいのではと思います。
- 20.市民の声を細かい所まで聞き、全部の要望は実現出来なくとも、一番大事な事から実現してほしい。
- 21.広報や議会たよりはばらばらと見る程度。まったく見ない月もありました。市民なのにこれではいけません。(反省)市役所の方がアンケートをとってまでよりよい桶川をつくっていかうとしてらっしゃるので、もっといろんなところにアンテナを立てていかなくては…と思いました。
- 22.桶川市は発信力が足りない。市として何をPRするのか、自然なのか、歴史文化なのか、はっきりしていない。市としてのイメージをさらに高めるため、積極的に県内外に情報を発信すべきである。
- 23.尋ね人などの放送が反響して聞こえない
- 24.広報など回覧を見る機会がないので、スーパー・コンビニなどに桶川市の情報がおいてあったら嬉しい。
- 25.利便性が良く、他の市町村にも交通の便が発達しているので、良い点はあるので、それをPRして若者が来たい町にした方が良い。圏央道(桶川北本 IC)の出入りに大きな看板を設置した方が良い。「ようこそ桶川へ！」みたいなやつ。
- 26.市政情報を吸収する機会、チャンスが少ない(市民のレベルが低いこともある)。いつでも情報を得ることができる場所?機会がほしい→レベルアップを図る。市政と市民意識の向上
- 27.市民の声を積極的にくみ上げる組織。道路の整備事業について広聴活動が不足。議員の活動が全く見えない。定員数の判断材料が全くない。市よりもっと議会に働きかけて欲しい(立法、行政のすみわけが市民へ説明がない)。

- 28.近隣市の行政について、調査されている点を公表し、町づくりのために材料を提供してほしい
- 29.市役所でやっていることをわかりやすくアピール、市民の意見を積極的に聞いていく。またそれを公開していく。期待しています。
- 30.利用できる制度の全般を公表してほしい。
- 31.市民の声を反映する場を設け、丁寧な聞き取りをしていただく。
- 32.本当に必要なところにお金をつぎこんでほしい。不自然に隠さず、情報公開はきちんとしてほしい。
- 33.これからの町づくりは先を見通す考え(10年先)。市民ともっと話合える市政を望みたい。
- 34.高齢者に良いまちは、限られた予算の中で、若い人たちにとっていいまちにもできるのだろうか(？)選挙を行えば政治家は高齢者のほうを向く。若い人が増えなければ、税収は上がらず、人も増えず、行政も打つ手はなしとなる。さまざまな世代が楽しく暮らし、また桶川に住みたいという人が増えるようになるにはどうしたらよいか。市民・公務員・政治家 etc.世代間の格差を超えて、街づくりができるよう。意見を聞ける、かつ行政に反映されるような機会をもつべきである。今のままだと桶川は年寄りだけの街になってしまうと思う。
- 35.日頃の行政の仕事内容を市民に理解できるものがあればと思います。明るい、あいさつできる街づくりをお願いします。
- 36.現在進行形のものを含め、これからの桶川を行政サイドでどうしようとしているのかを、機会あるごとに(例えば年一回市報で)説明してほしい。補足:下日出谷に10年住んでいます。近所でいつもずーっと良く全体像の見えない道路工事をしています。「これって将来どうなる」が普通の市民には見えていません。むしろ「無駄遣い」に見えてます。そうではないんだと思いますが。
- 37.広報おけがわの文字色が最悪だと思う。どうして黒でできないのか。各市の広報と比べてほしい。
- 38.市のことについては関心を持っています。それには広報がとても頼りです。これはと思うことは小さなことでも掲載してほしいと思います。
- 39.民意の反映があり、透明性のある市政作りだと思います。アンケートの結果の明示や、市の決定事項やそのプロセスをもっと市民がわかりやすくしてほしいです。
- 40.市内全体に対する放送がとても聞き取りにくいので改善してほしい。
- 41.市政の方針や議会(議事内容と課題)の取り組みが今一つ見えてきません。「これでいいのか桶川市は」常に感じているところです。とにかく抱えている問題などオープンにして、市民参加の議論や方向性を検討し、よりよい桶川にしたいと思います。
- 42.市民の意見を(細部の市民)、多くの意見を取り入れる仕組み。文章にやさしい言語を取り入れる。行政の場を市が多く意見を取り入れる。
- 43.北上尾と桶川で一駅しかかわらないのに駅前や駅舎(JR?)などが特にひどいと思う。職場の人に桶川に住んでるといっても田舎、桶川女子大生ストーカー殺人事件などといった悪いイメージがなく、うらやましく思われることが基本的にない。なのでどこに住んでるか聞かれた際に大宮から15分ぐらいいったところなどとか答えられない。イメージアップをはかれるよう努力して下さい。
- 44.市政の方針を明確にして、その都度進捗を報告するなど見える市政を進めて頂きたい。地域のコミュニケーションが図れるイベント・施設を計画してもらいたい(定期的なフリーマーケット、中山道歩行者天国・荒川河川敷にBBQ設備や芝生広場の整備など)
- 45.伊奈町みたいなきれいなまち。建物も道も家も。他にはないユニークな取組をしてください。例えば祭りみたいに日付が固定してる日をつくって、その日は毎年必ず市から市民へ「住んでくれてありがとうフェア」をやる。内容は市内の店舗のグルメや商品の販売とか、ビンゴ大会とか、ライブとか。場所は毎年変えて、日は固定する。まず、桶川市が市民へ向けての感謝の意を楽しめる形で表現

しないと、市と市民と市民同士のコミュニケーションや一体感が生まれません。住むだけの自慢できる所のないつまらない市になる(実際そう)。隠れた穴場や名所もないし、マニアを寄せつけるスポットもない。年に一度くらいは市長が市民に顔を見せて、その上ではじける姿を見たいです。桶川市が良くなるには、市長が現場を見て、老若男女とふれあい、はじけなくてはいいけません。「市長って明るい人なんだ」「こんな面白い人なんだ」「楽しい人なんだ」など、親近感をもてる市長になってください。私は、チャンスがあればどこへでも桶川とべにばなとレア牛乳を着ぐるみやコスプレをしてPRするような愉快的市長(市職員、議員)がいる桶川が好きです。幼・小・中・高・専の特別行事や老人ホームも着ぐるみコスプレで積極的に参加し、みんなと喋って下さい。金をかけずに良いまちにするのは難しいけど、現状維持で良くすることは可能です。市民は市長たちともっと近い距離で接したいと思います。大勢の人に好かれる人物は真面目な人なのではなく、ユーモアもある楽しい人です。桶川のPRも忘れずに、人々を楽しませてくれるような人物を市民は求めていると思います。それこそが良いまちだと思います。

46. 桶川の良いところを外部へ発信する。そのために、①桶川駅を利用する、②金をかかえる必要はないが、パンフレットまたはチラシを作成し常備する。内容については、市役所(公共機関)はどこですかと聞かれる場合がありますので、所在がわかりやすいように併せて桶川の見所を記載したもの。(インターネットのできない者より)
47. このようなことを行う時点で市政に問題があると思う。市民の声が届いていない。理解できないからするのは？
48. 今は民主的に議会で政治が行われているが、限られた数の市議会議員達が市民の意見や考え、訴えなどを細かく持っているとは思えない。市議会の必要性すら疑問に思う。とはいえ、市民全員による多数決で方針を決することも難しい。現在の市議や市政が民意を広く知るためには、SNSなどに意見を気軽に書き込ませるインフラ作りが良いと思う。例えば、自分の意見にある市議が同意の書き込みをしたり、別の市民が反対意見を書き込んだり、議会ではないところで大事な意見交換が行われるのではないのでしょうか。小さな意見は見逃されることが多いが、重要な解決につながることもあると思う。中学生・高校生の意見も見逃せない。
49. 市民の意見を聞き入れられる所を入れてほしい。
50. 行政のスリム化を図り、「市民による市民のための街づくり」桶川市に住む市民の声を大切に、いろいろな意見に耳をかたむけ、柔軟な考え方をし、各年代の市民の代表などを議会に招き、意見を聞くなど、市民に開かれた市政に心掛ける。

## 施策 704 広域行政の推進 (28件)

1. 上尾、北本と早く合併すること。
2. 合併(北本・上尾)してほしい。改め市の庁舎を考える必要なし。財政の厳しい貧乏な街だから、無駄なお金は使って欲しくない。議員を減らし職員も減らせる
3. 上尾市との合併も検討することも1つであり、東京等首都圏のベッドタウンとして子育てがしやすく、自然環境も豊かな町を目指して欲しい。
4. 他市との合併をし、より強固な街作りを目指して、子どもを安心して育てられる環境を実現することで他県より多くの移住者の確保と、複合商業施設やアミューズメント施設をつくり、観光客に多くのお金を落としてもらいたい。越谷市のようなイメージ。
5. 上尾市と合併しなかったことが残念に思われてなりません。高崎線での駅前が良くないのは桶川市です。市長さんをご率先して市が直面する駅東口整備事業については、職員の皆様、議会を動かし関係者を説得し具体的な一歩をスタートさせていただきたいです。過去数十年の機関や数億円の費



用を使いながら何ひとつ前進していない状況は不思議です。近隣の上尾市、北本市、鴻巣市を参考にして下さい。新庁舎の建設は駅東口の整備がスタートしてからで十分です。

6.どっかと合併したら！

7.広域的な行政の中に入ることが望ましい。

8.他市町村との合併

9.上尾市と合併し、重複する部分の無駄を削除する。

10.周辺市町との連携(相乗効果を狙う)

11.近隣の町との合併。

12.上尾市・伊奈町との合併を推進する。

13.桶川市単独で市政を行うより、他の市と合同で行うことを考えて、効率の良い市政をしてほしい。  
(市の名前にとられる必要はない)

14.上尾市との境目の道路に街灯がない。町づくりは隣接する自治体とも協力して取り組む必要もある。

15.近隣市と合併し、桶川駅から遠い地域にも商業を盛んにしてほしいと思います。

16.上尾市、北本市と協力して県央地区で文化発信を行い、観光振興は図ってもらいたい(マンガ、グルメ等々)。商業の活性化。3市合併にて行政の統一化・合併効果にて重複の無駄や縮小化を！  
「人が集まる都市づくり」を目指す。

17.上尾市、伊奈町と合併することが急務。対等合併は無理な話。現市長に全くその気配がない。ゴミ処理も吉見に断られたらどうするのか、区画整理も進まず市政怠慢、市議員も多すぎ、給料泥棒が多い。役立たずの議員ばかり、これでは桶川は良くならない。行き止まりの私道の側溝、下水、道路舗装は出来ないとは同じ町民税を払っているのに全く不公平なこと。私道を市道にすれば良い。東口駅前開発は北本、鴻巣に比べて全く能なし、ロータリーもつけれない街は桶川だけで、車の渋滞はいつまでたっても解消しない。

18.上尾市との合併！

19.桶川市は、商業・工業・医療・他市町村の中で一番遅れていると思われる。大型商業の誘致、又市役所の移転。駐車場が少ないのであまり行きたくない。市全体に活気が感じられない。財政難は理解できるが、将来的には近隣市町村と合併した方が良かったのでは。矛盾しているが、便利な街作りと自然環境の両立を希望する。

20.県内のミニ都市のひとつであり目立たない。できれば上尾市と合併してほしい。

21.今後企業の誘致をして活性化し、税金対策もしっかりしてほしい。桶川市のみでの存続ではなく、市と市の合併などを考え、住民が住み良い型にもっていくべきではないか。

22.桶川市は東、西に大きな地域があるけど、市役所周辺は狭いので出来れば他市町村と合併できて全体が丸く大きくなれたら良かったと思います。

23.合併(市町村)すべき。(単独での行政サービスの限界)

24.桶川に暮らし30年ですが、あたりは30年前と変わってません。公共施設等も市内利用はほとんど利用なしで、近隣外市を使うことが多い。例えば夏のプール遊びに「上尾のわくわくランド」、孫達を「こどもの国」「アッピーランド」、上尾の「図書館」、伊奈町「県民活動センター」。買い物も上尾の店利用が多い。(近くの商店街が桶川ではない)。上尾市と合併してほしい。

25.近隣市(上尾市・伊奈町)との合併を望んでいる。中山道宿場町などの歴史や伝統などを大切にすることはとても良いことで賛同できるのだが、それにこだわりすぎてしまって、新しい取り組みがまったく見られない。

26. 現在市の人口・規模では、理想の街づくりには限界がある。近隣の市町村の合併をもう一度見直すべきではないか。
27. 上尾市と合併してほしい！伊奈町を吸収してほしい。上尾市を見習ってほしい。
28. 租税収入等を考える時、市町村合併は避けられないと思うので、その推進が必要と思う。すべてのスリム化が緊急課題。

## 8. その他意見

### その他（29件）

1. 「桶川市は良く頑張りました」と市民の皆さんが言われる実績の声が聞かれません。その原因はどこにあるのかを考えることで良くなるものと思います。
2. 各人が関心を持つこと
3. まず本アンケートの実施に際して、本状が到着後追いかけるように「市民アンケートご協力のお礼」のハガキが到着した。本アンケート実施経費を踏まえてより効率の良い方法、例えば市ホームページを通じたアンケート実施等も念頭におかれたら良いのではと感じた。特にハガキの意味はわからないことではないが、文頭の文書を改めて確認されていたのか？疑問が残った。
4. 老人なので別にこれとして望むことはない。市民アンケートはもっと若い人に聞いた方が良いと思います。
5. 難しいテーマですので、今は提言できません！これから考えたいと思います。
6. 祭りやイベントの充実
7. 私は生まれが山形の羽黒山のふもとですが、埼玉桶川に住んで 36 年になります。山形も住み心地の良いところでしたが、桶川は山形と違い雪がなく住みやすいところですね。雪は悪いことばかりではありませんが、今住んでいる朝日はとても住みやすく、生活しやすいです。とても住みやすく、生活しやすいです。駅も近く買い物も便利で田畑もあり、学校も近いし良いところに住めて良かったと思っています。
8. 今回のアンケートは、平凡すぎる。回答が出来ない。事務的すぎる。現在の桶川市政そのままである。特色なし。提出者の選考が誤っているのではないかな。
9. 市民アンケートは市民皆から取るべきだと思う。
10. 桶川駅西口の都市環境は、最近モラージュやウニクス伊奈に負けていると思うので、問 32 の選択肢に入れるのはどうかと思う。
11. 行政には何を言っても無駄。議員もしかり。我々一般住民はそれぞれの考えで行動する。
12. 市民の意向を反映する桶川市を希望します。
13. モラル向上
14. 桶川に越してきて10年になるが、越してきて良かったことは、東京からのベッドタウンであること。昔からの人達が余所者を入れない確執、今時こんな考えの人達がいることに驚いた。
15. 物を欲しい気持ちはあると思うが、今は権利は強く要求するが、義務を果たすことは弱い。お互い心豊かに仲良く思いやりの心を持って共生していけたらと思う。
16. 市民の一人一人が相手への思いやりをもってもらいたい。
17. 桶川市のキャラクターオケちゃん、子供が大好きです。
18. 人口を増やす工夫をしてほしいです。

- 19.川田谷地区の方でぼうぼうに草のはえている畑の中の道をきれいに舗装しているが、必要ないと思います。いずれ宅地にするつもりなのですか。
- 20.関心を持つこと。
- 21.わからない項目(子育てなど)の記載方法に検討を。どうすればよいのか。
- 22.市民ホールにたくさんの有名人を呼んでトークショーの機会をもっと増やして欲しい(みんなが笑顔になるため)。
- 23.有名人が市長になればよい。
- 24.自分も他人も大切にできる教育をし、働く場所があれば中国との問題と沖縄の問題、こんなに苦しまなくても、と思います。
- 25.今のままでいいのではないのでしょうか。
- 26.市のリーダーが現実をよく見て。
- 27.よくわからないが、他の市よりも劣っている点が多い気がする。他の市と同じか、それ以上のものを期待したい。
- 28.このようなアンケートを生かして、頑張ってください。
- 29.活気のある元気なまちにする。全体的に沈んだ雰囲気の町の感じがする。



参考資料  
依頼文及び調査票

---



# 市民アンケートのお願い

皆様には、日ごろより、市政に対しご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

このたび、市民の皆様の市政に対するご意見やご要望をお聞きし、桶川市が進めるまちづくりの参考とするためのアンケートを実施することになりました。

このアンケートは、桶川市に住民登録をされている18歳以上の方から、無作為に3,000人を抽出させていただきました。

なお、このアンケートは統計的に処理し、目的以外には利用いたしません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、アンケートの趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成24年10月

桶川市長 岩崎 正男

## ※ご記入にあたって

1. お答えは、必ずあて名のご本人がお答えください。
2. お答えは、該当する番号に○をつけてください。なお、質問によっては回答が複数になるものもあります。
3. お答えの中で「その他」を選んだときは、その内容を( )内に具体的に ご記入ください。
4. この調査について、わからない点がありましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

### 【お問い合わせ先】

桶川市 総合政策部 企画課 電話：048-786-3211（代）  
（内線）1225、1226、1356

◎アンケートにご記入いただきましたら、同封の返信用封筒（切手不要）にて、

**10月31日(水)まで**に郵便ポストへご投函いただきますようお願い申し上げます。

桶川市マスコットキャラクター  
オケちゃん



# 桶川市第五次総合振興計画 市民アンケート

## 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向についておたずねします

問1 あなたは、今住んでいる桶川市を住みよい所であると思いますか。(〇は1つ)

1. 住みよい 2. どちらかといえば住みよい	4. どちらかといえば住みにくい 5. 住みにくい
3. ふつう	6. わからない

問1-1 「住みよい」「どちらかといえば住みよい」を選んだ理由として最も近いものは何ですか。(〇は2つまで)

1. 自然環境がよい
2. 道路の状況がよい
3. 都市基盤施設や公共施設が充実している
4. 住宅(生活)環境がよい
5. 通勤、通学、買い物の便がよい
6. 子どもの教育環境がよい
7. 人間関係がよい
8. 住み慣れている
9. 騒音、振動、大気汚染等の公害がない
10. 災害の心配が少ない
11. 商売や事業がしやすい
12. 防犯面で安全・安心である
13. 高齢者支援が充実している
14. 医療機関が充実している
15. 障がい者支援が充実している
16. 文化活動が充実している
17. その他( )

問1-2 「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」を選んだ理由として最も近いものは何ですか。(〇は2つまで)

1. 自然環境がよくない
2. 道路の状況がよくない
3. 都市基盤施設や公共施設が充実していない
4. 住宅(生活)環境がよくない
5. 通勤、通学、買い物に不便
6. 子どもの教育環境がよくない
7. 人間関係がよくない
8. 住み慣れていない
9. 騒音、振動、大気汚染等の公害がある
10. 災害が心配である
11. 商売や事業がしにくい
12. 防犯面で不安を感じる
13. 高齢者支援が充実していない
14. 医療機関が充実していない
15. 障がい者支援が充実していない
16. 文化活動が充実していない
17. その他( )



問2 あなたは、桶川市の生活環境について、どのように感じていますか。それぞれの項目について該当する番号を選び○をつけてください。

	満足している	どちらかといえば満足している	ふつうである	どちらかといえば不満である	不満である
<b>(1) 地域社会について</b>					
ア 近所づきあいや地域のつながり	1	2	3	4	5
イ 自治会・町内会等の地域活動	1	2	3	4	5
ウ 子どもを育てる場所として	1	2	3	4	5
エ 高齢者が生活する場所として	1	2	3	4	5
<b>(2) 教育・文化について</b>					
オ 図書館や公民館など社会教育活動	1	2	3	4	5
カ 文化・芸術活動	1	2	3	4	5
キ スポーツ・レクリエーション活動	1	2	3	4	5
ク 生涯学習の機会・内容	1	2	3	4	5
ケ 国際交流の推進	1	2	3	4	5
<b>(3) 保健医療・福祉について</b>					
コ 健康診査などの保健活動	1	2	3	4	5
サ 病院・診療所などの医療機関	1	2	3	4	5
シ 保育所・放課後児童クラブ等子育て支援サービス	1	2	3	4	5
ス 高齢者福祉サービス	1	2	3	4	5
セ 障がい者福祉サービス	1	2	3	4	5
<b>(4) 衛生について</b>					
ソ 家庭ゴミの収集・処理	1	2	3	4	5
タ し尿や家庭雑排水の処理	1	2	3	4	5
<b>(5) 安全性について</b>					
チ 信号機・ガードレールなどの交通安全施設	1	2	3	4	5
ツ 地震や風水害などへの災害対策	1	2	3	4	5
テ 防犯灯などの防犯施設	1	2	3	4	5
<b>(6) 便利さについて</b>					
ト バスの利用（市内循環バス「べにばなGO」）	1	2	3	4	5
ナ バスの利用（路線バス）	1	2	3	4	5
ニ 鉄道の利用	1	2	3	4	5
ヌ 買い物・金融機関などの利用	1	2	3	4	5

	満足している	満足している どちらかといえば	ふつうである	不満である どちらかといえば	不満である
<b>(7) 快適さについて</b>					
ネ みどりの豊かさなどの自然環境	1	2	3	4	5
ノ 川などの水辺と親しめる環境	1	2	3	4	5
ハ 音や振動などの静けさ	1	2	3	4	5
ヒ 空気のきれいさ	1	2	3	4	5
<b>(8) 公共施設等について</b>					
フ 保育所や幼稚園などの施設	1	2	3	4	5
ヘ 小学校や中学校などの施設	1	2	3	4	5
ホ 子どもの遊び場や公園など	1	2	3	4	5
マ 道路の整備状況	1	2	3	4	5
ミ 下水道の整備状況	1	2	3	4	5
ム 趣味や学習のための施設	1	2	3	4	5
<b>(9) 市政について</b>					
メ 窓口・電話口での職員の対応	1	2	3	4	5
モ 住民票等、各種証明書発行サービスの利便性	1	2	3	4	5
ヤ 広報「おけがわ」の内容	1	2	3	4	5
ユ 市のホームページの内容	1	2	3	4	5
ヨ 行政のスリム化	1	2	3	4	5
リ 市民意見・要望の市政への反映	1	2	3	4	5

問3 あなたは、今後も桶川市に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

1. 住み続けるつもりでいる	3. 事情が許せば転出したい
2. 事情が許せば住み続けたい	4. 転出するつもりでいる

問4 問3で「3.事情が許せば転出したい」、あるいは「4.転出するつもりでいる」を選んだ方におたずねします。その理由は何でしょうか。(〇は3つまで)

1. 家族構成が変わったから	9. 自然環境が良くないから
2. 家賃や地価が高いから	10. 道路などの都市基盤が整っていないから
3. 仕事の都合で	11. 公共施設が不足しているから
4. 通勤・通学など交通が不便だから	12. 災害などの発生時に不安があるから
5. 日常の買い物不便だから	13. 子育て環境が良くないから
6. 知人や親戚がいない、少ないから	14. その他 ( )
7. 教育環境が良くないから	15. 特に理由はない
8. 高齢者の介護サービスなどがよくないから	

## 桶川市のまちづくりについておたずねします

### まちづくり全般について

問5 下記の項目のうち、ここ数年で（桶川市に転入して間もない方は、お住まいになってから）よくなったと感じる項目を3つまで選んで、その番号を「回答欄 ア」にご記入ください。

また、もっと住みよいまちにするために、これからの市政において、特に力をいれるべき項目について、下記の中から3つまで選び、その番号を「回答欄 イ」にご記入ください。

回答欄	ア よくなったもの 3つ			
	イ 力をいれてほしいもの 3つ			

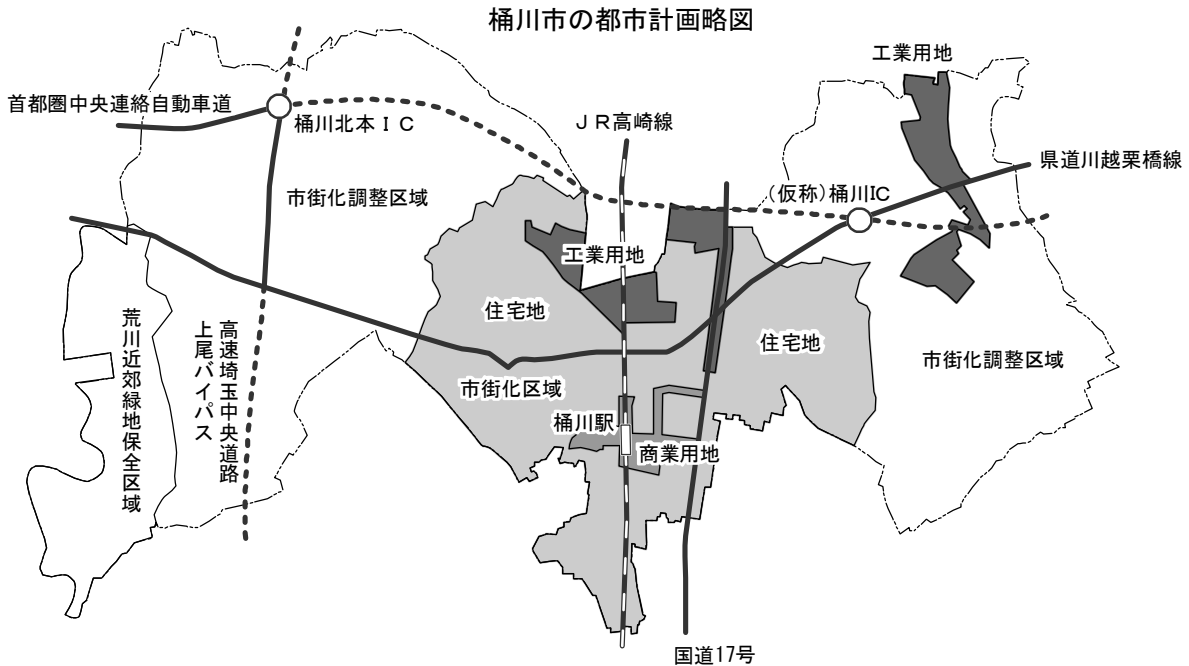
- |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 土地利用の適正化</li> <li>2. 市街地の整備</li> <li>3. 桶川駅の整備</li> <li>4. 市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備</li> <li>5. 身近な生活道路の整備</li> <li>6. 上水道の整備</li> <li>7. 公共下水道の整備</li> <li>8. 治水・親水機能に配慮した河川・水路の整備</li> <li>9. 自然環境の保全</li> <li>10. 良好な住宅地の整備</li> <li>11. 街並み・景観づくり</li> <li>12. 信号機など交通安全施設整備</li> <li>13. 公害防止対策</li> <li>14. 消防、防災、防犯対策の充実</li> <li>15. 公園・緑地の整備</li> <li>16. ゴミの減量化やリサイクルの推進</li> <li>17. 保健や医療の充実</li> <li>18. 高齢者福祉サービスの充実</li> <li>19. 障がい者福祉サービスの充実</li> <li>20. 出産・子育て支援サービスの充実</li> <li>21. こども医療費の無料化の充実</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>22. 女性の地位向上(男女共同参画)</li> <li>23. 情報提供の充実</li> <li>24. 国際交流の推進</li> <li>25. ボランティア活動の支援育成</li> <li>26. 農業の振興</li> <li>27. 工業の活性化、企業誘致</li> <li>28. 地元商業の振興</li> <li>29. 雇用対策</li> <li>30. 桶川駅周辺を中心市街地の活性化</li> <li>31. 観光振興</li> <li>32. スポーツ・レクリエーションの振興</li> <li>33. 学校教育の充実</li> <li>34. 生涯学習の振興</li> <li>35. 地域文化の振興</li> <li>36. 広域行政の推進</li> <li>37. 公共施設の市町村間の相互利用の推進</li> <li>38. 行政のスリム化</li> <li>39. その他( )</li> <li>40. 特にない</li> </ol> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 桶川市の土地利用について

桶川市では下図のように都市計画区域を設定し、まちづくりを推進しています。

桶川駅周辺は商業用地、JR高崎線の沿線両側は住宅地で沿線中央北側と東部には工業用地、東部と西部のほとんどは市街化調整区域で農地が多くなっています。また、現在、西部を南北に縦断する上尾バイパスや北部を東西に横断する首都圏中央連絡自動車道の建設が進められています。

これらを踏まえて、今後の土地利用の基本的な方向性について、問6～問10にお答えください。



問6 桶川市の将来を考える上で、土地利用を計画的に図っていく必要がありますが、今後どのような方向性が望ましいとお考えですか。(〇は1つ)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. 住宅地を増やす   | 5. 開発を抑制していく |
| 2. 工業用地を増やす  | 6. 現状のままでよい  |
| 3. 商業用地を増やす  | 7. その他( )    |
| 4. 農地の保全を進める |              |

問7 今後の住宅地のあり方について、あなたはどのような方向が望ましいとお考えですか。(〇は1つ)

- |                                      |             |
|--------------------------------------|-------------|
| 1. 市域全体に住宅地を増やしていく                   | 3. 現状のままでよい |
| 2. 街並みづくりや敷地のゆとりを確保するなど、現在の住宅地の質を高める | 4. その他( )   |

問8 今後の工業用地のあり方について、あなたはどのような方向が望ましいとお考えですか。(〇は1つ)

- |                                               |
|-----------------------------------------------|
| 1. 積極的な企業誘致を行うため、新たな工業用地の造成を推進する              |
| 2. 住宅と工場が混在している地域を解消するため、市内中小企業用の工業用地の造成を推進する |
| 3. 現状のままでよい                                   |
| 4. その他( )                                     |

問9 今後の商業用地のあり方について、あなたはどのような方向が望ましいとお考えですか。(〇は1つ)

1. 桶川駅周辺の商業機能の充実を促進する
2. 幹線道路沿いへの大規模商業施設の誘致を推進する
3. 住宅地の近くに近隣型商業の分散立地を図る
4. 現状のままでよい
5. その他( )

問10 今後の市街化調整区域内の農地のあり方について、あなたはどのような方向が望ましいとお考えですか。(〇は1つ)

1. 農業者を支援し、生産機能の維持と活性化を図っていく
2. 農地の中に農業公園や市民農園を設置し、農業者と市民とのふれあいの場を形成していく
3. 農地を計画的に住宅、公園、商業施設等への転用を図っていく
4. 現状のままでよい
5. その他( )

## 都市整備について

問11 市における長期的な都市整備に関する事業項目について、どのようにお考えですか。  
該当する番号にそれぞれ〇をつけてください。

	是非とも 実現して ほしい	どちらかと いえば 実現して ほしい	どちらかと いえば 必要ない	必要ない
A 桶川駅東口周辺地域の整備推進	1	2	3	4
B 川田谷地域の桶川・北本インターチェンジ周辺への産業の誘致	1	2	3	4
C 加納地域の桶川インターチェンジ予定地周辺への産業の誘致	1	2	3	4
D 新しい市役所庁舎の建設	1	2	3	4

問12 お住まいの地域や市内に特に整備を望む公共施設はありますか。(〇は3つまで)

- |                                |                                  |
|--------------------------------|----------------------------------|
| 1. 市営駐車場                       | 12. 住民票の発行などの市民サービスが受けられる市役所の派出所 |
| 2. 市営駐輪場                       | 13. 美術品・芸術品等を鑑賞できる施設             |
| 3. 公民館                         | 14. 市内を自転車で行き来できる自転車道路           |
| 4. 市民協働(※次頁解説)活動センター           | 15. 交番や派出所など、地域防犯のための施設          |
| 5. 地区住民が気軽に交流できる施設(コミュニティセンター) | 16. バス停留所・バス路線                   |
| 6. 図書館                         | 17. 安心して通行できる道路                  |
| 7. 総合運動場など、複合的なスポーツ施設          | 18. 児童館や子育て支援センターなど、子育て支援のための施設  |
| 8. 身近でスポーツなどができる広場             | 19. 下水道                          |
| 9. 子どもたちが安全に遊べる身近な公園           | 20. その他( )                       |
| 10. 病院                         | 21. 特にない                         |
| 11. 高齢者の生活を支援するための施設           |                                  |

## 景観について

問 13 あなたは、桶川市には優れた景観があると思いますか。(〇は1つ)

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| 1. あると思う         | 3. どちらかといえばあると思わない |
| 2. どちらかといえばあると思う | 4. あると思わない         |

問 14 問 13 で、「1. あると思う」、あるいは、「2. どちらかといえばあると思う」を選んだ方におたずねします。特に優れた景観として挙げられるものを具体的にお書きください。

【特に優れていると思う景観】

## 分野ごとの状況についておたずねします

### 参画と協働(※)のまちづくりについて

※ 協働とは、市民と行政が対等な立場で協力し、互いに同じ目的意識を持ちながら目的達成に向けてまちづくりに取り組んでいくこと。

問 15 あなたは、桶川市では、協働のまちづくりが進んでいると思いますか。(〇は1つ)

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う         | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない         |

問 16 桶川市が今後さらに「協働のまちづくり」を進める上で、市が特に取り組むべきことは何だと思いますか。(〇は3つまで)

- |                                         |
|-----------------------------------------|
| 1. 市民がまちづくり活動に参加できる機会を提供する              |
| 2. まちづくりや地域活動の活動支援を行う拠点の整備をする           |
| 3. まちづくりや地域活動のための研修や講習会、学習の機会を充実させる     |
| 4. 自治会や、その他の既存の市民団体との連携・協力を進める          |
| 5. 地域や社会のための活動を学校教育の一環として取り上げる          |
| 6. 活動に対する社会的評価を高める(協働事業の表彰制度など)         |
| 7. ボランティア休暇やまちづくり休暇の導入促進など、企業との連携を進める   |
| 8. ボランティア保険の整備など、活動にともなう危険や事故への対応を充実させる |
| 9. 活動団体やグループを資金面で支援する                   |
| 10. 行政に専門部署をつくるなど、推進体制を整備する             |
| 11. 市民が市政に参画していくための条例などのルールをつくる         |
| 12. 行政の意識改革や人材育成に努める                    |
| 13. その他 ( )                             |
| 14. 特にない                                |

問17 あなたは、生活や社会における男女の地位について、どのようにお考えですか。

(それぞれの項目で○は1つ)

	男性の方が 優遇されて いる	どちらかと いえば 男性の方が 優遇されて いる	平 等	どちらかと いえば 女性の方が 優遇されて いる	女性の方が 優遇されて いる
A 家庭生活において	1	2	3	4	5
B 職場において	1	2	3	4	5
C 政治において	1	2	3	4	5
D 社会全体において	1	2	3	4	5

問18 男女共同参画社会の実現のために、どのようなことが必要だと思いますか。(○は2つまで)

1. 社会における男女共同参画に関する啓発活動	6. 男性の意識や生活面における自立能力の向上
2. 学校における男女共同参画に関する教育	7. 育児や介護への社会的支援の充実
3. 雇用格差の解消	8. 女性に対する差別や人権侵害への対策
4. 政策や意思決定等の場での女性登用の促進	9. その他( )
5. 女性の意識や能力の向上	

## 健康・福祉についておたずねします

### 子育て支援について

問19 あなたは、桶川市は、安心して子育てしやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う	3. どちらかといえばそう思わない
2. どちらかといえばそう思う	4. そう思わない

問20 安心して子どもを育てられるまちにするために、市が特に取り組むべきことは何だと思いますか。  
(○は2つまで)

1. 出産や子育てに関する相談・援助体制の充実	4. こども医療費助成制度など経済的支援の充実
2. 多様な保育サービスの充実	5. その他( )
3. 子育てを支援する地域づくりの促進	6. 特にない

### 高齢者の生活について

問21 あなたは、桶川市は、高齢者が安心して住み続けられるまちだと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う	3. どちらかといえばそう思わない
2. どちらかといえばそう思う	4. そう思わない

問22 高齢者の生活を支えるために、市が特に取り組むべきことは何だと思いますか。(○は3つまで)

1. 相談窓口の充実や相談機能の強化	8. 住宅改造補助の充実
2. 壮年期からの健康づくりの推進	9. 高齢者にやさしいまちづくりの推進(道路や公共施設のバリアフリー化)
3. 学習機会の充実	10. 医療施設の整備・充実
4. スポーツ・レクリエーション活動の支援	11. 貸付菜園の確保・拡充
5. 就労機会の充実	12. その他( )
6. 活躍機会の充実	13. 特に必要ない
7. 福祉施設(高齢者マンション、介護付有料老人)	

## 市民生活についておたずねします

### 地球温暖化への取り組みについて

問23 あなたは、普段の生活の中で、地球温暖化への取り組みをしていますか。(〇は1つ)

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. している     | 3. あまりしていない |
| 2. ときどきしている | 4. 全くしていない  |

問24 次のうち、あなたが取り組んでいるものはありますか。(〇はあてはまるものすべて)

- |                                      |
|--------------------------------------|
| 1. 車を使わず、公共交通機関を利用するようにしている          |
| 2. 近場には、車ではなく自転車・徒歩で行くようにしている        |
| 3. 買い物にはマイバッグを持参している                 |
| 4. 冷房温度を28度以上、暖房温度を20度以下に設定するようにしている |
| 5. こまめな消灯やコンセントを抜く等、節電に心がけている        |
| 6. 自宅にソーラーパネルを設置している                 |
| 7. シャワーや食器洗いの際に、水を節約している             |
| 8. 生ゴミなどのコンポスト(※)を行っている              |
| 9. その他<br>( )                        |
| 10. 特に何もしていない                        |

※「コンポスト」：野菜くずや残飯などの生ゴミや、落ち葉などを堆肥に変えること。

## 産業についておたずねします

### 観光振興について

問25 あなたは、桶川市の更なる観光振興のために、市は、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。(〇は2つまで)

- |                                               |
|-----------------------------------------------|
| 1. インターネット等を活用したPRや情報発信の強化                    |
| 2. 中山道桶川宿の街並み・景観づくりの推進                        |
| 3. 観光農園、工場見学ツアー、まつりなどへの支援等、農業、工業、商業と連携した観光の推進 |
| 4. 観光ボランティアガイドの育成支援など、住民主体の観光まちおこしの支援         |
| 5. 観光資源(自然や歴史文化)の掘り起こしと創造                     |
| 6. 近隣市町村と連携した広域的観光の促進                         |
| 7. 観光案内版、マップ、ルートづくりなどの充実                      |
| 8. その他( )                                     |

問26 あなたは、観光振興にかかわる、次のどの活動への参加に興味がありますか。(〇は2つまで)

- |                         |                |
|-------------------------|----------------|
| 1. 郷土学習会への参加            | 5. 観光ボランティアガイド |
| 2. 観光資源発掘ツアー(まち歩き)への参加  | 6. その他 ( )     |
| 3. 観光マップや観光ルートづくりへの参加   | 7. 興味はない       |
| 4. 文化財など、資源を守り育てる活動への参加 |                |



## 桶川市の市政についておたずねします

問 27 市政全般に対するあなたの関心度について、該当するものを選んで下さい。(〇は1つ)

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1. とても関心を持っている  | 3. あまり関心を持っていない |
| 2. ある程度関心を持っている | 4. 全く関心を持っていない  |

問 28 市役所の仕事や行事などについて、何から情報を得ていますか。(〇は主なもの2つまで)

- |           |           |              |         |
|-----------|-----------|--------------|---------|
| 1. 広報おけがわ | 4. 新聞     | 7. 議会傍聴      | 10. 人づて |
| 2. 議会だより  | 5. 掲示板    | 8. 議会議員      | 11. その他 |
| 3. 回覧     | 6. ホームページ | 9. 自治会、団体の会合 | ( )     |

問29 あなたは市役所からの市政情報の提供についてどのようにお考えですか。(〇は1つ)  
なお、「不十分なところ」については、( )内に具体的にお書きください。

- |                              |     |
|------------------------------|-----|
| 1. 必要な情報が十分伝えられている           |     |
| 2. 一部、不十分なところがある→(不十分なところ: ) | ( ) |
| 3. 不十分である→(不十分なところ: )        | ( ) |

問30 あなたは、行政サービスとそれに伴う負担の仕方について、どのようにお考えですか。(〇は1つ)

- |                                                           |     |
|-----------------------------------------------------------|-----|
| 1. 必要な行政サービスを行うためには、新たな負担もやむをえない                          |     |
| 2. 新たな行政サービスを行うには、現在の行政サービスを見直し・一部削除等に対応し、できるだけ新たな負担を求めない |     |
| 3. 公共施設の利用等については、受益者や利用者負担の原則を幅広い分野に適用していく                |     |
| 4. その他 ( )                                                | ( ) |

## 桶川市のイメージや将来像などについておたずねします

問 31 桶川市についてどのようなイメージをお持ちですか。(〇は2つまで)

- |                 |               |                |
|-----------------|---------------|----------------|
| 1. 歴史のあるまち      | 6. 生活環境の整ったまち | 11. 安心して暮らせるまち |
| 2. 豊かな文化のあるまち   | 7. 東京圏のベッドタウン | 12. 地形的に平坦なまち  |
| 3. 緑豊かなまち       | 8. 近郊農業の盛んなまち | 13. その他        |
| 4. 美しい都市景観のあるまち | 9. 工業の盛んなまち   | ( )            |
| 5. 田舎らしさの残るまち   | 10. 商業の盛んなまち  | ( )            |

問 32 桶川市の自然、歴史文化、生活環境などで誇れるもの、自慢できるものは何ですか。

(〇は2つまで)

- |                        |                  |
|------------------------|------------------|
| 1. 荒川河川敷などの自然          | 7. べに花によるふるさとづくり |
| 2. 中山道宿場町の歴史           | 8. 田園風景が残っていること  |
| 3. 富士山が見える景観           | 9. まつりが盛んなこと     |
| 4. スポーツ・レクリエーションが盛んなこと | 10. 住みよい地域社会がある  |
| 5. 文化的な催しが盛んなこと        | 11. その他 ( )      |
| 6. 桶川駅西口の都市環境          | 12. 特にない         |

問 33 あなたは、10年後の桶川市がどのようなまちであってほしいと思いますか。(〇は3つまで)

1. 子どもが育つ環境や教育環境が良いまち
2. 文化・芸術・スポーツに力を入れているまち
3. 歴史や伝統を大切にすまち
4. 医療機関や保健サービスが充実しているまち
5. 高齢者や障がい者などを大切にする福祉の充実したまち
6. 環境への負担に配慮した、地球にやさしいまち
7. 防災や防犯などに地域で取り組む、安全で安心して暮らせるまち
8. 美しい街並みや都市景観のあるまち
9. 道路等の整備が進んだ、交通利便性の高いまち
10. 水辺や緑など、自然環境の良いまち
11. 農業・工業・商業など、産業活動が活発なまち
12. 人が集い、賑わいのある観光事業が盛んなまち
13. 雇用環境が充実して、働く場所の多いまち
14. その他 ( )

問 34 あなたは、桶川市が今後一層よくなるためには、何をどうすればいいと思われますか。  
日頃のお考えをお書きください。

<hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## あなたご自身のことについておたずねします

※それぞれの項目について、該当する番号を選び、○をつけてください。

F1. 性別

1. 男          2. 女

F2. 年齢

1. 18～19歳    4. 30～34歳    7. 45～49歳    10. 60～64歳    13. 75歳以上  
 2. 20～24歳    5. 35～39歳    8. 50～54歳    11. 65～69歳  
 3. 25～29歳    6. 40～44歳    9. 55～59歳    12. 70～74歳

F3. 職業

1. 農業(主として)                                  6. 学生  
 2. 勤め人(サラリーマン等)                        7. 家事従事者(主婦・主夫等)  
 3. 自営業(商工業・サービス業)                    8. パートタイマー  
 4. 自由業(弁護士・医師・税理士等専門職)      9. 無職  
 5. 会社・団体等の役員                            10. その他(                                                  )

F4. 居住年数

1. 3年未満                                  3. 5年～10年未満                                  5. 15年～20年未満  
 2. 3年～5年未満                                  4. 10年～15年未満                                  6. 20年以上

F5. 居住地区

1. 東1～2丁目、西1～2丁目、南1～2丁目、北1～2丁目、寿1～2丁目、  
 神明1～2丁目、末広1～3丁目  
 2. 泉1～2丁目、鴨川1～2丁目、若宮1～2丁目、朝日1～3丁目  
 3. 上日出谷、下日出谷、下日出谷西1～3丁目  
 4. 坂田、加納、小針領家、倉田、篠津、五丁台、舎人新田、赤堀1～2丁目  
 5. 川田谷

F6. 家族構成

1. 夫婦だけ    2. 二世帯世帯    3. 三世帯世帯    4. 単身世帯    5. その他

F7. 住居形態

1. 一戸建持ち家  
 2. 一戸建以外持ち家(分譲マンション等)  
 3. 民営借家(民間アパートを含む)  
 4. 公営(県営、公団、公社)の賃貸住宅  
 5. 社宅(独身寮、公務員住宅を含む)  
 6. その他 (                                                                                                          )

～ご協力ありがとうございました～